取扱説明書 アプリケーション編

FOMA® D900i

’04.8

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「FOMA D900i」をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書『アプリケーション編』および別冊の『基本編』をよくお読みいただき、FOMA D900iを正しく、効果的にお使いくださいますようお願いいたします。
FOMA D900iは、あなたの有能なパートナーです。
大切にお取扱いのうえ、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMAは無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、周りの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモ及び別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性等に関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、日本ボルチモアテクノロジーズ株式会社

FOMA端末、FOMAカードをお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。
また、電池パックおよびアダプタ（充電器含む）をお使いになる前には、機器に添付の個別の取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。なお、取扱説明書にご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

●お問い合わせ先（ドコモグループ各社）

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話からはご利用になれません。

■ 一般電話等からの場合

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

この『FOMA D900i取扱説明書　アプリケーション編』の本文中においては、『FOMA D900i』を『FOMA端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

●表紙の画面は、はめこみ合成です。

著作権について／商標について

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して録画や録音等されたもの並びにサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集等する行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されておりますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変等すると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。録画または録音等されたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、録画または録音等が禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

商標・登録商標について

本書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 本製品は、インターネット機能としてNetFront v3.0 for FOMAを搭載しています。
  NetFront v3.0は、株式会社ACCESSの製品です。Copyright 1996-2004 ACCESS CO., LTD.
  NetFront及び NetFront® は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
  本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品には、日本語入力のための機能として、株式会社ジャストシステムのATOKを搭載しています。「ATOK」「推測変換」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。© 2003 株式会社ジャストシステム
- Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
  Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの登録商標です。
- Microsoft®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Java及びJavaに関連するすべての商標は、米国及びその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash™テクノロジーを搭載しています。
  Copyright© 1995-2004 Macromedia, Inc. All rights reserved.
  Macromedia, Flash, Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- "Memory Stick"（"メモリースティック"）、"Memory Stick Duo"（"メモリースティック Duo"）、"Memory Stick PRO Duo"（"メモリースティック PRO デュオ"）および （ロゴ）、MEMORY STICK DUO、MEMORY STICK PRO DUO はソニー株式会社の商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 「FOMA／フォーマ」「ｉモード」「ｉアプリ／アイアプリ」「ｉアプリサーチ／アイアプリサーチ」「ｉメロディ／アイメロディ」「ｉアニメ／アイアニメ」「ｉアプリDX」「ｉモーション／アイモーション」「ｉモーションメール／アイモーションメール」「ｉエリア／アイエリア」「デコメール／デコレーションメール」「着モーション」「キャラ電」「クイックキャスト」「FirstPass／ファーストパス」「mopera／モペラ」「WORLD CALL」「マルチアクセス」「デュアルネットワーク」および「FOMA」ロゴ「i-mode」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「Multitask／マルチタスク」は日本電気株式会社の商標です。
- 「チョコボ」は、株式会社スクウェア・エニックスの商標です。
  © 2004 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved.
- その他、本文中に掲載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

- **本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において、以下に記載する場合のみ使用することが認められています。**
  - **MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video)を記録する場合**
  - **個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合**
  - **MPEG LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合**

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- **本製品の動画機能は、MPEG-4 Systems特許の下でMPEG-4 Systems規格に準拠した符号化を行うことが許諾されています。ただし、以下の場合には、追加のライセンスとロイヤルティの支払いが必要です。**
  - **物理的媒体に保存または複製されてタイトルごとに支払いが必要なデータの符号化を行う場合**
  - **エンドユーザに送信され、保存・使用され、タイトルごとに支払いが必要なデータの符号化を行う場合**

  追加のライセンスは米国法人MPEG LA, LLCから入手できます。詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。

4,901,307	5,600,754	5,267,261	5,506,865	5,710,784
5,504,773	5,416,797	5,568,483	5,228,054	5,778,338
5,109,390	5,490,165	5,414,796	5,544,196	
5,535,239	5,101,501	5,659,569	5,337,338	
5,267,262	5,511,073	5,056,109	5,657,420	

取扱説明書の構成について

FOMA D900iの取扱説明書は、『基本編』、『アプリケーション編』の2冊で構成されています。

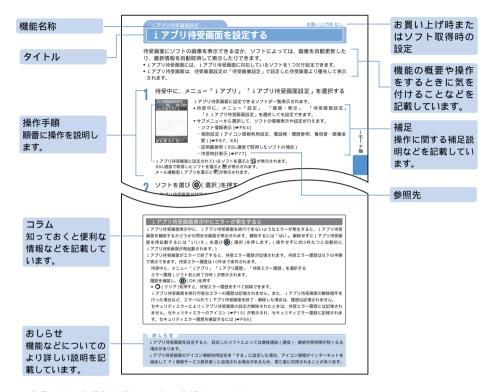
『基本編』

- 各部の名称や機能、電池パックの充電方法など、FOMA端末の基本的な事項について
- 電話やテレビ電話のかけかた・受けかた、文字入力などの基本的な操作方法について
- 電話機能に関する各種設定について
- 「故障かな？」と思ったときの対処方法やアフターサービスについて

『アプリケーション編』（本書）

- ｉモードを利用してFOMA端末で情報を入手する方法や、ｉアプリの利用方法について
- メール機能の使用方法について
- 内蔵のカメラでの写真・動画の撮影方法や、FOMA端末に保存されている画像、動画／ｉモーション、メロディなどの操作方法について
- 赤外線通信や“メモリースティック Duo”の操作方法について
- FOMA端末を使用したデータ通信の方法について

本書の見かたについて

操作説明のページの構成

※本書では、参照先を以下のように表記しています。
［☛P20］…………『アプリケーション編』（本書）のP20に詳しい説明があります。
［☛基本P20］……『基本編』のP20に詳しい説明があります。

メニューの表記

この取扱説明書ではメニューやサブメニューの選択方法を以下のように表記しています。

表　記	意　味
ｉモードメニュー「ｉモード設定」▶「スクロール設定」を選択する	ｉモードメニューから「ｉモード設定」を選択したあと、「スクロール設定」を選択する
サブメニュー「1.登録」を選択する	サブメニューから「1.登録」を選択する

目次

Contents

はじめに

ｉモード編

ｉモードとは

サイト(番組）接続

ｉアプリ

キャラ電

ｉモーション

メッセージサービス

メール編

メール機能について

ｉモードメール

ショートメッセージ（SMS）

メールBOX

メール機能の設定

マルチメディア編

カメラ機能を利用する

イメージビューアー

ビデオプレーヤー

メロディプレーヤー

マルチメディア上書き

データ交換編

赤外線通信を利用する

“メモリースティック Duo”を利用する

データ通信編

データ通信をはじめる前に

通信設定ファイルをインストールする

FOMA PC設定ソフトを利用する

アンインストールする

FOMA PC設定ソフトを利用しない設定方法

付録

はじめに

ディスプレイの見かた

ｉモード、メール、マルチメディア、データ交換、データ通信に関するアイコンを示します。他のアイコンについては［☛基本P28］

新着メール・メッセージR/Fアイコン

新着メール、メッセージR/Fあり
メール、メッセージR/F受信時に何も操作せずにメッセージ受信画面が消えたときに表示されます。［☛P101、135］

メール選択受信時の新着メールあり
メール選択受信時に何も操作せずにセンター新着通知画面が消えたときに表示されます。［☛P138］

※取扱説明書の待受画面の背景は、架空のものです。待受画面の背景はお好みの画像に変更できます。［☛基本P144］

ｉモードアイコン、各種通信中アイコンなど

ｉモード中（データ送受信中は　）
パケット通信中（データ送受信中は　）
64Kデータ通信中（データ送受信中は　）
ｉモードと音声通話のマルチアクセス中
パケット通信と音声通話のマルチアクセス中
赤外線通信中（注）
“メモリースティック Duo”とのデータコピー中など（注）
データリンクソフトでデータ転送中（注）
（注）　、　、　が表示されている間は音声通話、ｉモード、データ通信などは利用できません。

FOMAカードSMSフルアイコン

FOMAカードにショートメッセージ（SMS）フル［☛P173］

SSLアイコン

SSLページ表示中［☛P25］

外部機器接続中アイコン

通信モード（USB接続中）［☛P308］
メモリースティックモード（USB接続中）［☛P301］
メモリースティックモード（USB接続なし）［☛P301］

他機能動作中受信アイコン［☛P102、136］

メール受信中に点滅
メッセージR/F受信中に点滅
メール、メッセージR/F受信（受信した種別のアイコンが点灯）

ｉアプリ待受画面アイコン［☛P75］

ｉアプリ待受画面表示中
ｉアプリ待受画面表示中（ｉアプリDX）
ｉアプリ待受画面のセキュリティエラー発生時［☛P76］

ｉアプリアイコン［☛P63］

ｉアプリ実行中
ｉアプリDX実行中
ｉアプリ、ｉアプリDXからの赤外線リモコン通信中［☛P279］

タスクアイコン［☛基本P197］

1機能実行中　複数機能実行中

メールアイコン

- ：未読メールあり
- ：受信メールBOXフル［☛P175］(注1)
- ：ｉモードセンターに未受信メールあり(注1)
- ：ｉモードセンター保管件数最大［☛P113］(注1)
- ：受信メールBOXフル＋未受信メールあり(注1)
- ：受信メールBOXフル＋ｉモードセンター保管件数最大(注1)

（注1） FOMA端末に未読メールがあるときは黄色、ないときはグレーのアイコンになります。

メッセージR/Fアイコン

- ：未読メッセージR/Fあり
- ：メッセージBOXフル［☛P104］(注2)
- ：ｉモードセンターに未受信メッセージR/Fあり(注2)
- ：ｉモードセンター保管件数最大［☛P20］(注2)
- ：メッセージBOXフル＋未受信メッセージR/Fあり(注2)
- ：メッセージBOXフル＋ｉモードセンター保管件数最大(注2)

（注2） FOMA端末に未読メッセージR/Fがあるときは青または緑色、ないときはグレーのアイコンになります。

※ ｉモードセンターにメールやメッセージR/Fが保管されていても、メールアイコン、メッセージR/Fアイコンにｉモードセンターの保管状況が表示されないことがあります。
※ メール選択受信設定を「ON」に設定しているときは、メールアイコンに、ｉモードセンターの保管状況は表示されません。

おしらせ

- **FOMA端末を折りたたんでいるときは、インスピレーションウィンドウに各種アイコンが表示されます。［☛基本P30］**
- **D900iのメインディスプレイとインスピレーションウィンドウは、非常に高度な技術を駆使して作られており、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合がありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。**
- **メインディスプレイの特性により、表示される画像によっては横線や影などが見えることがあります。**
- **本書の説明用画面は、実際の画面と色や明るさなどが異なる場合があります。また、表示を見やすくするため背景色を省いている画面があります。ご了承ください。**

マルチアクセス・マルチタスクについて

FOMA端末では、音声電話とパケット通信の2つの機能を同時に利用できます（マルチアクセス）。また、サイト表示中に電話帳を登録するなどのように、複数の機能を同時に実行できます（マルチタスク）。

■マルチアクセスでできること

パケット通信（ｉモードまたはパソコンとFOMA端末をつないで行うパケット通信）と、音声電話を同時にご利用いただけます。詳しくは[☛基本P194]

■マルチタスクでできること

複数の機能を実行し、画面を切り替えながら操作できます。詳しくは[☛基本P197]

おしらせ

- **マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について通信料金がかかります。**
- **テレビ電話および64Kデータ通信は、マルチアクセス機能に対応していません。**
- **ショートメッセージサービス（SMS）は、音声通話中、パケット通信中もご利用いただけます。**

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、データやファイルを保護するセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能があります。

ｉモードやｉモードメール、メッセージR/Fで以下のデータやファイルを取得・保存すると、データやファイルにFOMAカード動作制限が設定されます。

・画像　・メロディ　・動画／ｉモーション　・キャラ電　・ｉアプリ

FOMAカード動作制限が設定されたデータやファイルは、取得時のFOMAカードがFOMA端末に挿入されているときだけ利用できます。取得時と異なるFOMAカードが挿入されているときや、FOMAカードが挿入されていないときは表示・再生・実行・設定できません。また、画面や着信音などに設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。詳しくは[☛基本P36]

FOMAカードのバージョンについて

D900iで「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、「FOMAカード（緑色）」と次のような機能の違いがありますのでご注意ください。

機　能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色）	参照先
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	基本P100
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	P54
WORLD WING	利用不可	利用可	基本P37

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
受信メール	FOMA端末本体	最大1000件（注1、2）	最大950件
	FOMAカードのショートメッセージ（SMS）	最大20件（注3）	―
送信メール	FOMA端末本体	最大200件（注1、2）	最大150件
	FOMAカードのショートメッセージ（SMS）	最大20件（注3）	―
メッセージR		最大50件（注2）	最大40件
メッセージF		最大50件（注2）	最大40件
ブックマーク		最大50件（注5）	―
画面メモ		最大50件（注2）	最大50件
ｉアプリのソフト		最大200件（注2、4、5）	最大200件
画像	カメラ画像	最大1000件（注2、4）	最大1000件
	ネットワーク画像	最大1000件（注2、4）	最大1000件
	データ交換画像	最大1000件（注2、4）	最大1000件
	TV電話画像	最大500件（注2、4）	最大500件
	アイテム	最大500件（注2、4、5）	最大500件
動画／ｉモーション	カメラ画像	最大500件（注2、4）	最大500件
	ネットワーク画像	最大500件（注2、4）	最大500件
	データ交換画像	最大500件（注2、4）	最大500件
	TV電話画像	最大500件（注2、4）	最大500件
キャラ電		最大20件（注2、4、5）	最大20件
メロディ		最大500件（注2、4）	最大500件

（注1）ｉモードメールとショートメッセージ（SMS）の合計件数です。
（注2）保存できる件数はデータ量によって変わります。
（注3）受信ショートメッセージ（SMS）と送信ショートメッセージ（SMS）の合計件数です。
（注4）ｉアプリのソフト、画像、動画／ｉモーション、キャラ電、メロディはマルチメディア用のメモリを共用するため、他のデータのデータ量によって保存できる件数は変わります。
（注5）お買い上げ時に登録されているデータを含みます。

おしらせ

- **FOMA端末に保存・登録されているデータは、電池パックを外したままの状態や電池残量が空の状態でも約1ヶ月は記憶されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、FOMA端末の故障、修理やその他の取扱いによっても消失する可能性がありますので、登録内容や重要な内容は控えを取っておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

i モード編

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末（以下iモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

■ **サイト（番組）接続** [☛P17]

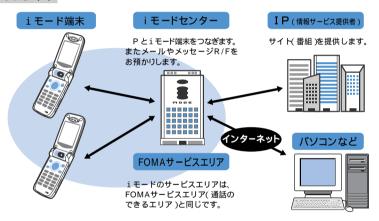
簡単なボタン操作で、IP（情報サービス提供者）が提供するさまざまなサイトを利用できるサービスです。

■ **インターネット接続** [☛P20]

iモード端末からインターネットに接続し、iモード対応のホームページにアクセスできるサービスです。

■ **iモードメール** [☛P111]

iモード端末はもちろん、インターネットを経由してe-mail（電子メール）ともメールをやりとりできるサービスです。

サービスのしくみ

■ **iモードはお申込みが必要な有料サービスです。お申込みに関するお問い合わせは**

ドコモの携帯電話、PHSからの場合	一般電話等からの場合
（局番なしの）151（無料） ※一般電話からはご利用になれません。	**0120-800-000** ※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

- 新規でFOMAサービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
- movaサービス（iモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引継がれます。サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引継がれないサイトもございますので、その場合は、再登録をお願いします。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、iMenu内「お知らせ＆ヘルプ」でご確認いただけます。
- iモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書には、料金に関する情報は記載していません。利用料金などについては、iモードご契約時にお渡しする『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。
- iモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

サイト（番組）接続

簡単なボタン操作でサイトに接続して、ＩＰが提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。例えば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなど様々なオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

ｉモードセンターに接続すると、最初にｉMenuが表示されます。ここから各サイト（番組）や「週刊ｉガイド」などへアクセスします。サイトの表示方法 [☛P23]

1 マイメニュー
よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単に接続できます。[☛P31]
有料サイトなどは自動的に登録され、あわせて45件登録できます。

2 週間ｉガイド
新着サイトやおすすめサイトなど、最新のサイト情報を月～金曜日の毎日更新して掲載します。

3 メニューリスト
すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。

4 とくするメニュー
楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます。
（提供：D2コミュニケーションズ）

5 ｉエリア
場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。

6 ｉアプリサーチ
ｉアプリを情報料が無料のものや、ゲームができるものなど利用シーン別に紹介しているメニューです。

6 便利サイトサーチ
メニューリストの中から、日常的に利用できる便利な実用系サイトを利用シーン別にピックアップして掲載します。

7 マイボックス
サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスする会員向けのサービスです。一度登録すると簡単にアクセスできるようになります。

8 オプション設定
ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。

9 お知らせ＆ヘルプ
ドコモからのお知らせや、ｉモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。

■ 料金＆お申込
料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申込みができます。

■ ENGLISH
ｉMenuを英語表記に変更できます。

※画面はイメージです。設定によっては表示が異なる場合があります。

- **サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。**
- **ＩＰが提供するサービスには、ご利用の際に別途お申込みが必要なものがあります。**
- **ｉモードアイコンが点滅していても、ｉモードセンターとの通信中以外はパケット通信料はかかりません。**
- **デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu画面などが一部異なります。**

こんなこともできます

■ ｉモーション

ｉモードのサイトから映像や音をｉモード端末に取り込み、再生したり、待受画面として楽しむことができます。

- ｉモーションを取り込むには [☛P97]
- ｉモーションを再生するには [☛P246]
- ｉモーションを自動再生設定するには [☛P100]

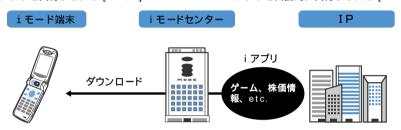
ｉモーションを取り込むには、ｉモードセンターを経由するパケット通信と、経由しないデジタル通信の2種類があります。

■着モーション

ｉモードのサイトからｉモーションをｉモード端末に取り込み、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手などの歌声なども着信音としてご利用いただけます。（一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません。）着モーションを設定するには［☛P252］

■ｉアプリ

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末をより便利に活用いただけます。例えばｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックしたりするなどが可能です。さらに地図のｉアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存、画像取得などマルチメディアと連動できるｉアプリもあります。

- ｉアプリとは［☛P57］
- ｉアプリDXとは［☛P57］
- ｉアプリを実行するには［☛P63］
- ｉアプリ待受画面とは［☛P58］
- ｉアプリをダウンロードするには［☛P59］
- ｉアプリを自動的に実行するには［☛P71］

■キャラ電

テレビ電話利用時に相手のテレビ電話端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、ボタン操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送ることもできます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません。）

- キャラ電をダウンロードするには［☛P88］
- キャラ電を設定するには［☛P92］
- キャラ電の撮影［☛P93］
- キャラ電の確認［☛P88］
- キャラクタの操作方法［☛P89］

■赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどを送受信できます。(注)

また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。例えば、ｉモード端末が会員証になったり、リモコンになったり、1台で様々な役割を果たすことも可能です。

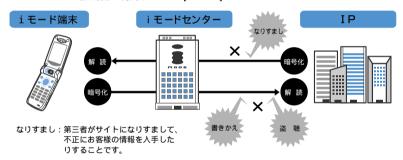
- 赤外線通信モードにするには［☛P278］

（注）相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■SSL通信

SSLとはSecure Sockets Layerの略で、認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書きかえを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやり取りできるようにしています。SSL通信には、ｉモード端末から特別な操作なしに、端末内のＣＡ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと2つあります。なお、サイトによって、使用する証明書は異なります。[☛P25]

- ｉモード端末に保存されているＣＡ証明書を利用するには [☛P53]
- FirstPassのユーザ証明書を利用するには [☛P54]

※なりすまし：第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

■FOMAカード動作制限機能

お客様情報（電話番号・電話帳（一部）等）を格納しているFOMAカードをｉモード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・動画等のファイルを動作制限します。また、別のFOMAカードを差し替えたり、または未挿入の状態で電源をONした場合、取得したファイルの再生・表示を不可にする機能です。

- **動作制限対象となるファイル**
  - ・静止画ファイル　・メロディファイル　・ｉアプリ　・動画ファイル　・キャラ電
  - ・画面メモ内の画像（Flashを含む）　・メッセージR/Fに添付されているファイル
  - ・ｉモードメールに添付されているファイル　・デコメール本文中に挿入されている画像
  - ・テレビ電話の録画機能を用いて保存した画像ファイル、動画ファイル

※カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからｉモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。

※着信音や待受画像設定等、ｉモード端末に設定していた場合、本機能によりお買い上げ時の設定で動作します。

■ｉメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。[☛P44]
ｉモーションも着モーションに設定でき、メロディだけではなくお好きな歌手などの歌声と動画なども着信音、着信画像としてご利用いただけます。[☛P252]

■メッセージサービス

メッセージサービスを提供するサイトにお申込みいただくことにより、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。メッセージにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージリクエスト（メッセージR）	メッセージサービスを提供するサイトでお申込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージフリー（メッセージF）	オプション設定で受信設定をするとパケット通信料無料で届けられるメッセージです。 ●メッセージフリー（メッセージF）の設定方法 ｉMenu「8オプション設定」▶「3メッセージ［F］設定」▶「受信する」を選択後、ｉモードパスワード（4桁）を入力し決定を選択

- メッセージサービスの受信方法 [☛P101]

電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。

●ｉモードセンターでのメッセージR/Fの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管件数、最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージR/Fから順に削除されます。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

●ｉモードセンターに保管されたメッセージR/Fは、ｉモード問合せにより受信できます。**[☛P140]**

ｉモードパスワード

有料サイトの申込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。[☛P32]
ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のホームページを表示できます。
- 表示方法 [☛P33]

●ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。ｉモード対応のホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。
●パソコン上での表示とは異なる場合があります。
●URLが256文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。

ｉモードのご使用にあたって

● サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
● ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージ、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、電池パックを外したままの状態でも約1ヶ月は記憶されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、ｉモード端末の故障、修理やその他の取扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
“メモリースティック Duo”を利用することにより、メールなどの内容を保存できます。[☛P284]
なお、パソコン（Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、Windows XP Home Edition）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフトをご利用いただくことにより、メールなどの内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。
データリンクソフトは、三菱電機株式会社のホームページhttp://www.MitsubishiElectric.co.jp/d900i/から無料でダウンロードすることができます。[☛P339]
● ｉモード端末の修理等を行った場合、ｉモード・ｉアプリ・ｉモーションにてダウンロードした情報は、著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディ）、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示・再生できません。
● FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面・指定音着信等に設定されている場合、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、お買い上げ時の設定で動作します。

FirstPassのご使用にあたって

● FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
● ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意のうえ、要求してください。
● ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。（PIN2コード [☛基本P35]）
PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
● FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、当社窓口にてユーザ証明書の失効を行うことができます。
● FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
● FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性等に関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

iモードメニューを表示する

iモード機能は、iモードメニューから実行します。

1 待受中に、メニュー「iモード」を選択する

iモードメニューが表示されます。

- 待受中に を押しても表示できます。

メニュー項目		説　明	参照先
Menu		iモードセンターに接続し、iMenuを表示します。	P23
iモード問合せ		iモードセンターに新しいメールやメッセージR/Fがあるかどうかを問い合わせます。	P140
Bookmark		ブックマークに登録したアドレス（URL）から、インターネットホームページやサイトを表示します。	P36
Internet		アドレス（URL）を入力してインターネットホームページを表示します。	P33
ラストページ		最後に表示していたページに再接続します。	P26
画面メモ		画面メモとして保存したサイトやインターネットホームページを表示します。	P39
メッセージR		メッセージRを表示します。	P104
メッセージF		メッセージFを表示します。	
ユーザ証明書操作		SSL通信対応のFirstPassのユーザ証明書発行申請・ダウンロードを行います。	P54
iモード設定	接続待ち時間設定	iモードセンターとの接続待ち時間の上限を設定します。	P49
	接続先設定	iモードの接続先を変更します。	P49
	センター接続設定	FirstPass以外のサービスを受けるときに接続先を変更します。	P56
	自動表示設定	メッセージR/Fの自動表示を設定します。	P103
	画像表示設定	サイト、画面メモ、メッセージR/F内の画像を表示するかどうかを設定します。	P48
	スクロール設定	サイト、画面メモ、メール、メッセージR/Fが画面に入りきらないときに、 でスクロールする行数を設定します。	P48
	iモーション設定	サイトから取り込んだiモーションを自動再生するかどうかや、取得するiモーションのタイプを設定します。	P100
	iモード問合せ設定	iモード問合せの問合せ内容を設定します。	P192
	CA証明書設定	CA証明書の有効／無効を設定します。	P53
	ドコモCA証明書設定	ドコモCA証明書の有効／無効を設定します。	P54
	ユーザ証明書設定	ユーザ証明書の有効／無効を設定します。	P54
	iモード設定確認	現在のiモード機能の設定内容を表示します。	P51

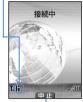
サイトに接続する

サイトをご覧になるときは、まず目次にあたるｉMenuを表示します。

- **サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。また、ＩＰ（情報サービス提供者）のサービスには、ご利用の際に別途お申込みが必要なものがあります。**
- **サイトによっては、表示の際にご使用のFOMA端末の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号）の送信が必要な場合があります。****[☛P29]**
- **取扱説明書中で使用しているサイトの画面は架空のものです。また、ｉMenuやメニューリストなどの内容は、実際の表示内容とは一部異なる場合があります。**

例 ｉMenuの「メニューリスト」から「○○ニュース速報」を表示するとき

1 待受中に、ｉモードメニュー「ｉMenu」を選択する

点滅します。

ｉモードセンターに接続され、ｉMenuが表示されます。

- 待受中に ◎ を1秒以上押しても表示できます。
- 待受中にメニュー「ｉモード」を選び ◉（選択）を1秒以上押しても表示できます。
- 電波状態により、表示されるまでに時間がかかることがあります。

◉（中止）を押すとｉモードセンターとの接続を中止できます。

2 「3メニューリスト」を選び ◉（選択）を押す

データを受信後、メニューリストが表示されます。

- ご契約いただいたドコモの地域メニューがトップに表示される場合があります。
- ページが画面に入りきらないときは、◎ で表示範囲を移動できます。ZOOM を押して画面単位で表示を切り替えることもできます。
- データ受信中に ◉（中止）を押すと受信を中止できます。

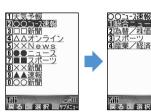
ダイレクトキー機能

項目に1や2などの番号が付いている場合、その番号に対応するダイヤルボタンを押して項目を選択できます。

● サイトによっては、ご利用になれない場合があります。

3 「天気/ニュース/情報」を選び ◉（選択）を押す

「天気/ニュース/情報」のメニューが表示されます。

4 「2○○ニュース速報」を選び ◉（選択）を押す

ニュースサイトのメニューが表示されます。

- 見たい項目を選び ◉（選択）を押すと、ニュースが表示されます。
- サイトの見かたと操作 [☛P27]

5 サブメニュー「15.終了」を選択する

6 「はい」を選び ◉（選択）を押す

サイト表示が終了します。

- PWR を押してもサイト表示を終了できます。問合せ画面が表示されますので、「はい」を選び ◉（選択）を押します。
- ◯（戻る）を1秒以上押してもサイト表示を終了できます。（戻るがグレーで表示されている画面では使用できません。）

■サイト表示を終了してｉモードメニューに戻るには

①サブメニュー「05.ｉモードメニュー」を選択する
②「はい」を選び ◉（選択）を押す

SSLページを表示するとき

SSLとは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守って安全にデータを通信する方式です。SSLに対応したページ（SSLページ）を表示するときは、通信中の画面の表示が変わります。また、SSLページから通常ページに進むときは問合せ画面が表示されます。

■証明書について

SSLページでは、通信相手を確認するために「証明書」という電子データが使用されます。証明書には以下の種類があります。

証明書	説　明
サーバ証明書	サイトの証明書です。
CA証明書	認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時のFOMA端末内に保存されています。
ドコモCA証明書	FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されています。
ユーザ証明書	FirstPassセンターからダウンロードした証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されます。

証明書に問題があった場合は、次のような画面が表示されます。（画面の表示内容は一例です。）

●SSLページが表示できないとき

サーバ証明書の不正など重大な問題があったときの画面です。SSLページは表示できません。

●サイトの安全性が確認できないとき

サーバ証明書の期限切れなどで安全性が確認できないときの画面です。SSLページに接続するときは「はい」を選び（選択）を押します。接続しないときは「いいえ」を選びます。

■ FirstPass対応ページを表示するとき

FirstPass対応ページを表示するときは、PIN2コードの入力によるユーザ証明書の送信が必要です。

■ サーバ証明書を参照する

①SSLページ表示中にサブメニュー「14.証明書参照」を選択する

②証明書を選び ◎（選択）を押す

③内容を確認したら ◎（OK）を押す

［ラストページ］

最後に表示したページに再接続する

サイトやインターネットホームページを表示すると、最後に表示したページ（ラストページ）のURLが記憶されます。サイトやインターネットホームページの表示を終了したあとで、このURLを使って、ラストページに再接続できます。

1 待受中に、ｉモードメニュー「ラストページ」を選択する

2 「1.接続」を選び ◎（選択）を押す

ｉモードに接続され、前回最後に表示していたページが表示されます。

■ ラストページのURLを削除するには

FOMA端末が記憶しているラストページのURLは、FOMA端末の電源を切ってもなくなりません。ラストページを他人に知られたくないときは、ラストページのURLを削除してください。

①「2.削除」を選び ◎（選択）を押す

②「はい」を選び ◎（選択）を押す

ラストページのURLが削除されます。

• 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

おしらせ

● 最後に表示していたページによっては表示できない場合があります。また、最後に表示していたページと異なるページ内容が表示されることがあります。

画像の表示について

ｉアニメや画像（GIF形式、JPEG形式）を含むサイトを表示できます。Flash画像も表示できます。

画像を表示できなかったとき

画像の代わりに次のアイコンが表示される場合があります。

アイコン	意　味
	FOMA端末で表示できない画像です。または、画像を正常に受信できなかったことを示します。再読込みを行うと画像を表示できることがあります。[☛P30]
	FOMA端末で受信できない画像です。
	画像表示設定を「ON」（画像を読み込む）に設定しているときは画像が表示されるまでの間、表示されます。「OFF」（画像を読み込まない）に設定しているときは画像は表示されず、画像の位置に が表示されます。

Flash画像について

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトをご利用いただけます。また、Flashを利用した画像をFOMA端末に取り込み、待受画面に設定することもできます。

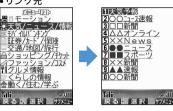
- Flash画像を表示すると自動的に再生されます。再度動作させたい場合は、サブメニュー「09.リトライ」を選択してください。
- Flash画像には、ボタン操作ができるものがあります。このとき、 が表示されていなくても の操作ができることがあります。
- Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らすかどうかを設定できます。
  ①サブメニュー「10.効果音設定」を選択する
  ②「1.ON」または「2.OFF」を選び （選択）を押す
  ・お買い上げ時は「ON」に設定されています。
  ・効果音の設定は電源を切るまで有効です。電源を入れ直すと「ON」に戻ります。
  ・効果音はメロディ再生音量に設定されている音量で再生されます。
  ・マナーモード中、ドライブモード中は効果音は鳴りません。
  ・バイブレーターを「ON」に設定しているときに効果音が鳴っても振動しません。
- Flash画像の再生中に何も操作せずに約75秒経過すると一時停止します。何かボタンを押すと再開します。
- Flash画像が表示されていても正しく動作しない場合があります

おしらせ

● Flash画像やアニメーションの再生中に音声着信があると、通話終了後に、画像が誤っていることを示すメッセージが表示される場合があります。この場合、再度Flash画像やアニメーションを再生すると、正しく再生されることがあります。

項目を選択する

ページ内に操作対象が複数ある場合は、そのうちの1つを選んで操作します。

1 サイト表示中に、◎で目的の項目を選び◉（選択）を押す

•リンク先

リンク先のページが表示されます。

- 画像にリンク先が設定されている場合も同じ操作で選択できます（画像の代わりに や 、 が表示されている場合も同様です）。
- 電話番号やメールアドレスを選んで電話をかけたり、メールを送ったりできます。[☛P46]

•ラジオボタン

項目が選択された状態（◉）になります。

- 選択できる項目は1つだけです。

•チェックボックス

項目が選択された状態（☑）になります。

- 複数の項目が選択できます。
- 選択を取り消すには、☑を選び◉（選択）を押します。

•プルダウンメニュー

選択項目が一覧表示されます。以下の操作で項目を選択します。

①一覧から項目を選び◉（選択）を押す

- 項目を選択せずに一覧を閉じるには、○（戻る）を押します。
- 複数の項目を選択できるメニューもあります。その場合、◉（選択）で項目を選択または選択解除したあとで○（戻る）を押します。

•ボタン

選択したボタンの機能が実行されます。ボタンには次のような種類があります。（ボタンの名称は一例です。）

- 設定内容を確定しサイトに送信するボタン
  （例）決定 送信
- 設定内容を取り消すボタン
  （例）クリア

• **文字入力欄**

文字入力画面が表示され、文字を入力できる状態になります。
- 入力内容がパスワードなど重要な情報の場合、入力した文字が「✱」に置き換えられて表示されることがあります。

おしらせ

- **パスワードなどの情報を入力して送信した場合、送信後にサイトでパスワードの認証処理が行われ、サイトの次ページが表示されます。パスワードが正しくないときは、再入力が要求されるなどして、次ページには進めません。**

FOMA端末の携帯電話情報の通知について

サイトの処理にFOMA端末の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号）が必要な場合、項目を選択したときに問合せ画面が表示されます。「はい」を選び ◉（選択）を押すと、携帯電話情報がサイトに送信されます。携帯電話情報を送信しないときは「いいえ」を選びます。

- 送信するお客様の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号）はインターネットを経由してＩＰ（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては、第三者に知得されることがあります。
- 携帯電話情報を通知しない場合、サイトによってはご利用になれないことがあります。

サイトからの赤外線送信について

サイトに赤外線送信用の項目があるときは、サイトの画面から赤外線送信を実行できます。

① FOMA端末の赤外線ポートを受信側機器に向け、項目を選び ◉（選択）を押す

②「はい」を選び ◉（選択）を押す

赤外線送信が実行され、サイトの画面に戻ります。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

- 送信先との距離は20cm以内でご利用ください。
- 赤外線送信中は「通信中」と表示され、メインディスプレイとインスピレーションウィンドウに ▮⇌ が表示されます。送信が終わるまで、送信先に向けたまま動かさないでください。
- FOMA端末どうしの通信はできません。
- 通信可能な受信側機器や送信される情報はサイトによって異なります。
- 赤外線通信機能について [☛P270]

前のページに戻る・進む

サイトを表示する際、FOMA端末は表示したページの履歴を30件まで記憶しています。これにより、前に表示したページに戻ったり、再度読み進めたりできます。

- 表示履歴が30件を超えると、古い表示履歴から削除されます。

1 前のページに戻るには◯（戻る）または◎、再度読み進めるには◎を押す

2つ前のページ

それ以上戻れなくなるとグレーで表示されます。

◯（戻る）または◎

1つ前のページ

前のページに戻れるときは◀、次のページに進めるときは▶が表示されます。

◯（戻る）または◎

現在表示中のページ

1天気予報
2○○ニュース速報
3□□新聞
4△△オンライン
5××News
6●●ニュース
7■■スポーツ
8××新聞
9▲▲速報
0○○新聞

履歴やページ内容が記憶されている項目は文字の色が変わります。（サイトによっては変わらないことがあります。）

おしらせ

- FOMA端末は、表示したページの内容をキャッシュ（ページ内容記憶用のメモリ）に一時的に記憶します。戻る・進む操作で表示するとき、ページがキャッシュに記憶されていれば、通信せずに、記憶されているページ内容が表示されます。
  - キャッシュに記憶されるページ内容は最大30件です。ただし、ページの情報量により件数が少なくなることがあります。また、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されているページでは、最大件数以内でも戻る・進むで表示する際に通信を行います。
  - 記憶されているページ内容を表示する際に、以前入力した文字や設定などの情報は表示されません。
- 右のようにA→B→Cの順にページ内容を表示し、Aに戻った後でDを表示すると、A→B→Cの表示履歴は削除され、新たにA→Dの表示履歴が保存されます。

A ①→ B ②→ C
A ←④ B ←③ C
A ⑤↓ D

- iモードを終了すると表示履歴およびキャッシュの内容は削除されます。

ページを再度受信する

画像が正常に表示できなかったときなど、情報が正しく表示されないときは、受信し直すことができます。

- 画像表示設定を「OFF」に設定しているときは、再読込みを行っても画像は表示されません。

1 再読込みするページを表示し、サブメニュー「08.再読み込み」を選択する

ページの内容が受信されます。

- サイトに画像がないとき、画像が受信可能なサイズを超えているとき、画像がFOMA端末で表示できない形式のときは、再読込みを行っても画像は表示されません。
- 文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示されることがあります。[☛P34]

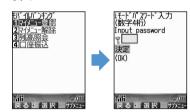
マイメニューを使う

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録すると、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。

- **最大登録件数：45件**
- **マイメニュー登録にはｉモードパスワードが必要です。**
- **マイメニューに登録できるのはｉMenuのメニューリスト内のサイトだけです。インターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録してください。**

例「モバイルバンキング」をマイメニューに登録するとき

1 登録するサイトを表示し、「1マイメニュー登録」を選び ◉（選択）を押す

- サイトによりページ構成が異なります。該当する項目を選んで ◉（選択）を押すか、該当する番号のボタンを押します。

2 ｉモードパスワードを入力する

① 入力欄を選び ◉（選択）を押す
② ｉモードパスワード（4桁）を入力する
　入力したパスワードは「✱」で表示されます。

3 決定 を選び ◉（選択）を押す

マイメニューにサイトが登録されます。

マイメニューからサイトを表示する

1 ｉMenu「1マイメニュー」を選択する

マイメニューが表示されます。

2 目的のサイトを選び ◉（選択）を押す

サイトが表示されます。
- 項目の番号のボタンを押しても表示できます。

おしらせ

- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- ｉMenuのメニューリスト内の有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニューの登録を解除するには、登録したサイトを表示し「マイメニュー解除」（サイトにより表現は異なります）を選択します。
- マイメニューの仕様は変更される場合がありますので、詳細は最新の『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

ｉモードパスワード変更

ｉモード用のパスワードを変更する

マイメニューの登録／解除、メッセージサービスの申込み／解約、メール設定を行うにはｉモードパスワードの入力が必要です。ｉモードパスワードはご契約時には「0000」に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。

- ｉモードパスワードをお忘れの場合は、当社窓口において運転免許証などの公的証明書によりご契約者本人であることを確認させていただいたうえで、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただくことになります。
- ｉモードパスワードは他人に知られないよう、十分ご注意ください。
- 設定画面の表示内容は変更される場合がありますので、詳細は最新の『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

1 ｉMenu「8オプション設定」を選択する

2 「2 ｉモードパスワード変更」を選び ◉（選択）を押す

3 各項目を設定する

①現在のパスワード欄を選び ◉（選択）を押す
②現在のｉモードパスワードを入力する
- 入力したｉモードパスワードは「＊」で表示されます。
- ご契約時からパスワードを変更していないときは「0000」を入力します。

③新パスワード欄を選び ◉（選択）を押す
④新しいｉモードパスワード（4桁）を入力する
⑤新パスワード確認欄を選び ◉（選択）を押す
⑥新しいｉモードパスワードをもう一度入力する

4 決定 を選び ◉（選択）を押す

ｉモードパスワードが変更されます。

- ｉモードパスワードが正しくないときや、未入力の項目があるときは、変更失敗をお知らせする画面が表示されます。再入力 を選び ◉（選択）を押し、ｉモードパスワードを入力し直してください。
- ｉモードパスワードを4回誤って入力すると、ｉMenuに戻ります。

インターネット接続

インターネットホームページに接続する

インターネットホームページには「URL」と呼ばれるアドレスが付いています。これを入力して、個人、団体、企業などが開設しているさまざまなｉモード対応ホームページに接続できます。

- **ｉモード対応のホームページ以外は正しく表示できない場合があります。**

1 待受中に、ｉモードメニュー「Internet」を選択する

- サイト表示中にサブメニュー「06.Internet」を選択しても表示できます。

2 「1.URL新規入力」を選び ◉（選択）を押す

URL入力画面が表示されます。

- 「http://」が入力されています。

3 ◉（編集）を押して、URLを入力する

- あらかじめ入力されている「http://」を含めて、半角256文字まで入力できます。
- 先頭には「http://」または「https://」を付けてください。
- 英字モードで ＊ を繰り返し押すと「http://www.」「.co.jp」「.com」などを簡単に入力できます。

4 ◯（接続）を押す

インターネットホームページが表示されます。

- 表示中の操作はサイトの場合と同じです。

文字を正しく表示する

インターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると、正しく表示できることがあります。

1 インターネットホームページ表示中に、サブメニュー「11.文字コード切替」を選択する

選択するごとに文字コード4種類が順に切り替わります（シフトJIS→JIS→EUC→UTF-8→シフトJIS…）。

- 文字コードの変更は表示中のページにだけ有効です。戻る・進む操作で再表示したときなどは最初の文字コードで表示されます。
- 文字が正しく表示されているときに文字コードを切り替えると、正しく表示されないことがあります。
- 文字コードを切り替えても正しく表示できないことがあります。

URL履歴を使って表示する

URLを入力してインターネットホームページに接続すると、履歴が記憶されます。履歴を使ってインターネットホームページに再接続できます。URLの編集もできます。

• 最大保存件数：10件（11件め以降は、古いものから削除されます。）

1 待受中に、ｉモードメニュー「Internet」を選択する

- サイト表示中にサブメニュー「06.Internet」を選択しても表示できます。

2 「2.URL履歴」を選び ◉（選択）を押す

URL履歴一覧が表示されます。

3 URLを選び ◉（選択）を押す

インターネットホームページが表示されます。

■ URLを編集するには

①URLを選び、サブメニュー「1.URL編集」を選択する

② ◉（編集）を押し、URLを編集する

③ ◯（接続）を押す

インターネットホームページが表示されます。

■ URL履歴を削除するには

①URLを選び、サブメニュー「2.一件削除」を選択する

- クリア を1秒以上押しても削除できます。
- サブメニュー「3.全件削除」を選択すると、URL履歴をすべて削除できます。

②「はい」を選び ◉（選択）を押す

URLが削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

iモード編 サイト（番組）接続

インターネットホームページの表示について

- 受信中に ◎（中止）を押すと受信を中止できます。
- 情報量が多過ぎて表示できないときは「最大サイズを超えたので中断しました」と表示され、表示可能なサイズ分の情報だけが表示されます。
- GIF形式、JPEG形式の画像およびFlash画像を表示できます。
- 画像を含むホームページを表示したとき や 、 が表示されることがあります。[☛P27]

おしらせ

- **「http://」または「https://」で始まらないURLの履歴は記憶できません。**
- **同じインターネットホームページを何度も表示した場合、URL履歴には最新の1件が記憶されます。**

ブックマーク

ホームページやサイトを登録して素早く表示する

よく見るインターネットホームページやサイトのアドレスを登録しておくと、ブックマークを選ぶだけで簡単に接続できます。

- **最大登録件数：****[☛P13]**
- **ブックマークはフォルダに分類して保存できます。**
- **URLが半角256文字を超えるインターネットホームページやサイトは登録できません。**

ブックマークに登録する

1 インターネットホームページまたはサイトを表示中に、サブメニュー「01.ブックマーク登録」を選択する

■ **ブックマークがすでに最大件数まで登録されている場合**

すでに登録されているブックマークに上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。

① **上書きするときは「はい」を選び ◎（選択）を押す**
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

② **ブックマークを選び ◎（選択）を押す**

2 登録内容を編集する

■ **タイトルを変更するには**

① **タイトル欄を選び ◎（選択）を押す**

② **クリア を押して不要な文字を消し、タイトルを入力する**
- 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

■ **フォルダを選択するには**

① **フォルダ欄を選び ◎（選択）を押す**

② **保存先のフォルダを選び ◎（選択）を押す**
- ブックマークをフォルダの外に登録するには「設定なし」を選びます。

■ **URLを変更するには**

通常はURLを修正する必要はありません。

①URL欄を選び ◉（選択）を押す

② （クリア）を押して不要な文字を消し、URLを入力する

- 半角256文字まで入力できます。
- 先頭には「http://」または「https://」を付けてください。
- 英字モードで （マナー http://）を繰り返し押すと「http://www.」「.co.jp」「.com」などを簡単に入力できます。

3 ◎（登録）を押す

ブックマークが登録されます。

おしらせ

● **パスワード入力などが必要なページは、ブックマークから表示できない場合があります。**

ブックマークからホームページやサイトを表示する

- **お買い上げ時は「アドレス確認」が登録されています。FOMA端末の現在のｉモードメールアドレスを確認できます。**

1 待受中に、ｉモードメニュー「Bookmark」を選択する

ブックマーク

フォルダ

ブックマーク一覧が表示されます。

- インターネットホームページやサイトを表示中に、サブメニュー「02.ブックマーク一覧」を選択しても表示できます。

■ **フォルダの中のブックマークを選択するには**

①フォルダを選び ◉（選択）を押す

フォルダ内のブックマークが一覧表示されます。

2 ブックマークを選び ◉（選択）を押す

インターネットホームページまたはサイトが表示されます。

- 選択したブックマークは、次回からブックマーク一覧の先頭に表示されます。（フォルダの中のブックマークは、フォルダ内の先頭に表示されます。）

フォルダを作成する

ブックマークを格納するフォルダを作成できます。フォルダを作成しても、登録できるブックマークの件数は変わりません。

- **最大作成件数：5件**
- **フォルダは作成した順に上から表示されます。あとから順番を入れ替えることはできません。**

1 ブックマーク一覧で、サブメニュー「2.フォルダ作成」を選択する

• フォルダの中にさらにフォルダを作ることはできません。

■作成済みのフォルダの名前を変更するには
①フォルダを選び、サブメニュー「1.編集」を選択する

2 フォルダ名を入力する

① ◎（編集）を押す
②フォルダ名を入力する
• 全角9文字（半角18文字）まで入力できます。

3 ◯（登録）を押す

フォルダが作成されます。

ブックマークをフォルダに移動する

1 ブックマーク一覧からブックマークを選び、サブメニュー「3.一件移動」を選択する

移動先フォルダの選択画面が表示されます。
• フォルダ内のブックマーク一覧からも行えます。

■複数のブックマークを選択して移動するには
①ブックマーク一覧で、サブメニュー「4.選択移動」を選択する
• フォルダ内のブックマーク一覧からも行えます。
②ブックマークを選び ◎（選択）を押す
• 複数のブックマークを選択できます（30件まで）。
• 選択を解除するには、選択済みのブックマークを選び ◎（解除）を押します。
③ ◯（決定）を押す

■ブックマークをすべて移動するには
①ブックマーク一覧で、サブメニュー「5.全件移動」を選択する
• フォルダ内のブックマーク一覧で、サブメニュー「4.フォルダ内移動」を選択すると、フォルダ内のブックマークをすべて別のフォルダに移動できます。

2 移動先フォルダを選び ◎（選択）を押す

• ブックマークをフォルダに格納しないときは「フォルダなし」を選びます。

3 「はい」を選び ◎（選択）を押す

ブックマークが移動されます。
• 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

ブックマークを編集する

ブックマークのタイトル、フォルダ、URLを変更できます。

1 ブックマーク一覧からブックマークを選び、サブメニュー「1.編集」を選択する

ブックマークの編集画面が表示されます。
- フォルダ内のブックマーク一覧からも行えます。

2 登録内容を編集する

- 操作方法：「ブックマークに登録する」操作2 [☛P35]

3 ◯（登録）を押す

編集内容が登録されます。

ブックマークやフォルダを削除する

- **フォルダを削除すると、フォルダ内のブックマークも削除されます。**

1 ブックマーク一覧からブックマークまたはフォルダを選び、サブメニュー「6.一件削除」を選択する

- (クリア)を1秒以上押しても削除できます。
- フォルダ内のブックマーク一覧からも行えます。

■複数のブックマークやフォルダを選択して削除するには

①ブックマーク一覧で、サブメニュー「7.選択削除」を選択する
- フォルダ内のブックマーク一覧からも行えます。

②ブックマークまたはフォルダを選び◉（選択）を押す
- 複数のブックマークまたはフォルダを選択できます（30件まで）。
- 選択を解除するには、選択済みのブックマークまたはフォルダを選び◉（解除）を押します。

③◯（決定）を押す

■ブックマークとフォルダをすべて削除するには

①ブックマーク一覧で、サブメニュー「8.全件削除」を選択する
- フォルダ内のブックマーク一覧で、サブメニュー「7.フォルダ内削除」を選択すると、フォルダ内のブックマークをすべて削除できます。

2 「はい」を選び◉（選択）を押す

ブックマークやフォルダが削除されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- フォルダを削除するときや、全件削除、フォルダ内削除を行うときは、端末暗証番号を入力し◉（選択）を押します。

サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を「画面メモ」として保存すれば、ｉモードセンターに接続しなくても、いつでも表示できます。一度表示した画面をあとから確認するときに便利です。インターネットホームページも保存できます。

- **最大保存件数 [☛P13]**
- **画面メモは表示内容をそのままFOMA端末に保存するため、サイトのページ内容が変更されても画面メモは更新されません。毎回、最新の内容を表示したいときはブックマークに登録してください。[☛P35]**
- **画像表示設定を「OFF」に設定しているときは、画面メモに画像は保存されません。（保存後に画像表示設定を「ON」に変更しても、画像は表示されません。）**

画面メモを保存する

1 保存するページを表示中に、サブメニュー「03.画面メモ保存」を選択する

画面メモが保存されます。

- リンク先のあるページも画面メモに保存できます。画面メモからリンク先を選択すると、ｉモードセンターに接続され、リンク先のページが表示されます。

■画面メモがすでに最大件数まで保存されている場合

すでに登録されている画面メモに上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。

- 保護されている画面メモだけで最大件数に達していると、画面メモを保存できません。不要な画面メモの保護を解除するか、削除してから保存し直してください。

①上書きするときは「はい」を選び ◉（選択）を押す

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

②画面メモを選び ◉（選択）を押す

- 複数の画面メモを選択できます（30件まで）。（保護されている画面メモは選択できません。）
- 選択を解除するには、選択済みの画面メモを選び ◉（解除）を押します。
- 画面メモからサイトに接続した場合、接続元の画面メモには上書きできません。

③ ◯（決定）を押す

④「はい」を選び ◉（選択）を押す

画面メモが上書きされます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- メモリの空きが足りないときは問合せ画面が表示されます。操作①～③を繰り返します。

画面メモを表示する

1 待受中に、ｉモードメニュー「画面メモ」を選択する

画面メモ一覧が表示されます。

- 保存日時が新しい順に表示されます。
- タイトルがないページを保存したときは、「無題」と表示されます。

2 画面メモを選び ◉（詳細）を押す

画面メモが表示されます。
- 複数の画面メモがあるとき、◎で前後の画面メモを表示できます。

おしらせ

- **画面メモ表示中にサブメニューから選択して、画像保存、URL表示／コピー、文字コード切替、メール作成などが行えます。操作方法はサイト表示中と同じです。**
- **Flash画像を表示すると自動的に再生されます。**

画面メモのタイトルを変更する

1 画面メモ一覧から画面メモを選び、サブメニュー「1.タイトル変更」を選択する

- 画面メモ表示画面からも行えます。

2 タイトルを入力する

①◉（編集）を押す
②クリアで不要な文字を消し、タイトルを入力する
- 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

3 ◯（登録）を押す

画面メモを保護する

- **最大保護件数** **[☛P13]**

1 画面メモ一覧から画面メモを選び、サブメニュー「2.保護」を選択する

画面メモが保護され、アイコンが🔒付きに変わります。
- 画面メモ表示画面からも行えます。
- 解除するには、保護されている画面メモを選び、サブメニュー「2.保護解除」を選択します。

画面メモを削除する

- **保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。**

1 画面メモ一覧から画面メモを選び、サブメニュー「3.一件削除」を選択する

- （クリア）を1秒以上押しても削除できます。
- 画面メモ表示画面からも行えます。

■複数の画面メモを選択して削除するには

①画面メモ一覧で、サブメニュー「4.選択削除」を選択する

②画面メモを選び ◎（選択）を押す

- 複数の画面メモを選択できます（30件まで）。
- 選択を解除するには、選択済みの画面メモを選び ◎（解除）を押します。

③ ◯（決定）を押す

■画面メモをすべて削除するには

保護されている画面メモは残ります。

①画面メモ一覧で、サブメニュー「5.全件削除」を選択する

2 「はい」を選び ◎（選択）を押す

画面メモが削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- 全件削除の場合は、端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押します。

画像を保存する

サイトやインターネットホームページ、画面メモからｉアニメや画像を取り込み、FOMA端末に保存できます。Flash画像や、カメラ撮影・静止画編集に使用するフレーム、マーカースタンプも保存できます。

- 取り込んだ画像はFOMA端末の「マルチメディア」→「イメージ」に保存されます。保存先フォルダは画像の種類によって異なります。最大保存件数 [☛P13]
  - ・画像（GIF形式、JPEG形式）：「ネットワーク画像」→「画像（GIF・JPEG）」
  - ・Flash画像：「ネットワーク画像」→「画像（その他）」
  - ・フレーム、マーカースタンプ：「アイテム」→「ネットワークアイテム」
- パートナーアシスト設定 [☛基本P160] で「ネットワーク画像」を「ON」に設定していると、画像を待受画面や、着信画面、送信画面などのアニメーション（ビジュアルパートナー）に設定できます。利用先の選択画面が表示されますので、以下の中から利用先を選択します。

01.待受画面	02.インスピレーションウィンドウ	06.TV電話代替画像
07.TV電話応答保留	08.TV電話通話保留	09. TV電話伝言メモ
10. 確認画面（OK）	11.確認画面（NG）	12.電話発信アニメ
13.電話着信アニメ	14.メール送信アニメ	15.メール着信アニメ

※「03.ウェイクアップ表示」～「05.TV電話着モーション」は動画だけ設定できます。画像保存時は選択できません。

- 以下の画像の場合は利用先の選択画面は表示されません。
  - ・待受画面専用の画像など、使用画面が決められている画像
  - ・フレーム、マーカースタンプ

例 パートナーアシスト設定で「ネットワーク画像」を「ON」に設定しているとき

1 画像が掲載されているサイトを表示し、サブメニュー「12.画像保存」を選択する

2 画像を選び ◉（選択）を押す

画像が保存され、画面に設定するかどうかの問合せ画面が表示されます。

- パートナーアシスト設定で「ネットワーク画像」を「OFF」に設定しているときは、画像が保存されサイト表示画面に戻ります。
- マルチメディア用のメモリに空きがないときや最大保存件数を超えたときは、上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。[☛P265]

■フレーム、マーカースタンプの場合

サイト表示画面に戻ります。

- 画像サイズが352×288ドットを超えているときは、フレーム、マーカースタンプとして扱われません。通常の画像と同様に保存されます。操作3に進みます。

3 「はい」を選び ◎（選択）を押す

- 画像を画面に設定しないときは「いいえ」を選びます。

4 利用先を選び ◎（選択）を押す

- 選択できる利用先は画像によって異なります。Flash画像は待受画面だけに設定できます。
- 使用画面が決められている画像の場合は、利用先の選択画面は表示されず、画像が画面に設定されます。
- 利用先にすでに画像や動画／ｉモーションが設定されているときは、変更するかどうかの問合せ画面が表示されます。変更するときは「はい」を選び ◎（選択）を押します。操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

■「01.待受画面」「02.インスピレーションウィンドウ」を選択した場合

① ◎ で時計の表示形式を選び ◎（選択）を押す

待受画面に設定する場合

画像が待受画面またはインスピレーションウィンドウに設定されます。

- 待受画面設定の操作方法：「カメラ画像などの画像を表示する」操作4〜5 [☛基本P146]
- 待受画面に設定するとき、ｉアプリ待受画面が設定されていると問合せ画面が表示されます。ｉアプリ待受画面の設定を解除するときは「はい」を選び ◎（選択）を押します。解除しないときは「いいえ」を選びます。

■「06.TV電話代替画像」〜「09.TV電話伝言メモ」を選択した場合

画像が設定されます。

■「10.確認画面（OK）」〜「15.メール着信アニメ」を選択した場合

パートナー設定を「ユーザデータ」に変更するかどうかの問合せ画面が表示されます。

①「はい」を選び ◎（選択）を押す

パートナー設定が変更されます。

- 変更しないときは「いいえ」を選びます。
- パートナー設定がすでに「ユーザデータ」に設定されているときは、問合せ画面は表示されません。

おしらせ

- **横×縦または縦×横のサイズが640×480ドットより大きい画像は保存できません。**
- **横×縦のサイズが240×320ドットを超える画像は、待受画面以外には設定できません。**
- **縦に長い画像は待受画面などに設定したときに上下が切れて表示される場合があります。**
- **ｉアニメ、Flash画像を待受画面に設定すると、FOMA端末を開いたときに再生されます。[☛基本P144]**
- **保存したFlash画像の見えかたは、サイトで表示したときと異なる場合があります。また、サイトで正しく再生されていたFlash画像でも再生できない場合があります。**
- **パートナー設定の「はい／いいえアニメ」には専用のｉアニメだけが設定できます。**

サイトからｉメロディを取り込む

サイトやインターネットホームページからメロディを取り込み、着信音として利用できます（ｉメロディ対応、48和音）。

- **取り込んだメロディはFOMA端末の「マルチメディア」→「メロディ」に保存されます。最大保存件数 [☛P13]**
- **パートナーアシスト設定 [☛基本P160] で「着信音」を「ON」に設定していると、メロディを保存すると同時に着信音などに設定できます。**

例 パートナーアシスト設定で「着信音」を「ON」に設定しているとき

1 サイトからメロディを選び ◉（選択）を押す

メロディのダウンロードが開始されます。完了するとメロディメニューが表示されます。

- ダウンロード中に ◉（中止）を押すとダウンロードを中止できます。
- タイトルは先頭から全角9文字（半角18文字）まで表示されます。タイトル全体は曲情報を表示すると確認できます。タイトルがないときは「無題」と表示されます。
- ◎（戻る）を押すと、メロディを保存するかどうかの問合せ画面が表示されます。保存するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。保存しないときは「いいえ」を選びます。

2 「3.メロディ保存」を選び ◉（選択）を押す

メロディが保存され、音の設定をするかどうかの問合せ画面が表示されます。

- マルチメディア用のメモリに空きがないときや最大保存件数を超えたときは、上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。[☛P265]
- パートナーアシスト設定で「着信音」を「OFF」に設定しているときは、メロディが保存されサイト表示画面に戻ります。

■メロディを再生するには

①**「1.ポイント再生」または「2.フルコーラス再生」を選び ◉（選択）を押す**

「フルコーラス再生」ではメロディ全体、「ポイント再生」ではメロディの一部分が2回再生されます。（メロディによっては「ポイント再生」でもメロディ全体が再生されます。）

- ◎ で音量を調節できます。
- 再生を途中で止めるには ◉（停止）を押します。
- マナーモード中またはドライブモード中は問合せ画面が表示されます。再生するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。再生しないときは「いいえ」を選びます。

■メロディの情報を表示するには

①**「4.曲情報」を選び ◉（選択）を押す**

ファイル制限のあり／なしとタイトルが表示されます（ファイル制限ありのメロディは、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されています）。

②**内容を確認し、◉（OK）を押す**

3 「はい」を選び ◉（選択）を押す

- 音の設定を行わないときは「いいえ」を選びます。

4 音の項目を選び ◉（選択）を押す

ダウンロードしたメロディが選択した音に設定されます。

おしらせ

- サイトやインターネットホームページから取り込んだメロディは正しく再生されない場合があります。

Phone to (AV Phone to)・Mail to・Web to機能を使う

サイトや画面メモ、メール、メッセージR/F中の電話番号やメールアドレス、URLを選択して、ワンタッチで電話の発信（Phone to)、テレビ電話の発信（AV Phone to)、メールの作成（Mail to)、インターネットホームページへの接続（Web to）が行えます。

- **利用できる電話番号の桁数、メールアドレスの文字数は以下のとおりです。URLの文字数には制限はありません。**
  - **・電話番号：最大26桁　・メールアドレス：最大半角50文字**

  ただし、サイト、画面メモ、メール、メッセージR/Fにより、Phone to (AV Phone to)、Mail to、Web toをご利用になれない場合があります。
- **ダイヤル発信制限中はPhone to (AV Phone to)、Mail toはご利用になれません。**

1 電話番号、メールアドレス、またはURLを選ぶ

- 反転表示されない電話番号、メールアドレス、URLは利用できません。
- 「電話はこちら」などの文字や、ホームページの名称が反転表示される場合もあります。

2 ◉（選択）を押す

■ Phone to（AV Phone to）の場合

発信方法の選択画面が表示されます。

①相手の電話番号を確認し、「1.音声」または「2.TV電話」を選び ◉（選択）を押す

- 操作を中止するときは「3.発信しない」を選びます。
- ｉモード中に「2.TV電話」を選択したときは問合せ画面が表示されます。テレビ電話をかけるには「はい」を選び ◉（選択）を押します。ｉモードが切断され、テレビ電話をかけられます。
- 市外局番が省略されている電話番号にはかけられません。
- サブメニューから、発信者番号を通知するかどうかの選択や、テレビ電話の自画像送信の切替え、代替画像の選択、通信速度の選択ができます。操作方法は通常の電話、テレビ電話の発信時と同じです。

■ Mail toの場合

ｉモードメール作成画面が表示されます。メールアドレスが宛先に設定されています。

- 以降の操作：「ｉモードメールを作成して送信する」操作3以降 [☛P119]

■ Web toの場合

インターネットホームページが表示されます。

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されないことがあります。

おしらせ

- **パソコンなどからメールを受信すると、Phone to (AV Phone to)、Mail to、Web to 機能が使用できない場合があります。**

電話番号やアドレスを電話帳に登録する

表示中のページから電話番号やメールアドレスを選択して、電話帳に登録できます。
- **ダイヤル発信制限中は登録できません。**
- **最大登録件数 [☛基本P92]**
- **メールアドレスが半角50文字を超えるときは、超えた文字は削除されます。**

1 電話番号またはメールアドレスを選び、サブメニュー「04.アドレス帳新規」を選択する

登録先の電話帳を選択する画面が表示されます。
- 反転表示できない電話番号やメールアドレスは登録できません。
- サイトによっては、電話番号やメールアドレスが登録できない場合があります。この場合「04.アドレス帳新規」は選択できません。

2 「1.本体電話帳」または「2.FOMAカード電話帳」を選び ◉（選択）を押す

- 以降の操作：「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」操作3以降 [☛基本P95] または「FOMAカード電話帳に登録する」操作3以降 [☛基本P99]

メールを作成する

表示中のページのURLを本文に入力して、ｉモードメール作成を開始できます。

1 サイト表示中に、サブメニュー「13.メール作成」を選択する

ｉモードメール作成画面が表示されます。本文欄にURLが入力されています。
- 以降の操作：「ｉモードメールを作成して送信する」操作2以降 [☛P118]

URLを表示／コピーする

表示中のページのアドレス（URL）を表示できます。URLをコピーして、ｉモードメールの本文などに貼り付けることもできます。

1 サイト表示中に、サブメニュー「07.URL表示」を選択する

2 「1.表示」を選び ◉（選択）を押す

URLが表示されます。
- URLが半角256文字を超えるときは、超えた文字が切り捨てられます。
- URLをコピーするには「2.コピー」を選びます。半角256文字までコピーされます。コピーした文字を貼り付けるには [☛基本P247]

3 内容を確認し、◉（OK）を押す

元の画面に戻ります。

詳細機能を設定する

お買い上げ時 ON

画像を表示しないようにする

サイト、画面メモ、メッセージR/Fの画像を表示せずに、文字だけが表示されるように設定できます。画像を読み込まない分、受信にかかる時間が短くなります。

1 待受中に、ｉモードメニュー「ｉモード設定」▶「画像表示設定」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「ｉモード設定」▶「画像表示設定」を選択しても設定できます。

2 「2.OFF」を選び ◉（選択）を押す

- 画像を表示するようにするときは「1.ON」を選びます。

画像表示設定を「OFF」にすると

サイト、画面メモおよび、メッセージR/Fの本文中の画像が表示される位置に が表示されます。

- 画像を表示させるには、画像表示設定を「ON」にしてから、サイトの表示やメッセージR/Fの再読込みを行ってください。
- 画像表示設定「OFF」の状態で画面メモを保存したときは、画面メモに画像は表示されません（保存後に画像表示設定を「ON」に変更しても、画像は表示されません）。
- 画像表示設定を「OFF」に設定すると、Flash画像も表示されません。

おしらせ

- **画像表示設定を「ON」に設定していても、画像によっては正しく表示されない場合があります。**
- **画像表示設定を「OFF」に設定していても、メッセージR/Fの添付ファイルの画像は受信・表示されます。**

お買い上げ時 一行スクロール

スクロール行数を設定する

サイト、画面メモ、メール、メッセージR/Fの表示中に を押したときにスクロールする行数を設定できます。

1 待受中に、ｉモードメニュー「ｉモード設定」▶「スクロール設定」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「ｉモード設定」▶「スクロール設定」を選択しても設定できます。

2 「1.一行スクロール」または「2.三行スクロール」を選び ◉（選択）を押す

おしらせ

- **一覧画面のスクロール行数は変わりません。**

お買い上げ時 60秒間

接続待ち時間を設定する

ｉモードセンターと通信する際の接続待ち時間を設定できます。接続できずに設定した時間が経過すると、ｉモードセンターとの接続が中止されます。

1 **待受中に、ｉモードメニュー「ｉモード設定」▶「接続待ち時間設定」を選択する**

- 待受中にメニュー「設定」▶「ｉモード設定」▶「接続待ち時間設定」を選択しても設定できます。

2 **「1．60秒間」、「2．90秒間」または「3.無制限（設定なし）」を選び ◎（選択）を押す**

- 接続待ち時間の上限を設定しないときは「3.無制限（設定なし）」を選びます。

おしらせ

- 「無制限（設定なし）」に設定した場合、ｉモードセンターとの接続を中止するときは、接続中の画面で◎（中止）を押してください。
- 「無制限（設定なし）」に設定しても、電波状態などによりｉモードセンターとの接続が切断されることがあります。

ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）

※ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

●ISP接続通信とは

ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続が可能になります。ISP接続通信のご利用に際しては、パケット通信サービスのお申込みが必要です。なお、ISP接続通信にはパケット通信料がかかります。
※ｉモードをご契約のお客様は、パケット通信サービスのお申込みは不要です。

●プロバイダ契約について

ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。

- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料等がかかる場合があります。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号や位置情報が、お客様が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- 接続先の最大登録件数：10件

接続先を登録する

1 待受中に、ｉモードメニュー「ｉモード設定」▶「接続先設定」を選択する

接続先の選択画面が表示されます。
- 待受中にメニュー「設定」▶「ｉモード設定」▶「接続先設定」を選択しても設定できます。

2 ユーザ指定接続先を選び、サブメニュー「1.編集」を選択する

- お買い上げ時の接続先は編集できません。
- お買い上げ時の接続先は、接続先情報の保存場所により異なります。保存場所がFOMAカードの場合は「01.ｉモード（FOMAカード）」、FOMA端末の場合は「01.ｉモード」になります。
- すでに接続先を登録している場合、「02.ユーザ指定接続先01」〜「11.ユーザ指定接続先10」には接続先の名前が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

4 接続先の情報を設定する

①各入力欄を選び ◉（選択）を押す
②情報を入力する
- 接続先名称欄には全角8文字（半角16文字）まで入力できます。
- 接続先欄には半角99文字まで入力できます。（接続先を入力しなければ登録できません。）
- HOST名欄には半角30文字まで入力できます。

5 ◯（登録）を押す

接続先が登録されます。

接続先を変更する

1 待受中に、ｉモードメニュー「ｉモード設定」▶「接続先設定」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「ｉモード設定」▶「接続先設定」を選択しても設定できます。

2 接続先を選び ◉（選択）を押す

接続先が変更されます。
- 選択した接続先が登録されていないときは変更できません。

接続先を初期状態に戻す

登録した接続先の情報を削除します。現在の接続先を初期状態に戻したときは、接続先がお買い上げ時の接続先に戻ります。

1 **待受中に、ｉモードメニュー「ｉモード設定」▶「接続先設定」を選択する**

- 待受中にメニュー「設定」▶「ｉモード設定」▶「接続先設定」を選択しても設定できます。

2 **初期状態に戻すユーザ指定接続先を選び、サブメニュー「2.接続先リセット」を選択する**

3 **端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す**

4 **「はい」を選び ◉（選択）を押す**

接続先の情報が初期状態に戻ります。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

ｉモードの設定を確認する

1 **待受中に、ｉモードメニュー「ｉモード設定」▶「ｉモード設定確認」を選択する**

- 待受中にメニュー「設定」▶「ｉモード設定」▶「ｉモード設定確認」を選択しても確認できます。

2 **◉ で項目を表示する**

- ◉ や ◀ZOOM▶ でも項目を切り替えることができます。

3 **内容を確認し、◉（OK）を押す**

おしらせ

- **ユーザ証明書をダウンロードしていないときは、ユーザ証明書設定の確認画面は表示されません。また、FOMAカード（緑色）を挿入していないときは、ドコモCA証明書設定、ユーザ証明書設定の確認画面は表示されません。**

ｉモードの設定を初期状態に戻す

ｉモード機能の設定を、お買い上げいただいたときの状態（初期状態）に戻すことができます。

• 接続先設定、センター接続設定はリセットされません。

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「設定リセット」▶「ｉモードリセット」を選択する**

2 **端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す**

3 **「はい」を選び ◉（選択）を押す**

ｉモード機能の各種設定が初期状態に戻ります。

• 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

設定リセット時に初期状態に戻る各種設定

機　能	初期状態
接続待ち時間設定	６０秒間
自動表示設定	メッセージR優先
画像表示設定	ON
スクロール設定	一行スクロール
ｉモーション設定	自動再生設定：ON　ｉモーションタイプ設定：標準タイプ
ｉモード問合せ設定(注)	すべてON
CA証明書設定	すべて有効
ドコモCA証明書設定	有効
ユーザ証明書設定	有効（ダウンロードしたユーザ証明書は削除されません。）
メッセージR/F	一覧：二行表示

（注）ｉモード問合せ設定はメール設定リセットでも初期状態に戻ります。

証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書には、以下があります。

証明書	説　明
CA証明書	認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時のFOMA端末内に保存されています。
ドコモCA証明書	FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されています。
ユーザ証明書	FirstPassセンターからダウンロードした証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されます。

- **万一、証明書自体の安全性に問題が生じた場合は、証明書を無効に設定できます。**
- **証明書を無効にすると、その証明書を使用するSSLページは表示できなくなります。**
- **通常は無効にする必要はありません。**
- **証明書の内容（証明書の所有者、発行者の情報と、有効期限、シリアル番号）を確認できます。表示される情報は、証明書によって一部異なります。**

お買い上げ時 すべて有効

CA証明書の有効／無効を設定する

- **CA証明書は5件登録されています。**

1 待受中に、ｉモードメニュー「ｉモード設定」▶「CA証明書設定」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「ｉモード設定」▶「CA証明書設定」を選択しても設定できます。

2 端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

証明書一覧が表示されます。

■証明書の内容を確認するには

①証明書を選び ◯（詳細）を押す

②内容を確認し、◉（OK）を押す

3 CA証明書を選び ◉（選択）を押す

4 「1.有効」または「2.無効」を選び ◉（選択）を押す

- 無効にした証明書にはグレーの 🔑 が表示されます。

お買い上げ時 有効

ドコモCA証明書の有効／無効を設定する

- FOMAカード（緑色）を挿入してください。
- ドコモCA証明書は2件で1組みになっています。設定は1件めの証明書を選んで行ってください。

1 待受中に、ｉモードメニュー「ｉモード設定」▶「ドコモCA証明書設定」を選択する

- 待受中に「設定」▶「ｉモード設定」▶「ドコモCA証明書設定」を選択しても設定できます。
- 以降の操作：「CA証明書の有効／無効を設定する」操作2以降 [☛P53]

ダウンロード時 有効

ユーザ証明書の有効／無効を設定する

- FOMAカード（緑色）を挿入してください。

1 待受中に、ｉモードメニュー「ｉモード設定」▶「ユーザ証明書設定」を選択する

- 待受中に「設定」▶「ｉモード設定」▶「ユーザ証明書設定」を選択しても設定できます。
- 以降の操作：「CA証明書の有効／無効を設定する」操作2以降 [☛P53]

ユーザ証明書を取得する

ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイトでご利用になれます。

- FirstPassセンターに接続して、ユーザ証明書の発行要求やダウンロードができます。
- FOMAカード（青色）ではご利用になれません。
- FirstPassセンターに接続するにはFOMA端末の日付・時刻の設定が必要です。[☛基本P45]
- FirstPassセンターで表示する画面や操作方法は変更される場合があります。
- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。

ユーザ証明書の発行要求を行う

1 待受中に、ｉモードメニュー「ユーザ証明書操作」を選択する

FirstPassセンターに接続され、FirstPassセンターの画面が表示されます。

2 「次へ」を選び ◎（選択）を押す

FirstPassセンターのメニューが表示されます。
- 「4.ご利用規則」を選び ◎（選択）を押してご利用規則を読み、同意の上で以降の手順にお進みください。

3 「1.証明書発行」を選び ◎（選択）を押す

- ユーザ証明書の発行が途中まで行われている場合は、画面に従って操作します。

4 ページの一番下にある「実行」を選び ◎（選択）を押す

5 PIN2コードを入力し ◎（選択）を押す

発行申請の完了画面が表示されます。

発行されたユーザ証明書を失効させるには

① **FirstPassセンターのメニューから「3.その他」を選び ◎（選択）を押す**

② **「1.証明書失効」を選び ◎（選択）を押す**

③ **「はい」を選び ◎（選択）を押す**

④ **PIN2コードを入力する**
失効申請の画面が表示されます。

⑤ **「実行」を選び ◎（選択）を押す**
以降、画面に従って操作します。

ユーザ証明書をダウンロードする

1 FirstPassセンターのメニューから「2.ダウンロード」を選び ◎（選択）を押す

証明書の内容が表示されます。

2 「実行」を選び ◎（選択）を押す

ダウンロードの完了画面が表示されます。ユーザ証明書はFOMAカード（緑色）に保存されます。

ユーザ証明書発行接続先を変更する

FirstPass以外のサービスを受けるときに接続先を変更します。
• iモード中は変更できません。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受中に、iモードメニュー「iモード設定」▶「センター接続設定」を選択する

• 待受中に「設定」▶「iモード設定」▶「センター接続設定」を選択しても設定できます。

2 端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

センター接続設定画面が表示されます。

3 「1.編集」を選び ◉（選択）を押す

4 接続先の情報を設定する

①各入力欄を選び ◉（選択）を押す
②情報を入力する

- 接続先欄には半角99文字まで入力できます。
- 初期画面URL欄には半角100文字まで入力できます。

5 ◯（登録）を押す

接続先の情報が登録され、接続先が変更されます。以降、FirstPassセンターには接続できなくなります。

接続先を初期状態に戻す

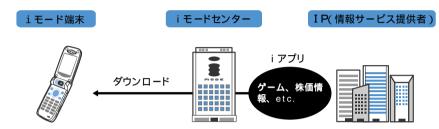
登録した接続先の情報を削除します。接続先がFirstPassセンターに戻ります。

1 センター接続設定画面で「2.接続先リセット」を選び ◉（選択）を押す

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

接続先の情報が初期状態に戻ります。
• 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトから取り込むことにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）を便利に活用いただけます。例えばｉモード端末にいろいろなゲームを取り込んで楽しんだり、株価情報のｉアプリを取り込むことにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは必要なデータだけを取り込むため、スムーズなスクロールが可能です。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などマルチメディアと連動できるｉアプリもあります。

- ｉアプリを取り込むには［☛P59］
- ｉアプリを実行するには［☛P63］
- ｉアプリを自動実行するには［☛P71］

- **ソフトによってはｉモード端末の携帯電話情報（FOMA端末の機種や製造番号、FOMAカードの識別番号など）を利用する場合があります。**
- **ソフトによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。**

■登録データを利用する

ｉアプリのソフトには、お客様のｉモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

- 電話帳登録
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- マルチメディアからの画像取得
- マルチメディアへの画像／動画保存

ｉアプリＤＸとは

ｉアプリＤＸでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。［☛P64］

■登録データを利用する

ｉアプリDXのソフトには、通常のｉアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- メールメニューの利用
- ｉモードメール作成画面利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音保存
- 着信音変更（音声電話、テレビ電話、メール、メッセージR/F）
- マルチメディアからの画像取得
- マルチメディアへの画像／動画保存
- 画面設定の変更（待受画面、電話発着信、メール送受信、メッセージR/F受信）

●ｉアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
●ｉアプリDXを起動するには日付時刻設定が必要です。

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリはｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやり取りすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。
- メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

こんなこともできます

■ｉアプリ待受画面
ｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。[☛P75]
- ｉアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

■ｉアプリの自動起動
時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。[☛P71]

■カメラ撮影
ソフトからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。[☛P82]
- カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

■バーコード読取り
ソフトからｉモード端末のカメラを使って、バーコード（JANコード、QRコード）を読み取れます。[☛P82]
- バーコード読取り機能に対応したソフトで利用できる機能です。

■赤外線通信
ソフトから、赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動して、より広がった使いかたができます。[☛P83]
- 赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■赤外線リモコン
ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。[☛P279]
- 赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

ｉアプリをダウンロードする

サイトやインターネットホームページから、ｉアプリのソフトを取り込んで実行できます。

- **取り込んだソフトはマルチメディア用のメモリに保存されます。最大保存件数[☛P13]**
- **メール連動型ｉアプリのソフトをダウンロードすると、送信メールBOX、受信メールBOXにｉアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はソフト名と同じになり変更できません。**
  - **削除したソフトを再度ダウンロードするときなど、使用するフォルダがすでに存在する場合は、既存のフォルダを利用するか、削除して新しいフォルダを作成するかを選択できます。既存のフォルダを利用する場合、ソフト名が異なる場合はフォルダ名も変更されます。**
- **以下の場合、メール連動型ｉアプリの新しいソフトはダウンロードできません。**
  - **メールセキュリティ設定中（既存のフォルダを、名前を変えずに利用する場合を除きます。）**
  - **同じフォルダを使用するソフトが保存済みのとき**
  - **送信メールBOXまたは受信メールBOXにフォルダが50件作成されているとき（「送信フォルダ」「受信フォルダ」「FOMAカードSMSフォルダ」は件数に含みません。）**
- **ソフトによっては、ダウンロードが完了するとすぐに起動するように設定されている場合があります。[☛P61]**

例 サイトからｉアプリのソフトを取り込むとき

1 サイトからソフトを選び ◉（選択）を押す

ダウンロードが開始されます。完了すると完了画面が表示されます。

- ダウンロード中に ◉（中止）を押すとダウンロードを中止できます。
- マルチメディア用のメモリに空きがないときや最大保存件数を超えたときは、上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。[☛P265] ソフトのダウンロードは、上書き候補の選択・削除後に行われます。電源状態などによってダウンロードに失敗すると、削除した上書き候補のデータは元には戻りません。

■ **ソフト情報設定を「する」に設定している場合 [☛P62]**
ダウンロードを開始すると、ソフトの情報が表示されます。

①**情報を確認し、◉（OK）を押す**
問合せ画面が表示されます。

②**「はい」を選び ◉（選択）を押す**

- ダウンロードを中止するときは「いいえ」を選びます。

■ **FOMA端末の携帯電話情報（製造番号や識別番号など）や登録データ（電話帳、ブックマーク、画像、アイコン情報など）を利用するソフトの場合**

ｉアプリの場合

問合せ画面が表示されます。

①「はい」を選び ◉（選択）を押す

ソフトがダウンロードされます。

- ダウンロードを中止するときは「いいえ」を選びます。
- 表示される画面はｉアプリとｉアプリDXで異なります。また、携帯電話情報、登録データの利用の有無によって異なります。
- ◯（詳細）を押すと登録データの種類を表示できます。そのソフトが利用するかどうかにかかわらず、ｉアプリやｉアプリDXから利用可能な全データが表示されます。（携帯電話情報だけを利用するソフトの場合は表示できません。）

■ **メール連動型ｉアプリの場合**

フォルダがすでに存在する場合、既存のフォルダをそのまま利用するかどうかの問合せ画面が表示されます。

- 既存のフォルダをそのまま利用するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。（フォルダ内のメールも残ります。）
- 「いいえ」を選ぶと、フォルダを削除して新規作成するかどうかの問合せ画面が表示されます。既存のフォルダを削除するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。「いいえ」を選ぶとダウンロードは中止されます。
- 既存のフォルダを削除する場合、メールセキュリティ設定中のとき、フォルダがシークレット設定されているとき、フォルダ内に保護されているメールがあるとき、フォルダを他の機能で使用中のときは、フォルダを削除できないためダウンロードは中止されます。
- 既存のフォルダのフォルダ名が変わる場合、メールセキュリティ設定中のとき、フォルダがシークレット設定されているときは、フォルダ名を変更できないためダウンロードは中止されます。

■ **選択したソフトがすでにFOMA端末に保存されている場合**

ソフトのバージョンが更新されていると、バージョンアップするかどうかの問合せ画面が表示されます。「はい」を選び ◉（選択）を押すと、ソフトをバージョンアップできます。[☛P78]

- ダウンロードを中止するときは「いいえ」を選びます。
- ソフトのバージョンが更新されていない場合は、問合せ画面は表示されません。ダウンロードは中止されます。

2 ◎（OK）を押す

ソフトを起動するかどうかの問合せ画面が表示されます。
- ソフトによっては、「ソフト設定に移ります」と表示される場合があります。

■「ソフト設定に移ります」と表示された場合

以下の設定画面が表示されます。（表示される画面はソフトによって異なります。）

［☞P66］

［☞P66、75］

① **目的の項目を選び、◎（選択）を押す**
- 各設定はソフト保存後に変更できます。

② **○（設定）を押す**

ソフトの設定が完了し、ソフトを起動するかどうかの問合せ画面が表示されます。
- ソフトによっては操作が終了する場合があります。

3 ソフトを起動するときは「はい」を選び◎（選択）を押す

ソフトが起動されます。
- ソフトを起動しないときは「いいえ」を選びます。

ダウンロード後にすぐに起動するソフトの場合

ソフトによっては、ダウンロードが完了すると自動的に起動するように設定されている場合があります。この場合、ソフトはダウンロードされていますが保存されていません。ソフトを実行した後で終了するときに、保存するかどうかを選択できます。繰り返し使いたいソフトは保存してください。
- ダウンロード後に実行できるだけで保存できないソフトもあります。
- FOMA端末に同じソフトが保存済みでもダウンロードされます。

1 iアプリのソフトが掲載されているサイトを表示し、ソフトを選び◎（選択）を押す

ソフトがダウンロードされます。ダウンロードが完了すると自動的にソフトが起動されます。
- ソフトが通信を行う場合は、実行中に、通信を行うかどうかの問合せ画面が表示されます。通信を許可するときは「はい」を選び◎（選択）を押します。通信を許可しないときは「いいえ」を選びます。

2 ソフトを実行したあとで、ソフトを終了する

ソフトを保存するかどうかの問合せ画面が表示されます。
- 保存不可に設定されているソフトでは問合せ画面は表示されません。
- 表示される画面は携帯電話情報や登録データの利用有無によって異なります。
- ソフト情報設定を「する」に設定している場合は、ソフトの情報が表示されます。情報を確認し◎（OK）を押します。［☞P59］
- 同じソフトの古いバージョンが保存済みの場合は、バージョンアップするかどうかの問合せ画面が表示されます。

3 「はい」を選び ◉（選択）を押す

ソフトが保存されます。
- ソフトによっては各種の設定画面が表示されます。[☛P61]
- ソフトを保存しないときは「いいえ」を選びます。

おしらせ

- **D900iには、あらかじめ4件のソフトが登録されています。[☛P84]**
- **サイトによってはソフトを取り込む際にお客様の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号）を通知する場合があります。**
- **サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なサイト（ｉモード有料サイト）があります。**
- **3Dのソフトが利用できます。3Dのソフトでは立体的で奥行のある画像を表示できます。**
- **異なるFOMAカードでダウンロード済みのソフトを再度ダウンロードするときは問合せ画面が表示されます。「はい」を選び ◉（選択）を押すとダウンロードが開始されます。（ダウンロードすると異なるFOMAカードでダウンロード済みのソフトは削除されます。）**

［ソフト情報設定］　　　　お買い上げ時 しない

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る

サイトからソフトをダウンロードする際に、ソフトの情報を画面に表示するように設定できます。

1 待受中に、メニュー「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「ソフト情報設定」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「ｉアプリ設定」▶「ソフト情報設定」を選択しても設定できます。

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

ソフト情報表示が設定されます。
- ソフト情報を表示しないようにするには「2.しない」を選びます。

ｉアプリを実行する

- ソフトによってはダウンロード時だけでなく、ソフト実行中も通信を行う場合があります。通信を行わないように設定することもできます。［☛P66］

1 待受中に、メニュー「ｉアプリ」▶「ソフト一覧」を選択する

ソフト一覧が表示されます。

選ばれているソフトのアイコン、番号／全数
アイコンの意味（左から）
ソフトの状態

：通常のソフト
：保護されているソフト
：クイックα設定したソフト
：クイックα設定した保護ソフト

自動起動設定の状態

：自動起動設定「する」かつ自動起動日時が設定されている
：自動起動設定「しない」かつ自動起動日時が設定されている
：自動起動失敗

ＳＳＬ対応

：ＳＳＬ通信を行ってダウンロードしたソフト

メール連動型ｉアプリ

：メール連動型ｉアプリ

2 ソフトを選び ◉（実行）を押す

ソフトが起動されます。

- 通信設定が「起動ごとに確認」に設定されているソフトを実行するときは問合せ画面が表示されます。通信を許可するときは「はい」を選び◉（選択）を押します。許可しないときは「いいえ」を選びます。（通信が必要なソフトの場合、「いいえ」を選択すると動作しないことがあります。）

■ メール連動型ｉアプリを送信メールBOX、受信メールBOXから起動するには

メール連動型ｉアプリのソフトは送信メールＢＯＸ、受信メールＢＯＸからも起動できます。フォルダ一覧からｉアプリメール用フォルダを選び、◉（選択）を押します。

- フォルダがシークレット設定されているときは端末暗証番号を入力し◉（選択）を押します。（メールセキュリティ設定中で端末暗証番号入力済みのときは入力不要です。）

■ ｉアプリDXを起動するとき

ｉアプリＤＸでは、ソフトの有効性を確認するため、通信設定にかかわらず通信する場合があります。通信する回数やタイミングはソフトによって異なります。

- ソフトのバージョンが更新されていた場合、問合せ画面が表示されます。「はい」を選び◉（選択）を押すと、ソフトをバージョンアップできます。［☛P78］
  バージョンアップしないときは「いいえ」を選びます。
- ソフトが無効になった場合は、有効性を確認できるまで、ソフトを起動できません。
- お買い上げ時に登録されているソフトでは有効性の確認は行われません。
- 圏外などでソフトの有効性が確認できない場合は、あらかじめソフトに設定されている起動回数まで起動できます。設定されている起動回数を超えると、有効性を確認できるまで起動できなくなります。
- 日付・時刻を設定していないときは、有効性の確認は実行されず、ソフトは起動されません。

■ **ソフトを終了するには**

ソフトの画面から終了操作を行います。または［PWR］を押します。

• ［PWR］を押したときは問合せ画面が表示されます。終了するには「はい」を選び◉（選択）を押します。

■ **ソフトの情報を表示するには**

ソフトの情報には、名称、バージョン、最終更新日時、ダウンロード日時、各種設定の可／不可や機能の利用有無が表示されます。

•「名称」に表示されるｉアプリのソフト名は変更できません。
• 表示される項目はソフトによって一部異なります。
• SSL通信を行ってダウンロードしたソフトの場合、ソフトを選びサブメニュー「5.証明書参照」を選択すると、ダウンロード時に取得したサイトの証明書を参照できます。

①ソフトを選び、サブメニュー「1.ソフト情報」を選択する

ソフトの情報が表示されます。

②内容を確認し、◉（OK）を押す

ｉアプリ作成者の方へ

作成中のソフトが正常に動作しない場合は、トレース表示機能が参考になる場合があります。

● トレースを採取するように設定されているソフトがないときはトレースを表示できません。

① 待受中に、メニュー「ｉアプリ」▶「ｉアプリ履歴」▶「トレース表示」を選択する

トレース情報が表示されます。

② ◉（OK）を押す

• ◯（クリア）を押すと、トレース情報をすべて削除できます。

おしらせ

● **ソフト実行中にメールを受信すると✉が表示されます。受信したメールを確認するには、ソフトを終了するか、マルチタスク機能をご利用ください。**

ソフトからの各種操作

ソフトの中には、FOMA端末の機能と連携していろいろな処理を行ったり、ソフトからFOMA端末の設定を変更したりといった各種の機能を持つものがあります。

■ **ソフトから電話をかける：Phone to（AV Phone to）**

ソフトから電話番号を指定して電話をかける機能です。テレビ電話もかけられます。実行すると発信方法の選択画面が表示されます。[☛P46]

■ **サイトを表示する：Web to**

ソフトからサイトを表示する機能です。問合せ画面が表示され、表示するかどうかを選択できます。

• 問合せ画面で ◯（URL）を押すとサイトのURLを確認できます。
• サイトを表示するとソフトは終了します。

■FOMA端末に各種情報を登録する：電話機情報登録機能

ソフトからFOMA端末に各種情報を登録する機能です。登録できる情報には次のものがあります。

・電話帳　・電話帳のグループ　・ブックマーク　・スケジュール　・画像　・動画　・着信音

- 画像は「マルチメディア」→「イメージ」→「ネットワーク画像」、動画は「マルチメディア」→「ｉモーション」→「ネットワーク画像」に保存されます。
- 着信音は「マルチメディア」→「メロディ」に保存されます。保存する際にはメロディメニューが表示されます。[☛P44]
- マルチメディアに保存されている画像を参照する機能もあります。（お買い上げ時に登録されている画像、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像は参照できません。）

■電話帳や履歴を参照する：電話帳・履歴参照機能

ソフトからFOMA端末に登録されている電話帳や履歴を参照して、いろいろな処理を行う機能です。参照できる情報には次のものがあります。

・電話帳　・電話帳のグループ　・最新のリダイヤルデータ　・最新の着信履歴

・最新の受信メール（未読のみ）

- 電話帳検索画面を表示して相手を検索する機能もあります。
- ソフトごとに、電話帳・履歴参照を許可するかどうかを設定できます。[☛P67]
- シークレットメモリ登録した電話帳の参照を許可するかどうかを設定できます。[☛P68]
- 最新の受信メールがシークレット設定されたフォルダに保存されているときに、参照を許可するかどうかを設定できます。[☛P68]

■着信音や待受画面などの設定を変更する：着信音・画像変更機能

ソフトからFOMA端末の着信音や画面の設定を変更する機能です。次の設定を変更できます。ソフトからFOMA端末にメロディを登録する機能もあります。

設　定	説　明
音の設定	音声電話着信音、テレビ電話着信音、メール着信音、メッセージ着信音を変更します。
待受画面設定	待受画像設定の「カメラ画像」または「ネットワーク画像」に、ソフトから指定した画像を設定します。 ● 実行すると、待受画像設定が「カメラ画像」または「ネットワーク画像」に変更されます。
パートナー設定	「ユーザデータ」の電話発信アニメ、電話着信アニメ、メール送信アニメ、メール着信アニメに、ソフトから指定した画像を設定します。

- ソフトごとに、着信音・画像変更を許可するかどうかを設定できます。[☛P68]

■メールの操作を行う（メール連動型ｉアプリ　メール参照・送信機能）

メール連動型ｉアプリの機能です。ｉモードメールの作成・送信や、送信メールBOX、受信メールBOXのメールの各種操作が行えます。

- 送信メールBOX、受信メールBOXにあるそのソフトのｉアプリメール用フォルダ内のメールを参照・操作できます。他のフォルダのメールは参照・操作できません。ｉアプリメール用フォルダはソフトのダウンロード時に自動的に作成されます。
- メール連動型ｉアプリのソフトで送信または保存したメール、メール連動型ｉアプリ用として送られてきたメールを「ｉアプリメール」といいます。ｉアプリメールにはｉアプリ利用データが設定されており、対応するフォルダに自動的に保存されます。
- ｉアプリメール用フォルダをシークレット設定した場合に、ソフトからの参照を許可するかどうかを設定できます。[☛P68]

■ｉモードメールを作成・送信する（メール機能呼出し）

ソフトからｉモードメール作成画面を表示し、メールの作成・送信を行う機能です。ソフトからメールメニューを表示する機能もあります。

セキュリティエラーについて

ソフトが許可されている機能以外の動作を行おうとした場合は、「セキュリティエラーのため終了しました」と表示され、ソフトは終了します。このとき、セキュリティエラー履歴がFOMA端末に記憶されます。セキュリティエラー履歴は以下の手順で表示できます。

① 待受中に、メニュー「ｉアプリ」▶「ｉアプリ履歴」▶「セキュリティエラー履歴」を選択する

セキュリティエラー履歴（ソフト名と終了日時など）が表示されます。

② 履歴を確認し◉（OK）を押す

- ◯（クリア）を押すと、セキュリティエラー履歴をすべて削除できます。

おしらせ

- **ダイヤル発信制限中はソフトから以下の操作はできません。**
  - **電話発信**
  - **電話帳の登録**
  - **メール作成画面の表示**
  - **ｉアプリメールの送信**
- **履歴表示設定でリダイヤル表示を「OFF」に設定しているときはソフトからリダイヤルを参照できません。また、着信履歴表示を「OFF」に設定しているときはソフトから着信履歴を参照できません。**
- **メールセキュリティ設定中は、ソフトからメールを参照・操作できません。ただし、メール連動型ｉアプリのソフトを送信メールBOX、受信メールBOXのフォルダから起動したときや、メールからのｉアプリToで起動したときは、メールを参照・操作できます。**
- **ソフトの種類や動作状況によっては、まれに、機能を実行するためのメモリが不足し、ソフトからのメール操作などが行えなくなる場合があります。**

ソフト取得時 起動ごとに確認

通信を行うかどうかを設定する

- **通信を行わないソフトでは設定できません。**

1 ソフト一覧からソフトを選び、サブメニュー「2.個別設定」を選択する

2 「1.通信設定」を選び◉（選択）を押す

3 「1.する」を選び◉（選択）を押す

通信を許可するように設定されます。

- ソフト起動時に、通信を許可するかしないかを選択できるようにするには「2.起動ごとに確認」を選びます。通信を許可しないときは「3.しない」を選びます。

おしらせ

- **通信が必要なソフトの場合、「しない」に設定すると動作しないことがあります。**
- **圏外のときやセルフモード中は通信できません。**
- **ｉアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定に関わらず通信する場合があります。**
- **メール送信機能を持つソフトでは、ソフトの通信設定に関わらずメールを送信する場合があります。**
- **ｉアプリ待受画面の通信設定は、ｉアプリ待受画面設定時に設定します。ここでソフトの通信設定を変更しても、ｉアプリ待受画面の通信設定は変更されません。**

ソフト取得時 する

アイコン情報の利用を許可するかどうかを設定する

- ｉアプリが利用するアイコン情報には次のものがあります。
  - ・未読メールの有無　・圏外／圏内　・マナーモード設定の有無
  - ・未読メッセージR/Fの有無　・電池残量
- アイコン情報を利用しないソフトでは設定できません。

1 ソフト一覧からソフトを選び、サブメニュー「2.個別設定」を選択する

2 「3.アイコン情報利用設定」を選び ◉（選択）を押す

3 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

FOMA端末のアイコン情報を利用するように設定されます。

- アイコン情報を利用しないときは「2.しない」を選びます。

おしらせ

- ●アイコン情報が必要なソフトの場合、「しない」に設定すると動作しないことがあります。
- ●アイコン情報利用設定を「する」に設定した場合、アイコン情報がインターネットを経由してＩＰ（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

ソフト取得時 する

電話帳や履歴の参照を許可するかどうかを設定する

- 「する」に設定すると、ソフトからの以下の処理が許可されます。「しない」に設定すると、ソフトからこれらの処理は行えなくなります。
  - ・電話帳の参照、グループの参照
  - ・最新のリダイヤルデータ、着信履歴の参照
  - ・最新未読メールの参照
- 「する」に設定した場合、ソフトから問合せ画面なしで自動的に電話帳・履歴が参照されます。
- 電話帳・履歴を参照しないソフトでは設定できません。

1 ソフト一覧からソフトを選び、サブメニュー「2.個別設定」を選択する

2 「6.電話帳・履歴参照」を選び ◉（選択）を押す

3 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

電話帳・履歴参照を許可するように設定されます。

- 電話帳・履歴参照を許可しないときは「2.しない」を選びます。

おしらせ

- ●「しない」に設定しても、ソフトからの電話帳登録、電話帳のグループの登録は行えます。「しない」に設定すると、使用できなくなるソフトがあります。

ソフト取得時 許可：する、確認画面表示：しない

着信音や画面の変更を許可するかどうかを設定する

ソフトには着信音や画像を変更するものがあります。着信音や画像の変更を許可するかどうかを設定できます。

- 「する」に設定すると、ソフトからの以下の処理が許可されます。「しない」に設定すると、ソフトからこれらの処理は行えなくなります。
  - ・音の設定（音声電話着信音、テレビ電話着信音、メール着信音、メッセージ着信音）の変更
  - ・待受画面設定の変更
  - ・パートナー設定（電話発信アニメ、電話着信アニメ、メール送信アニメ、メール着信アニメ）の変更
- 「する」に設定したときは、確認画面を表示するかどうかを設定できます。表示するように設定すると、ソフトによる設定変更時に問合せ画面が表示され、変更するかどうかを選択できます。表示しないように設定すると、自動的に着信音や画面の変更が許可されます。
- 着信音や画面を変更しないソフトでは設定できません。

1 ソフト一覧からソフトを選び、サブメニュー「2.個別設定」を選択する

2 「7.着信音・画像変更」を選び ◉（選択）を押す

3 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

変更ごとに確認画面を表示するかどうかの問合せ画面が表示されます。

- 着信音・画像変更を許可しないときは「2.しない」を選びます。「2.しない」を選んだときは問合せ画面は表示されません。

4 「1.する」または「2.しない」を選び ◉（選択）を押す

着信音・画像変更が設定されます。

お買い上げ時 電話帳：しない、メールフォルダ：しない

シークレットデータの参照を許可するかどうかを設定する

ソフトからの、シークレットメモリ登録した電話帳の参照を許可するかどうかを設定できます。また、送信メールBOX、受信メールBOXのシークレット設定したフォルダの参照を許可するかどうかを設定できます。

- この設定はすべてのソフトに有効です。ソフトごとの設定はできません。

1 待受中に、メニュー「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「シークレットデータ参照設定」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「ｉアプリ設定」▶「シークレットデータ参照設定」を選択しても設定できます。

2 端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押す

3 「1.電話帳」を選び ◎（選択）を押す

- フォルダの参照を許可するかどうかを設定するときは「2.メールフォルダ」を選びます。

4 「1.する」を選び ◎（選択）を押す

シークレットメモリ登録した電話帳の参照を許可するように設定されます。

- 参照を許可しないときは「2.しない」を選びます。

「電話帳」を「しない」に設定すると

ソフトから指定された相手がシークレットメモリ登録されていると、ソフトからの電話帳参照ができなくなります。

●「しない」に設定していても、ソフトからの以下の処理は行えます。

- 電話帳検索（シークレット検索も可）
- 電話帳の登録
- グループの参照、登録

「メールフォルダ」を「しない」に設定すると

メールセキュリティの設定により、ソフトからのメールの参照・操作可否が変わります。

■ メールセキュリティを設定していないとき

シークレット設定した送信メールBOX、受信メールBOXのフォルダ内のメールの参照・操作が禁止されます。ただし、以下の場合は参照・操作できます。

- 送信メールBOX、受信メールBOXのどちらか一方のフォルダをシークレット設定したときは、シークレット設定していないフォルダのメールは参照・操作できます。
- 送信メールBOXのｉアプリメール用フォルダを選択してソフトを起動したときは、送信メールは参照・操作できます。同様に、受信メールBOXのｉアプリメール用フォルダを選択してソフトを起動したときは、受信メールは参照・操作できます。

なお、「メールフォルダ」を「する」に設定しているときは、フォルダのシークレット設定にかかわらずメールを参照・操作できます。

■ メールセキュリティ設定中

シークレットデータ参照設定およびフォルダのシークレット設定の有無にかかわらず、次の起動方法でソフトを起動したときはメールを参照・操作できます。

- 受信メールBOX、送信メールBOXのｉアプリ用メールフォルダを選択して起動したとき
- メールからのｉアプリToで起動したとき

上記以外の方法でソフト起動したときは、シークレットデータ参照設定およびフォルダのシークレット設定の有無にかかわらず、メールを参照・操作できません。

ソフトから他のソフトを起動する

ソフトによっては、ソフトから別のソフトを起動することができます。ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しめます。
起動するソフトがあらかじめ決まっている場合と、起動するソフトを登録して起動する場合があります。
- **起動するソフトが指定されてもソフト一覧にない場合は、ダウンロードする必要があります。**

ソフトを起動する

1 ソフトから起動操作を行う

ソフトを起動するかどうかの問合せ画面が表示されます。
- 起動するソフトが保存されていないときは、実行中のソフトを終了するかどうかの問合せ画面が表示されます。終了するときは「はい」を選び ◎（選択）を押します。ソフトを続行するときは「いいえ」を選びます。

2 「はい」を選び ◎（選択）を押す

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

起動するソフトを登録する

ソフトによっては、起動するソフトをソフト一覧から選択して登録しておく必要があります。
- 他のソフトから起動できないソフトもあります。

1 ソフトから登録操作を行う

2 「はい」を選び ◎（選択）を押す

起動可能なソフトが一覧表示されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

3 ソフトを選び ◎（選択）を押す

ソフトが登録されます。

ｉアプリを素早く実行する

よく利用するソフトをクイックα設定すると、簡単にソフトを実行できます。

クイックα設定する

クイックα設定できるソフトは1つだけです。

1 ソフト一覧からソフトを選び、サブメニュー「3.クイックα設定」を選択する

クイックα設定され、アイコンが または に変わります。

- すでにクイックα設定しているソフトがあるときは、問合せ画面が表示されます。設定を変更するときは「はい」を選び（選択）を押します。操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- 解除するには、ソフト一覧からソフトを選び、サブメニュー「3.クイックα解除」を選択します。

ソフトを実行する

1 待受中に、メニュー「ｉアプリ」を選び（選択）を1秒以上押す

クイックα設定したソフトが起動されます。

ｉアプリを自動起動する

自動起動には次の2種類があります。

種　類	説　明	必要な設定
ソフトの機能による自動起動	自動起動機能を持つソフトで利用できます。 • あらかじめ起動する時間間隔が設定されている場合は、ソフト情報の表示で時間間隔を確認できます。[☛P64]	自動起動設定
FOMA端末の設定による自動起動	FOMA端末で起動日時を指定して自動起動する方法です。すべてのソフトを起動できます。	自動起動設定および自動起動日時設定

［自動起動設定］ ソフト取得時 しない

自動起動するかどうかを設定する

- 自動起動可能なソフト件数：10件
- FOMA端末の日付・時刻を設定していないときは、自動起動設定はできません。

1 **ソフト一覧からソフトを選び、サブメニュー「2.個別設定」を選択する**

2 **「4.自動起動設定」を選び ◉（選択）を押す**

3 **「1.する」を選び ◉（選択）を押す**

解除するには「2.しない」を選びます。

おしらせ

- 自動起動設定を「しない」に設定すると自動起動日時設定や、ソフトから設定した起動日時は無効になりますが、設定内容はそのまま残ります。
- 自動起動設定を「する」に設定しても が表示されないときは、自動起動する日時や間隔などが設定されていません。

［自動起動日時設定］ ソフト取得時 なし

自動起動日時を設定する

- FOMA端末の日付・時刻を設定していないときは、自動起動日時設定はできません。

1 **ソフト一覧からソフトを選び、サブメニュー「2.個別設定」を選択する**

2 **「5.自動起動日時設定」を選び ◉（選択）を押す**

自動起動日時の選択画面が表示されます。

3 **「1.毎日」「2.日付時刻指定」「3.曜日指定」のいずれかを選び ◉（選択）を押す**

- 自動起動日時設定を解除するときは「4.登録解除」を選びます。
- 自動起動日時設定されている他のソフトと同じ日時に起動する設定はできません。
- 日付、時刻の入力方法［☛基本P45］

■「1.毎日」を選んだ場合

① 0～9で時刻を入力し ◉（確定）を押す

自動起動日時が設定されます。

■「2.日付時刻指定」を選んだ場合

①日付欄を選び ◎（選択）を押す
② 0 ～ 9 で日付を入力し ◎（確定）を押す
③時刻欄を選び ◎（選択）を押す
④ 0 ～ 9 で時刻を入力し ◎（確定）を押す
⑤ ○（設定）を押す
自動起動日時が設定されます。

■「3.曜日指定」を選んだ場合

① 0 ～ 9 で時刻を入力し ◎（確定）を押す
② 1 ～ 7 で曜日を選ぶ
- 複数の曜日を選べます。
- 選択済みの曜日は「●」で示されます。
- 選択済みの曜日の番号を押すと「●」が消え選択が解除されます。

③ ◎（設定）を押す
自動起動日時が設定されます。

おしらせ

- **FOMA端末の日付・時刻設定を変更しても設定は解除されません。**
- **ソフトの機能による自動起動を行うソフトに自動起動日時を設定すると、両方の起動日時にソフトが起動されます。**

ソフトの自動起動について

- 待受画面が表示されているときに起動日時になると、ソフトが自動起動されます。FOMA端末の電源が入っていなかったときや、通話中、テレビ電話中、ｉモード中、各種操作中などに起動日時になったときは自動起動されません。FOMA端末を開いたときのアニメーション表示中は自動起動されます。
- ｉアプリ待受画面表示中でも自動起動されます。ただし、ｉアプリ待受画面表示中に クリア を押してソフトの実行画面を表示しているときは自動起動されません。
- 待受画面表示中でも以下の場合は自動起動されません。
  - PIMロック中
  - オールロック中
- スケジュール、アラームの設定時刻とソフトの自動起動時刻が重なった場合、ソフトは起動されません。
- 同一日時に起動するソフトが複数あるときは、優先順位が最も高い起動方法のソフトが起動されます。同じ優先順位のソフトが複数あるときは、先に設定したソフトが起動されます。

自動起動方法	優先順位
自動起動日時設定による起動	高
ソフトの機能による起動（ソフトから起動日時を設定）	中
ソフトの機能による起動（あらかじめ設定されている時間間隔で起動）	低

- ソフトを自動起動できなかった場合、ソフト一覧に のアイコンで表示されます。
- 通信を行うソフトの場合、通信設定を「起動ごとに確認」に設定していると、自動起動時に、通信を許可するかどうかの問合せ画面が表示されます。
- FOMA端末を折りたたんでいる状態でも、ソフトは自動起動されます。

サイトやメールからｉアプリを実行する

サイトや画面メモ、ｉモードメールにｉアプリTo（ｉアプリ起動用のリンク）が含まれているときは、ｉアプリToを選択してソフトを起動できます。

- **ｉモードメールからのｉアプリToは、ＩＰ（情報サービス提供者）からのｉモードメール配信で利用する機能です。FOMA端末どうしでは利用できません。**
- **ｉアプリToで起動するかどうかは、ｉアプリTo設定でソフトごとに設定できます。**
- **バーコードリーダーの読取り結果や、赤外線通信機器からソフトを起動することもできます。[☛P221、278]**

1 サイトや画面メモ、メールからｉアプリToを選び、◉（選択）を押す

ソフトを起動するかどうかの問合せ画面が表示されます。

- ダウンロード／バージョンアップが可能なサイトの場合、ソフトが保存されていないときは自動的にダウンロードが開始されます。[☛P59] ソフトのバージョンが古いときは問合せ画面が表示され、「はい」を選び ◉（選択）を押すとダウンロードが開始されます。
- 該当するソフトがない場合、「指定されたソフトがありません」と表示されます。

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

ソフトが起動されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

ソフト取得時 する

ｉアプリToで起動するかどうかを設定する

- **サイト、画面メモ、バーコードリーダーの読取り結果、赤外線通信機器からのｉアプリToに対して有効です。メールからのｉアプリToは、設定にかかわらず行えます。**
- **ｉアプリToに対応していないソフトでは設定できません。**

1 ソフト一覧からソフトを選び、サブメニュー「2.個別設定」を選択する

2 「2.ｉアプリTo設定」を選び ◉（選択）を押す

3 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

ｉアプリToで起動可能に設定されます。

- ｉアプリToで起動しないときは「2.しない」を選びます。

ｉアプリ待受画面を設定する

待受画面にソフトの画像を表示できるほか、ソフトによっては、画像を自動更新したり、最新情報を自動取得して表示したりできます。

- **ｉアプリ待受画面には、ｉアプリ待受画面に対応しているソフトを1つだけ設定できます。**
- **ｉアプリ待受画面は、待受画面設定の「待受画像設定」で設定した待受画面より優先して表示されます。**

1 待受中に、メニュー「ｉアプリ」▶「ｉアプリ待受画面設定」を選択する

ｉアプリ待受画面に設定できるソフトが一覧表示されます。

- 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「待受画面設定」▶「2.ｉアプリ待受画面設定」を選択しても設定できます。
- サブメニューから選択して、ソフトの情報表示や設定が行えます。
  - ・ソフト情報表示 [☛P64]
  - ・個別設定（アイコン情報利用設定、電話帳・履歴参照、着信音・画像変更）[☛P67、68]
  - ・証明書参照（SSL通信で取得したソフトの場合）
  - ・待受時計表示 [☛P77]

ｉアプリ待受画面に設定されているソフトを選ぶと が表示されます。
SSL通信で取得したソフトを選ぶと が表示されます。
メール連動型ｉアプリを選ぶと が表示されます。

2 ソフトを選び ◉（選択）を押す

ｉアプリ待受画面が設定されます。

- すでにｉアプリ待受画面が設定されている場合は、問合せ画面が表示されます。設定を変更するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

■通信を行うソフトの場合

通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定するときは、通信を許可するかどうかの問合せ画面が表示されます。

①「はい」または「いいえ」を選び ◉（選択）を押す

- 「いいえ」を選択するとタイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- 通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状態などによって正しく動作しない場合があります。

3 ◯（戻る）を1秒以上押す

待受画面に戻ります。ソフトが起動され、ｉアプリ待受画面が表示されます。（ソフトによっては、最初にソフトの設定画面などが表示されることがあります。）

- ｉアプリ待受画面表示中は、 または が表示されます。
- ｉアプリDXをｉアプリ待受画面に設定した場合、ソフトの有効性を確認するため、通信設定にかかわらず通信する場合があります。通信する回数やタイミングはソフトによって異なります。
  - ・お買い上げ時に登録されているソフトでは有効性の確認は行われません。

ｉアプリ待受画面を設定すると

● 電源を入れると問合せ画面が表示されます。「はい」を選び ◉（選択）を押すとソフトが起動され、ｉアプリ待受画面が表示されます。

- ｉアプリ待受画面を表示しないときは「いいえ」を選びます。
  ｉアプリ待受画面の設定が解除され、待受画面設定の「待受画像設定」で設定した待受画面が表示されます。
- 約3秒間操作しないと自動的にｉアプリ待受画面が表示されます。
- 自動電源ONで電源を入れたときは問合せ画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面が表示されます。

● ウェイクアップ表示はされません。

● ｉアプリ待受画面によっては自動的にｉモードに接続して通信を行うものがあります。

● ｉアプリ待受画面表示中にオールロックまたはPIMロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は終了し、待受画面設定の「待受画像設定」で設定した待受画面（お買い上げ時に登録されている画像以外を設定しているときは、お買い上げ時の待受画面）が表示されます。オールロックまたはPIMロックを解除するとｉアプリ待受画面が再表示されます。

● ｉアプリ待受画面からWeb toはご利用になれません。

ｉアプリ待受画面の設定・操作を行うには

ｉアプリ待受画面の設定や操作を行うときはソフトの実行画面に切り替えます。

① 待受中に （クリア） を押す

ソフトの実行画面が表示されます。（ガイド行がソフトのガイド行に変わります。）

- ソフトの実行画面表示中は または が点滅します。
- ｉアプリ待受画面に戻す方法はソフトによって異なります。（ソフトによってはもう一度 （クリア） を押すとｉアプリ待受画面に戻るものもあります。）

ｉアプリ待受画面表示中にエラーが発生すると

ｉアプリ待受画面表示中に、ｉアプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生すると、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの問合せ画面が表示されます。解除するには「はい」、解除せずにｉアプリ待受画面を再起動するには「いいえ」を選び ◉（選択）を押します。（操作せずに約3秒たつと自動的にｉアプリ待受画面が再起動されます。）

ｉアプリ待受画面がエラーで終了すると、待受エラー履歴が記憶されます。待受エラー履歴は以下の手順で表示できます。待受エラー履歴は10件まで保存されます。

① 待受中に、メニュー「ｉアプリ」▶「ｉアプリ履歴」▶「待受エラー履歴」を選択する

エラー履歴（ソフト名と終了日時）が表示されます。

②履歴を確認し、◉（OK）を押す

- ◯（クリア）を押すと、待受エラー履歴をすべて削除できます。

● ｉアプリ待受画面を続行可能なエラーの履歴は記憶されません。また、ｉアプリ待受画面の解除操作を行った場合など、エラー以外でｉアプリ待受画面を終了・解除した場合は、履歴は記憶されません。

● セキュリティエラーによりｉアプリ待受画面の設定が解除されたときは、待受エラー履歴には記憶されません。セキュリティエラーのアイコン［☛P10］が表示され、セキュリティエラー履歴に記憶されます。セキュリティエラー履歴を確認するには［☛P66］

iモード編　iアプリ

おしらせ

●ｉアプリ待受画面を設定すると、設定したソフトによっては連続通話（通信）・連続待受時間が短くなる場合があります。
●ｉアプリ待受画面のアイコン情報利用設定を「する」に設定した場合、アイコン情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

お買い上げ時 12h表示

ｉアプリ待受画面表示中の時計表示を設定する

• ソフトが日時を表示する場合は、表示が重ならないように「表示なし」に設定してください。
• ｉアプリ待受画面を表示していないときの時計表示は変わりません。

1 **待受中に、メニュー「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「待受時計表示」を選択する**

• 待受中にメニュー「設定」▶「ｉアプリ設定」▶「待受時計表示」を選択しても設定できます。

2 **「1.12h表示」「2.24h表示」「3.表示なし」のいずれかを選び◉（選択）を押す**

時計表示が設定されます。

ｉアプリ待受画面を解除する

1 **待受中に、メニュー「ｉアプリ」▶「ｉアプリ待受画面解除」を選択する**

• 待受中に(クリア)を押してソフトの実行画面に切り替え、(PWR)を押しても解除できます。

2 **「1.解除する」を選び◉（選択）を押す**

ｉアプリ待受画面が終了し、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。
•「2.終了する」を選び◉（選択）を押すとｉアプリ待受画面が終了し、再起動されます。
• 解除しないときは「3.しない」を選びます。

ｉアプリを管理する

ｉアプリをバージョンアップする

ダウンロード元サイトにソフトの新しいバージョンが掲載されていると、最新バージョンを入手できます。

- **保護されているソフトはバージョンアップできません。保護を解除してから操作してください。**
- **起動時に自動的にバージョンアップできるソフトもあります。**
- **ソフトによっては、自動でバージョンアップを実行できるものもあります。**

1 ソフト一覧からソフトを選び、サブメニュー「4.バージョンアップ」を選択する

バージョンアップするかどうかの問合せ画面が表示されます。

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

ダウンロードが開始されます。完了すると完了画面が表示されます。

- 以降の操作：「ｉアプリをダウンロードする」操作2～3 [☛P61]
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- ダウンロード中に ◉（中止）を押すとダウンロードを中止できます。
- サイトにソフトの新しいバージョンが掲載されていないときは「そのソフトは最新です」と表示されます。
- マルチメディア用のメモリの空きがないときは、上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。[☛P265]
- ソフト情報設定を「する」に設定している場合は、ダウンロードを開始するとソフトの情報が表示されます。[☛P59]
- FOMA端末の携帯電話情報・登録データを利用するソフトの場合は、ダウンロードするかどうかの問合せ画面が表示されます。[☛P60]

おしらせ

- **以下の設定は、バージョンアップ前の設定が引き継がれます。**
  - **ｉアプリ待受画面設定**
  - **自動起動設定**
  - **自動起動日時設定**
  - **クイックα設定**
  - **通信設定**
  - **アイコン情報利用設定**
  - **電話帳・履歴参照**
  - **着信音・画面変更**
  - **ｉアプリTo設定**
- **メール連動型ｉアプリのソフトをバージョンアップする場合、ｉアプリメール用フォルダおよびフォルダ内のメールは残ります。**
  - **バージョンアップによりソフト名が変更される場合は、フォルダ名も変更されます。**
  - **フォルダ名が変更される場合、メールセキュリティ設定中またはフォルダがシークレット設定されているときは、フォルダ名を変更できないためバージョンアップは中止されます。**

ｉアプリを保護する

- **最大保護件数 [☛P13]**

1 ソフト一覧からソフトを選び、サブメニュー「6.保護」を選択する

ソフトが保護され、アイコンが🔒付きに変わります。

- 解除するには、保護されているソフトを選び、サブメニュー「6.保護解除」を選択します。

ｉアプリを削除する

- **保護されているソフトは削除できません。保護を解除してから削除してください。**

1 ソフト一覧からソフトを選び、サブメニュー「7.一件削除」を選択する

- (クリア) を1秒以上押しても削除できます。

■複数のソフトを選択して削除するには

①ソフト一覧で、サブメニュー「8.選択削除」を選択する

②ソフトを選び◎(選択)を押す

- 複数のソフトを選択できます（30件まで)。
- 選択を解除するには、選択済みのソフトを選び◎(解除)を押します。
- ｉアプリ待受画面に設定されているソフトを選ぶと問合せ画面が表示されます。選択するには「はい」を選び◎(選択)を押します。選択しないときは「いいえ」を選びます。

③〇（決定)を押す

■ソフトをすべて削除するには

保護されているソフトは残ります。

①ソフト一覧で、サブメニュー「9.全件削除」を選択する

2 「はい」を選び◎(選択)を押す

ソフトが削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- 全件削除を行うときは、端末暗証番号を入力し◎(選択)を押します。
- メール連動型ｉアプリのソフトを削除する場合は、送信メールBOX、受信メールBOXのｉアプリメール用フォルダを削除するかどうかの問合せ画面が表示されます。フォルダも削除するには「1.する」を選び◎(選択)を押します。フォルダ内のメールもすべて削除されます。
  - ・フォルダを残してソフトだけ削除するには「2.しない」を選びます。
  - ・操作を中止するには「3.中止する」を選びます。

おしらせ

- 次の場合はメール連動型iアプリのソフトおよび対応するiアプリメール用フォルダを削除できません。
  - メールセキュリティ設定中
  - 送信メールBOXまたは受信メールBOXのiアプリメール用フォルダがシークレット設定されている
  - 送信メールBOXまたは受信メールBOXのiアプリメール用フォルダに保護されているメールがある
  - 他の機能でiアプリメール用フォルダを使用中
- 選択削除または全件削除でメール連動型iアプリのソフトが削除対象に含まれているとき、1つでも削除できないフォルダがあると、すべて削除されません。
- フォルダを残してメール連動型iアプリのソフトを削除した場合、フォルダ内のメールを表示するには、送信メールBOX、受信メールBOXのフォルダ一覧からフォルダを選び、サブメニュー「1.フォルダ内一覧」を選択します。
- お買い上げ時に登録されているソフトを削除してしまったときは、iモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。「My D-style」には、iMenuの「3メニューリスト」→「ケータイ電話メーカー」から接続してください（2004年4月現在）。

iアプリの設定状況を確認する

1 待受中に、メニュー「iアプリ」▶「iアプリ設定」▶「iアプリ設定確認」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「iアプリ設定」▶「iアプリ設定確認」を選択しても確認できます。

2 で項目を表示し、内容を確認したら（OK）を押す

- や ZOOM でも項目を切り替えることができます。

iアプリの設定を初期状態に戻す

iアプリの設定を、お買い上げ時の状態に戻します。各ソフトの個別設定も標準の設定に戻ります。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「設定リセット」▶「iアプリリセット」を選択する

- 保護されているソフトの個別設定もリセットされます。ただし、保護は解除されません。

2 端末暗証番号を入力し（選択）を押す

3 「はい」を選び（選択）を押す

iアプリの各種設定が初期状態に戻ります。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

設定リセット時に初期状態に戻る各種設定

機　能	初期状態
通信設定	お買い上げ時に登録されているソフト：する ダウンロードしたソフト：起動ごとに確認
ｉアプリTo設定	する
アイコン情報利用設定	する
自動起動設定	しない
自動起動日時設定	なし（日時、曜日の設定も消去）
電話帳・履歴参照	する
着信音・画像変更	許可：する　確認画面表示：しない
クイックα設定	なし
ソフト情報設定	しない
待受時計表示	12h表示
シークレットデータ参照設定	電話帳：しない　メールフォルダ：しない

- ソフトが実行中に記録した情報（途中経過など）やソフト固有の設定はリセットされません。

ｉアプリからさまざまな機能を利用する

ソフトの中には、FOMA端末のカメラ機能や赤外線通信機能を利用して様々な操作を行えるものがあります。

- **ｉアプリで利用する画像やお客様が入手したデータ等は、自動的にインターネットホームページを経由し、サーバに送信される可能性があります。**
- **ソフトの種類や動作状況などによっては、まれに、機能を実行するためのメモリが不足し、ソフトから各種機能を利用できなくなる場合があります。**

ｉアプリからカメラ機能を利用する

ソフトからFOMA端末のカメラを利用して静止画、動画を撮影できます。

- **撮影した静止画、動画はFOMA端末のマルチメディア用のメモリまたは“メモリースティックDuo”には保存されず、ソフトの一部として利用・保存されます。**

例 静止画を撮影するとき

1 ソフトからカメラ機能を実行する

撮影画面が表示されます。

- 約3分間操作しないとカメラが終了します。

2 カメラを被写体に向け ◎（撮影）または ⦿(ｻｲﾄﾞC) を押す

静止画が撮影され、撮影した静止画が表示されます。

- 撮影方法 [☛P204]
- 動画を撮影するときは、◎（撮影）または ⦿(ｻｲﾄﾞC) を押すと録画が開始されます。録画を終了するには ◎（停止）または ⦿(ｻｲﾄﾞC) を押します。ソフトの画面に戻ります。
  - ・撮影方法 [☛P207]
  - ・最大録画時間になると自動的に録画が終了します。

3 ◎（確定）を押す

ソフトの画面に戻ります。

おしらせ

- **ソフトからカメラ機能を実行して撮影できる静止画の撮影サイズ、動画の品質モードはご利用になるソフトによって異なります。ただし、静止画の撮影サイズは最大640×480ドット（フレームありでは352×288ドット）、動画の品質モードはスタンダードとファインのみになります。**

ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

ソフトからFOMA端末のカメラを利用して、バーコード（QRコード、JANコード）を読み取ることができます。

- **読み取った結果はソフトで利用・保存されます。**
- **QRコード、JANコードについては [☛P217]**

1 ソフトからコード読取りを実行する

コード読取り画面が表示されます。
- 約3分間操作しないとバーコードリーダーが終了します。

2 FOMA端末を折りたたみ、バーコードを読み取る

- 操作方法：「コードを読み取る」操作4〜7 [☛P218]

おしらせ

- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射や、QRコードのバージョンによっては読み取れない場合があります。
- コードの種類やサイズによっては読み取れないことがあります。

iアプリから赤外線通信を利用する

- 赤外線通信については [☛P270]

1 ソフトから赤外線通信操作を行う

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

赤外線通信が実行されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

おしらせ

- 赤外線通信機能搭載機器からソフトを起動できます。[☛P278]

お買い上げ時に登録されているｉアプリ

Dimo i 絵文字メール

©BVIG

メール内の絵文字に反応して、キャラクタ達が愉快に動き回り、楽しいメールのやりとりができます。また、相手がDimo対応の機種の場合は、キャラクタ達が電話やメールの着信を教えてくれたり、FOMA端末の未読メール情報などを伝えてくれます。

- 詳しい使いかたは『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- 画面はイメージです。

おしらせ

● Dimo i 絵文字メールのお買い上げ時の設定は以下のとおりです。

- 通信設定：する
- ｉアプリTo設定：する
- アイコン情報利用設定：する
- 自動起動設定：しない
- 自動起動日時設定：なし
- 電話帳・履歴参照：する

ｉアニメっちゃメーラーDX

文字に色や動きなどの効果を付けたり、キャラクタのアニメーションを付けたりして、楽しいメールを作れます。

メール作成を開始する

ｉアニメっちゃメーラーDXを実行するとトップ画面が表示されます。トップ画面から「新規作成」を選択して、メール作成を開始します。

宛先を入力します。電話帳からも検索できます。（宛先を入力するごとに入力欄が増え、5件まで入力できます。）

題名を入力します。

「本文へ」を選択するとプレビュー画面が表示されます。本文の作成に進みます。

本文を作成する

プレビュー画面で文字を入力します。効果（エフェクト）も設定できます。

- カーソルを移動して ◉ を押し、文字を入力します。
- クリア で文字を削除できます。# で改行できます。
- 本文は全角140文字（半角280文字）まで送信できます。ただし、エフェクトを設定すると送信データ量が増えるため、送信できる文字数は少なくなります。

入力文字数（エフェクト含む）／送信可能文字数

アニメーションやエフェクトを使うには◎（メニュー）を押し、項目を選択します。

項　目	説　明
1.ステージエフェクト	メールの背景色と背景パターンを選択できます。 • 色を「ホワイト」にすると見えないパターンがあります。
2.テキストエフェクト	文字の色やサイズ、動きを設定できます。始点、終点で◉を押すとカテゴリの一覧が表示されます。カテゴリを選択し、エフェクトを選択します。
3.キモチアニメ	キャラクタのアニメーションを挿入できます。挿入したアニメにカーソルを合わせて◉を押すと、セリフを入力します。
4.アニメっちゃ絵文字	ｉアニメっちゃメーラーDXの絵文字を入力できます。
5.エフェクト解除	テキストエフェクトを解除します。解除する範囲の始点と終点で◉を押します。

送信する

プレビュー画面で◎（メニュー）を押し、「送信」を選びます。

• ◎（メニュー）を押して「途中保存（1件のみ可能）」を選択すると、作成中の本文を保存できます。宛先は保存されません。すでに保存されているメールがあると上書きされます。

その他の機能

トップ画面から選択して以下の操作が行えます。

項　目	説　明
受信ボックス	受信メールを表示します。
送信ボックス	送信メールを表示します。
未送信ボックス	送信に失敗したメールを表示します。
制作途中データ	送信しないで途中保存したメールを表示します。
センター問い合わせ	FOMA端末のメールメニューを表示します。メールメニューからｉモード問合せを実行できます。

※ｉアニメっちゃメーラーDXから受信したメール、ｉアニメっちゃメーラーDXで送信または保存したメール以外は表示できません。

※受信ボックス、送信ボックス、未送信ボックスのメニューから返信、転送、再送信が行えます。

おしらせ

● メールの受信側にもｉアニメっちゃメーラーDXが必要です。ｉアニメっちゃメーラーDXのメールは、FOMA端末のメール機能やパソコンなどのメールソフトでは正しく表示できません。

● ｉアニメっちゃメーラーDXのお買い上げ時の設定は以下のとおりです。

• 通信設定：する　• ｉアプリTo設定：する　• 自動起動設定：しない

• 自動起動日時設定：なし　• 電話帳・履歴参照：する

珍さんのTVリモコン

FOMA端末を使って、テレビを操作できます。

■最初にメーカーを設定する

◎（メニュー）を押し、「メーカー設定」を選択します。テレビのメーカーと信号パターンを選択します。

- メーカーによっては複数の信号パターンがあることがあります。設定画面で◎（テスト）を押すと、そのパターンでテレビの電源ON/OFFができるかテストできます。
- 電源ON/OFFができてもチャンネル切替えなどができない信号パターンもあります。その場合は違うパターンを試してください。

■リモコン操作をする

FOMA端末の赤外線ポートをテレビのリモコン受信部に向けて操作します。[☛P277]

- 0～9、*、#：チャンネル選択
- ◎：音量調節
- ◎：チャンネル切替え、または入力切替／消音 (注)

（注）メニュー「左右キー割付切替」で選択できます。

おしらせ

- **テレビの機種によっては操作できない場合があります。また、対応機種でも操作できない機能があります。**
- **珍さんのTVリモコンのお買い上げ時の設定は以下のとおりです。**
  - **自動起動設定：しない**
  - **自動起動日時設定：なし**

便利！多機能電卓

基本的な計算のほかに、ワリカン計算などいろいろな計算ができます。

基本計算のしかた

タイトル画面から「基本計算」を選択すると、電卓画面が表示されます。

計算方法は通常の電卓と同様です。＋－×÷は◎で選びます。◎で計算結果を表示します。

数字を間違えたときはクリア、最初から計算し直すときは#を押します。

- ◎（メニュー）を押して「計算一覧表示」を選択すると計算中の内容、「過去一覧表示」を選択すると、過去の計算内容（5件まで）を表示できます。

いろいろな計算

タイトル画面から選択します。

項目	説明
ワリカン計算	「男性」「女性」などの属性ごとに負担の割合（0.1～2.0）と人数を設定して「ワリカン！」を選択すると、金額が表示されます。
ゴチルーレット	金額をルーレットで決めます。総額と人数、本気度（人ごとに金額にどのくらいの差をつけるか）を設定して「開始」を選択するとルーレットが回り、を押すと金額が表示されます。以降、一人ずつ（次へ）でルーレットを回し、で決定します。
時間計算	スタート時から終了時までの時間を計算します。スタート日時、終了日時はを押し、で変更箇所を選んでで数字を増減し、で確定します。日時設定後に「決定」を選択すると、時間が表示されます。 （メニュー）を押して、表示単位を選択できます。また、「あと何日？」では現在から指定日時までの時間、「あれから何日？」では指定日時から現在までの時間が計算できます。
カロリー計算	摂取カロリーの合計を計算します。最初に性別、年齢などを入力すると、カロリー計算画面が表示されます。 **基本必要カロリー** **前の週の平均カロリー** **1日のカロリーの合計** **1日に食べたものを入力** カーソルを入力したい位置に移動してを押し、食品リストから選択します。カロリー量レベルを示すアイコンが入力されます。アイコンにカーソルを合わせると食品名を確認できます。 • 計算されるカロリーは概算であり、厳密なものではありません。 • カロリーの超過・不足は、性別・年齢ごとの標準必要カロリーに対する過不足を示したものです。
いろいろ変換	距離や広さ・重さの単位、西暦／和暦など各種の変換ができます。変換したい元の単位に値を入力し確定すると、各単位での値が表示されます。

おしらせ

● 便利！多機能電卓のお買い上げ時の設定は以下のとおりです。
- **通信設定：する**
- **自動起動設定：しない**
- **自動起動日時設定：なし**

キャラ電とは

テレビ電話通話中に自分の代わりにキャラクタを表示して、テレビ電話ができる機能です。

- **テレビ電話通話中、ボタン操作でキャラクタにいろいろな動作（アクション）をさせることができます。アクションの種類はキャラ電によって異なります。また、キャラ電によっては、自分の声に反応して自動的に口などが動きます。**
- **D900iにはあらかじめ3件のキャラ電が登録されています。サイトやインターネットホームページからキャラ電をダウンロードすることもできます。キャラ電は、キャラ電プレーヤーで表示できます。**

キャラ電をダウンロードする

サイトやインターネットホームページからキャラ電をダウンロードできます。

- **ダウンロードしたキャラ電は、FOMA端末の「マルチメディア」→「キャラ電」に保存されます。最大保存件数 [☛P13]**

1 サイトからキャラ電を選び ◉（選択）を押す

キャラ電がダウンロードされ、保存されます。

- マルチメディア用のメモリに空きがないときや、最大保存件数を超えたときは、上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。[☛P265]

キャラ電プレーヤー

キャラ電を表示する

1 待受中に、メニュー「マルチメディア」▶「キャラ電」を選択する

キャラ電一覧が表示されます。

2 キャラ電を選び ◎（詳細）を押す

アクションモード
：全体
：パーツ

キャラ電が表示されます。

- アクションに対応するボタンを押すと、アクションが実行されます。アクションを終了するには 0 を押します。
- アクションを間をあけずに続けて実行すると、一部のアクションが実行されなかったり、アクションが実行されるまでに時間がかかることがあります。
- キャラ電によっては、送話口に向かって話すと、音声に反応して動きます。
- キャラ電表示中はボタン確認音は鳴りません。
- 約3分間操作しないとキャラ電一覧に戻ります。

■ アクションモードを切り替えるには

① ◎ を押す

全体モードとパーツモードが切り替わります。

- 全体モード：「喜ぶ」「泣く」などキャラクタ全体で表すアクションです。
- パーツモード：キャラクタを部分ごとに動かすためのアクションです。
- サブメニュー「1.アクション切替」を選択しても切り替わります。

■ キャラ電のアクションを一覧表示するには

- キャラ電によっては表示できないことがあります。

① ◎ を押す

現在のアクションモードのアクション一覧が表示されます。

- サブメニュー「2.アクション一覧」を選択しても表示できます。
- ◎（詳細）を押すと、アクションのタイトル全体を確認できます。◎（OK）を押すとアクション一覧に戻ります。

アクションを実行するためのボタン

- ボタンはキャラ電表示中に有効です。この画面でボタンを押しても動作しません。

② アクションを選び ◎（選択）を押す

アクションが実行されます。

- アクション一覧を表示してから約3分間操作しなかったときは、アクションは実行されません。操作①からやり直してください。

■ 拡大表示と通常表示を切り替えるには

キャラ電表示時は「拡大表示ON」に設定されています。

① サブメニュー「3.拡大表示ON」または「3.拡大表示OFF」を選択する

一覧画面の見かた

キャラ電のアイコン、番号／全数

キャラ電のタイトル
タイトルを変更できます。[☛P95] タイトルなしに変更した場合は「無題」と表示されます。

■ アイコンの種類と意味

アイコン種別	説　明
種類	：キャラ電
取得元	：サイトから取得　なし：内蔵
ファイル制限	：メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている (注1)
ファイル種別	なし：通常のキャラ電 ：キャラ電を保存したときとは別のFOMAカードが入っている、またはFOMAカードが入っていない（キャラ電の表示や利用はできません）
保護・設定有無	なし：保護なし、設定なし　：保護なし、設定あり (注2) ：保護あり、設定なし　：保護あり、設定あり (注2)
画像サイズ	：176×144
撮影後ファイル制限 (注3)	なし：撮影後ファイル制限なし　：撮影後ファイル制限あり

（注1）キャラ電は常に添付・出力禁止（ファイル制限あり）になります。
（注2）テレビ電話の代替画像に設定されていることを示します。（キャラ電プレーヤーからのキャラ電発信や、テレビ電話中のキャラ電切替でキャラ電を利用した場合は、設定が保存されないため、このアイコンは表示されません。）
（注3）撮影後ファイル制限は、キャラ電撮影により作成された静止画・動画のメールへの添付、“ メモリースティック Duo ” へのコピー、編集などを規制するかどうかを示します。

■ キャラ電を並べ替えるには（ソート）

①キャラ電一覧で、サブメニュー「06.ソート」を選択する

②ソート条件を選び ◉（選択）を押す

- 保存日時順、タイトル順、ファイルサイズ順、ファイル取得元順が選べます。それぞれ、昇順と降順が選べます。（キャラ電プレーヤー開始時は日時の降順に設定されています。）
- 設定はキャラ電プレーヤーを終了するまで有効です。
- キャラ電静止画撮影、キャラ電動画撮影でキャラ電切替を行うときの一覧の並び順は変わりません。

③ ◯（決定）を押す

■キャラ電の情報を表示するには

①キャラ電一覧からキャラ電を選び、サブメニュー「05.情報表示」を選択する

キャラ電の情報が表示されます。

- キャラ電表示画面からも行えます。

②情報を確認し、◉（OK）を押す

- 以下の情報が表示されます。

項　目	説　明
ファイル名	パソコンなどで表示するときのファイル名
ファイルサイズ	ファイルサイズ（Kバイト）
画像サイズ（横×縦）	画像サイズ（ドット）
保護設定	保護のあり／なし
ファイル制限	常に「あり（変更不可）」（メール添付やFOMA端末外への出力を禁止）
撮影後ファイル制限	撮影後ファイル制限のあり／なし
オリジナルタイトル	作成されたときのタイトル
作成日時	キャラ電の作成日時
保存日時	キャラ電をFOMA端末に保存した日時
保存元	キャラ電の取得元（お買い上げ時に登録されているキャラ電では空白）

お買い上げ時に登録されているキャラ電

■ブンブン(Dimo)

©BVIG

● 全体アクション

1：喜ぶ　2：怒る　3：悲しむ　4：ありがとう　5：ラブラブ　6：ごめんなさい　7：ノーリアクション　8：バイバイ　9：びっくり

● パーツアクション

なし

■女の子・男の子

● 全体アクション

1：喜ぶ　2：ガッツポーズ　3：愛情　4：怒る　5：泣く　6：ダメ　7：挨拶　8：うなずく　9：さよなら　#1：悩む　#2：称える　#3：お願い　#4：あきれる

● パーツアクション

11：頭 右を向く（ループ）
12：頭 左を向く（ループ）
13：頭 上を向く（ループ）
14：頭 下を向く（ループ）
15：頭 左右に振る
16：頭 上下に振る
17：頭 回転する
21：胴体 右を向く（ループ）
22：胴体 左を向く（ループ）
23：胴体 後ろを向く（ループ）
24：胴体 前に傾く（ループ）
31：右手 挙げる（ループ）
41：左手 挙げる（ループ）
51：足 しゃがむ（ループ）
52：足 ジャンプ

キャラ電を利用してテレビ電話をかける

キャラ電プレーヤーからテレビ電話をかけられます。自分の映像の代わりにキャラ電が相手端末に表示されます。
• ダイヤル発信制限中はテレビ電話をかけられません。

1 キャラ電一覧からキャラ電を選び、サブメニュー「01.キャラ電発信」を選択する

• キャラ電表示画面からも行えます。

2 テレビ電話をかける

■ 電話番号を入力してテレビ電話をかけるには

①「1.ダイヤル入力」を選び ◎（選択）を押す
ダイヤル入力画面が表示されます。

②電話番号を入力し、◎（TV）を押す
テレビ電話がかかります。

■ 電話帳から検索してテレビ電話をかけるには

①「2.電話帳検索」を選び ◎（選択）を押す
• シークレットメモリ登録した電話帳から検索するには、「3.シークレット検索」を選んで ◎（選択）を押し、端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押します。

②電話帳を検索する
• 検索方法 [☛基本P106]

③電話番号を選び ◎（選択）を押す
テレビ電話がかかります。

キャラ電を代替画像に設定する

キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定できます。
• 代替画像については [☛基本P87]

1 キャラ電一覧からキャラ電を選び、サブメニュー「04.代替画像設定」を選択する

キャラ電が代替画像に設定されます。
• キャラ電表示画面からも行えます。

キャラ電を撮影する

キャラ電の静止画や動画を撮影できます。撮影した静止画や動画は、待受画面などに設定したり、メールに添付して送信したりできます。
- **撮影後ファイル制限が設定されているキャラ電では、撮影した静止画・動画をメールに添付できません。また、赤外線送信、“メモリースティック Duo”へのコピーもできません。**

静止画を撮る

- **撮影した静止画はFOMA端末の「マルチメディア」→「イメージ」→「カメラ画像」→「撮影フォルダ」に保存されます。最大保存件数 [☛P13]**
- **マルチメディア用のメモリに空きがないときや、最大保存件数を超えるときは撮影できません。不要なデータを削除してください。**

1 キャラ電一覧からキャラ電を選び、サブメニュー「02.キャラ電静止画撮影」を選択する

撮影画面が表示されます。
- キャラ電表示画面からも行えます。

撮影可能な残り枚数の目安

2 アクションを実行する

- アクションモードの切替え、アクションの一覧表示、拡大表示と通常表示の切替えが行えます。(拡大表示と通常表示を切り替えても、撮影される静止画の大きさは変わりません。)
- サブメニュー「3.キャラ電切替」を選択すると、別のキャラ電に切り替えられます。
- 約3分間操作しないとキャラ電一覧に戻ります。

3 ◉（撮影）を押す

ピーッと音が鳴り、静止画が撮影されます。

4 ◉（保存）を押す

静止画が保存されます。
- 保存を中止して撮影し直すには ◎（戻る）を押します。

おしらせ

- **キャラ電の静止画は以下の設定で撮影されます。**
  ・モード：メール添付（携帯）　・撮影サイズ：176×144（ドット）　・圧縮モード：エコノミー
- **撮影時の音は着信音量をレベル0に設定していても鳴ります。マナーモード中、ドライブモード中は鳴りません。**

動画を撮る

- 最大録画時間：9秒
- 撮影した動画はFOMA端末の「マルチメディア」→「ｉモーション」→「カメラ画像」→「撮影フォルダ」に保存されます。最大保存件数 [☛P13]
- 音声付きで録画されます。録画中に送話口に向かって話した音声が保存されます。
- マルチメディア用のメモリに空きがないときや、最大保存件数を超えるときは撮影できません。不要なデータを削除してください。

1 キャラ電一覧からキャラ電を選び、サブメニュー「03.キャラ電動画撮影」を選択する

現在の空きメモリでの最大録画時間の目安

撮影画面が表示されます。
- キャラ電表示画面からも行えます。

2 アクションモードなどを設定する

- アクションモードの切替え、アクションの一覧表示、拡大表示と通常表示の切替えが行えます。（拡大表示と通常表示を切り替えても撮影される動画の大きさは変わりません。）
- サブメニュー「3.キャラ電切替」を選択すると、別のキャラ電に切り替えられます。
- 約3分間操作しないとキャラ電一覧に戻ります。

3 ◉（撮影）を押す

ピーッと音が鳴り、録画が開始されます。
- 録画中は、今回の録画の残り時間が表示されます。

4 アクションを実行する

- 録画中もアクションモードの切替え、アクションの一覧表示ができます。
- サブメニューやアクション一覧を表示している間も、キャラ電の録画は継続しています。

5 ◉（停止）を押す

ピーッと音が鳴り、録画が終了します。動画が保存されます。
- FOMA端末を折りたたんでも録画を終了できます。
- 残り撮影時間が0になると自動的に録画が終了します。

おしらせ

- キャラ電の動画は以下の設定で撮影されます。
  ・モード：メール添付　・品質モード：ファイン
- 録画開始／終了時の音は着信音量をレベル0に設定していても鳴ります。マナーモード中、ドライブモード中は鳴りません。
- 録画中に以下が起こった場合は、録画が終了し、それまでの録画内容が保存されます。副画像は作成されません。
  ・電話がかかってきた　・データ通信を開始した　・アラームやスケジュールの設定時刻になった
  ・電池切れになった　・高温警告画面が表示された
  撮影画面に戻らずに電源が切れると、録画内容は保存されません。

キャラ電を管理する

タイトルを変更する

- **キャラ電のダウンロード時は、オリジナルタイトルが表示されます。オリジナルタイトルがないときはファイル名が表示されます。**

1 キャラ電一覧からキャラ電を選び、サブメニュー「07.タイトル変更」を選択する

2 タイトルを入力する

① ◉（選択）を押す
② クリア を押して不要な文字を消し、タイトルを入力する
- 全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

3 ◯（登録）を押す

タイトルが変更されます。

タイトルを元に戻すには

キャラ電のタイトルを、お買い上げ時のタイトルや、サイトからダウンロードしたときのタイトルに戻せます。
- オリジナルタイトルがないキャラ電のタイトルを元に戻すと「無題」と表示されます。

1 キャラ電一覧からキャラ電を選び、サブメニュー「08.タイトル復旧」を選択する

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

タイトルが元に戻ります。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

キャラ電を保護する

- **最大保護件数 [☛P13]**

1 キャラ電一覧からキャラ電を選び、サブメニュー「09.保護」を選択する

キャラ電が保護され、アイコンが🔒または🔒に変わります。
- 保護を解除するときは、保護されているキャラ電を選び、サブメニュー「09.保護解除」を選択します。

キャラ電を削除する

- **保護されているキャラ電は削除できません。保護を解除してから削除してください。**

1 キャラ電一覧からキャラ電を選び、サブメニュー「10.一件削除」を選択する

- (クリア)を1秒以上押しても削除できます。

■複数のキャラ電を選択して削除するには

①キャラ電一覧で、サブメニュー「11.選択削除」を選択する

②キャラ電を選び ◎（選択）を押す

- 複数のキャラ電を選択できます（20件まで）。
- テレビ電話の代替画像に設定されているキャラ電を選択すると、問合せ画面が表示されます。選択するには「はい」を選び ◎（選択）を押します。選択しないときは「いいえ」を選びます。
- 選択を解除するには、選択済みのキャラ電を選び ◎（解除）を押します。

③ ◯（決定）を押す

■キャラ電をすべて削除するには

保護されているキャラ電は残ります。

①キャラ電一覧で、サブメニュー「12.全件削除」を選択する

②端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押す

2 「はい」を選び ◎（選択）を押す

キャラ電が削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

おしらせ

- **お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除してしまったときは、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。「My D-style」には、ｉMenuの「3メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」から接続してください（2004年4月現在）。**

ｉモーションを取り込む

サイトやインターネットホームページから映像や音を取り込み、再生・保存できます。保存したｉモーションは、待受画面などに設定できます。

- **取り込んだｉモーションはFOMA端末の「マルチメディア」→「ｉモーション」→「ネットワーク画像」→「ネットワークフォルダ」に保存されます。最大保存件数 [☛P13]**
- **ｉモーションによっては取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。**
- **ｉモーションによってはデータを取得しても、正しく再生できない場合があります。**
- **ｉモーションによってはデータの取得中に再生できないものがあります。**
- **ｉモーションには、以下の再生制限が設定されている場合があります。**

種　類	説　明
再生回数制限	設定されている回数まで再生できます。（取得中の再生、取得後の動画像メニューからの再生は回数に数えません。）
再生期限制限	設定されている期限を過ぎると再生できなくなります。
再生期間制限	設定されている期間内だけ再生できます。期間前でも取得・保存はできます。期間を過ぎると保存・再生できません。

- **ｉモーションには、大きく分けて次のタイプがあります。どのタイプかは、ｉモーションごとにあらかじめサイトで設定されており、変更できません。**

タイプ	再生形式（ファイルサイズ）	説　明
スタンダードタイプ（保存可能）(注)	取得後に再生（最大300Kバイト）	ｉモーションのデータをすべて取得してから再生します。取得中の再生はできません。
	取得中に再生（最大300Kバイト）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、取得後に再生するｉモーションと同様に再生できます。
ストリーミングタイプ（保存不可能）	取得中に再生（最大2Mバイト）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。再生し終ったデータは蓄積せずに破棄するため、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

（注）ｉモーションによっては保存できないものもあります。

- ｉモーション取得中の再生は、データを取得しながら再生しますので、電波環境などにより再生が停止したり、画像が乱れたりする可能性があります。なお、取得後に再生可能なｉモーションは、取得中に電波環境などにより再生ができなくなった場合でも、取得完了後に再生することができます。
- ストリーミングタイプのｉモーションを取得するには、ｉモーション設定のｉモーションタイプ設定を「標準・ストリーミングタイプ」に設定する必要があります。
- ｉモーション設定の自動再生設定を「OFF」に設定しているときは、スタンダードタイプのｉモーションは、再生形式にかかわらず取得後の再生になります。また、自動再生設定を「OFF」に設定していても、ストリーミングタイプのｉモーションはデータ取得中に再生されます。

- **パートナーアシスト設定 [☛基本P160] で「ネットワーク画像」を「ON」に設定していると、ｉモーションを保存すると同時に、待受画面の背景や着モーションなどに設定できます。利用先の選択画面が表示されますので、以下から選択します。**

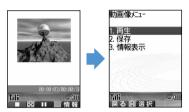
01.待受画面　03.ウェイクアップ表示　04.着モーション　05.TV電話着モーション

- ｉモーションによっては待受画面などに設定できないものがあります。
- 以下のｉモーションは着モーションに設定できません。
  - ・サイズが128×96ドット、176×144ドット以外のｉモーション
  - ・映像だけのｉモーション、テロップがあるｉモーション
  - ・再生制限のあるｉモーション　・配布元が着モーション設定不可に設定したｉモーション

1 サイトからiモーションを選び ◉（選択）を押す

iモーションの取込みが始まります。

- スタンダードタイプで保存不可のiモーションを選択すると、取得するかどうかの問合せ画面が表示されます。iモーションを取得するには「はい」を選び ◉（選択）を押します。
- iモーションタイプ設定が「標準タイプ」に設定されている場合、ストリーミングタイプのiモーションを選択すると「このiモーションを再生するためにはiモーションタイプ設定を変更して下さい」と表示されます。再生するには「はい」を選び ◉（選択）を押し、「2.標準・ストリーミングタイプ」を選び ◉（選択）を押します。
- マナーモード中、ドライブモード中に音付きのiモーションを再生するときは問合せ画面が表示されます。音付きで再生するときは「はい」、音なしで再生するときは「いいえ」を選び ◉（選択）を押します。
- 再生期限制限、再生期間制限が設定されているiモーションを再生するときは、問合せ画面に再生期限、再生期間が表示されます。再生するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。
- テロップ付きのiモーションでは、再生中、テロップが表示されます。

■スタンダードタイプ（取得後に再生）の場合

データの取得が完了すると、自動的に再生されます。再生が完了すると動画像メニューが表示されます。操作2に進みます。

- 再生中は以下の操作ができます。
  - ◎：音量調節　◎：早送り、巻戻し
  - ◉（❚❚）：一時停止　◉（▶）：再開
  - ◯（■）：終了　◯（情報）：情報表示

- iモーション設定の自動再生設定を「OFF」に設定しているときは自動再生されません。データの取得が完了すると動画像メニューが表示されます。操作2に進みます。

■スタンダードタイプ（取得中に再生）の場合

データ取得状況

データを取得しながら再生されます。データをすべて取得し再生が完了すると、動画像メニューが表示されます。操作2に進みます。

- 再生中の操作はスタンダードタイプ（取得後に再生）と同じです。ただし、早送り、巻戻しはできません。
- データの取得が完了する前に ◯（■）を押したときは、取込み中の画面に戻ります。

■ストリーミングタイプの場合

再生するかどうかの問合せ画面が表示されます。

①「はい」を選び ◉（選択）を押します。

データを取得しながら再生されます。データをすべて取得し再生が完了すると、サイトの画面に戻ります。

- 再生中の操作はスタンダードタイプ（取得後に再生）と同じです。ただし、早送り、巻戻し、一時停止はできません。
- 再生中に ◯（■）を押すと、データの取込みも中止されます。

2 iモーションを保存するときは、「2.保存」を選び ◉（選択）を押す

iモーションが保存され、画面や着モーションに設定するかどうかの問合せ画面が表示されます。
- パートナーアシスト設定で「ネットワーク画像」を「OFF」に設定しているときは、問合せ画面は表示されません。
- マルチメディア用のメモリに空きがないときや最大保存件数を超えたときは、上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。[☛P265]
- 「1.再生」を選び ◉（選択）を押すと、iモーションを再生できます。再生中の操作は操作1のスタンダードタイプ（取得後に再生）と同じです。
- 「3.情報表示」を選び ◉（選択）を押すと、iモーションの情報を表示できます。

3 「はい」を選び ◉（選択）を押す

利用先の選択画面が表示されます。
- iモーションを画面や着モーションに設定しないときは「いいえ」を選びます。

4 利用先を選び ◉（選択）を押す

- 選択できる利用先はiモーションによって異なります。
- 利用先にすでに画像や動画／iモーションが設定されているときは、変更するかどうかの問合せ画面が表示されます。変更するときは「はい」、設定を中止するときは「いいえ」を選び ◉（選択）を押します。
- iモーションを待受画面に設定するときは、◎で時計の表示形式を選び ◉（選択）を押します。操作方法：「カメラ画像などの画像を表示する」操作4～5 [☛基本P146]

テロップにPhone to（AV Phone to）、Mail to、Web toが設定されていたときは

最後まで再生すると、接続先情報画面が表示されます。
- ◯（■）で再生を終了したときは表示されません。

接続先情報
03XXXXXXXX
戻る 接続 登録

Phone to（AV Phone to）の場合

① 接続先情報を確認する

② 接続するときは ◉（接続）を押す

- 以降の操作 [☛P46]
- Phone to（AV Phone to）、Mail toの接続先情報画面で ◯（登録）を押すと、電話番号やメールアドレスを電話帳に登録できます。
- Web toの場合、iモーションを保存していないときは保存するかどうかの問合せ画面が表示されます。「はい」または「いいえ」を選び ◉（選択）を押します。（保存不可のiモーションでは問合せ画面は表示されません。）
- Web toの場合、iモーションによっては、次のページを表示するかどうかの問合せ画面が表示される場合があります。「はい」を選び ◉（選択）を押すと、Web toが実行されます。
- ダイヤル発信制限中はPhone to（AV Phone to）、Mail toは使用できません。

おしらせ

- **待受画面に設定したiモーションからのPhone to（AV Phone to）、Mail to、Web to機能はご利用になれません。**
- **スタンダードタイプ（取得中に再生）の場合、データを取得しながら再生中に以下が起こると再生は中止されます。データの取得は継続します。また、ストリーミングタイプの場合、データを取得しながら再生中に以下が起こるとデータの取得および再生は中止されます。**
  - **音声電話がかかってきた**
  - **アラームやスケジュールの設定時刻になった**
  - **⊘を押した**
  - **FOMA端末を折りたたんだ**

ｉモーションの設定を行う

お買い上げ時　ON

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する

スタンダードタイプのｉモーションを取り込んだときに、自動的に再生するかどうかを選択します。

- **「OFF」に設定しても、データ取得完了後に表示される動画像メニューからｉモーションを再生できます。**

1　待受中に、ｉモードメニュー「ｉモード設定」▶「ｉモーション設定」▶「1.自動再生設定」を選択する

- メニュー「設定」▶「ｉモード設定」▶「ｉモーション設定」▶「1.自動再生設定」を選択しても操作できます。

2　「1.ON」または「2.OFF」を選び ◉（選択）を押す

自動再生が設定されます。

おしらせ

- 自動再生設定を「OFF」に設定していても、ストリーミングタイプのｉモーションはデータ取得中に再生されます。
- 自動再生設定を「OFF」に設定しているときは、スタンダードタイプ（取得中に再生）のｉモーションは取得後の再生になります。

お買い上げ時　標準タイプ

取得するｉモーションのタイプを設定する

取得するｉモーションのタイプを設定します。

1　待受中に、ｉモードメニュー「ｉモード設定」▶「ｉモーション設定」▶「2.ｉモーションタイプ設定」を選択する

- メニュー「設定」▶「ｉモード設定」▶「ｉモーション設定」▶「2.ｉモーションタイプ設定」を選択しても操作できます。

2　「1.標準タイプ」または「2.標準・ストリーミングタイプ」を選び ◉（選択）を押す

ｉモーションタイプが設定されます。

- 「1.標準タイプ」では、スタンダードタイプのｉモーションだけが取得できます。
- 「2.標準・ストリーミングタイプ」では、スタンダードタイプとストリーミングタイプの両方を取得できます。

メッセージR/Fを受信したときは

メッセージR/Fを受信すると着信音と画面表示でお知らせします。受信したメッセージR/Fは、それぞれのメッセージBOXに保存されます。

- **メッセージR/Fの最大保存件数 [☛P13]**
- **FOMA端末が以下の状態のときに送られてきたメッセージR/Fは、ｉモードセンターに保管されます。保管されたメッセージR/Fを受信するには [☛P140]**
  - **・電源が入っていない　・圏外　・テレビ電話通話中　・赤外線通信中**
  - **・“メモリースティック Duo”処理中　・セルフモード中　・メッセージBOXに空きがない**

例 メッセージRを受信したとき

メッセージ受信中

- ◉（中止）を押すと受信を中止できます。
- 受信が完了するとメッセージR/F着信音が鳴ります。
  - ・着信音を止めるにはダイヤルボタンまたは ◯(ﾘﾌﾟﾗｲﾎﾞﾀﾝ) を押します。（✉、📞、ZOOM、⦿(ｻｲﾄﾞc) を押しても止まります。）メッセージ受信画面は表示されたままになります。
  - ・着信音が鳴らない設定にしているときは鳴りません。
  - ・メールとメッセージR/Fを同時に受信したときはメール着信音だけが鳴ります。
  - ・メッセージR/Fの着信音や、着信音が鳴る秒数を変更するには [☛基本P138]

メッセージ受信画面

受信結果によって表示が変わります。

未読件数（新しく受信したメッセージR/Fと受信済みの未読のメッセージR/Fの合計）が表示されます。

新着メッセージがあるときに ✱ が表示されます。

■すぐに読むには

「新着のメッセージR/Fを表示する」に進みます。[☛P102]

■あとで読むには

◯（戻る）を押します。読むときはメッセージBOXから表示します。[☛P104]

- メッセージを自動表示できます。[☛P103]

■何も操作しないでいると

一定時間（メッセージR/Fの着信音鳴動時間＋約10秒）たつとメッセージ受信画面が消え、待受画面または受信前の画面に戻ります。この場合、待受画面に 📨 が表示されます。（メッセージR/Fを表示したときや ◯（戻る）、PWR、クリア を押してメッセージ受信画面を消したときは 📨 は表示されません。） 📨 は以下のいずれかを行うまで表示されます。

- 受信メール一覧、メッセージR/F一覧の表示
- メール連動型ｉアプリで受信メールを既読にする、消去する
- ｉモード問合せ
- 新しいメール、メッセージR/Fの受信
- 電源を切る

インスピレーションウィンドウの表示について

FOMA端末を折りたたんでいるときは、インスピレーションウィンドウに以下のように表示されます。受信完了の表示のときにFOMA端末を開くと、メッセージ受信画面が表示されます。

メッセージ受信中

受信完了

メッセージR/Fの着信音鳴動時間＋約10秒経過

操作せずに自動的にメッセージ受信画面が消えたときに表示されます。

通話中や操作中にメッセージR/Fを受信したときは

通話中や操作中の画面にアイコンが表示されます。

受信中点滅

受信完了時表示

- **R、F は待受画面に戻るか、メッセージR/Fの一覧を表示すると消えます。待受画面に戻ったときは画面の上に R、F が表示されます。**

おしらせ

- **メッセージR/F着信音が鳴っている間は ◯（ﾘｱﾎﾞﾀﾝ）が点滅します。**
- **PIMロック中、オールロック中はメッセージR/Fを受信しますが、メッセージ受信中画面、メッセージ受信画面は表示されません。**

新着のメッセージR/Fを表示する

例 メッセージRを表示するとき

1 メッセージ受信画面で「メッセージR」を選び ◉（選択）を押す

メッセージR一覧が表示されます。

- メッセージFを表示するときは「メッセージF」を選びます。

未読のメッセージRには R が表示されます。

2 メッセージRを選び ◉（詳細）を押す

メッセージRの内容が表示されます。

- 複数のメッセージRがあるときは、◎で前後のメッセージRを表示できます。
- 添付メロディや貼付メロディがあると自動的に再生されます。
  自動再生しない設定もできます。[☛P195]
- 添付画像があると1つめの画像が本文の最後に表示されます（メッセージR/Fの種類によっては、表示されないことがあります）。

iモード編 メッセージサービス

おしらせ

- メッセージR/F内の電話番号・メールアドレス・URLから、電話の発信・メールの送信・インターネットホームページの表示が行えます。[☛P46]
- メッセージR/F表示中にサブメニューから以下の操作を行えます。
  - 電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する [☛P47]
  - メロディをFOMA端末に保存する [☛P147]
  - ｉアニメや画像をFOMA端末に保存する [☛P42]

お買い上げ時 メッセージR優先

メッセージR/Fを自動的に表示する

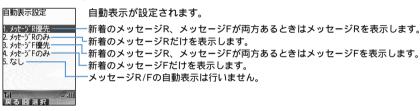
メッセージR/Fを受信後、待受画面に戻るときに、新着のメッセージR/Fの内容を自動的に表示できます。

1 待受中に、ｉモードメニュー「ｉモード設定」▶「自動表示設定」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「ｉモード設定」▶「自動表示設定」を選択しても表示できます。

2 項目を選び ◎（選択）を押す

自動表示が設定されます。

新着のメッセージR、メッセージFが両方あるときはメッセージRを表示します。
新着のメッセージRだけを表示します。
新着のメッセージR、メッセージFが両方あるときはメッセージFを表示します。
新着のメッセージFだけを表示します。
メッセージR/Fの自動表示は行いません。

自動表示に設定すると

メッセージR/Fを受信後、メッセージ受信画面で ◯（戻る）を押すか、何も操作せずに一定時間経過して待受画面に戻るときに、設定に従って新着のメッセージR/Fの最新の１件が表示されます。

- メッセージR/Fが自動表示されたあと、何も操作せずに約15秒経過すると自動的に待受画面に戻ります。このときメッセージR/Fは未読扱いのままです。
- メッセージR/F表示中に ◯（戻る）または [クリア] を押すと待受画面に戻ります。メッセージR/Fは既読扱いになります。未読のまま早く待受画面に戻したいときは [PWR] を押すか、◯（戻る）を1秒以上押します。
- メッセージR/F表示中に次の操作を行うとメッセージR/Fは既読扱いになります。この場合、メッセージR/Fが表示されてから約15秒経過しても待受画面に戻りません。
  - ◎ や [ZOOM] で表示範囲を移動する
  - [✉]、[0] ～ [9]、[＊]、[＃] を押す
  - Phone to（AV Phone to）、Mail to、Web toなどを利用する
- 自動表示中のメッセージ表示画面からはサブメニューは表示できません。
- ◎ で他のメッセージR/Fを表示することはできません。
- メッセージR/Fの添付メロディ、貼付メロディは自動再生されません。

おしらせ

- 他の機能を実行中にメッセージR/Fを受信したときは自動表示されません。
- PIMロック中、オールロック中はメッセージR/Fは自動表示されません。

受信したメッセージR/Fを見る

メッセージBOXに保存されているメッセージR/Fを表示します。
• 最大保存件数 [☛P13]

例 メッセージRを表示するとき

1 待受中に、ｉモードメニュー「メッセージR」を選択する

メッセージR一覧が表示されます。
- メッセージFを表示するときは「メッセージF」を選びます。

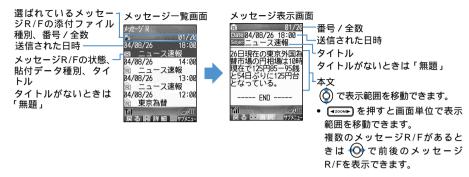
2 メッセージRを選び ◎（詳細）を押す

メッセージRの内容が表示されます。
- 複数のメッセージRがあるときは、◎で前後のメッセージRを表示できます。
- 添付メロディや貼付メロディがあると自動的に再生されます。
  自動再生しない設定もできます。[☛P195]
- 添付画像があると1つめの画像が本文の最後に表示されます（メッセージR/Fの種類によっては表示されないことがあります）。

メッセージR/Fの保存について

- すでに最大件数まで保存されているときに新しいメッセージR/Fを受信すると、最も古い既読メッセージR/Fから上書きされます。残しておきたい既読のメッセージR/Fは保護してください。未読のメッセージR/Fと保護されているメッセージR/F、および表示中のメッセージR/Fには上書きされません。
- 未読メッセージと保護されているメッセージR/Fの合計が最大件数に達し、新しいメッセージR/Fを受信できなくなるとメッセージR/Fアイコンの表示でお知らせします。[☛P11] 未読のメッセージR/Fを読むか、不要なメッセージR/Fの保護を解除するか、削除するかしてください。

■画面の見かた

メッセージR、FどちらのメッセージBOXも見かたは同じです。

■アイコンの意味

メッセージR／Fの状態	：未読メッセージR/F　：既読メッセージR/F ：保護されているメッセージR/F
添付ファイル種別	：メロディ　：画像　：壊れているメロディ　：壊れている画像
貼付データ種別	：メロディ　：不正メロディ

■添付画像、添付メロディがあるとき

本文の下にアイコンとファイル名、データサイズが表示されます。また、1つめの画像はファイル名の下に自動的に表示される場合があります。

：画像　：メロディ　：壊れている画像　：壊れているメロディ

- 画像を表示・保存できます。操作方法は受信メールの添付画像と同じです。 [☛P145]
- メロディを再生・保存できます。操作方法は受信メールの添付メロディと同じです。[☛P146]

■本文に画像が挿入されているとき

本文中に画像が表示されます。画像を保存できます。操作方法はデコメールの画像と同じです。[☛P145]

- 画像を受信できなかったときはアイコンが表示されます。[☛P27]
- 画像を受信できなかったときは、再読込みできます。[☛P106]

■本文にメロディが貼り付けられているとき（貼付メロディ）

Subjectの下に貼付メロディのアイコンとタイトルが表示されます（タイトルがないときは「無題」）。メロディを再生・保存できます。[☛P146]

■メッセージ一覧の二行表示と一行表示を切り替えるには

①サブメニュー「2.一行表示」を選択する

- 二行表示に戻すにはサブメニュー「2.二行表示」を選択します。

メッセージR/Fの画像を再度読み込む

メッセージR/Fの本文中に正常に受信できなかった画像があるときには、画像を再度受信できます。

- 自動表示中のメッセージR/Fでは画像の再読込みは行えません。表示中のメッセージR/Fを閉じてから操作してください。
- 画像表示設定を「OFF」に設定しているときは、再読込みを行っても画像は表示されません。
- 圏外では再読込みは行えません。
- 受信時と異なるFOMAカードを挿入しているときは、再読込みは行えません。

1 再読込みするメッセージを表示し、サブメニュー「1.再読み込み」を選択する

画像が受信できなかったことを示します。

ｉモードセンターに接続され、画像が受信されます。

- 未受信の画像がないときは、「1.再読み込み」は選択できません。
- メッセージR/Fに画像がないときや画像が受信可能なサイズを超えているときは、再読込みを行っても画像は表示されません。

メッセージR/Fを保護する

- 最大保護件数 [☛P13]
- 未読のメッセージR/Fは保護できません。
- 自動表示中のメッセージR/Fは保護できません。表示中のメッセージR/Fを閉じてから操作してください。

1 メッセージR/F一覧からメッセージR/Fを選び、サブメニュー「3.保護」を選択する

メッセージR/Fが保護され、アイコンが🔒付きに変わります。

- メッセージR/F表示画面からも行えます。
- 解除するには、保護されているメッセージR/Fを選び、サブメニュー「3.保護解除」を選択します。

メッセージR/Fを削除する

- **自動表示中のメッセージR/Fは削除できません。表示中のメッセージR/Fを閉じてから操作してください。**
- **保護されているメッセージR/Fは削除できません。保護を解除してから削除してください。**

1 メッセージR/F一覧からメッセージR/Fを選び、サブメニュー「4.一件削除」を選択する

- クリアを1秒以上押しても削除できます。
- メッセージR/F表示画面からも行えます。

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

メッセージR/Fが削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

■複数のメッセージR/Fを選択して削除するには

①メッセージR/F一覧で、サブメニュー「5.選択削除」を選択する

②メッセージR/Fを選び ◉（選択）を押す

- 複数のメッセージR/Fを選択できます（30件まで）。
- 選択を解除するには、選択済みのメッセージR/Fを選び ◉（解除）を押します。

③ ○（決定）を押す

④「はい」を選び ◉（選択）を押す

メッセージR/Fが削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

■全件削除するには

①メッセージR/F一覧で、サブメニュー「6.全件削除」を選択する

②条件を選び ◉（選択）を押す

- 保護されていない全既読メッセージR/Fを削除するときは「1.既読のみ削除」を選びます。
- 保護されていない全既読メッセージR/Fと未読メッセージR/Fを削除するときは「2.保護以外削除」を選びます。
- 操作を中止するときは「3.削除しない」を選びます。

③端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

メッセージR/Fが削除されます。

メール編

FOMA端末のメール機能について

FOMA端末では、ｉモードメールとショートメッセージ（SMS）の2種類のメール機能が利用できます。

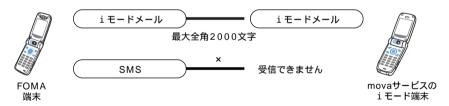
- **ｉモードメールを利用するには、ｉモードのご契約が必要です。**
- **ショートメッセージ（SMS）は、ｉモードの契約なしでもご利用いただけます。**

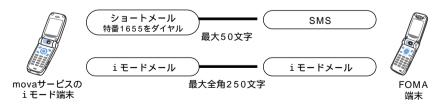
メール機能の送受信について

FOMA端末 ▶ FOMA端末

ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）のどちらも使用できます。

FOMA端末 ▶ movaサービスのｉモード端末

FOMA端末からmovaサービスのｉモード端末へのメッセージ送信にはｉモードメールを使用します。

movaサービスのｉモード端末 ▶ FOMA端末

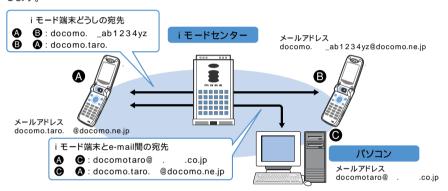
movaサービスのｉモード端末からのｉモードメールとショートメールが受信できます。ショートメールはショートメッセージ（SMS）として受信します。

※「ショートメール」とは、ドコモの携帯電話間で文字メッセージをやり取りするサービスです。
※FOMA端末からショートメールは送信できません。特番1655をダイヤルしても送信できません。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。

ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合
@マークより前がランダムな英数字の組合せになっていますので、ｉモードご契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
（例）abc1234～789xyz@docomo.ne.jp
■ お客様のメールアドレスの確認方法（詳しくは［☛P153］）
ｉMenu「8オプション設定」▶「1メール設定」▶「アドレス確認」

- ｉモード端末（mova含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。

・メールの送信方法［☛P118］　・メールの受信方法［☛P135］

■ メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除することができます。［☛P138］

■ メールアドレス変更

例えば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。［☛P151］

■ シークレットコード登録

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。［☛P152］

■ メールアドレスリセット

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。［☛P153］

■ メールアドレス確認

現在設定されているメールアドレスを確認できます。［☛P153］

■ メール受信／拒否設定

以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。

① ドメイン指定受信

au・ボーダフォン・TU-KA・DDIポケットのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。また上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。[☛P154]

※NTTドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメール・M-stageビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

② アドレス指定受信／拒否

受信するすべてのメールのうち指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。[☛P156]

③ ｉモードメールのみ受信／拒否

ｉモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。[☛P158]

④ ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限

１日に１台のｉモード端末（mova含む）から送信される200通め以降のｉモードメールを拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。[☛P159]

⑤ 未承諾広告※メール拒否

受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール表題部の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信／拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。（送信者はメール表題部の最前列に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務付けられています。）[☛P160]

※「ドメイン指定受信」、「アドレス指定受信」、「アドレス指定拒否」、「ｉモードメールのみ受信」、「ｉモードメールのみ拒否」は同時に設定することはできません。

■ メール設定状況確認

現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。[☛P160]

■ メールサイズ制限

あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限することができます。[☛P161]

■ メール機能を停止する

メール機能を利用しない場合、ｉモードセンターでのメール機能を停止できます。[☛P162]

送受信できる文字数

ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題名	15文字	30文字
メールアドレス	―	50文字
本文	5000文字	10000文字

- **ｉモードメールの本文は全角5000文字（10000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。**
- **本文が受信可能な文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分の文字が自動的に削除されます。**
- **movaサービスのｉモード端末へｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角2000文字までです。また、ｉショット以外の添付ファイルを送信した場合は、添付ファイルは削除されます。**
- **題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた分の文字は削除されます。**
- **ｉモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。正しく表示されない場合があります。**

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合やｉモード圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信設定「ON」時は、メールはｉモードセンターに保管されます。
ｉモードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大3回まで再送します。その他設定により、ｉモードセンターでｉモードメールを選んで受信することができます。

- **ｉモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。**

	最大保管件数	最大保管期間
ｉモードメール	207～1000件（約2Mバイトまで）	720時間

- **保管期間を過ぎたメールは自動的に削除されます。**
- **最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、ｉモードセンターではメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときお客様のｉモード端末にはやが表示されます。[☛P11]**
  なお、メール選択受信設定「ON」時は、保管件数を超えてもやは表示されません。
- **ｉモードセンターに保管されているメールは、ｉモード問合せ［☛P140］やメール選択受信［☛P138］により受信できます。また新しいメールが届いたときは、保管されているほかのメール、メッセージR/Fも合わせて受信できます。**
- **ｉモード端末でメールを受信するとｉモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはｉモード端末に保存されます。[☛P175]**
- **極端に容量の大きいメールはｉモードセンターで受け付けないことがあります。**

こんなこともできます

■ファイル添付メール

●メロディ添付メール

サイト、インターネットホームページ、または“メモリースティック Duo”から取得したメロディファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているメロディファイルは送信できません。）

・送信するには［☛P131］　・受信したときは［☛P146］

●画像添付メール

サイト、インターネットホームページ、または“メモリースティック Duo”から取得した静止画ファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。ｉショット以外の添付ファイルをmova端末へ送信した場合は、添付ファイルは削除されます。）

・送信するには［☛P131］　・受信したときは［☛P145］

■ｉショット送受信

自端末で撮影した静止画ファイルを添付ファイルとしてｉモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話へ送受信できます。ただし、10000バイトより大きく100Kバイト以下の画像をFOMA端末へ送信した場合、またmova端末へ送信した場合は、添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを選択することで画像を取得できます。

10000バイトより大きく100Kバイト以下の画像を送信する場合は、送信先アドレスの@マークの後に「p.」を付与してください。

（例）　10000バイト以下の静止画像を添付する場合の送信先アドレス
　　docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
　　10000バイトより大きい静止画像を添付する場合の送信先アドレス
　　docomo.taro.ΔΔ@p.docomo.ne.jp

mova端末へ送れるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

・送信するには［☛P131］　・受信したときは［☛P145］

■デコメール（デコレーションメール）

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります。（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります。）

・デコメール編集方法［☛P123］　・対応機種：90Xiシリーズ

■メール同報送信

同じｉモードメールを、一度に5件までの宛先に送信できます。［☛P121］

●通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。）

■CC、BCC送受信

パソコンと同じように、ｉモードメール編集時に宛先をTO、CC、BCCから選択できます。ただし、TOが1件もない場合は、メールを送信できません。［☛P119］

迷惑メールを防ぐために

メールアドレス変更［☛P151］、ドメイン指定受信・拒否［☛P154］、メールアドレス指定受信・拒否［☛P156］等の利用は、迷惑メールを防ぐのに効果的です。

ｉモーションメールについて

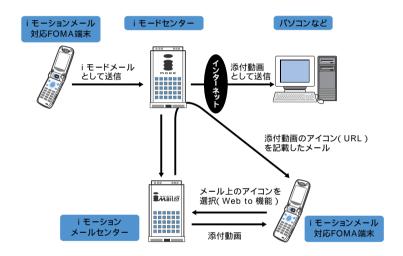
ｉモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画をｉモーションメールとして送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません）。

- **ｉモーションメールを送信するには［☛P131］**
- **ｉモーションメールを受信したときは［☛P148］**

■サービスのしくみ

ｉモーションメールに添付された動画ファイルはｉモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます。（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます。）

ｉモーションメール対応端末での受信時は、メール内に「 動画あり」と表記され、受信者は表示されているアイコンを選択して動画を取り込むことができます。

ｉモーションメール非対応端末へ送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URLのついたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選択して連続静止画を取り込みます。

● ｉモーションメールセンターでのｉモーションの最大保管件数、最大保管期間は次のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
ｉモーション	15件	10日間

● 最大保管期間を過ぎたｉモーションは自動的に削除されます。
● 最大保管件数を超えた場合は、ｉモーションメールセンターでは新しいｉモーションメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。
● ｉモード端末でｉモーションを取り込むと、ｉモーションメールセンターに保管されていたｉモーションは削除されます。
● ｉモーションメールをパソコンなどに送信すると添付ファイルとして届きます。

ショートメッセージ（SMS）について

FOMA端末間で文字メッセージをやり取りできます。
- **送信方法 [☛P164]　•受信方法 [☛P167]**
- **海外とはショートメッセージ（SMS）を送受信できません。**

ショートメッセージ（SMS）の宛先

ショートメッセージ（SMS）の宛先は「ご契約の電話番号」です。

送受信できる文字数

項　目	最大文字数
宛先	20文字（数字のみ）
本文	全角・半角にかかわらず70文字 ただし、半角の英数字記号（| ^ { } [ ] ~ を除く）のみの場合は半角160文字 (注)

（注）半角記号（| ^ { } [ ] ~ ）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。
- ショートメッセージ（SMS）では題名は送信できません。
- 本文に半角カタカナ、絵文字を使用すると、受信側で正しく表示されない場合があります。

ショートメッセージ（SMS）を受信できないときは

お客様のFOMA端末に送られてきたショートメッセージ（SMS）は、ショートメッセージセンターで受信し、すぐにお客様のFOMA端末に送信します。
ただしお客様のFOMA端末が電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、ショートメッセージ（SMS）はショートメッセージセンターに保管されます。
- ショートメッセージセンターでのショートメッセージ（SMS）の最大保管期間は72時間です。送信者が保管期間を指定することもできます。[☛P170、172]
- 保管期間を過ぎたショートメッセージ（SMS）は自動的に削除されます。
- ショートメッセージセンターに保管されているショートメッセージ（SMS）は、SMS問合せにより受信できます。[☛P168]
- FOMA端末でショートメッセージ（SMS）を受信すると、ショートメッセージセンターに保管されていたショートメッセージ（SMS）は削除されます。受信したショートメッセージ（SMS）はFOMA端末に保存されます。[☛P167]

こんなこともできます

■送達通知
送信したショートメッセージ（SMS）が相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取ることができます。[☛P165、170]

■FOMAカードへの保存
受信したショートメッセージ（SMS）や送信したショートメッセージ（SMS）をFOMAカードに保存できます。[☛P173]

メールメニューを表示する

ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）の作成、受信メールや送信メールの表示などは、メールメニューから実行します。

1 待受中に、メニュー「メール」を選択する

メールメニューが表示されます。
- 待受中に ✉ を押しても表示できます。

メニュー項目	説　明		参照先
ｉモード問合せ	ｉモードセンターに新しいメールやメッセージR/Fがあるかどうかを問い合わせます。		P140
SMS問合せ	ショートメッセージセンターに新しいショートメッセージ（SMS）があるかどうかを問い合わせます。		P168
受信メールBOX	受信メールを表示します。		P175
送信メールBOX	送信メール（送信済みメールや送信せずに保存したメール）を表示します。		
新規メール作成	ｉモードメールを新規に作成して送信します。		P118
SMS作成	ショートメッセージ（SMS）を新規に作成して送信します。		P164
メール設定	メール振分設定	受信メール、送信メールをフォルダに振り分ける条件を設定します。	P187
	署名設定	送信メールに自動的に署名を付けるかどうかを設定します。	P191
	署名編集	送信メールに付ける署名を登録します。	
	ｉモード問合せ設定	ｉモード問合せの問合せ内容を設定します。	P192
	メール選択受信設定	メール選択受信を行うかどうかを設定します。	P192
	メールグループ設定	メールの宛先をグループ化して登録します。	P193
	添付ファイル受信設定	メールの添付ファイルを受信するかどうかを設定します。	P195
	添付ファイル自動再生	メール、メッセージR/Fの添付メロディ、貼付メロディを自動再生するかどうかを設定します。	P195
	メール設定確認	現在のメール機能の設定内容を表示します。	P196
SMS設定	メッセージ送達通知設定	ショートメッセージ（SMS）の送信時に、メッセージ送達通知を要求するかどうかを設定します。	P170
	メッセージ有効期間設定	ショートメッセージ（SMS）の有効期間を設定します。	P170
	SMSセンター設定	ショートメッセージ（SMS）の接続先のアドレスおよび「Type Of Number」を設定します。	P171
	SMS設定確認	現在のSMS設定内容を表示します。	P171
メール選択受信	ｉモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、メールを受信するか削除するかを選択します。		P138

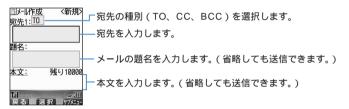
iモードメールを作成して送信する

iモード端末にiモードメールを送信できます。インターネットを経由して、e-mailの相手にもiモードメールを送信できます。movaサービスのiモード端末へiモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角2000文字までです。

- **送信メールBOXがいっぱい（未送信メールと保護メールだけで最大件数またはメモリに空きがない）のときはiモードメールを作成できません。**
- **iモード端末以外に送信するときは、題名や本文に半角カタカナ、絵文字、「①」「㈱」などの一部の全角記号を使用すると、受信側で正しく表示されないことがあります。**
- **ダイヤル発信制限中はメールを送信できません。ただし宛先が電話帳に登録されていれば送信できます。**

1 待受中に、メールメニュー「新規メール作成」を選択する

iモードメール作成画面が表示されます。

- 待受中に(✉)を1秒以上押しても表示できます。
- 待受中にメニュー「メール」を選び、◉（選択）を1秒以上押しても表示できます。

2 宛先を入力する

■直接入力するには

- ダイヤル発信制限中は直接入力はできません。

①宛先欄を選び◉（選択）を押す

②宛先を入力する

- 半角の英字、数字、記号（「@」や「.」）を50文字まで入力できます。
  - ・iモード端末に送るときは、相手のメールアドレスの「@docomo.ne.jp」を省略できます。（iモード端末以外に送るときは省略できません。）
  - ・相手がシークレットコードを登録しているときは、相手の電話番号に続けて相手のシークレットコード（4桁）を入力します。
- 英字モードで(1)を繰り返し押すと「@」や「.」を入力できます。
- 英字モードで(＊)を繰り返し押すと「.ne.jp」「.co.jp」などを入力できます。

■電話帳から検索するには

①宛先欄を選び、サブメニュー「04.アドレス帳」または「05.シークレットデータ」を選択する

- 宛先欄を選んで◉（選択）を押し、文字がない状態で◎を押しても検索できます。

■宛先欄を追加するには [☛P121]

①サブメニュー「07.宛先追加」を選択する

- 最大5人に一度に送信できます。

■メールグループから入力するには [☛P122]

①サブメニュー「06.メールグループ」を選択する

■宛先のTOをCCまたはBCCに変更するには

宛先ごとにTOをCCやBCCに変更できます。（TOの宛先が1件もないと送信できません。）

- TO　：通常の宛先です。宛先は受信側に表示されます。(注)
- CC　：直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたいときに指定します。宛先は受信側に表示されます。(注)
- BCC：他の送信相手に知られたくないときに指定します。宛先は受信側に表示されません。

（注）受信側の機種によっては表示されない場合があります。

①宛先の種別欄を選び ◎（選択）を押す

②「CC」または「BCC」を選び ◎（選択）を押す

3 題名を入力する

①題名欄を選び ◎（選択）を押す

②題名を入力する

- 全角15文字（半角30文字）まで入力できます。

4 本文を入力する

①「本文：」を選び ◎（選択）を押す

本文編集画面が表示されます。

②文字を入力する

文字を入力すると文字入力画面が表示されます。文字を確定すると本文編集画面に戻ります。

③ ◎（確定）を押す

ｉモードメール作成画面に戻ります。

- デコメールが作成できます。[☛P123]
- 本文編集画面でも、文字入力画面と同様にカーソル移動、文字の挿入、文字の削除、入力モード切替え、改行ができます（ZOOMによるコピー、貼付はできません）。✉での絵文字顔文字入力もできます。またサブメニューから選択して以下の操作も行えます。操作方法は、文字入力画面で ◯（特殊）を押し、特殊モードの画面から選択した場合と同じです。

・定型文　・記号　・絵文字　・切り取り、コピー、貼付

■署名を入力するには

本文の最後に署名を入力できます。署名はあらかじめ登録しておく必要があります。[☛P191]

①本文編集画面でサブメニュー「03.署名貼付」を選択する

- メール作成画面でサブメニュー「03.署名貼付」を選択しても行えます。（この場合、本文の末尾に装飾があっても、署名は装飾されません。）

5 サブメニュー「01.送信」を選択する

ｉモードメールが送信されます。

- 送信済みのｉモードメールは送信メールBOXに保存されます。

おしらせ

- **作成中のｉモードメールを送信メールBOXに保存しておき、あとで送信できます。[☛P130]**
- **送信に失敗したｉモードメールは、送信メールBOXに保存され、再送信できます。[☛P130]**
- **電波状態により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。**

電話帳から宛先を検索する

- シークレットメモリ登録していても、送信済みメールにはメールアドレスが残ります。他人に知られたくないときは送信済みメールを削除してください。[☛P185]
- 電話帳を検索してから i モードメール作成を開始する方法もあります。[☛P133]

1 i モードメール作成画面で宛先欄を選び、サブメニュー「04.アドレス帳」を選択する

- 宛先欄を選んで ◉（選択）を押し、文字が入力されていない状態で ◎ を押しても検索できます。

■シークレットメモリ登録した相手を検索するには

①サブメニュー「05.シークレットデータ」を選択する

②端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

2 メールアドレスを検索する

① ◯（モード）を押して検索方法を切り替える

以下の順に切り替わります。2回め以降は前回使用した検索方法が最初に表示されます。

（注）シークレット検索時は行えません。

②検索条件を設定する

- フリガナ検索の場合、フリガナ（先頭から数文字）を入力します。
- 行検索の場合、行を選びます。
- メモリ番号検索の場合、メモリ番号を入力します。◎ でもメモリ番号を増減できます。
- アドレス検索の場合、メールアドレスの一部を入力します。
  その文字を含むメールアドレスを検索できます。
- グループ検索、FOMAカードグループ検索の場合、グループを選びます。
- フリガナ、メモリ番号、メールアドレスは入力しなくても検索できます。

③ ◉（検索）を押す

- フリガナ検索、アドレス検索の場合は、◎ を押しても検索できます。

3 宛先を選び ◉（選択）を押す

電話帳のメールアドレス1～3のどれに登録されているかを示します。

選択したメールアドレスが宛先欄に入力されます。

- 相手がシークレットコードを設定しているときは、電話帳に相手のシークレットコードを登録しておくと、送信時に自動的にメールアドレスに追加されます。シークレットコードは宛先欄には表示されません。

宛先を追加する

同じメールを最大5件の宛先に送ることができます。

1 ｉモードメール作成画面で、サブメニュー「07.宛先追加」を選択する

- 宛先欄がすでに5個まで追加されているときは「07.宛先追加」は選択できません。
- 追加した宛先のTOはCC、BCCに変更できます。[☛P119]

2 追加した宛先欄を選び、宛先を入力する

- 宛先の入力方法 [☛P118]
- 追加した宛先欄は削除できません。誤って追加した場合は、何も入力せずに送信してください。

おしらせ

- **複数の宛先に送信しても、送信メールBOXに保存されるメールは1件です。宛先ごとの送信結果は、保存された送信メール表示画面の宛先種別で確認できます。****[☛P177]**
- **同じ宛先を複数設定しても、その宛先には1件しか送信されません。**

メールグループから宛先を入力する

メールグループを選択するだけで、複数のメールアドレスをまとめて宛先に設定できます。

- **あらかじめメールグループに宛先を登録しておく必要があります。****[☛P193]**

1 ｉモードメール作成画面で、サブメニュー「06.メールグループ」を選択する

メールグループ一覧が表示されます。

- 宛先欄を追加しておく必要はありません。
- 一度に設定できる宛先は5件までです。すでに5件入力されているときは「06.メールグループ」は選択できません。
- メールグループにシークレットメモリ登録した電話帳が含まれているときは端末暗証番号を入力し◉（選択）を押します。

2 メールグループを選び◉（選択）を押す

宛先が入力されます。

- すでに入力されている宛先と、メールグループに登録されている宛先の合計が5件を超えるときは、メールグループから宛先を入力できません。
- 入力した宛先のTOをCC、BCCに変更できます。[☛P119]

■メールグループの宛先を確認するには

①メールグループを選び◯（表示）を押す

②内容を確認し、◉（OK）を押す

おしらせ

- **複数の宛先に送信しても、送信メールBOXに保存されるメールは1件です。宛先ごとの送信結果は、保存された送信メール表示画面の宛先種別で確認できます。****[☛P177]**
- **同じ宛先を複数設定しても、その宛先には1件しか送信されません。**

デコメールを作成する

ｉモードメールの本文を装飾して送信できます（題名は装飾できません）。

- **デコメールの作成・編集はｉモードメール作成画面の本文編集画面から行います。宛先、題名の入力方法や送信方法は通常のｉモードメールと同じです。**
- **デコメールは送信する前にプレビューできます。****[☛P129]**
- **装飾を行うと入力した本文に装飾情報が付加されます。本文と装飾情報を合わせて半角10000文字分（10000バイト）まで送信できます。画像を添付するとその分文字数が減ります。文字数がオーバーしているときは文字の追加や装飾の追加などはできません。**
- **デコメール非対応端末にデコメールを送信した場合、装飾が削除された状態で受信されます。また、画像挿入した画像は、FOMA端末では添付ファイルとして受信され、movaサービスのｉモード端末ではｉショットメールとして受信されるか、挿入した画像が削除された状態で受信されます。**
- **デコメールをパソコンなどで表示した場合、FOMA端末での表示と異なる場合があります。**

・次の装飾が行えます。

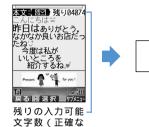
文字色：20色から選択できます。
文字サイズ：大（30ドット）、標準（24ドット）、小（16ドット）から選択できます。
点滅表示：文字を点滅させます。
テロップ表示：文字を右から左に流せます。
スウィング表示：文字を左右に往復させます。（文字列の長さが画面幅と同じときはスウィング表示されません。）
文字位置：右寄せ、センタリング、左寄せから選択できます。
線の挿入：線を引けます。
画像の挿入：FOMA端末で撮影した静止画像などを挿入できます。アニメーションも挿入できます。
背景色：19色から選択できます。

※点滅、テロップ表示、スウィング表示、アニメーションの動作は、表示後一定時間がたつと自動的に停止します。

①ｉモードメール作成画面を表示

・宛先、題名を入力します。

②本文編集画面で文字を入力し装飾

残りの入力可能文字数（概算）

③送信前に装飾を確認

残りの入力可能文字数（正確な文字数）

本文編集画面から、サブメニュー「10.プレビュー」を選択すると編集中の内容を確認できます。[☛P129]

残りの入力可能文字数（正確な文字数）

1 ｉモードメール作成画面を表示し、宛先、題名を入力する

- 操作方法：「ｉモードメールを作成して送信する」操作1～3 [☛P118]

2 「本文：」を選び ◉（選択）を押す

本文編集画面が表示されます。

3 本文を入力・編集する

- 操作方法は以下をご覧ください。
  - ・文字を装飾して入力する [☛P125]
  - ・入力済みの文字を装飾する [☛P127]
  - ・線を挿入する [☛P128]
  - ・画像を挿入する [☛P128]
  - ・背景色を変更する [☛P129]

4 ◉（確定）を押す

iモードメール作成画面に戻ります。

5 サブメニュー「01.送信」を選択する

デコメールが送信されます。

- 送信したデコメールは送信メールBOXに保存されます。

文字を装飾して入力する

1 本文編集画面でサブメニュー「01.デコレーション」を選択する

デコレーション画面が表示されます。

2 装飾を選択して文字を入力する

文字には以下の装飾が行えます。

• 文字色　• 文字サイズ　• 点滅　• テロップ　• スウィング　• 文字位置

■文字色を変更するには

• 文字色は20種類から選択できます。絵文字の色も変わります。

①「01.文字色」を選び ◎（選択）を押す

②色を選び ◎（選択）を押す

• 「指定なし」を選択すると黒になります。絵文字の場合は、通常の絵文字色になります。

③文字を入力し ◎（確定）を押す

入力した文字が設定した色で表示されます。

入力位置に設定されている文字色が表示されます。

■文字サイズを変更するには

①「02.文字サイズ」を選び ◎（選択）を押す

②文字サイズを選び ◎（選択）を押す

③文字を入力し ◎（確定）を押す

入力した文字が設定したサイズで表示されます。

入力位置に設定されている文字サイズ（L：大 M：標準 S：小）が表示されます。別のサイズにするときは、文字サイズを変更します。

■文字を点滅させるには

①「03.点滅」を選び ◎（選択）を押す

②「1.開始」を選び ◎（選択）を押す

③文字を入力し◎（確定）を押す

入力した文字が反転表示（点滅の設定を示す）されます。

入力位置に点滅が設定されているときに表示されます。点滅なしで入力するときは、再度点滅の設定を行い、操作②で「2.終了」を選択します。

■文字をテロップ表示させるには

①「04.テロップ」を選び◎（選択）を押す

②「1.開始」を選び◎（選択）を押す

- 行の途中にカーソルがあるときは改行されます。

③文字を入力し◎（確定）を押す

- テロップの設定範囲内に、スウィングまたは文字位置を設定すると、自動的に改行されます。

と で囲まれた文字がテロップ表示されます。この間にテロップなしで入力するには、再度テロップの設定を行い、操作②で「2.終了」を選択します。

■文字をスウィング表示させるには

①「05.スウィング」を選び◎（選択）を押す

②「1.開始」を選び◎（選択）を押す

- 行の途中にカーソルがあるときは改行されます。

③文字を入力し◎（確定）を押す

- スウィングの設定範囲内に、テロップまたは文字位置を設定すると、スウィングの設定は終了し、自動的に改行されます。

と の間の文字がスウィング表示されます。この間にスウィングなしで入力するには、再度スウィングの設定を行い、操作②で「2.終了」を選択します。

■文字の位置を変更するには

①「06.文字位置」を選び◎（選択）を押す

- 行の途中にカーソルがあるときは改行されます。

②文字位置を選び◎（選択）を押す

③文字を入力し◎（確定）を押す

入力した文字が指定した位置に表示されます。

- 文字位置の設定は、テロップまたはスウィングを設定すると解除され、自動的に改行されます。
- 位置を設定した文字の間や直後に文字を入力すると設定した位置に表示されます。別の位置にするときは文字位置を変更してください。

入力済みの文字を装飾する

文字の範囲を指定して、文字色、文字サイズ、点滅、テロップ表示、スウィング表示、文字位置を設定、変更できます。

- この操作では線の挿入、画像の挿入、背景色の変更はできません。

1 本文編集画面でサブメニュー「01.デコレーション」を選択する

デコレーション画面が表示されます。

2 「10.デコレーション変更」を選び ◉（選択）を押す

3 ◎で開始位置を選び ◉（選択）を押す

■全範囲を選択するには

①○（全選択）を押す

サブメニューが表示されます。

- 操作5に進みます。

4 ◎で終了位置を選び ◉（選択）を押す

サブメニューが表示されます。

5 変更後の設定を選択する

■文字色、文字サイズ、文字位置を設定、変更するには

①「1.文字色」、「2.文字サイズ」または「6.文字位置」を選択する

それぞれの選択画面が表示されます。

②文字の色、サイズまたは位置を選び ◉（選択）を押す

選択範囲の文字の色、サイズまたは位置が変更されます。

③ ◉（解除）を押す

選択範囲の設定が解除されます。

- ◎、クリアを押しても選択範囲の設定が解除されます。

■文字の点滅、テロップ表示、スウィング表示を設定、変更するには

①「3.点滅」、「4.テロップ」または「5.スウィング」を選択する

それぞれの設定画面が表示されます。

②「1.設定」または「2.解除」を選び ◉（選択）を押す

選択範囲の点滅、テロップ表示またはスウィング表示が設定または解除されます。

③ ◉（解除）を押す

選択範囲の設定が解除されます。

- ◎、クリアを押しても選択範囲の設定が解除されます。

線を挿入する

カーソルのある行に線を引きます。線の色は文字色と同じになります。
●文字の途中にカーソルがある場合は改行されます。

1 本文編集画面でサブメニュー「01.デコレーション」を選択する

デコレーション画面が表示されます。

2 「07.ライン挿入」を選び◉（選択）を押す

線が引かれます。

■**線を削除するには**

①**線が引かれている行にカーソルを移動し、クリアを押す**

- 線が引かれている行の前にある改行（↲）を削除しても線を削除できます。

画像を挿入する

カーソルの位置に、マルチメディアの「イメージ」に保存されている、JPEG形式やGIF形式の画像を挿入できます。アニメーションなどの動作のある画像の場合、動作は一定時間後に自動的に止まります。
- 画像は添付ファイル（10000バイト以下の画像、メロディ）と合わせて10件まで挿入できます（データ量によっては少なくなります）。ｉモードメール作成画面に戻るまでは、同じ画像を複数の場所に挿入しても1件に数えます。
- メールに添付できない画像は挿入できません。[☛P131]

1 本文編集画面でサブメニュー「01.デコレーション」を選択する

デコレーション画面が表示されます。

2 「08.画像挿入」を選び◉（選択）を押す

3 画像の種類を選び◉（選択）を押す

4 フォルダを選び◉（選択）を押す

5 画像を選び◉（選択）を押す

画像のアイコン（ ）が表示されます。

■**画像を削除するには**

①**画像が挿入されている行にカーソルを移動し、クリアを押す**

- 画像が挿入されている前の行にある改行（↲）を削除しても画像を削除できます。

背景色を変更する

背景色は19種類から設定できます。

1 本文編集画面でサブメニュー「01.デコレーション」を選択する

デコレーション画面が表示されます。

2 「09.背景色」を選び◉（選択）を押す

3 色を選び◉（選択）を押す

背景色が設定した色に変わります。
- 「指定なし」を選択すると白になります。

操作を取り消す

直前に行った操作を取り消せます。

1 本文編集画面でサブメニュー「01.デコレーション」を選択する

デコレーション画面が表示されます。

2 「11.元に戻す」を選び◉（選択）を押す

設定をすべて解除する

デコレーションの全設定を解除し、通常のｉモードメールに戻します。

1 本文編集画面でサブメニュー「01.デコレーション」を選択する

デコレーション画面が表示されます。

2 「12.全解除」を選び◉（選択）を押す

3 「はい」を選び◉（選択）を押す

デコレーション設定がすべて解除されます。
- 解除しないときは「いいえ」を選択します。

デコメールをプレビューする

1 本文編集画面で、サブメニュー「10.プレビュー」を選択する

2 ◉（OK）を押す

iモードメールを保存しておき、あとで送信する

iモードメールを送信せずに保存しておき、あとで送信できます。

- **保存件数について [☛P175]**

iモードメールを保存する

1 iモードメール作成画面で、サブメニュー「02.保存」を選択する

作成したiモードメールが、未送信メールとして送信メールBOXに保存されます。

- iモードメール作成画面で ◯（戻る）を押し、問合せ画面で「はい」を選び ◉（選択）を押しても保存できます。
  - ・内容を入力・編集していないときは問合せ画面は表示されません。
  - ・◯（戻る）を1秒以上押すと、iモードメールを保存せずにiモードメール作成が終了します。

保存したiモードメールを送信する

1 待受中に、メールメニュー「送信メールBOX」を選択する

送信メールBOXのフォルダ一覧が表示されます。

- メールセキュリティ設定中は端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押します。

2 送信メールを表示する

iモードメール
：未送信　：保護
：送信済み　：送信失敗

3 サブメニュー「01.編集」を選択する

iモードメール作成画面が表示されます。

- ✉ を押しても表示できます。
- 送信メール一覧から送信メールを選びサブメニュー「01.編集」を選択しても表示できます。
- 送信メールを編集せずにそのまま送信するときは、サブメニュー「02.送信」を選択します。

4 宛先、題名、本文を編集して送信する

- 操作方法：「iモードメールを作成して送信する」操作2～5 [☛P118]

おしらせ

- **未送信メールを送信すると、送信メールBOXから未送信メールは削除され、送信済みメールとして保存されます。**
- **送信済みメールを送信すると、元の送信済みメールに加えて、新たに送信済みメールが保存されます。**

画像やメロディ、動画／ｉモーションを添付して送信する

ｉモードメールに画像やメロディ、FOMA端末で撮影した動画などを添付して送信できます。

- **以下のファイルは添付できません。**
  - **お買い上げ時に登録されている画像、メロディ、動画／ｉモーション（デコメール用のシールは添付できます。）**
  - **メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル**
  - **品質モードが「超なめらか」「大画面」の動画／ｉモーション、再生制限がある動画／ｉモーション**
  - **Flash画像**
  - **フレーム、マーカースタンプ**
  - **シークレット設定されているフォルダ内に保存されているファイル**
  - **壊れているファイル**
- **“メモリースティック Duo”に保存されているファイルはこの操作では添付できません。FOMA端末にコピーしてください。ただし、画像サイズが640×480ドットを超える画像はFOMA端末にコピーできないため、メールには添付できません。**

1 ｉモードメール作成画面で、サブメニュー「08.添付ファイル追加」を選択する

- 添付欄とデコメールの挿入画像の合計が11個になっているときは「08.添付ファイル追加」は選択できません。

2 追加された添付欄を選び、◎（選択）を押す

■画像を添付するとき

①「1.イメージ」を選び ◎（選択）を押す

②種別を選び ◎（選択）を押す

- 「4.内蔵画像」を選択したときは操作3へ進みます。

③フォルダを選び ◎（選択）を押す

■メロディを添付するとき

①「2.メロディ」を選び ◎（選択）を押す

■動画／ｉモーションを添付するとき（ｉモーションメール）

①「3.ｉモーション」を選び ◎（選択）を押す

②種別を選び ◎（選択）を押す

③フォルダを選び ◎（選択）を押す

3 添付するファイルを選び、◎（選択）を押す

ｉモードメール作成画面に戻ります。添付欄に添付ファイル名が表示されます。

- 本文と添付ファイルの合計サイズが送信可能サイズを超えるときは添付できません。

ｉモードメール添付ファイルの条件について

添付可能な最大データサイズ、データ件数、送信可能な宛先は以下のとおりです。

項　目		画　像		動画／ｉモーション（ｉモーションメール）	メロディ
最大データサイズ		10000バイト※3	10001バイト〜100Kバイト	100Kバイト	10000バイト※3
添付可能件数		10※1	1※2	1※2	10※1
宛先	FOMA端末	○	×	○	○
	e-mail	○	○	○	○
添付できるファイルの条件		画像（JPEG、GIF）のみ可	画像（JPEG）のみ可	動画（MP4）のみ可	メロディ（SMF）のみ可

○：添付可　×：添付不可（添付ファイルはｉモードセンターで削除されます。）

※1：画像とメロディの合計件数は最大10件です（添付ファイル、本文、およびデコメールの挿入画像のデータ量によって添付可能件数は減少します）。

※2：動画／ｉモーションまたは10001バイト〜100Kバイトの画像どちらか1件

※3：画像、メロディ、本文の合計

- 本文（添付メロディ、画像を含む）の残りのデータ量が通常のｉモードメールでは全角100文字（半角200文字）未満、デコメールでは全角200文字（半角400文字）未満の場合、動画／ｉモーション、10001バイト〜100Kバイトの画像は添付できません。

おしらせ

- **FOMA端末で編集した画像の透過部分は、パソコンなどで表示すると白で表示されます。**
- **メロディを添付する場合、相手がD900i以外では正しく再生されないことがあります。**
- **動画／ｉモーションを添付して送信すると、動画／ｉモーションはｉモーションメールセンターに最大10日間保管されます。相手は受信メールからｉモーションメールセンターに接続して、動画／ｉモーションを取得できます。動画／ｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要になります。詳細はドコモのホームページをご参照ください。**
- **movaサービスのｉモード端末に画像を添付して送信すると、ｉショットメールとして送信されます。この場合送信できる本文の文字数は最大全角184文字（369バイト）です（受信側の受信文字数設定により送信できる本文の最大文字数は異なります）。複数の画像を添付した場合は、添付した画像は削除され、メール本文のみ送信されます。またmovaへは添付ファイルは送信できません。**

添付を解除する

1　ｉモードメール作成画面から添付ファイル欄を選び、サブメニュー「10．添付ファイル削除」を選択する

添付ファイルが取り消されます。

手早くｉモードメールを作成する

電話帳の検索結果や、リダイヤル、着信履歴から相手を選択してｉモードメールを作成・送信できます。相手のメールアドレスを電話帳に登録しているときはメールアドレスが、登録していないときは電話番号が宛先に設定されます。

- **PIMロック中は、電話帳やリダイヤル、着信履歴からメールを作成できません。**
- **電話番号を宛先に設定してｉモードメールを送信できるのは、相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときだけです。**
- **リダイヤル、着信履歴の場合、相手をシークレットメモリ登録しているときは、電話番号が宛先に設定されます。**

1 電話帳、リダイヤル、着信履歴などから相手を選び を押す

- 電話帳の検索方法 [☛基本P106]
- リダイヤルの表示方法 [☛基本P50]
- 着信履歴の表示方法 [☛基本P58]

2 「1.ｉモードメール」を選び （選択）を押す

- 「2.SMS」を選ぶと、ショートメッセージ（SMS）を作成できます。[☛P164]

■相手のメールアドレスが電話帳に1つだけ登録されている場合

メールアドレスが宛先1欄に入力されます。

■相手のメールアドレスが電話帳に複数登録されている場合

①送信先のメールアドレスを選び （選択）を押す

選択したメールアドレスが宛先1欄に入力されます。

■相手のメールアドレスが電話帳に登録されていない場合

電話番号が宛先1欄に入力されます。

- メモリ番号の下1桁または2桁を入力して を押した場合、相手の電話番号が電話帳に複数登録されていると宛先選択画面が表示されます。電話番号を選び （選択）を押します。

3 メールを作成して送信する

- 操作方法：「ｉモードメールを作成して送信する」操作2～5 [☛P118]

おしらせ

- **電話帳検索結果から相手を選び、サブメニュー「メール作成」を選択してもメールを作成できます。（サブメニューの番号は画面により異なります。）**
- **「186（＊31#）」「184（#31#）」が付いた電話番号をｉモードメールの宛先に設定すると送信できません。**

ダイヤルボタンで電話番号を入力して作成する

待受画面で入力した電話番号を、そのままメールの宛先に設定できます。
- 電話番号を宛先に設定してｉモードメールを送信できるのは、相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときだけです。

1 待受中に、相手の電話番号を入力し✉を押す

2 「1.ｉモードメール」を選び◉（選択）を押す

ｉモードメール作成画面が表示されます。入力した電話番号が宛先1欄に入力されます。
- 「2.SMS」を選ぶと、ショートメッセージ（SMS）を作成できます。

3 メールを作成して送信する

- 操作方法：「ｉモードメールを作成して送信する」操作2〜5 [☛P118]

ｉモードメールを受信したときは

ｉモードメールを受信すると着信音と画面表示でお知らせします。受信したメールは受信メールBOXに保存されます。新しいｉモードメールが届いたときは、ｉモードセンターで保管している他のｉモードメールも受信します。

- **受信メールの最大保存件数 [☛P175]**
- **メール選択受信設定 [☛P192] を「ON」に設定すると、メールを自動的に受信せずに、受信したいメールだけを選んで受信できます。[☛P138]**
- **メール選択受信設定を「OFF」に設定していても、FOMA端末が以下の状態のときに送られてきたメールは、ｉモードセンターに保管されます。保管されたメールを受信するには [☛P140]**
  - **・電源が入っていない　・圏外　・テレビ電話通話中　・赤外線通信中　・セルフモード中**
  - **・“メモリースティック Duo”処理中　・受信メールBOXに空きがない　・ソフトウェア更新中**

ｉモードメール受信中

- ◉（中止）を押すと受信を中止できます。
- 新着メールを受信するとメール着信音が鳴ります。
  - ・着信音を止めるにはダイヤルボタンまたはリアボタンを押します。（✉、☎、ZOOM、⊙(サイドC) を押しても止まります。）メッセージ受信画面は表示されたままになります。
  - ・着信音が鳴らない設定にしているときは鳴りません。
  - ・メールとメッセージR/Fを同時に受信したときはメール着信音だけが鳴ります。複数のメールを同時に受信したときは最後のメールの着信音だけが鳴ります。
  - ・メールの着信音や着信音が鳴る秒数を変更するには [☛基本P138]
  - ・電話帳のグループごとにメール着信音を変えるには [☛基本P101]

メッセージ受信画面

未読メールの有無やｉモードセンターの保管状況が表示されます。[☛P11]

受信結果によって表示が変わります。

未読件数（新しく受信したメールと受信済みの未読メールの合計）が表示されます。

新着メールがあるときに✖が表示されます。

■ すぐに読むには

「新着ｉモードメールを表示する」に進みます。[☛P137]

■ あとで読むには

◯（戻る）を押します。読むときは受信メールBOXから表示します。[☛P175]

■ 何も操作しないでいると

一定時間（メールの着信音鳴動時間＋約10秒）たつとメッセージ受信画面が消え、待受画面または受信前の画面に戻ります。この場合、待受画面に［アイコン］が表示されます。（メールを表示したときや ◯（戻る）、PWR、クリア を押してメッセージ受信画面を消したときは［アイコン］は表示されません。）［アイコン］は以下のいずれかを行うまで表示されます。

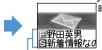
- 受信メール一覧、メッセージR/F一覧の表示
- メール連動型ｉアプリで受信メールを既読にする、消去する
- ｉモード問合せ
- 新しいメール、メッセージR/Fの受信
- 電源を切る

インスピレーションウィンドウの表示について

FOMA端末を折りたたんでいるときは、インスピレーションウィンドウに以下のように表示されます。受信完了の表示のときにFOMA端末を開くと、メッセージ受信画面が表示されます。

メール受信中

受信完了

メールの着信音鳴動時間＋約10秒経過

操作せずに自動的にメッセージ受信画面が消えたときに表示されます。

送信者の名前（またはメールアドレス）と題名

- 複数のメールを受信したときは、最後に受信したメールの情報が表示されます。
- 相手のメールアドレス（ショートメッセージ（SMS）の場合は電話番号）を電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。ただし、相手をシークレットメモリ登録している場合は、電話帳に登録されている相手からメールを受信しても名前は表示されません。
- 名前（またはメールアドレス）や題名を表示しないように設定できます。[☛基本P151]
- メールセキュリティ設定中、およびメール振分設定でシークレット設定されているフォルダに振り分けたメールのときは、名前（またはメールアドレス）、題名は表示されません。
- 名前と題名を表示しない設定にしているときや、名前、題名が表示されないメールのときは、「新メッセージがあります」と表示されます。

通話中や操作中にメールを受信したときは

通話中や操作中の画面にアイコンが表示されます。メール着信音は鳴らず、振動もしません。また、リアボタンも点滅しません。

受信中点滅

受信完了時表示

- ✉は待受画面に戻るか、メールの一覧を表示すると消えます。待受画面に戻ったときは、画面の上に✉が表示されます。

おしらせ

- メール着信音が鳴っている間は◯（ﾘｱﾎﾞﾀﾝ）が点滅します。
- 極端に容量の大きいｉモードメールはｉモードセンターでは受け付けずに、エラーメッセージとともに送信者へ返信されることがあります。
- PIMロック中、オールロック中はメールを受信しますが、ｉモードメール受信中画面、メッセージ受信画面は表示されません。

新着ｉモードメールを表示する

1 メッセージ受信画面で「メール」を選び、◉（選択）を押す

フォルダ一覧が表示されます。[☛P176]
- メールセキュリティ設定中は端末暗証番号を入力し◉（選択）を押します。

2 フォルダを選び ◉（選択）を押す

未読メールには✉が表示されます。

受信メール一覧が表示されます。[☛P178]
- フォルダを選びサブメニュー「1.フォルダ内一覧」を選択しても表示できます。
- フォルダがシークレット設定されているときは端末暗証番号を入力し◉（選択）を押します。（メールセキュリティ設定中で端末暗証番号入力済みのときは入力不要です。）
- ｉアプリメール用フォルダを選択すると、対応するメール連動型ｉアプリが起動されます。[☛P176]

3 受信メールを選び ◉（詳細）を押す

自分が何で受信したかが表示されます。

受信メールの内容が表示されます。[☛P178]
- 複数の受信メールがあるときは、◈で前後の受信メールを表示できます。
- 添付メロディや貼付メロディがあると自動的に再生されます。[☛P146]
  自動再生しない設定もできます。[☛P195]
- 添付画像があると1つめの画像が本文の最後に表示されます（デコメールの場合は表示されません）。

おしらせ

- パソコンなどから受信したメールの場合、Phone to (AV Phone to)、Mail to、Web to 機能が使用できない場合があります。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに届いたメールの中から、題名などを確認して必要なメールだけを選択して受信できます。不要なメールは受信せずに削除することもできます。

- **メールを選択して受信するには、メール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。****[☛P192]**

メールが届いたときは

メール選択受信設定を「ON」に設定しているときは、送られてきたメールはｉモードセンターに保管されます。FOMA端末には、メールを保管していることが通知されます。

センター新着通知画面

ｉモードセンターにメールが届くと、FOMA端末に通知され、センター新着通知画面が表示されます。メールはｉモードセンターに保管されています。

- メール着信音は鳴りません。マナーモードやバイブレーターを設定していても振動しません。
- ◎（OK）を押すか、何も操作せずに一定時間（約15秒）たつとセンター新着通知画面が消え、待受画面または通知を受信する前の画面に戻ります。
- メッセージR/Fと同時に受信したときは、メッセージR/Fの受信結果画面が表示されたあとにセンター新着通知画面が表示されます。

おしらせ

- **何も操作せずに待受画面または通知を受信する前の画面に戻ったときは、待受画面に が表示されます。（FOMA端末を折りたたんでいるときは、インスピレーションウィンドウに が表示されます。）**
- **メール選択受信設定を「ON」に設定しているときは、ｉモードセンターにメールがあっても、メールアイコンにｉモードセンターの保管状況は表示されません。**
- **ｉモードセンターからメールを受信せずに最大保管期間を超えると、メールは削除されます。また、最大保管件数を超えると、ｉモードセンターでは新しいメールを受け付けなくなりますのでご注意ください。ｉモードセンターのメールの最大保管期間、最大保管件数****[☛P113]**
- **ｉモード問合せを行うと、ｉモードセンターに保管されている全メールを受信できます。****[☛P140]**

メールを選択受信する

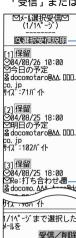
ｉモードセンターのメール選択受信のサイトに接続し、メールを選択して受信または削除できます。

1 待受中に、メールメニュー「メール選択受信」を選択する

ｉモードセンターに保管されているメールの一覧が表示されます。

- ｉMenu「3メニューリスト」▶「メール選択受信」からも行えます。
- メール選択受信設定が「OFF」に設定されているときは確認画面が表示されます。選択受信するには、◎（選択）を押します。メール選択受信設定画面が表示されますので、「1.ON」を選び◎（選択）を押します。

2 メールごとに、「受信」または「削除」を選択する

①保留を選び◉（選択）を押す
②「受信」または「削除」を選び◉（選択）を押す

- ｉモードセンターに保管したままにするときは「保留」を選択します。
- メールの受信日時、題名、送信元のメールアドレスが、日時の新しい順に表示されます。
- ページが複数あるときは前ページ、次ページを選び◉（選択）を押すと、前後のページを表示できます。
- ページ下にある「ｉモードセンターから全てのメールを」の削除を選び◉（選択）を押すと、保管されている全メールを削除できます。
- メール選択受信を中止するときはサブメニュー「15.終了」を選択するか PWR を押します。

選択するとメール選択受信の説明が表示されます。

メールにファイルが添付されているとき表示されます。
：画像ファイル添付
♪：メロディ添付
：ｉモーション添付

3 受信／削除を選び◉（選択）を押す

確認画面が表示されます。

4 決定を選び◉（選択）を押す

メールの受信または削除が実行され、完了画面が表示されます。受信するメールがあるときはすぐにメールの受信が開始され、メッセージ受信画面が表示されます。

- 受信／削除を中止するときはキャンセルを選びます。

5 受信したメールを表示する

①「メール」を選び◉（選択）を押す

受信メールBOXのフォルダ一覧が表示されます。

- 以降の操作：「新着ｉモードメールを表示する」操作2〜3 [☛P137]

■ メールを表示しないときは

◯（戻る）を押すと待受画面に戻ります。

- メッセージ受信画面や完了画面で◯（戻る）を1秒以上押しても待受画面に戻ります。
- 何も操作せずに一定時間（メールの着信音鳴動時間＋約10秒）たつとメッセージ受信画面が消え、待受画面に戻ります。この場合、待受画面に が表示されます。[☛P135]

ｉモードメールやメッセージR/Fがあるかどうかを問い合わせる

ｉモードセンターに保管されているｉモードメール、メッセージR/Fを受信できます。

- **お買い上げ時は、ｉモード問合せを実行するとｉモードメール、メッセージR、メッセージFのすべてを問い合わせるように設定されています。設定を変更できます。[☛P192]**

1 待受中に、ｉモードメニュー「ｉモード問合せ」またはメールメニュー「ｉモード問合せ」を選択する

問合せが完了すると、メッセージ受信画面が表示されます。[☛P135]

- 新着メールの表示方法 [☛P137]
- ｉモードメールやメッセージR/Fが保管されていないときは「新しいメッセージはありません」と表示されます。
- サイドボタン機能切替を「ｉモード問合せ」に設定しているときは、⦿(ｻｲﾄﾞC) を1秒以上押しても実行できます。（FOMA端末を折りたたんでいても行えます。問合せ結果画面を消すときは、FOMA端末を開いて操作します。）サイドボタン機能切替は、お買い上げ時は「ｉモード問合せ」に設定されています。

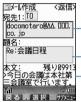
おしらせ

- **FOMA端末がｉモードメール、メッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているｉモードメール、メッセージR/Fは削除されます。受信したｉモードメール、メッセージR/FはそれぞれFOMA端末のメールBOX、メッセージBOXに保存されます。**
- **メール選択受信設定が「ON」に設定されている場合でも「ｉモード問合せ」を利用するとｉモードメールを受信しますので、受信したくない場合には、問い合わせたい項目からメールを外します。[☛P192]**

ｉモードメールに返事を出す

1 受信メールを表示し、サブメニュー「01.返信」を選択する

本文を引用するかどうかの問合せ画面が表示されます。
- 複数の宛先に送られた受信メールに返信するときは、サブメニューから「02.全員へ返信」を選択すると、自分以外のTO、CCの宛先と送信元に返信できます。
- [From]が表示されているときは返信はできません。
- [TO]、[CC]の宛先には返信できません。
- [メールキー]を押しても返信できます。
- 受信メール一覧からも行えます。

2 「はい」または「いいえ」を選び [決定キー]（選択）を押す

本文を引用した場合

送信者のメールアドレスが入力されています。

先頭に「Re:」が付いた受信メールの題名が入力されています。（「Re:」を含めて全角15文字（半角30文字）まで。）必要に応じて変更します。

本文を引用したときは、先頭に「>」が挿入されて受信メールの本文が入力されています（「>」を含めて全角5000文字（半角10000文字）まで）。追加・修正して返信する本文を作成します。
本文を引用しなかったときは何も表示されません。
- **署名を自動的に付ける設定にしていても、署名は付きません。**
- **デコメールの場合、本文を引用すると装飾と、挿入されている画像も引用されます。**

3 ｉモードメールを作成して送信する

- 操作方法：「ｉモードメールを作成して送信する」操作2～5 [☛P118]

返信メールまたは転送メールの本文入力中に受信メールを表示するには

① **本文編集画面でサブメニュー「02.受信メール参照」を選択する**
受信メールの内容が表示されます。

② [決定キー]**（OK）を押す**
受信メールの内容が消え、本文編集画面に戻ります。

おしらせ

- **貼付データ（ｉモーションメールの動画アイコンと保存期間、貼付メロディ、ｉアプリ利用データ、ｉアプリTo）は返信メールに引用されません。添付ファイルも引用されません。**
- **シークレットコードを登録している相手に返信する場合、返信メールの宛先にシークレットコードは入力されません。シークレットコードを追加してから送信してください。ただし、その相手のシークレットコードが電話帳に登録されている場合は自動的にシークレットコードを付けて送信されます。**

ｉモードメールを他の宛先に転送する

1 受信メールを表示し、サブメニュー「03.転送」を選択する

• 受信メール一覧からも行えます。

宛先は設定されていません。転送先の宛先を設定します。

先頭に「Fw:」が付いた受信メールの題名が入力されています（「Fw:」を含めて全角15文字（半角30文字）まで）。必要に応じて変更します。

受信メールの本文が入力されています。追加・修正もできます（入力されている本文を含め全角5000文字（半角10000文字）まで）。

• 署名を自動的に付ける設定にしていても、署名は付きません。

• デコメールの場合、装飾と、挿入されている画像も引用されます。

2 ｉモードメールを編集して送信する

• 操作方法：「ｉモードメールを作成して送信する」操作2～5 [☛P118]

おしらせ

● 貼付データ（ｉモーションメールの動画アイコンと保存期間、貼付メロディ、ｉアプリ利用データ、ｉアプリTo）は転送メールに引用されません。

● メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている添付ファイル、壊れているファイルは転送できません。

iモードメールの送信者や宛先を電話帳に登録する

受信メールの送信者や宛先のメールアドレスを電話帳に登録できます。新規に登録する方法と、登録済みの電話帳に追加する方法があります。本文中の電話番号やメールアドレスも登録できます。

- **ダイヤル発信制限中は、電話帳を登録・修正できません。**
- **最大登録件数 [☛基本P92]**
- **51文字以上のメールアドレスは登録できません。**
- **受信ショートメッセージ（SMS）からも登録できます。**

新規に登録する

1 受信メールを表示し、サブメニュー「05.アドレス帳新規」を選択する

- 本文中のメールアドレスや電話番号を登録するときは、メールアドレスまたは電話番号を選んでから、サブメニューを選択します。
- 受信メール一覧からも行えます。送信者のみ登録できます。操作3に進みます。
- 登録できるメールアドレスがないときは「05.アドレス帳新規」は選択できません。

2 登録項目を選択する

■送信元や宛先を登録するには

①「1.メールアドレス」を選び ◎（選択）を押す

- 自分以外の宛先がないときは操作3に進みます。
- ショートメッセージ（SMS）から登録するときは「1.相手先アドレス」を選び ◎（選択）を押します。

②送信元または宛先を選び ◎（選択）を押す

■本文中の電話番号やメールアドレスを登録するとき

①「2.本文」を選び ◎（選択）を押す

3 「1.本体電話帳」または「2.FOMAカード電話帳」を選び ◎（選択）を押す

- 以降の操作：「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」操作3以降 [☛基本P95] または「FOMAカード電話帳に登録する」操作3以降 [☛基本P99]

登録済みの電話帳に追加する

1 受信メールを表示し、サブメニュー「06.アドレス帳追加」を選択する

- 本文中のメールアドレスや電話番号を登録するときは、メールアドレスまたは電話番号を選んでから、サブメニューを選択します。
- シークレットメモリ登録した電話帳に追加するときは「07.シークレット追加」を選択します。
- 受信メール一覧からも行えます。送信者のみ登録できます。操作3に進みます。
- 登録できるメールアドレスがないときは「06.アドレス帳追加」は選択できません。

2 登録項目を選択する

- 操作方法は「新規に登録する」の操作1と同じです。

3 電話帳を検索して、追加登録する相手を選ぶ

- 操作1で「07.シークレット追加」を選択したときは、端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押すと電話帳の検索ができます。

フリガナ検索の場合

①電話帳から相手を検索する
- 検索方法：「電話帳から宛先を検索する」操作2 [☛P120]

②相手を選び ◉（選択）を押す
電話帳登録画面が表示されます。

メールアドレス登録時は、電話帳のメールアドレス欄の番号が表示されます。（登録されていないときは✉）

■登録先にメールアドレスまたは電話番号が登録済みの場合

登録先の選択画面が表示されます。

①登録先を選び ◉（選択）を押す
電話帳登録画面が表示されます。
- すでに設定済みの登録先を選ぶと上書きされます。

設定されている内容が表示されます。

4 電話帳の内容を確認し、◯（登録）を押す

5 「はい」を選び ◉（選択）を押す

電話帳が登録されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

メール編 iモードメール

ｉモードメールの画像を表示・保存する

ｉモードメールの添付画像を表示し、FOMA端末に保存して待受画面などに設定できます。デコメールの本文に挿入されている画像も保存できます。
- **添付された画像を正しく表示できない場合があります。また、表示できる画像サイズは、640×480ドットまでです。サイズを超えた場合は、受信はできても表示および保存はできません。**

添付画像を表示する

- **受信メールを表示したとき、1つめの画像は本文中に表示されます。ただし、デコメールの場合添付画像は本文中には表示されません。**

1 受信メール表示画面から添付画像を選び ◉（選択）を押す

画像が表示されます。
- アニメーションを再生するには◉（再生）を押します。再生を止めるには◉（停止）を押します。

画像を保存する

- **画像はFOMA端末の「マルチメディア」→「イメージ」→「ネットワーク画像」→「画像（GIF・JPEG）」に保存されます。最大登録件数［☛P13］**
- **壊れている画像は保存できません。**
- **画像サイズが640×480ドットを超えている画像は保存できません。**

添付画像を保存する

1 受信メール表示画面から添付画像を選び、サブメニュー「11.添付ファイル保存」を選択する

画像が保存され、画面の設定を変更するかどうかの問合せ画面が表示されます。
- パートナーアシスト設定［☛基本P160］で「ネットワーク画像」をOFFにしているときは、画像が保存され、受信メール表示画面に戻ります。
- マルチメディア用のメモリの空きがないときや最大保存件数を超えたときは、上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。［☛P265］

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

- 画面の設定を行わないときは「いいえ」を選びます。
- 以降の操作：「画像を保存する」操作4［☛P43］

デコメールの画像を保存する

1 受信メールを表示し、サブメニュー「10.画像保存」を選択する

- 以降の操作：「画像を保存する」操作2〜4［☛P42］

iモードメールのメロディを再生・保存する

iモードメールの添付メロディを再生したり、FOMA端末に保存して着信音などに設定できます。movaサービスのiモード端末などから送られてきた貼付メロディも再生・保存できます。

メロディを再生・停止する

添付メロディや貼付メロディがあると、受信メールを表示したときに自動的に再生されます。再生を中止したり、手動で再生したりできます。

- メッセージR/Fの添付メロディや貼付メロディも同様に再生・停止できます。
- 複数の添付メロディがあるときは、先頭から順に自動再生されます。
- 添付メロディと貼付メロディがあるときは、添付メロディ、貼付メロディの順に再生されます。
- メロディ再生音が鳴らない設定にしているときは鳴りません。

再生を中止する

1 **ダイヤルボタン（0～9、*、#）を押す**

- [☎]でも再生を中止できます。メッセージR/Fでは[✉]でも再生を中止できます。
- [◀ZOOM▶]で表示範囲を移動すると再生が止まります。また、サブメニューを表示したときや、Phone to（AV Phone to）、Mail to、Web toなどの操作を行ったときも再生が止まります。

添付メロディを手動で再生する

1 **受信メールを表示画面から添付メロディを選び[◉]（選択）を押す**

添付メロディ

メロディが再生されます。
- [◎]で音量を調節できます。
- 再生を止めるには[◉]（停止）を押します。

貼付メロディを手動で再生する

1 **受信メールを表示し、サブメニュー「09.フルコーラス再生」を選択する**

貼付メロディのタイトル

メロディが再生されます。
- [◎]で音量を調節できます。
- 再生を止めるには[◉]（停止）を押します。

おしらせ

- メロディを自動再生しない設定もできます。[☛P195]
- メロディによっては正しく再生できない場合があります。

メロディを保存する

- メロディはFOMA端末の「マルチメディア」→「メロディ」に保存されます。最大保存件数[☛P13]
- 壊れているメロディは保存できません。

添付メロディを保存する

1 受信メール表示画面から添付メロディを選び、サブメニュー「11.添付ファイル保存」を選択する

メロディが保存され、音の設定を変更するかどうかの問合せ画面が表示されます。

- マルチメディア用のメモリの空きがないときや最大保存件数を超えたときは、上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。[☛P265]
- パートナーアシスト設定[☛基本P160]で「着信音」をOFFにしているときは、メロディが保存され、受信メール表示画面に戻ります。

2 「はい」を選び◉(選択)を押す

- 音の設定を行わないときは「いいえ」を選びます。

3 音の項目を選び◉(選択)を押す

保存したメロディが選択した音に設定されます。

- 音の項目[☛基本P138]

貼付メロディを保存する

1 受信メールを表示し、サブメニュー「08.メロディ保存」を選択する

メロディが保存され、音の設定を変更するかどうかの問合せ画面が表示されます。

- 以降の操作は、「添付メロディを保存する」の操作2〜3と同じです。

iモーションメールの動画／iモーションを受信・再生する

受信したiモーションメールの動画のアイコン・保存期間を選択して、iモーションメールセンターから動画／iモーションを取り込めます。動画／iモーションを取り込めるのはiモーションメールを受信したFOMA端末だけです。

- 受信メールから動画／iモーションを取得すると、iモーションメールセンターの動画／iモーションは削除されます。
- 取得した動画／iモーションは受信メールとともに保存されます。受信メールから動画のアイコン・保存期間を選択すると、取得済みの動画／iモーションを再生できます。
- 取得した動画／iモーションを、FOMA端末のマルチメディア用のメモリに保存できます。マルチメディア用のメモリに保存した動画／iモーションは、ビデオプレーヤーで再生できるほか、待受画面や着信動画などにも設定できます。[☛P252]
- 動画／iモーションを未取得のiモーションメールには▥、動画／iモーションを取得済みのiモーションメールには▥が表示されます。

動画／iモーションを取得する

1 受信メール表示画面から動画のアイコン・保存期間を選び ◉（選択）を押す

動画／iモーションが取得されます。データの受信が完了すると自動的に動画／iモーションが再生されます。再生が完了すると動画像メニューが表示されます。

▥：未取得

- 再生中は以下の操作ができます。
  ◎：音量調節　◎：早送り、巻戻し　◯（■）：終了
  ◉（❚❚）：一時停止（◉（▶）で再開）　◯（情報）：動画／iモーションの情報を表示
- マナーモード中、ドライブモード中に音付きのiモーションを再生するときは問合せ画面が表示されます。音付きで再生するには「はい」、音なしで再生するには「いいえ」を選び ◉（選択）を押します。
- iモーションの自動再生設定を「OFF」に設定しているときは自動再生されません。受信が完了すると動画像メニューが表示されます。操作2に進みます。

■取得する動画／iモーションのURLを確認するには

①受信メール表示画面から動画のアイコン・保存期間を選び、サブメニュー「14.URL表示」を選択する

URLが表示されます。

②URLを確認し ◉（OK）を押す

2 動画／ｉモーションを保存するときは、「2.保存」を選び ◉（選択）を押す

動画／ｉモーションが保存され画面や着モーションに設定するかどうかの問合せ画面が表示されます。

- 以降の操作：「ｉモーションを取り込む」操作4以降 [☛P99]
- パートナーアシスト設定［☛基本P160］で「ネットワーク画像」を「OFF」に設定しているときは、問合せ画面は表示されません。
- 動画／ｉモーションは「マルチメディア」→「ｉモーション」→「ネットワーク画像」→「ネットワークフォルダ」に保存されます。最大保存件数 [☛P13]
- マルチメディア用のメモリの空きがないときや最大保存件数を超えたときは、上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。[☛P265]
- 「1.再生」を選び ◉（選択）を押すと、ｉモーションを再生できます。
- 「3.情報表示」を選び ◉（選択）を押すと、動画／ｉモーションの情報を表示できます。
- ｉモーションをマルチメディア用メモリに保存しないときは ◎（戻る）を押します。問合せ画面が表示されますので「いいえ」を選び ◉（選択）を押します。受信メール表示画面に戻ります。取得した動画／ｉモーションは受信メールとともに保存されています。あとから再生・保存できます。

ｉモーションメールセンターの動画／ｉモーションを削除する

ｉモーションメールセンターに保管されているｉモーションを削除します。
メール選択受信 [☛P138] でｉモーションメールを削除したときにｉモーションメールセンターに残った動画／ｉモーションや、ｉモーションメールに貼り付けられた動画／ｉモーションを削除します。

1 ｉMenu「3メニューリスト」▶「ｉモーションメール動画削除」を選択する

ｉモーションメール動画削除画面が表示されます。

2 削除する動画／ｉモーションを選択する

①**削除するｉモーションの□を選び ◉（選択）を押す**

□が☑になります。

- ページ下にある「全てのメールの動画を」の 削除 を選び ◉（選択）を押すと、保管されているすべての動画／ｉモーションを削除できます。

②**削除 を選び ◉（選択）を押す**

確認画面が表示されます。

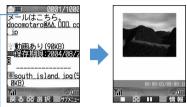
3 決定 を選び ◉（選択）を押す

動画／ｉモーションが削除され、完了画面が表示されます。

メール編　ｉモードメール

取得済みの動画／ｉモーションを再生する

1 受信メール表示画面から動画のアイコン・保存期間を選び ◉（選択）を押す

取得済みの動画／ｉモーションが再生されます。

：取得済み

- マナーモード中、ドライブモード中に音付きのｉモーションを再生するときは問合せ画面が表示されます。音付きで再生するときは「はい」、音なしで再生するときは「いいえ」を選び ◉（選択）を押します。
- 再生を止めるには ◯（■）を押します。
- 再生中に ◎ で音量を調節できます。

取得済みの動画／ｉモーションを保存する

1 受信メール表示画面から動画のアイコン・保存期間を選び、サブメニュー「11.ｉモーション保存」を選択する

動画／ｉモーションが保存され画面や着モーションに設定するかどうかの問合せ画面が表示されます。

- 以降の操作：「ｉモーションを取り込む」操作4以降 [☛P99]
- パートナーアシスト設定 ［☛基本P160］で「ネットワーク画像」を「OFF」に設定しているときは、問合せ画面は表示されません。
- 動画／ｉモーションは「マルチメディア」→「ｉモーション」→「ネットワーク画像」→「ネットワークフォルダ」に保存されます。最大保存件数 [☛P13]
- マルチメディア用のメモリの空きがないときや最大保存件数を超えたときは、上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。[☛P265]

おしらせ

- **受信メールを削除すると、受信メールとともに保存されている取得済みの動画／ｉモーションのデータも削除されます。「マルチメディア」に保存した動画／ｉモーションは削除されません。**

ｉモードセンターのメール機能を設定する

ｉモードセンターのメール機能の設定を変更できます。
- メール設定画面の表示内容は変更される場合がありますので、詳細は『FOMA ｉモード操作ガイド』をご参照ください。
- メールセンター設定が行えるのはお手持ちのFOMA端末からだけです。

メールアドレスを変更する

ご契約時のメールアドレスを、お好みのメールアドレスに変更できます。
- ｉモードご契約時のメールアドレスは、「abc1234～789xyz@docomo.ne.jp」のように、@マークより前の部分がランダムな英数字の組み合わせになっています。
- 「docomo.ΔΔ_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、@マークより前の部分（下線部分）を変更できます。変更の際は@より前の部分だけを入力してください。
- メールアドレスがすでに使用されているなどの理由で、ご希望のメールアドレスに変更できないことがあります。
- 変更完了後は変更前のメールアドレスではメールが届かなくなります。メールの送信者には宛先不明のエラーとして返信されます。ただし、メールアドレス変更前にｉモードセンターに保管されたメールは、メールアドレス変更後も受信可能です。
- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスに契約を変更された場合は、movaサービスでご利用のｉモードメールアドレスをそのままご利用いただけます。

変更時にはなるべく桁数を増やし、英字と数字の組合せにより、簡単に想定できないアドレスにされることをおすすめします。

1 ｉMenu「8オプション設定」▶「1メール設定」▶「アドレス変更」を選択する

アドレス変更画面が表示されます。

2 各項目を設定する

①第1希望欄を選び ◉（選択）を押す

②変更するメールアドレス（@より前の部分）を入力する
- 半角の英字、数字、記号（「_」「.」「-」）で3文字～30文字の範囲で入力します。
- 先頭文字は必ず英字で入力してください。スペース（空白）は使用できません。
- 英字は小文字で入力してください。（大文字で入力しても自動的に小文字に変換されます。）
- 「.」をアドレス内で連続使用したり、アドレスの最後に設定すると、一部のプロバイダとメールを送受信できない場合があります。

③同様に第2希望、第3希望のメールアドレスを入力する
- 第2希望、第3希望が不要な場合は、入力しなくても先に進むことができます。

④ｉモードパスワードの入力欄を選び ◉（選択）を押す

⑤ｉモードパスワード（4桁）を入力する

入力したパスワードは「＊」で表示されます。

3 決定 を選び ◉（選択）を押す

変更が完了すると、変更後のメールアドレスが表示されます。

- 変更が完了すると、すぐに新しいメールアドレスでご利用になれます。

おしらせ

- メールアドレスを変更すると、変更前に利用されていたメールアドレスを再び使えない可能性がありますので、ご注意ください。ただし、アドレスリセットにより、「電話番号@docomo.ne.jp」には任意に戻すことができます。[☛P153]
- 変更したメールアドレスは、忘れないように、FOMA端末の自局番号に登録することをおすすめします。[☛基本P181]

シークレットコードを登録する

メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合、@の前に4桁のシークレットコードを登録できます。登録すると、シークレットコードなしのメールアドレスに送付されたiモードメールは宛先不明のエラーとして送信者に返信されます。

- 「電話番号@docomo.ne.jp」以外のメールアドレスでは、シークレットコードは登録できません。アドレスリセットを行ってから登録してください。[☛P153]
- シークレットコード登録後は、シークレットコードなしのメールアドレスではメールが届かなくなります。ただし、シークレットコード登録前にiモードセンターに保管されたメールは、シークレットコード登録後も受信可能です。

1 i Menu「8オプション設定」▶「1メール設定」▶「メールアドレス設定」の「その他設定」▶「シークレットコード登録」を選択する

シークレットコード登録画面が表示されます。

2 各項目を設定する

①シークレットコード欄を選び ◉（選択）を押す

②4桁のシークレットコードを入力する

- 「0000」は使用できません。

③ iモードパスワードの入力欄を選び ◉（選択）を押す

④ iモードパスワード（4桁）を入力する

入力したパスワードは「✱」で表示されます。

3 決定 を選び ◉（選択）を押す

登録が完了すると、新しいメールアドレスが表示されます。

- @の直前の4桁の数字が、お客様の設定されたシークレットコードになります。
- 登録が完了すると、すぐに新しいメールアドレスでご利用になれます。

おしらせ

- シークレットコード登録後のメール送信時には、メールアドレスのシークレットコード部分は隠されて送信されます。
- シークレットコードを登録すると、ドコモ以外のアドレスにメールを送信した場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- シークレットコード登録を行っていてもショートメッセージ（SMS）は受信できます。
- シークレットコード登録を取り消すにはアドレスリセットを行います。

メールアドレスを電話番号にする（アドレスリセット）

お客様のメールアドレスを「電話番号@docomo.ne.jp」にします。

- **アドレスリセットを行うと、リセット前のメールアドレスではｉモードメールが届かなくなります。ｉモードメールの送信者には、宛先不明のエラーとして返信されます。ただし、アドレスリセット前にｉモードセンターに保管されたメールは、アドレスリセット後も受信可能です。**
- **アドレスリセットを行うと、リセット前のメールアドレスは使えなくなる可能性があります。**

1 ｉMenu「8オプション設定」▶「1メール設定」▶「メールアドレス設定」の「その他設定」▶「アドレスリセット」を選択する

アドレスリセット画面が表示されます。

2 ｉモードパスワードを入力する

① **ｉモードパスワードの入力欄を選び ◉（選択）を押す**
② **ｉモードパスワード（4桁）を入力する**
入力したパスワードは「✱」で表示されます。

3 確認 を選び ◉（選択）を押す

アドレスリセットが完了すると、確認画面が表示されます。

メールアドレスを確認する

現在のｉモードメールのアドレスを確認できます。

1 ｉMenu「8オプション設定」▶「1メール設定」▶「アドレス確認」を選択する

お客様のメールアドレスが表示されます。

ドメインを指定してメールを受信する

au・ボーダフォン・TU-KA・DDIポケットのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。また、これらの会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。

※NTTドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメール・M-stageビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

- **ドメインとは、「×××@△△△.ne.jp」の下線部分のような、メールアドレスの@より後ろの部分のことです。**
  - ドメインを指定する場合は、指定したドメインで終わるメールを受信します。例えば、パソコンからのメール（例：×××@123.△△△.ne.jp）の場合、「△△△.ne.jp」と指定すれば、「△△△.ne.jp」で終わるすべてのメールを受信できます。
  - NTTドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメール・M-stageビジュアルネットからのメールはすべて受信しますので、ドメインを指定する必要はありません。また、au・ボーダフォン・TU-KA・DDIポケットのうち、受信するように指定した会社のドメインを指定する必要もありません。「docomo.ne.jp」「docomo-camera.ne.jp」「ezweb.ne.jp」のようなドメインを指定すると、携帯電話・PHSから送信したように見える迷惑メールが届いてしまいます。
- **受信拒否したメールは届かなくなり、送信者には宛先不明のエラーとして返信されます。ただし、設定前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信されます。**
- **ショートメッセージ（SMS）の受信拒否は設定できません。**
- **ドメイン指定受信、アドレス指定受信、アドレス指定拒否、ｉモードメールのみ受信、ｉモードメールのみ拒否は同時には設定できません。**
- **未承諾広告※メール拒否と同時に設定できます。**
- **現在の設定状況を確認するには** **[☛P160]**

1 ｉMenu「8オプション設定」▶「1メール設定」▶「受信／拒否設定」を選択する

受信／拒否設定画面が表示されます。

2 「ドメイン指定受信」の○を選び◉（選択）を押す

- 受信／拒否設定を解除するときは「設定解除」の○を選びます。

3 次へを選び◉（選択）を押す

ドメイン指定受信画面が表示されます。

4 各項目を設定する

①受信したい携帯電話・PHS会社を☑にする

- 最初にドメイン指定受信の設定を行うときは、すべての会社が☑になっています。受信しない会社の☑を選び◉（選択）を押します。
- NTTドコモのPHS・アステルはここでは選択できません。

②その他に受信したいドメインがある場合は、ドメインの入力欄を選び◉（選択）を押し、ドメインやアドレスを入力する

- 日本語のドメインやアドレスは入力できません。
- NTTドコモのPHS・アステルからのメールを受信するときは、ここでドメインを入力してください。

③ 登録 を選び ◉（選択）を押す

5 iモードパスワードを入力する

①iモードパスワードの入力欄を選び◉（選択）を押す

②iモードパスワード（4桁）を入力する

入力したiモードパスワードは「✱」で表示されます。

6 決定 を選び ◉（選択）を押す

設定が完了すると、確認画面が表示されます。

おしらせ

- **メールによる情報配信サービスなどへメールアドレスを登録し利用されている場合、ドメイン指定受信を設定される際には、ご利用の情報配信サービスなどのドメインやメールアドレスも設定してください。設定しないとメール配信を受けられなくなります。**
- **iモードサイトの利用に際し、利用内容確認などをメールで行う場合があります。ドメイン指定受信を行う際には、これらのメールを受信するために、各サイトのドメインやメールアドレスなどを指定してご利用ください。**

アドレスを指定してメールを受信または拒否する

次の設定ができます。

●指定するメールアドレスからのメールを拒否する（アドレス指定拒否）
●指定するメールアドレスからのメールだけ受信する（アドレス指定受信）
※NTTドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメールおよび他の携帯電話・PHS会社（一部事業者除く）のメールはすべて受信

- 受信拒否したメールはｉモードセンターで受信せず、送信者には宛先不明のエラーとして返信されます。ただし、設定前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信されます。
- ショートメッセージ（SMS）の受信拒否は設定できません。
- ドメイン指定受信、アドレス指定受信、アドレス指定拒否、ｉモードメールのみ受信、ｉモードメールのみ拒否は同時には設定できません。
- 未承諾広告※メール拒否と同時に設定できます。
- 現在の設定状況を確認するには[☛P160]

1 ｉMenu「8オプション設定」▶「1メール設定」▶「受信／拒否設定」を選択する

受信／拒否設定画面が表示されます。

2 「アドレス指定受信」または「アドレス指定拒否」の○を選び◉（選択）を押す

- 受信／拒否設定を解除するときは「設定解除」の○を選びます。

3 次へを選び◉（選択）を押す

アドレス指定受信画面またはアドレス指定拒否画面が表示されます。

4 各項目を設定する

①**メールアドレスの入力欄を選び◉（選択）を押し、メールアドレスを入力する**
- ｉモード端末のメールアドレスを指定するときは、@以降を入力する必要はありません。
- 日本語のアドレスは入力できません。
- ドメインのみを指定することはできません。

②**登録を選び◉（選択）を押す**

5 ｉモードパスワードを入力する

① ｉモードパスワードの入力欄を選び ◉（選択）を押す
② ｉモードパスワード（4桁）を入力する
- 入力したｉモードパスワードは「✱」で表示されます。

6 決定 を選び ◉（選択）を押す

設定が完了すると、確認画面が表示されます。

おしらせ

- **メールによる情報配信サービスなどへメールアドレスを登録し利用されている場合、アドレス指定受信を設定される際には、ご利用の情報配信サービスなどのメールアドレスも指定してください。設定しないとメール配信を受けられなくなります。**
- **ｉモードサイトの利用に際し、利用内容確認などをメールで行う場合があります。アドレス指定受信を行う際には、これらのメールを受信するために、各サイトのメールアドレスなどを指定してご利用ください。**

ｉモードメールだけを受信または拒否する

次の設定ができます。

- **ｉモードどうしのメールだけ受信する（インターネット経由のメールを拒否）**
- **ｉモードどうしのメールだけ拒否する**

※「ｉモードどうしのメール」には、ｉショットからのメールも含みます。

- 受信拒否したメールはｉモードセンターで受信せず、送信者には宛先不明のエラーとして返信されます。ただし、設定前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信されます。
- ドメイン指定受信、アドレス指定受信、アドレス指定拒否、ｉモードメールのみ受信、ｉモードメールのみ拒否は同時には設定できません。
- 未承諾広告※メール拒否と同時に設定できます。
- 「ｉモードメールのみ受信」に設定すると、ドコモの一定額到達通知サービスのメールおよびeビリング請求額お知らせメールは受信できなくなります。
- 「ｉモードメールのみ拒否」に設定した場合でも、「ｉモードメールplus」の「フレンドメール12」からのメールは受信します。
- 現在の設定状況を確認するには [☛P160]

メール編　ｉモードメール

1　ｉMenu「8オプション設定」▶「1メール設定」▶「受信／拒否設定」を選択する

受信／拒否設定画面が表示されます。

2　「ｉモードメールのみ受信」または「ｉモードメールのみ拒否」の○を選び◉（選択）を押す

- 受信／拒否設定を解除するときは「設定解除」の○を選びます。

3　次へを選び◉（選択）を押す

設定画面が表示されます。

4　ｉモードパスワードを入力する

① ｉモードパスワードの入力欄を選び◉（選択）を押す
② ｉモードパスワード（4桁）を入力する
- 入力したｉモードパスワードは「✱」で表示されます。

5　決定を選び◉（選択）を押す

設定が完了すると、確認画面が表示されます。

ｉモードメール大量送信者からのメールの受信を制限する

1日当たり1台のｉモード端末（mova含む）から送信される200通め以降のｉモードメールを受信拒否できます。

- 受信拒否したメールは届かなくなり、送信者には宛先不明のエラーとして返信されます。ただし、設定前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信されます。
- 初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを制限したい場合は設定する必要はありません。
- ドメイン指定受信、アドレス指定受信、アドレス指定拒否、ｉモードメールのみ受信、ｉモードメールのみ拒否と同時にご利用いただけます。
- 現在の設定状況を確認するには[☛P160]

1 ｉMenu「8オプション設定」▶「1メール設定」▶「メール受信設定」の「その他設定」▶「ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限」を選択する

設定画面が表示されます。

2 各項目を設定する

①「拒否する」または「拒否しない」の○を選び◎（選択）を押す
②ｉモードパスワードの入力欄を選び◎（選択）を押す
③ｉモードパスワード（4桁）を入力する
- 入力したｉモードパスワードは「✱」で表示されます。

3 決定 を選び◎（選択）を押す

設定が完了すると、確認画面が表示されます。

未承諾広告※メールの受信を拒否する

メール表題部の先頭に「未承諾広告※」と記載されているメールの受信を拒否できます。これにより、受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信されるメールを拒否できます。（送信者はメール表題部の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています。）

- 受信拒否したメールはｉモードセンターで受信せず、送信者には宛先不明のエラーとして返信されます。ただし、設定前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信されます。
- 初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。
- ドメイン指定受信、アドレス指定受信、アドレス指定拒否、ｉモードメールのみ受信、ｉモードメールのみ拒否と同時にご利用いただけます。

1 ｉMenu「8オプション設定」▶「1メール設定」▶「メール受信設定」の「その他設定」▶「未承諾広告※メール拒否」を選択する

未承諾広告※メール拒否画面が表示されます。

2 各項目を設定する

①「拒否する」または「拒否しない」の○を選び◉（選択）を押す
② ｉモードパスワードの入力欄を選び◉（選択）を押す
③ ｉモードパスワード（4桁）を入力する
　入力したｉモードパスワードは「✱」で表示されます。

3 決定 を選び◉（選択）を押す

設定が完了すると、確認画面が表示されます。

拒否設定を確認するには

① ｉMenu「8オプション設定」▶「1メール設定」▶「設定状況確認」を選択する
　現在のメール拒否などの設定状況が表示されます。

お買い上げ時 5000文字

受信するｉモードメールのサイズを制限する

- サイズは、全角文字換算で1000文字、2000文字、3000文字、4000文字、5000文字から選択できます。
- 設定した文字数以上のメールを受信した場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分の文字は自動的に削除されます。
- 設定した文字数以上のメールを受信した場合、ｉモードメール本文の貼付データ（メールの動画アイコンと保存期間、貼付メロディ、ｉアプリ用データ、ｉアプリTo）はｉモードセンターで削除されます。

1 ｉMenu「8オプション設定」▶「1メール設定」▶「メールサイズ制限」を選択する

メールサイズ制限画面が表示されます。

- 現在設定されている受信文字数は ◉ で表示されます。

2 各項目を設定する

①設定する文字サイズの○を選び ◎（選択）を押す
② ｉモードパスワードの入力欄を選び ◎（選択）を押す
③ ｉモードパスワード（4桁）を入力する
入力したパスワードは「✱」で表示されます。

3 決定を選び ◎（選択）を押す

設定が完了すると、確認画面が表示されます。

メール編
ｉモードメール

メール機能を停止する

メール機能を利用しない場合、ｉモードセンターですべてのメール機能を停止できます。

1 ｉMenu「8オプション設定」▶「1メール設定」▶「メール機能停止」を選択する

メール機能停止画面が表示されます。

2 ｉモードパスワードを入力する

① ｉモードパスワードの入力欄を選び ◉（選択）を押す

② ｉモードパスワード（4桁）を入力する

入力したパスワードは「✱」で表示されます。

3 確認 を選び ◉（選択）を押す

設定が完了すると、確認画面が表示されます。

- 設定が完了すると、すぐにメール機能が停止します。

メール機能を停止すると

- メールを受信できなくなり、送信者には宛先不明のエラーとして返信されます。
- メール機能停止までにｉモードセンターに届いているメールはそのまま保管されます（受信時から720時間）。ｉモード問合せで受信できます。
- メール機能停止中にｉモードセンターに届いたメールは保管されません。
- メール機能停止中にｉモードメールの送信を行うと、エラーメッセージが表示されます。
- メール機能停止後にメール機能を再開すると、メールアドレスは「電話番号@docomo.ne.jp」になります。停止前のメールアドレスには戻せなくなる可能性があります。
- メール機能停止中でも、ｉモードメールの送信やｉモード問合せを行うと、ｉモードセンターとの通信のためパケット通信料がかかります。
- メール機能を停止しても、ショートメッセージ（SMS）の送受信は行えます。
- メール機能を停止中は以下の機能はご利用になれません。
  - メールアドレス変更
  - シークレットコード登録
  - アドレスリセット
  - アドレス確認
  - 受信文字数設定
  - 未承諾広告※メール拒否
  - ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限
  - ドメイン指定受信／アドレス指定受信／アドレス指定拒否／ｉモードメールのみ受信／ｉモードメールのみ拒否
  - 設定状況確認

メール機能を再開する

1 **i Menu「8オプション設定」▶「1メール設定」を選択する**

i モードセンターに接続され、メール設定画面が表示されます。

2 **i モードパスワードを入力する**

① **i モードパスワードの入力欄を選び ◉(選択)を押す**

② **i モードパスワード(4桁)を入力する**

入力したパスワードは「✱」で表示されます。

3 **メール開始を選び ◉(選択)を押す**

設定が完了すると、確認画面が表示されます。

- 設定が完了すると、メール機能が再開します。再開直後のメールアドレスは「電話番号@docomo.ne.jp」になります。

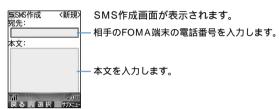
おしらせ

● **メール機能を停止しても、メール拒否の各設定は変わりません。メール機能再開後もそのままご利用になれます。**

ショートメッセージ(SMS)を作成して送信する

FOMA端末に文字メッセージを送信できます。

- **最大送信文字数：全角半角にかかわらず70文字（半角の英数字記号（｜^{}[]~を除く）のみの場合160文字）**
- **インターネットに接続しているパソコンなどへは送信できません。**
- **ダイヤル発信制限中はショートメッセージ（SMS）を送信できません。ただし、電話番号が電話帳に登録されていれば送信できます。**
- **送信メールBOXがいっぱい（未送信メールと保護メールだけで最大件数またはメモリに空きがない）のときはショートメッセージ（SMS）を作成できません。**

1 待受中に、メールメニュー「SMS作成」を選択する

2 宛先を入力する

■電話番号を直接入力するには

- ダイヤル発信制限中は直接入力はできません。

①宛先欄を選び ◎（選択）を押す

②電話番号を入力する

■電話帳から検索するには

①宛先欄を選びサブメニュー「3.アドレス帳」を選択する

電話帳検索画面が表示されます。

- ○（モード）を押すと検索方法を切り替えられます。以下の順に切り替わります。

- 宛先欄を選んで ◎（選択）を押し、文字がない状態で ◎ を押しても電話帳を検索できます。
- シークレットメモリ登録した相手を検索するには、サブメニュー「4.シークレットデータ」を選択し、端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押します。
  シークレット検索時はFOMAカードグループ検索はできません。

②電話帳を検索する

- 電話番号が登録されていない相手は表示されません。
- 電話帳の検索方法：「電話帳から宛先を検索する」操作2 [☛P120]
  ただし、アドレス検索は電話番号検索になります。

③宛先を選び ◎（選択）を押す

電話番号が宛先欄に設定されます。

3 本文を入力する

①本文欄を選び ◎（選択）を押す

②本文を入力する

- 入力した文字は、全角半角にかかわらず1文字として数えます。160文字まで入力できます。ただし、送信できる文字数は70文字（半角の英数字記号（ l ^ { } [ ] ˜ を除く）のみのときは160文字）までです。
- 半角カタカナや絵文字を使うと受信側に正しく表示されない場合があります。また「絵文字2」[☛基本P262] はFOMA端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 一部の記号（ l ^ { } [ ] ˜ ）を入力すると送信できる文字数が少なくなるため、最大文字数以下でも送信できない場合があります。
- 署名を自動的に付ける設定にしていても、ショートメッセージ（SMS）の本文に署名は付きません。登録した署名をSMS作成画面からの操作で付けることもできません。

4 メッセージ送達通知を要求するかどうかを選択する

①メッセージ送達通知欄を選び ◎（選択）を押す

②「要求する」または「要求しない」を選び ◎（選択）を押す

- 「要求する」を選択すると、宛先のFOMA端末にショートメッセージ（SMS）が届くと、メッセージ送達通知が送られてきます。メッセージ送達通知を受け取らないときは「要求しない」を選択します。
- ショートメッセージ（SMS）作成時には、SMS設定のメッセージ送達通知設定で設定した項目が指定されています。[☛P170]

5 メッセージの有効期間を指定する

①メッセージ有効期間欄を選び ◎（選択）を押す

② ◎ で日数を指定し ◎（確定）を押す

- 0日、1日、2日、3日が指定できます。
- ショートメッセージ（SMS）作成時には、SMS設定のメッセージ有効期間設定で設定した日数が指定されています。[☛P170]

6 サブメニュー「1.送信」を選択する

ショートメッセージ（SMS）が送信されます。

- 送信済みのショートメッセージ（SMS）は送信メールBOXに保存されます。

おしらせ

- **作成中のショートメッセージ（SMS）を送信メールBOXに保存しておき、あとで送信できます。[☛P166]**
- **送信に失敗したショートメッセージ（SMS）は、送信メールBOXに保存され、再送信できます。[☛P166]**
- **電波状態により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。**
- **「186（＊31#)」「184（#31#)」が付いた電話番号をショートメッセージ（SMS）の宛先に設定すると送信できません。**

ショートメッセージ（SMS）を保存しておき、あとで送信する

ショートメッセージ（SMS）を、送信せずに保存しておき、あとで送信できます。
• 保存件数について [☛P175]

ショートメッセージ（SMS）を保存する

1 SMS作成画面で、サブメニュー「2.保存」を選択する

作成したショートメッセージ（SMS）が、未送信ショートメッセージ（SMS）として送信メールBOXに保存されます。

• SMS作成画面で◎(戻る)を押し、問合せ画面で「はい」を選び◉(選択)を押しても保存できます。
  ・内容を入力・編集していないときは問合せ画面は表示されません。
  ・◎(戻る)を1秒以上押すと、ショートメッセージ（SMS）を保存せずにショートメッセージ（SMS）作成が終了します。

保存したショートメッセージ（SMS）を編集・送信する

1 待受中に、メールメニュー「送信メールBOX」を選択する

送信メールBOXのフォルダ一覧が表示されます。

• メールセキュリティ設定中は端末暗証番号を入力し◉(選択)を押します。

2 ショートメッセージ（SMS）を表示する

ショートメッセージ（SMS）
：未送信　：送信済み　：保護
：本体に保存されている
：FOMAカードに保存されている

3 サブメニュー「01.編集」を選択する

SMS作成画面が表示されます。

• ✉を押しても表示できます。
• 送信メール一覧からショートメッセージ（SMS）を選びサブメニュー「01.編集」を選択しても表示できます。
• ショートメッセージ（SMS）を編集せずにそのまま送信するときは、サブメニュー「02.送信」を選択します。

宛先、本文を編集して送信する

- 操作方法：「ショートメッセージ（SMS）を作成して送信する」操作2～6 [☛P164]

おしらせ

- 未送信のショートメッセージ（SMS）を送信すると、送信メールBOXから未送信のショートメッセージ（SMS）は削除され、送信済みのショートメッセージ（SMS）として保存されます。
- 送信済みのショートメッセージ（SMS）を再送信すると、元の送信済みのショートメッセージ（SMS）に加えて、新たに送信済みのショートメッセージ（SMS）が保存されます。

SMS受信

ショートメッセージ（SMS）を受信したときは

ショートメッセージ（SMS）を受信すると、着信音と画面表示で知らせます。受信したショートメッセージ（SMS）は受信メールBOXに保存されます。

- **受信中、受信完了時の画面表示や着信音は、ｉモードメールと同じです [☛P135]**

新着ショートメッセージ（SMS）を表示する

メッセージ受信画面からショートメッセージ（SMS）を表示できます。

1 メッセージ受信画面から受信メール一覧を表示する

- 操作方法：「新着ｉモードメールを表示する」操作1～2 [☛P137]

送信元

本文の先頭が表示されます。

：未読　：既読　：保護

：本体に保存されている

：FOMAカードに保存されている

2 受信ショートメッセージ（SMS）を選び ◉（詳細）を押す

ショートメッセージ（SMS）が表示されます。

受信メールBOXからショートメッセージ（SMS）を表示する

1　待受中に、メールメニュー「受信メールBOX」を選択する

フォルダ一覧が表示されます。

2　フォルダを選択し、受信ショートメッセージ（SMS）を表示する

• 操作方法：「送信／受信メールBOXのメールを表示する」操作2～3 [☛P175]

おしらせ

● 受信できる文字は全角半角にかかわらず70文字（半角の英数字と記号（ | ^ { } [ ] ~ を除く）だけのときは160文字）です。

SMS問合せ

ショートメッセージ（SMS）があるかどうかを問い合わせる

ショートメッセージセンターに保管されているショートメッセージ（SMS）を受信できます。

1　待受中に、メールメニュー「SMS問合せ」を選択する

問合せが完了すると、メールメニューに戻ります。ショートメッセージセンターにショートメッセージ（SMS）があると、受信が開始されます。（受信が始まるまでに時間がかかる場合があります。）

おしらせ

● FOMA端末がショートメッセージ（SMS）を受信すると、ショートメッセージセンターに保管されているショートメッセージ（SMS）は削除されます。受信したショートメッセージ（SMS）はFOMA端末の受信メールBOXに保存されます。

● 受信メールBOXに空きがないとき、またはFOMAカードにショートメッセージ（SMS）が最大件数保存されているときは、問い合わせできません。

SMS返信

ショートメッセージ（SMS）に返事を出す

1 受信ショートメッセージ（SMS）を表示し、サブメニュー「01.返信」を選択する

- 送達通知には返信できません。
- [From]が表示されているときは返信はできません。
- (✉)を押しても、返信ができます。
- 受信メール一覧からも行えます。

2 ショートメッセージ（SMS）を作成して送信する

- 操作方法：「ショートメッセージ（SMS）を作成して送信する」操作2～6 [☛P164]

SMS転送

ショートメッセージ（SMS）を他の宛先に転送する

1 受信ショートメッセージ（SMS）を表示し、サブメニュー「03.転送」を選択する

- 受信メール一覧からも行えます。
- 送達通知は転送できません。

受信ショートメッセージ（SMS）の本文が入力されています。追加・修正できます。

2 ショートメッセージ（SMS）を編集して送信する

- 操作方法：「ショートメッセージ（SMS）を作成して送信する」操作2～6 [☛P164]

ショートメッセージ（SMS）の設定を行う

お買い上げ時 要求しない

ショートメッセージ（SMS）送達通知を設定する

ショートメッセージ（SMS）が届いたかどうかをメッセージ送達通知で確認できます。

- **設定した内容がショートメッセージ（SMS）の作成時に選択されています。**

1 待受中にメールメニュー「SMS設定」▶「メッセージ送達通知設定」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「SMS設定」▶「メッセージ送達通知設定」を選択しても設定できます。

2 「1.要求する」または「2.要求しない」を選び ◉（選択）を押す

メッセージ送達通知が設定されます。

お買い上げ時 3日

ショートメッセージ（SMS）の有効期間を設定する

送信したショートメッセージ（SMS）を相手が受け取れないときに、ショートメッセージセンターで保管する期間を設定します。

- **期間は0日、1日、2日、3日から選択できます。期間を過ぎても受信されないショートメッセージ（SMS）はショートメッセージセンターで削除されます。**
- **設定した内容がショートメッセージ（SMS）の作成時に選択されています。**

1 待受中にメールメニュー「SMS設定」▶「メッセージ有効期間設定」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「SMS設定」▶「メッセージ有効期間設定」を選択しても設定できます。

2 ◎ で日数を設定し ◉（設定）を押す

メッセージ有効期間が設定されます。

ショートメッセージ（SMS）の接続先を設定する

ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に、接続するショートメッセージセンターのアドレスを設定します。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受中にメールメニュー「SMS設定」▶「SMSセンター設定」を選択する

• 待受中にメニュー「設定」▶「SMS設定」▶「SMSセンター設定」を選択しても設定できます。

2 端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押す

SMSセンター設定画面が表示されます。

3 Type Of Numberを設定する

①Type Of Number欄を選び ◎（選択）を押す
②「Unknown」または「International」を選び ◎（選択）を押す

4 アドレスを設定する

①SMSセンターアドレス欄を選び ◎（選択）を押す
②ショートメッセージセンターのアドレスを入力し ◎（確定）を押す
　• 半角数字で20文字まで入力できます。

5 ◯（登録）を押す

ショートメッセージ（SMS）の接続先が設定されます。

ショートメッセージ（SMS）の設定を確認する

1 待受中にメールメニュー「SMS設定」▶「SMS設定確認」を選択する

• 待受中にメニュー「設定」▶「SMS設定」▶「SMS 設定確認」を選択しても確認できます。

2 ◎ で項目を表示する

• ◎ や ZOOM で項目を切り替えることもできます。

3 内容を確認し、◎（OK）を押す

ショートメッセージ（SMS）の設定を初期値に戻す

ショートメッセージ（SMS）の設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

- PIMロック中は操作できません。

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「設定リセット」▶「SMSリセット」を選択する**

2 **端末暗証番号を入力し◎（選択）を押す**

3 **「はい」を選び◎（選択）を押す**

ショートメッセージ（SMS）の各種設定が初期状態に戻ります。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

■設定リセット時に初期状態に戻る各種設定

機　能		初期状態
メッセージ送達通知設定		要求しない
メッセージ有効期間設定		3日
SMSセンター設定	Type Of Number	International
	SMSセンターアドレス	81903101652

ショートメッセージ（SMS）をFOMAカードに保存する

送信または受信したショートメッセージ（SMS）をFOMAカードにコピーまたは移動して保存できます。

- **最大保存件数：送信、受信合わせて20件**
- **ｉモードメール、送達通知はFOMAカードにはコピー／移動できません。**

1 送信メール一覧または受信メール一覧からショートメッセージ（SMS）を選び、サブメニュー「FOMAカードへコピー」または「FOMAカードへ移動」を選択する

ショートメッセージ（SMS）がFOMAカードにコピーまたは移動されます。

- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- 送信ショートメッセージ（SMS）表示画面、受信ショートメッセージ（SMS）表示画面からも行えます。

FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）を表示する

1 待受中に、メールメニュー「受信メールBOX」または「送信メールBOX」を選択する

フォルダ一覧が表示されます。

- メールセキュリティ設定中は端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押します。

2 「FOMAカードSMSフォルダ」を選び ◉（選択）を押す

受信または送信メール一覧が表示されます。

- 受信メール一覧の詳細［☛P178］、送信メール一覧の詳細［☛P177］
- フォルダを選びサブメニュー「1.フォルダ内一覧」を選択しても表示できます。

FOMAカードに保存されていると が表示されます。

3 ショートメッセージ（SMS）を選び ◉（詳細）を押す

ショートメッセージ（SMS）の内容が表示されます。

- 複数のショートメッセージ（SMS）があるときは、 で前後のショートメッセージ（SMS）を表示できます。

FOMAカードからFOMA端末（本体）にコピー／移動する

- FOMA端末（本体）にコピーまたは移動すると受信メールBOXの「受信フォルダ」または送信メールBOXの「送信フォルダ」に保存されます。メール振分設定されているときは、その設定に従って保存されます。FOMAカード内にある送達通知は本体へはコピー／移動できません。

1 受信メールBOXまたは送信メールBOXから「FOMAカードSMSフォルダ」を選び ◉（選択）を押す

2 送信メール一覧または受信メール一覧からショートメッセージ（SMS）を選び、サブメニュー「FOMAカードからコピー」または「FOMAカードから移動」を選択する

ショートメッセージ（SMS）がFOMA端末（本体）にコピーまたは移動されます。

- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- 送信ショートメッセージ（SMS）表示画面または受信ショートメッセージ（SMS）表示画面からも行えます。

FOMAカードからショートメッセージ（SMS）を削除する

1 受信メールBOXまたは送信メールBOXから「FOMAカードSMSフォルダ」を選び ◉（選択）を押す

2 送信メール一覧または受信メール一覧からショートメッセージ（SMS）を選び、サブメニュー「一件削除」を選択する

- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- （クリア）を1秒以上押しても削除できます。
- 送信ショートメッセージ（SMS）表示画面または受信ショートメッセージ（SMS）表示画面からも行えます。

3 「はい」を選び ◉（選択）を押す

ショートメッセージ（SMS）が削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

送信／受信メールBOXのメールを表示する

例 受信メールを表示するとき

1 待受中に、メールメニュー「受信メールBOX」を選択する

フォルダ一覧が表示されます。[☛P176]

- メールセキュリティ設定中は端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押します。
- 送信メールを表示するには、メールメニュー「送信メールBOX」を選択します。

2 フォルダを選び ◎（選択）を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 受信メール一覧の詳細 [☛P178]、送信メール一覧の詳細 [☛P177]
- フォルダを選びサブメニュー「1.フォルダ内一覧」を選択しても表示できます。
- フォルダがシークレット設定されているときは端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押します。（メールセキュリティ設定中で端末暗証番号入力済みのときは入力不要です。）
- ｉアプリメール用フォルダを選択すると、対応するメール連動型ｉアプリが起動されます。[☛P176]

3 受信メールを選び ◎（詳細）を押す

受信メールの内容が表示されます。

- 受信メール表示画面の詳細 [☛P178]、送信メール表示画面の詳細 [☛P177]
- 複数のメールがあるときは、◎で前後のメールを表示できます。
- 添付メロディや貼付メロディがあると自動的に再生されます。[☛P146]
  自動再生しない設定もできます。[☛P195]
- 添付画像があると1つめの画像が本文の最後に表示されます（デコメールの場合は表示されません）。

おしらせ

● 送信メールを編集して再送信できます。[☛P130、166]

送信メール／受信メールの保存件数

● 送信メールBOXには、送信メール（ショートメッセージ（SMS）を含む）を最大200件保存できます（保存できる件数はデータ量により変わります）。

- すでに200件保存されているときや空きメモリが足りないときに、ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を送信または保存すると、最も古い送信済みメールから上書きされます。残しておきたい送信済みメールは保護してください。未送信メールと保護されているメールには上書きされません。
- 未送信メールと保護されているメールだけで送信メールBOXがいっぱいになると、メールを作成できません。未送信メールを送信するか、不要なメールの保護を解除するか、削除してください。
- 送達通知を要求したショートメッセージ（SMS）は送達通知を受信するまで上書きされません。

● 受信メールBOXには、受信メール（ショートメッセージ（SMS）を含む）を最大1000件保存できます（保存できる件数はデータ量により変わります）。

- すでに1000件保存されているときや空きメモリが足りないときに、ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信すると、最も古い既読メールから上書きされます。残しておきたい既読メールは保護してください。未読メールと保護されているメールには上書きされません。
- 未読メールと保護されているメールだけで受信メールBOXがいっぱいになり、新しいメールを受信できなくなるとメールアイコンの表示でお知らせします。[☛P11] 未読メールを読むか、不要なメールの保護を解除するか、削除するかしてください。

フォルダ一覧画面の見かた

送信メールBOX、受信メールBOXのメールは、フォルダに保存されます。

- **お買い上げ時は、送信メールBOXには「送信フォルダ」「FOMAカードSMSフォルダ」「Dimo絵文字メール」「ｉアニメっちゃメーラーDX」、受信メールBOXには「受信フォルダ」「FOMAカードSMSフォルダ」「Dimo絵文字メール」「ｉアニメっちゃメーラーDX」が登録されています。****[☛P181]**

送信メールBOX

選ばれているフォルダ内の未送信メール件数

：未送信あり
：未送信なし
：ｉアプリメール用
：FOMAカード格納ショートメッセージ（SMS）用

受信メールBOX

選ばれているフォルダ内の未読メール件数

：未読あり
：未読なし
：ｉアプリメール用
：FOMAカード格納ショートメッセージ（SMS）用

- メール振分設定を行うと、メールアドレスや題名などの振分条件によって、送受信したメールを自動的にフォルダに振り分けて保存できます。[☛P187]
- メール振分設定を行っていないときや、振分条件に該当しないときは、メールは「送信フォルダ」「受信フォルダ」に保存されます。
- 保存済みのメールを選択して別のフォルダに移動できます。[☛P183]
- フォルダの作成時や編集時に、フォルダをシークレット設定できます。シークレット設定したフォルダ内のメールは、端末暗証番号を入力しないと表示できません。

■全フォルダの送信メール／受信メールを一覧表示するには

①サブメニュー「2.全件表示」を選択する

- シークレット設定されているフォルダがあるときは端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押します。（メールセキュリティ設定中で端末暗証番号入力済みのときは入力不要です。）
- フォルダ一覧に戻すには ◎（戻る）を押します。

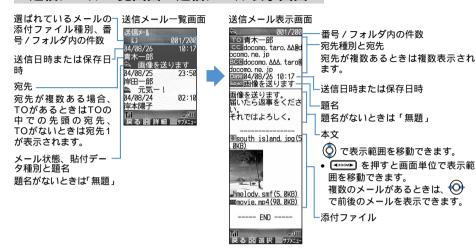
ｉアプリメールについて

FOMA端末ではメール連動型ｉアプリ [☛P60] を使用して、ｉモードメールの送信や送受信メールの操作を行えます。メール連動型ｉアプリの送信メールや、メール連動型ｉアプリ用に送られてくる受信メールを「ｉアプリメール」といいます。

- ｉアプリメールにはｉアプリ利用データが設定されており、送信メールBOX、受信メールBOXのｉアプリメール用フォルダに自動的に振り分けて保存されます。（対応するフォルダがないときやｉアプリ利用データが不正な場合は、メール振分設定に従って振り分けられます。）
- ｉアプリメール用フォルダは、メール連動型ｉアプリをダウンロードすると自動的に作成されます。フォルダ名はメール連動型ｉアプリのソフト名になります。変更できません。
  メール連動型ｉアプリは、対応するｉアプリメール用フォルダのメールだけを使用します。
- ｉアプリメール用フォルダを選択すると、自動的に対応するメール連動型ｉアプリが起動されます。メール連動型ｉアプリからメール機能を利用した各種の操作が行えます。（行える操作はソフトによって異なります。）メール連動型ｉアプリを起動せずにフォルダ内のメールの一覧を表示するには、フォルダ一覧からフォルダを選び、サブメニュー「1.フォルダ内一覧」を選択します。
- ソフトによっては、送受信したｉアプリメールが自動的に削除されることがあります。
- メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは正しく表示できない場合があります。

お買い上げ時 三行表示／通常表示

送信／受信メールの一覧画面／表示画面の見かた

送信メール一覧画面・送信メール表示画面

- メールアドレス（ショートメッセージ（SMS）の場合は電話番号）を電話帳に登録しているときは名前が表示されます。
- ｉモードメールの場合、送信が失敗した宛先には TO、CC または BCC が表示されます。
- グループ別設定で色を設定している場合、一覧画面では電話帳に登録されているメールアドレスまたは電話番号の送信メールは、設定した色で表示されます（文字色、反転色が変わります）。

■ アイコンの意味

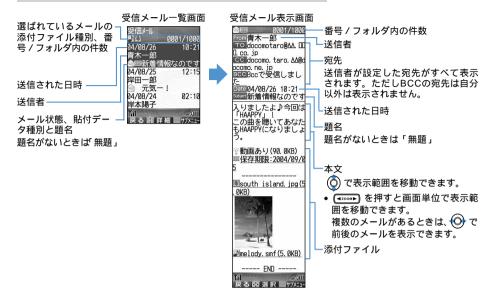
ｉモードメールの状態	：未送信メール　：送信済みメール　：保護されているメール ：送信失敗メール
添付ファイル種別	：メロディ　：画像 ：動画ファイル　：大容量静止画（注） ：不正メロディ　：不正画像 ：不正動画ファイル　：不正大容量静止画（注）
貼付データ種別	：ｉアプリ利用データ
ショートメッセージ（SMS）の状態、種別	：未送信ショートメッセージ（SMS） ：送信済みショートメッセージ（SMS） ：保護されているショートメッセージ（SMS） ：FOMA端末（本体）格納ショートメッセージ（SMS） ：FOMA カード格納ショートメッセージ（SMS）

（注）10001バイト～100Kバイトの画像

■ 添付ファイルがあるとき

本文の下にアイコンとファイル名、データサイズが表示されます。また、1つめの画像はファイル名の下に自動的に表示されます。

- 添付ファイルを選び（選択）を押すと、添付ファイルが表示・再生されます。

受信メール一覧画面・受信メール表示画面

- メールアドレス（ショートメッセージ（SMS）の場合は電話番号）を電話帳に登録しているときは名前が表示されます。
- ｉモードメールの場合、自分宛の宛先にはメールアドレスの代わりに「Toで受信しました」のように表示されます。送信者のメールアドレスが不正のときは［From］が表示されます。宛先のメールアドレスが不正のときは［TO］、［CC］が表示されます。
- グループ別設定で色を設定している場合、一覧画面では電話帳に登録されているメールアドレスまたは電話番号の受信メールは、設定した色で表示されます（文字色、反転色が変わります）。
- ｉモードメールに対応していない添付ファイルは、ｉモードセンターで削除されます。添付ファイルが削除された場合は、本文に［添付ファイル削除］が追加されます。

■ アイコンの意味

ｉモードメールの状態	：未読メール　：既読メール　：保護されているメール
貼付データ種別	：メロディ　：不正メロディ ：ｉモーションメール(動画未取得) ：ｉモーションメール(動画取得済) ：ｉモーションメール(動画取得不可) ：ｉアプリ利用データ　：ｉアプリTo ：複数貼付不正
添付ファイル種別	：メロディ　：画像　：不正メロディ　：不正画像
ショートメッセージ（SMS）の状態、種別	：未読ショートメッセージ（SMS） ：既読ショートメッセージ（SMS） ：保護されているショートメッセージ（SMS） ：FOMA端末（本体）格納ショートメッセージ（SMS） ：FOMA カード格納ショートメッセージ（SMS）

■ ｉモーションメールのとき

本文の下に「動画あり」と表示され、アイコンと保存期間が表示されます。動画／ｉモーションを取得・再生・保存できます。［☛P148］

■添付画像、添付メロディがあるとき

本文の下にアイコンとファイル名、データサイズが表示されます。また、1つめの画像はファイル名の下に自動的に表示されます。

- 画像を表示・保存できます。[☛P145]
- メロディを再生・保存できます。[☛P146]

■本文に画像が挿入されているとき（デコメール）

本文中に画像が表示されます。画像を保存できます。[☛P145]

■本文にメロディが貼り付けられているとき（貼付メロディ）

題名の下に貼付メロディのアイコン、タイトル、サイズが表示されます（タイトルがないときは「(無題)」)。メロディを再生・保存できます。[☛P146]

■送信／受信メール一覧の三行表示と一行表示を切り替えるには

①送信／受信メール一覧で、サブメニュー「表示切替」を選択する

- サブメニューの番号は画面によって異なります。

②表示方法を選択し ◉（選択）を押す

表示形式が変わります。

- 送信メール一覧または受信メール一覧のどちらかの表示を変更しても、もう一方の表示は変わりません。
- プレビュー表示では、画面の下に本文の先頭が表示されます。（デコメールの画像は表示されません。また、すべてのデコメールの装飾情報が取り除かれて表示されます。）

■受信メールの件数を確認するには

①受信メール一覧で、サブメニュー「10.件数表示」を選択する

- 以下の件数が確認できます。
  - ・未読メール　・既読メール　・保護メール　・添付付メール（画像またはメロディを添付）
  - ・動画未取得メール　・動画取得済メール
- 送信メールの件数確認はできません。

② ◉（OK）を押す

■送信／受信メールを並べ替えるには（ソート）

①送信／受信メール一覧で、サブメニュー「ソート」を選択する

- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- 表示中の一覧にだけ有効です。フォルダ一覧に戻るとソートは解除されます。

②ソート条件、並びを選び ◉（選択）を押す

選択した項目が ● になります。

③ ○（決定）を押す

■送信／受信メール表示画面の文字の大きさを変えるには

①送信／受信メール表示画面で、サブメニュー「表示切替」を選択する

- サブメニューの番号は画面によって異なります。

②文字サイズを選び ◉（選択）を押す

- 以降は変更後の文字サイズで表示されます。
- 送信メールまたは受信メールのどちらか一方の文字サイズを変更すると、もう一方の文字サイズも自動的に変更されます。
- 文字サイズは「1.大」、「2.通常」、「3.小」、「4.極小」から選択できます。デコメールの場合は選択できません。

■受信メールの情報を表示するには

①受信メール一覧から受信メールを選び、サブメニュー「11.メール情報表示」を選択する

相手先アドレスと題名が表示されます。

② ◉（OK）を押す

メール一覧画面、表示画面への名前の表示について

● メールアドレスが電話帳の電話番号またはメールアドレスと照合され、一致すると名前が表示されます。
- 大文字と小文字、全角と半角も含めて一致しないと名前は表示されません。
- ｉモード端末の場合、「@docomo.ne.jp」の有無も含めて一致しないと名前は表示されません。

● メールアドレスが電話番号のみの場合は、電話帳の電話番号またはメールアドレスと照合され、一致すると名前が表示されます。

● 電話帳がシークレットメモリ登録されているときは、電話帳のメールアドレスまたは電話番号と一致しても名前は表示されません。

おしらせ

● **メールに複数の貼付データ（ｉモーションメールの動画アイコンと保存期間、貼付メロディ、ｉアプリ利用データ、ｉアプリTo）があるときは、貼付データは無効になり、表示・再生されません。**

● **貼付データ（ｉモーションメールの動画アイコンと保存期間、貼付メロディ、ｉアプリ利用データ、ｉアプリTo）は返信、転送時に引用されません。また、赤外線通信やデータリンクソフトでも引用（送信）されません（貼付メロディを除く）。**

フォルダを作成・編集・削除する

- 最大作成件数：送信メールBOX 50件、受信メールBOX 50件
  - 「送信フォルダ」「受信フォルダ」「FOMAカード用SMSフォルダ」は件数に含みません。
  - ｉアプリメール用フォルダは件数に含みます。
  - フォルダを作成しても保存できるメールの件数は変わりません。
- フォルダは作成された順に上から表示されます。あとから順番を入れ替えることはできません。
- フォルダをシークレット設定できます。シークレット設定したときは、端末暗証番号を入力しないとフォルダ内のメールを表示できません。

フォルダを作成する

1 フォルダ一覧で、サブメニュー「3.フォルダ作成」を選択する

- フォルダ一覧の表示方法 [☛P175]

2 フォルダ名を入力する

① ◉（選択）を押す

② フォルダ名を入力する

- 全角9文字（半角18文字）まで入力できます。
- フォルダ名なしで登録すると、フォルダ一覧には空白で表示されます。

3 シークレット設定するかどうかを設定する

① シークレット欄を選び ◉（選択）を押す

②「する」または「しない」を選び ◉（選択）を押す

4 ◯（登録）を押す

フォルダが作成されます。

メール編

メールBOX

フォルダを編集する

1 フォルダ一覧からフォルダを選び、サブメニュー「4.フォルダ編集」を選択する

- 選択したフォルダがシークレット設定されているときは端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押します。（メールセキュリティ設定中で端末暗証番号入力済みのときは入力不要です。）
- 「送信フォルダ」「受信フォルダ」「FOMAカードSMSフォルダ」は編集できません。

2 フォルダ名やシークレット設定を変更する

- ｉアプリメール用フォルダのフォルダ名は変更できません。シークレット設定だけ変更できます。

3 ◎（登録）を押す

変更内容が保存されます。

フォルダを削除する

- フォルダを削除すると、フォルダ内のメールも削除されます。
- フォルダ内に保護されているメールがあるときは削除できません。ｉアプリメール用フォルダの場合、送信メールBOX、受信メールBOXのどちらか一方のフォルダ内に保護されているメールがあると、両方のフォルダが削除できません。
- ｉアプリメール用フォルダを削除するときは、ソフトを先に削除してください。対応するソフトが残っているとフォルダは削除できません。
- 「送信フォルダ」「受信フォルダ」「FOMAカードSMSフォルダ」は削除できません。

1 フォルダ一覧からフォルダを選び、サブメニュー「5.フォルダ削除」を選択する

- クリア を1秒以上押しても削除できます。

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- 対応するソフトが削除されているｉアプリメール用フォルダを選択すると、同じソフトが作成したフォルダをすべて削除するかどうかの問合せ画面が表示されます。「はい」を選び ◉（選択）を押すと、送信メールBOX、受信メールBOXの両方から、そのソフトのフォルダが削除されます。操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

3 端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

フォルダが削除されます。

送信／受信メールをフォルダに移動する

- **メールの全件表示中は移動できません。**
- **FOMAカードSMSフォルダには移動できません。**

1 送信メール一覧または受信メール一覧からメールを選び、サブメニュー「一件移動」を選択する

- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- 送信メール表示画面、受信メール表示画面からも行えます。

■複数のメールを選択して移動するには

①送信メール一覧または受信メール一覧で、サブメニュー「選択移動」を選択する

②メールを選び ◉（選択）を押す

- 複数のメールを選択できます（30件まで）。
- 選択を解除するには、選択済みのメールを選び ◉（解除）を押します。

③ ○（決定）を押す

■フォルダ内のメールをすべて移動するには

①送信メール一覧または受信メール一覧で、サブメニュー「フォルダ内移動」を選択する

2 移動先フォルダを選び ◉（選択）を押す

- 移動先フォルダがシークレット設定されているときは端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押します。（シークレット設定されているフォルダ間で移動するとき、またはメールセキュリティ設定中で端末暗証番号入力済みのときは入力不要です。）

3 「はい」を選び ◉（選択）を押す

メールが移動されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- ｉアプリメール用フォルダに移動するときは、メールがソフトに利用される旨の問合せ画面が表示されます。移動するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

送信／受信メールから電話をかける

送信メールの宛先や受信メールの送信者に電話をかけられます。

- **ｉモードメールでは、宛先または送信者のメールアドレス、ショートメッセージ（SMS）では宛先または送信者の電話番号が登録されている電話帳の電話番号に電話をかけられます。シークレットメモリ登録されている場合は電話をかけられません。**
- **送信メールの宛先が複数あるときは、「宛先１」に設定された宛先にだけ電話をかけられます。**
- **ダイヤル発信制限中は電話をかけられません。**

1 送信メール一覧または受信メール一覧からメールを選び、サブメニュー「電話発信」を選択する

発信方法の選択画面が表示されます。

- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- 送信メール表示画面または受信メール表示画面からも行えます。

■電話帳に電話番号が複数登録されている場合

電話番号の選択画面が表示されます。

①電話番号を選び ◉（選択）を押す

2 相手の電話番号を確認し、「1.音声」または「2.TV電話」を選び ◉（選択）を押す

電話がかかります。

- 操作を中止するときは「3.発信しない」を選びます。
- サブメニューから、発信者番号を通知するかどうかの選択や、テレビ電話の自画像送信の切替え、代替画像の選択、通信速度の選択ができます。操作方法は音声電話、テレビ電話の発信時と同じです。

送信／受信メールを保護する

- 最大保護件数 [☛P13]
- 未送信メール、未読メールは保護できません。
- FOMAカード内に保存したショートメッセージ（SMS）は保護できません。

1 **送信メール一覧または受信メール一覧からメールを選び、サブメニュー「保護」を選択する**

選択したメールが保護され、アイコンが🔒付きに変わります。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- 送信メール表示画面または受信メール表示画面からも行えます。
- 解除するには、保護されているメールを選び、サブメニュー「保護解除」を選択します。

送信／受信メールを削除する

- 保護されている送信メール、受信メールは削除できません。保護を解除してから削除してください。

1 **送信メール一覧または受信メール一覧からメールを選び、サブメニュー「一件削除」を選択する**

- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- (クリア)を1秒以上押しても削除できます。
- 送信メール表示画面または受信メール表示画面からも行えます。

2 **「はい」を選び ◉（選択）を押す**

メールが削除されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

■**複数のメールを選択して削除するには**

①**送信メール一覧または受信メール一覧で、サブメニュー「選択削除」を選択する**
②**メールを選び ◉（選択）を押す**
- 複数のメールを選択できます（30件まで）。
- 選択を解除するには、選択済みのメールを選び ◉（解除）を押します。

③ ○（決定）を押す
④**「はい」を選び ◉（選択）を押す**

メールが削除されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

■フォルダ内のメールを全件削除するには

①送信メール一覧または受信メール一覧で、サブメニュー「フォルダ内削除」を選択する

- フォルダ一覧からフォルダを選び、サブメニュー「6.フォルダ内削除」を選択しても削除できます。
- 全フォルダのメールを全件削除するには、メールを全件表示してからサブメニュー「全件削除」を選択します。全件表示方法 [☛P176]

②条件を選び ◎（選択）を押す

送信メールの場合	1.送信済のみ削除	保護されていない全送信済みメールを削除
	2.保護以外削除	保護されていない全送信メールを削除（未送信も削除）
受信メールの場合	1.既読のみ削除	保護されていない全既読メールを削除
	2.保護以外削除	保護されていない全受信メールを削除（未読も削除）

- 操作を中止するときは「3.削除しない」を選びます。

③端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押す

条件に該当するメールが削除されます。

メールセキュリティ　　お買い上げ時 しない

メールBOX内のメールを無断で表示できないようにする

端末暗証番号を入力しないと、受信メールBOXや送信メールBOXに保存されているメールを表示できないようにします。

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「メールセキュリティ」を選択する**

2 **端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押す**

3 **「1.する」を選び ◎（選択）を押す**

メールセキュリティが設定されます。

- 解除するときは「2.しない」を選びます。

おしらせ

- **メールセキュリティ設定中は、シークレット設定されているフォルダ内のメールを表示するとき、端末暗証番号の入力は不要になります。**
- **メールセキュリティ設定中は、相手表示設定にかかわらず、メールを受信したときインスピレーションウィンドウに相手の名前、アドレス、題名は表示されません。**
- **メールセキュリティ設定中は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。（送信メールBOX、受信メールBOXの既存のフォルダを名前を変えずに利用する場合を除く。）**

メールを自動的にフォルダに振り分ける

送信メール、受信メールを振分条件に従って自動的にフォルダに振り分けて保存できます。振分条件は、送信メール、受信メール、それぞれ個別に登録します。
- **最大登録条件数：送信メール100件、受信メール100件**
- **次の振分条件が登録できます。**

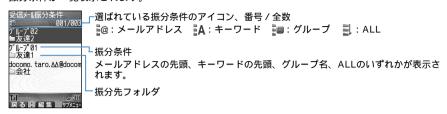
振分条件	説　明
メールアドレス	メールアドレスを指定して振り分けます。メールアドレスの一部を指定すると、指定したアドレスを含むメールアドレスのメールがすべて振り分けられます。 (例)「abc」を指定すると、次のようなメールアドレスのメールがすべて振り分けられます。 abc@ΔΔΔ.ne.jp　XXXabcXXX@ΔΔΔ.ne.jp　XXX@abc.ΔΔΔ.ne.jp ・電話番号を指定すれば、ショートメッセージ（SMS）を振り分けることもできます。 ・「電話番号@docomo.ne.jp」のアドレスを指定するときは、電話番号だけを登録してください。 ・送信メールに複数の宛先がある場合、TOがあるときはTOの中での先頭の宛先、TOがないときは宛先1で振り分けられます。
キーワード	指定したキーワードを含む題名（ショートメッセージ（SMS）の場合はキーワードを含む本文）で振り分けます。 (例)「Aプロジェクト」を指定すると、次のような題名のメールがすべて振り分けられます。 「Aプロジェクト定例会議」「○月Aプロジェクト状況」
グループ	電話帳のグループに従って振り分けます。 ・送信メールに複数の宛先がある場合、TOがあるときはTOの中での先頭の宛先、TOがないときは宛先1で振り分けられます。
ALL	他の条件に当てはまらないすべての送信メール、受信メールを、指定したフォルダに振り分けます。

- 振分先フォルダはあらかじめ作成しておく必要があります。[☛P181]
- 登録した振分条件は、以降の送信メール、受信メールに有効です。保存済みの送信メールや受信メールは振り分け直されません。
- 振分条件は、振分条件一覧に表示される順に上から実行されます。たとえば、条件1、条件2が順に登録されている場合、メールを送信または受信すると、まず条件1に該当するかどうかがチェックされ、該当する場合は指定フォルダに振り分けられます。メールが条件1に該当しない場合は、続いて条件2に該当するかがチェックされます。
- 「ALL」を登録しない場合、すべての振分条件に該当しないメールは「送信フォルダ」「受信フォルダ」に保存されます。
- 「ALL」を振分条件一覧の先頭や途中に登録すると、以降の振分条件は実行されなくなりますのでご注意ください。

1　待受中に、メールメニュー「メール設定」▶「メール振分設定」を選択する

振り分けるメールの選択画面が表示されます。
- 待受中にメニュー「設定」▶「メール設定」▶「メール振分設定」を選択しても設定できます。

2 「1.受信メール」または「2.送信メール」を選び、◉（選択）を押す

振分条件が一覧表示されます。

- シークレット設定されているフォルダがあるときは端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押します。
- サブメニュー「2.一行表示」を選択すると、振分条件一覧を一行表示できます。一行表示では振分条件だけが一覧表示されます。二行表示に戻すにはサブメニュー「2.二行表示」を選びます。

3 サブメニュー「1.新規追加」を選択する

4 振分条件と振分先フォルダを設定する

■メールアドレスを登録するには

①「3.メールアドレス入力」を選び ◉（選択）を押す

- 「1.アドレス帳」または「2.シークレットデータ」を選択すると、電話帳から相手を検索して設定できます。検索方法：「電話帳から宛先を検索する」操作2～3 [☛P120]

② メールアドレス欄を選び ◉（選択）を押す

③ メールアドレスを入力する

- 半角の英字、数字、記号（「@」や「.」）を50文字まで入力できます。
- 大文字と小文字は区別されます。
- 電話帳から検索したときは、検索したメールアドレスが設定されています。ここでメールアドレスを修正できます。
- メールアドレスを入力せずに登録することはできません。

④ 振分先フォルダ欄を選び ◉（選択）を押す

⑤ フォルダを選び ◉（選択）を押す

■キーワードを登録するには

①「4.キーワード入力」を選び ◎（選択）を押す
②キーワード欄を選び ◎（選択）を押す
③キーワードを入力する
- 全角15文字（半角30文字）まで入力できます。キーワードには記号、絵文字も入力できます。
- 全角文字と半角文字、大文字と小文字は区別されます。スペースの全角と半角も区別されます。
- キーワードを入力せずに登録することはできません。

④振分先フォルダ欄を選び ◎（選択）を押す
⑤フォルダを選び ◎（選択）を押す

■グループを登録するには

①「5.グループ指定」を選び ◎（選択）を押す
②グループ指定欄を選び ◎（選択）を押す
③グループを選び ◎（選択）を押す
④振分先フォルダ欄を選び ◎（選択）を押す
⑤フォルダを選び ◎（選択）を押す

■「ALL」を登録するには

①「6.ALL」を選び ◎（選択）を押す
②振分先フォルダ欄を選び ◎（選択）を押す
③フォルダを選び ◎（選択）を押す

5 ◯（登録）を押す

振分条件が登録されます。
- 登録した振分条件は一覧の先頭に追加されます。
- すでに同じ振分条件が登録されているときは、登録時に問合せ画面が表示されます。新しい振分条件で上書きするときは「はい」を選び ◎（選択）を押します。操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

■振分条件を編集するには

①振分条件一覧から振分条件を選び ◎（編集）を押す
　振分条件の設定画面が表示されます。
②振分条件を編集する
　操作方法は操作4の各操作の②以降と同じです。
③◯（登録）を押す

■振分条件を並べ替えるには

①**振分条件一覧で、サブメニュー「3.振分順序並替」を選択する**

②**移動する振分条件を選び ◉（選択）を押す**

③**移動先を選び ◉（選択）を押す**

選択した位置に振分条件が移動します。

- 現在の位置より上に移動する場合、移動先に選んだ行の上に条件が移動します。現在の位置より下に移動する場合、移動先に選んだ行の下に条件が移動します。
- さらに並べ替えるときは操作②〜③を繰り返します。

④ **○（登録）を押す**

振分条件一覧に戻ります。

■振分条件を削除するには

①**振分条件一覧から振分条件を選び、サブメニュー「4.一件削除」を選択する**

- クリア を1秒以上押しても削除できます。
- サブメニュー「5.全件削除」を選択すると、振分条件をすべて削除できます。

②**「はい」を選び ◉（選択）を押す**

振分条件が削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

おしらせ

- **電話帳にシークレットメモリ登録されている相手からのメールも振り分けられます。**
- **ｉアプリメール［☞P176］は、メール振分設定にかかわらず対応するｉアプリメール用フォルダに自動的に振り分けられます。対応するフォルダがない場合やｉアプリ利用データが不正な場合は、メール振分設定に従って振り分けられます。**
- **通常のメールをｉアプリメール用フォルダに振り分けることもできます。この場合、振分条件を登録するときに、メールがソフトに利用される旨の問合せ画面が表示されます。**
- **“メモリースティック Duo”からメールをコピーするときや、赤外線通信でメールを受信するとき、FOMAカードからショートメッセージをコピー／移動するときも、メール振分設定に従って振り分けられます。**
- **電話帳からメールアドレスを検索して設定した場合、電話帳のメールアドレスを削除または変更しても、振分条件のメールアドレスは削除または変更されません。**

メールに署名を付ける

送信メールに付ける署名（自分の名前や電話番号など）を登録できます。

- **署名に半角カタカナ、絵文字、「①」「㈱」などの一部の全角記号を使用すると、ｉモード端末以外に送信したときに、受信側で正しく表示されないことがあります。**
- **ショートメッセージ（SMS）には署名は付きません。**

署名を登録・修正する

1 待受中に、メールメニュー「メール設定」▶「署名編集」を選択する

- すでに署名が登録されている場合は、署名が表示されます。
- 待受中にメニュー「設定」▶「メール設定」▶「署名編集」を選択しても登録できます。

2 ◉（編集）を押す

3 署名を入力する

- 全角40文字（半角80文字）まで入力できます。
- 改行するには # を1秒以上押します。

4 ◯（登録）を押す

署名を自動的に付ける

ｉモードメール作成時、登録した署名を本文に自動的に付けるように設定できます。

- メールごとに署名を付けるには [☛P119]

1 待受中に、メールメニュー「メール設定」▶「署名設定」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「メール設定」▶「署名設定」を選択しても設定できます。

2 「1.ON」を選び ◉（選択）を押す

- 署名を自動的に付けないようにするには「2.OFF」を選びます。

おしらせ

- **「ON」に設定していても、返信時、転送時は署名は付きません。**

ｉモード問合せ設定　お買い上げ時 すべてON

ｉモード問合せの内容を設定する

1 待受中に、メールメニュー「メール設定」▶「ｉモード問合せ設定」を選択する

- 待受中にｉモードメニュー「ｉモード設定」▶「ｉモード問合せ設定」を選択しても設定できます。
- 待受中にメニュー「設定」▶「メール設定」（または「ｉモード設定」）▶「ｉモード問合せ設定」を選択しても設定できます。

2 問合せをする項目を☑にする

設定を変更する項目の☑または□を選び◉（選択）を押します。☑と□が切り替わります。

- ｉモード問合せ時にメッセージRやメッセージFの配信を希望しないときは□にします。
- 3つとも□にすると設定できません。

3 ◎（設定）を押す

問合せ内容が設定されます。

メール選択受信設定　お買い上げ時 OFF

メールを選択して受信できるようにする

- **メール選択受信を「ON」に設定した場合、ｉモードセンターに届いたメールはｉモードセンターに保管され、FOMA端末にはメールが届いたことが通知されます。メールは自動受信されません。メール選択受信で、ｉモードセンターに保管されているメールのうち、必要なメールだけを選択して受信できます。****[☛P138]**
- **メール選択受信を「ON」に設定していても、ｉモード問合せを行うと、ｉモードセンターに保管されているメールをすべて受信します。不要なメールを受信したくないときは、ｉモード問合せ設定で、メールを問い合わせないように設定してください。**

1 待受中に、メールメニュー「メール設定」▶「メール選択受信設定」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「メール設定」▶「メール選択受信設定」を選択しても設定できます。

2 「1.ON」を選び◉（選択）を押す

- メールを自動受信するときは「2.OFF」を選びます。

おしらせ

- **メール選択受信設定を「ON」に設定しているときは、ｉモードセンターにメールがあっても、メールアイコンにｉモードセンターの保管状況は表示されません。**

お買い上げ時 グループ名：メールグループ01～10 宛先：なし

メールグループを登録する

メールグループに宛先を登録しておけば、メールグループを選択するだけで宛先をまとめて入力できます。

- **最大登録件数：10グループ、1グループ当たり宛先5件**
- **メールグループに登録する宛先は、あらかじめ電話帳に登録しておく必要があります。シークレットメモリ登録した電話帳からもメールグループに登録できます。**
- **メールグループから宛先を入力するには** **[☛P122]**

1 待受中に、メールメニュー「メール設定」▶「メールグループ設定」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「メール設定」▶「メールグループ設定」を選択しても設定できます。

2 端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押す

メールグループ一覧が表示されます。

3 グループ名を設定する

グループ名を変更しない場合は操作4に進みます。

①メールグループを選び、サブメニュー「1.グループ名編集」を選択する

②グループ名編集欄を選び ◎（選択）を押す

③ クリア を押して不要な文字を消し、メールグループ名を入力する

- 全角8文字（半角17文字）まで入力できます。

4 宛先を登録する

宛先が登録されているときは宛先が一覧表示されます。

①メールグループを選び ◎（選択）を押す

②サブメニュー「1.新規追加」を選択する

電話帳検索画面が表示されます。

③電話帳から宛先を検索する

- 検索方法：「電話帳から宛先を検索する」操作2
- FOMAカードグループ検索はできません。[☛P120]

④検索結果から宛先を選び ◎（選択）を押す

宛先が追加されます。

■宛先を変更するには

①メールグループを選び ◎（選択）を押す

②宛先を選び、サブメニュー「2.アドレス変更」を選択する

電話帳検索画面が表示されます。

③電話帳から宛先を検索する

- 検索方法：「電話帳から宛先を検索する」操作2 [☛P120]
- FOMAカードグループ検索はできません。

④検索結果から宛先を選び ◎（選択）を押す

選択した宛先に変更されます。

■ 宛先を削除するには

① **メールグループを選び ◉（選択）を押す**

② **宛先を選び、サブメニュー「3.一件削除」を選択する**

- クリア を1秒以上押しても削除できます。
- サブメニュー「4.全件削除」を選択すると、宛先をすべて削除できます。

③ **「はい」を選び ◉（選択）を押す**

宛先が削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

■ メールグループをお買い上げ時の状態に戻すには

グループ名がお買い上げ時のグループ名に戻り、宛先が削除されます。

① **メールグループを選び、サブメニュー「2.グループ内リセット」を選択する**

② **「はい」を選び ◉（選択）を押す**

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

5 ◉（登録）を押す

メールグループが登録されます。

おしらせ

- **電話帳の登録内容を修正すると、メールグループに設定した宛先も変更されます。また、電話帳からメールアドレスを削除すると、メールグループに設定した宛先も削除されます。**

添付ファイル受信設定

お買い上げ時 音楽：ON 静止画：ON

添付ファイルを受信するかどうかを設定する

ｉモードメールの添付画像（静止画）、添付メロディ（音楽）を受信するかどうかを設定できます。

1 待受中に、メールメニュー「メール設定」▶「添付ファイル受信設定」を選択する

添付ファイル受信設定画面が表示されます。

- 待受中にメニュー「設定」▶「メール設定」▶「添付ファイル受信設定」を選択しても設定できます。

2 受信するファイルを☑にする

設定を変更する項目の☑または□を選び◉（選択）を押します。

☑と□が切り替わります。

- 画像を受信するときは「静止画」を☑、メロディを受信するときは「音楽」を☑にします。

3 ◯（設定）を押す

おしらせ

- 添付ファイルを受信しない設定にした場合、ｉモードメールを受信すると、受信しなかった添付ファイルもｉモードセンターから削除されます。あとから添付ファイルを受信し直すことはできません。
- 添付画像を受信しない設定にした場合、デコメールの挿入画像も受信されません。

添付ファイル自動再生

お買い上げ時 する

添付ファイルを自動再生するかどうかを設定する

送信メール、受信メールやメッセージR/Fを表示したときに、添付メロディ、貼付メロディを自動再生するかどうかを設定できます。

1 待受中に、メールメニュー「メール設定」▶「添付ファイル自動再生」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「メール設定」▶「添付ファイル自動再生」を選択しても設定できます。

2 「2.しない」を選び◉（選択）を押す

- メロディを自動再生するときは「1.する」を選びます。

メール設定確認

メール機能の設定状況を確認する

メール機能の各種設定状況を確認できます。

- **メールセンター設定の設定状況は表示されません。**

1 待受中に、メールメニュー「メール設定」▶「メール設定確認」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「メール設定」▶「メール設定確認」を選択しても確認できます。

2 で項目を表示する

- や で項目を切り替えることもできます。

3 内容を確認し、（OK）を押す

メール設定リセット

メール設定を初期状態に戻す

メール機能の設定を、お買い上げ時の状態（初期状態）に戻せます。

- **メールセンター設定はリセットされません。**
- **PIMロック中は操作できません。**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「設定リセット」▶「メールリセット」を選択する

2 端末暗証番号を入力し（選択）を押す

3 「はい」を選び（選択）を押す

メール機能の各種設定が初期状態に戻ります。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

設定リセット時に初期状態に戻る各種設定

機　能	初期状態
メール振分設定	一覧：二行表示
署名設定	ON
ｉモード問合せ設定（注）	すべてON
メール選択受信設定	OFF
添付ファイル自動再生	する
添付ファイル受信設定	音楽：ON　静止画：ON
送信メール／受信メール	一覧：三行表示　表示画面文字サイズ：通常

（注）ｉモード問合せ設定はｉモード設定リセットでも初期状態に戻ります。

カメラをご利用になる前に

FOMA端末内蔵のカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。撮影した静止画や動画はメールに添付して送信したり、待受画面などに設定したりできます。

カメラの使いかた

- FOMA端末をしっかりと持ち、ぶれないようにしてください。特に室内で撮影する際はご注意ください。
- ぶれるときはFOMA端末を固定し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- 撮影時に指、髪、ストラップなどがレンズにかからないように注意してください。

■景色や人を撮影するときは、FOMA端末を折りたたんで撮影します（クローズ撮影）

◉（サイドC）
シャッターボタン、録画ボタンとして使います。

◀ZOOM▶（右側）
動画撮影を開始します。
ズームの倍率を上げます。

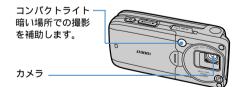
◀ZOOM▶（左側）
静止画撮影を開始します。
ズームの倍率を下げます。

接写切替スイッチ
通常撮影と接写を切り替えます。

インスピレーションウィンドウ
被写体が表示されます。

○（リアボタン）
設定状況を表示します。
カメラ撮影を終了します。

コンパクトライト
暗い場所での撮影を補助します。

カメラ

■自分を撮影するときは、FOMA端末を開いて撮影します（オープン撮影）

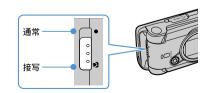
メインディスプレイ
被写体が表示されます。

カメラ

イージーセレクタープラス
静止画撮影、動画撮影の各種操作を行います。

■接写について

接写切替スイッチを（接写）に切り替えると、被写体に接近して撮影できます。

- 接写では約6～9cmの距離で、通常撮影では約50cm以上離れて撮影してください（距離は目安です）。
- スイッチは中間で止めず、両端で止まるまでスライドしてください。
- 接写で撮影するとき以外は●（通常）に切り替えて撮影してください。

■いろいろな撮影ができます

- 静止画では最大8倍、動画では最大4倍のズームができます。（静止画、動画のサイズなどにより設定可能な最大倍率は異なります。）[☛P210]
- 暗い所ではコンパクトライトを点灯して撮影できます。[☛P210]
- フレーム撮影ができます。[☛P211]

- セルフタイマーが使えます。[☛P211]
- 撮影効果（画像の明るさ、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランス、撮影モード）を設定して撮影できます。[☛P212]

カメラをご利用になる前に

■撮影前のご注意

- 撮影前に、やわらかい布などでレンズを拭いてください。レンズに指紋や油脂などがつくと、きれいに撮影できません。
- 直射日光の当たる場所、高い温度になる場所に長時間放置しないでください。画質が劣化することがあります。
- レンズ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。

■撮影時のご注意

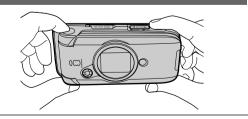
- 直接、太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。また、撮影範囲に強い光源が入ると、画面が部分的に白っぽくなる場合がありますのでご了承ください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 折りたたんで撮影するときに、インスピレーションウィンドウに、それまで表示されていた文字や画像が残って見える場合がありますが、撮影する画像には影響しません。

■著作権・肖像権について

- FOMA端末を利用して撮影したものを権利者に無断で複製、改変、編集等する行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変等すると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影が禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

きれいに撮影するために

クローズ撮影時は、FOMA端末を右の図のようにしっかりと持ち、ぶれないようにしてください。インスピレーションウィンドウ側ではなく、サイドボタン側の本体を持つようにしてください。

静止画撮影について

モードと撮影サイズ

■静止画撮影のモード

以下の3つのモードがあります。カメラ設定で設定します。[☛P214]

モード	説　明
通常撮影	通常のモードです。
メール添付（携帯）	撮影した静止画をメールに添付して携帯電話に送信するのに適したモードです。
メール添付（PC）	撮影した静止画をメールに添付してパソコンなどに送信するのに適したモードです。

■撮影できる画像サイズ

撮影できる画像サイズ（撮影サイズ）は、モードと撮影方法によって異なります。カメラ設定で設定します。[☛P214]

- 通常モードではすべてのサイズで撮影できます。メール添付（携帯）モード、メール添付（PC）モードでは一部のサイズが使用できません。

撮影方法	撮影サイズ（注1）	モード		
		通常撮影	メール添付（携帯）	メール添付（PC）
オープン撮影	640×480	○	×	○（注2）
	352×288	○	○（注2）	○
	240×320	○	○（注2）	○
	176×144	○	○（注2）	○
	128×96	○	○	○
クローズ撮影	1600×1200	○	×	×
	1280×960	○	×	×
	640×480	○	×	○（注2）
	352×288	○	○（注2）	○
	320×240	○	○（注2）	○
	176×144	○	○（注2）	○
	128×96	○	○	○

（注1）サイズは横×縦のドット数です。
（注2）使用できない圧縮モードがあります。[☛P214]

静止画の保存について

撮影サイズが1600×1200ドット、1280×960ドットの静止画は“メモリースティック Duo”にのみ保存できます。その他のサイズの静止画は、FOMA端末本体のマルチメディア用のメモリ、または“メモリースティック Duo”に保存できます。カメラ設定で設定します。[☛P214]

ファイル形式	JPEG
ファイル名	保存場所がFOMA端末本体のとき：PCM_yy_mm_dd_××××.JPG 保存場所が“メモリースティック Duo”のとき：PIC_××××.JPG ※yy_mm_dd：撮影年月日（年は西暦下2桁）　×：数字
ファイル制限	なし（メール添付やFOMA端末外への出力を禁止しない）

■最大保存件数の目安

同じ画像サイズ、圧縮モードで撮影し、静止画を編集せずに、本体のマルチメディア用メモリ、または“メモリースティック Duo”の容量をすべて使用して保存した場合の保存件数の目安です。

画像サイズ＼圧縮モード	スーパーファイン		スタンダード		エコノミー	
	本体メモリ	“メモリースティック Duo”	本体メモリ	“メモリースティック Duo”	本体メモリ	“メモリースティック Duo”
1600×1200	−	約20枚	−	約30枚	−	約120枚
1280×960	−	約30枚	−	約40枚	−	約130枚
640×480	約90枚	約120枚	約120枚	約160枚	約260枚	約320枚
352×288	約170枚	約240枚	約290枚	約320枚	約680枚	約970枚
240×320	約330枚	約320枚	約520枚	約480枚	約1000枚	約970枚
320×240	約210枚	約320枚	約310枚	約480枚	約680枚	約970枚
176×144	約860枚	約480枚	約1000枚	約970枚	約1000枚	約970枚
128×96	約1000枚	約970枚	約1000枚	約970枚	約1000枚	約970枚

- FOMA端末本体の保存枚数は、お買い上げ時にマルチメディア用のメモリに登録されているデータを削除した状態での枚数です。
- “メモリースティック Duo”の保存枚数は、付属の16Mバイトの“メモリースティック Duo”に保存した場合の目安です。市販の“メモリースティック Duo”をご利用の場合、容量と保存できる枚数が比例しないことがあります。
- 被写体によって保存できる枚数は変わります。
- “メモリースティック Duo”とFOMA端末の保存形式が異なるため、被写体によっては“メモリースティック Duo”よりFOMA端末本体に保存できる枚数の方が多くなることがあります。この場合は、FOMA端末本体の静止画すべてを付属の“メモリースティック Duo”へコピーできませんのでご注意ください。

撮影画面の見かた

■オープン撮影の場合

設定状況

撮影可能な残り枚数の目安
現在の設定で、空きメモリをすべて使用して撮影できる枚数の目安です。

■クローズ撮影の場合

撮影画面で○(リアボタン)を押すと設定状況が表示されます。○(リアボタン)、◀ZOOM▶、◉(サイドC)のいずれかを押すと撮影画面に戻ります。

撮影画面

設定状況

※“メモリースティック Duo”に保存する場合、1枚撮影しただけで残り枚数が2枚減ることがあります。

■アイコンの意味

撮影サイズ	：1600×1200　：1280×960　：640×480 ：352×288　：240×320　：320×240 ：176×144　：128×96
モード	：通常撮影　：メール添付（携帯）　：メール添付（PC）
圧縮モード	：自動選択　：スーパーファイン　：スタンダード ：エコノミー
保存場所	：本体メモリ　：“メモリースティック Duo”
ズーム(注)	：1倍　：2倍　：4倍　：8倍
セルフタイマー	：ON　なし：OFF
コンパクトライト	：ON　なし：OFF

（注）クローズ撮影時はズームの倍率は表示されません。

動画撮影について

モードと品質モード

■動画撮影のモード

以下の2つのモードがあります。カメラ設定で設定します。[☛P214]

モード	説　明
通常撮影	通常のモードです。
メール添付	撮影した動画をメールに添付して送信するのに適したモードです。

■品質モード

以下の5つの品質モードがあります。カメラ設定で設定します。[☛P214]

- 品質モードにより画像サイズが決まります。
- 176×144ドットのサイズについては3段階の画質が選べます。「超なめらか」が1番高画質で、続いて「ファイン」「スタンダード」の順になります。
- 通常モードではすべての品質モードで撮影できます。メール添付モードでは一部のモードが使用できません。
- 品質モードにより1回の録画可能時間が変わります。

品質モード（サイズ）(注)	1回に録画できる最大時間		
	通常撮影モード		メール添付モード
	本体メモリ	“メモリースティック Duo”	本体メモリ / “メモリースティック Duo”
スモールファイン（128×96）	約30秒	約25分	約9秒
スタンダード（176×144）	約60秒	約50分	約19秒
ファイン（176×144）	約30秒	約25分	約9秒
超なめらか（176×144）	約10秒	約5分	撮影不可
大画面（320×240）	約10秒	約5分	撮影不可

（注）サイズは横×縦のドット数です。

動画の保存について

FOMA端末本体のマルチメディア用のメモリまたは、“メモリースティック Duo”に保存できます。[☛P214]

ファイル形式	スモールファイン、スタンダード、ファイン：MP4 超なめらか、大画面：独自形式
ファイル名	保存場所がFOMA端末本体のとき：MCM_yy_mm_dd_××××.拡張子 保存場所が“メモリースティック Duo”のとき：M×××××××.拡張子 ※yy_mm_dd：撮影年月日（年は西暦下2桁）　×：数字 ※拡張子は、スモールファイン、スタンダード、ファインでは「3GP」、超なめらか、大画面では「AMV」になります。
ファイル制限	なし（メール添付やFOMA端末外への出力を禁止しない）

おしらせ

●動画を“メモリースティック Duo”に保存すると、その後FOMA端末本体にコピーしても、着モーションには設定できませんのでご注意ください。

■ **最大録画時間の目安**

同じ品質モードで撮影し、本体のマルチメディア用メモリまたは“メモリースティック Duo”の容量をすべて使用して保存した場合の録画時間の目安です（保存した全動画の録画時間の合計）。

モード ＼ 品質モード	通常撮影		メール添付	
	本体メモリ	“メモリースティック Duo”	本体メモリ	“メモリースティック Duo”
スモールファイン	約21分	約27分	約19分	約26分
スタンダード	約41分	約53分	約37分	約52分
ファイン	約21分	約27分	約19分	約26分
超なめらか	約6分	約7分	－	－
大画面	約4分	約5分	－	－

- FOMA端末本体の録画時間は、お買い上げ時にマルチメディア用のメモリに登録されているデータを削除した状態での時間です。
- “メモリースティック Duo”の録画時間は、付属の16Mバイトの“メモリースティック Duo”に保存した場合の目安です。市販の“メモリースティック Duo”をご利用の場合、容量と最大録画時間が比例しないことがあります。
- 1回あたりの録画可能時間より短い録画を多く行った場合、合計の録画可能時間は少なくなります。
- “メモリースティック Duo”とFOMA端末の保存形式が異なるため、被写体によっては“メモリースティック Duo”よりFOMA端末本体の最大録画時間の方が多くなることがあります。この場合は、FOMA端末本体の動画すべてを付属の“メモリースティック Duo”へコピーできませんのでご注意ください。

撮影画面の見かた

■ **オープン撮影の場合**

設定状況

録画可能な残り時間の目安
現在の設定で、空きメモリをすべて使用して録画できる時間の目安です。

■ **クローズ撮影の場合**

撮影画面で○(リアボタン)を押すと設定状況が表示されます。○(リアボタン)、(◀ZOOM▶)、⦿(サイドC)のいずれかを押すと撮影画面に戻ります。

撮影画面　　設定状況

■ **アイコンの意味**

品質モード	：スモールファイン（128×96）　：スタンダード（176×144） ：ファイン（176×144）　：超なめらか（176×144） ：大画面（320×240）
モード	：通常撮影　：メール添付
保存場所	：本体メモリ　：“メモリースティック Duo”
セルフタイマー	：ON　なし：OFF
コンパクトライト	：ON　なし：OFF

※ズームの倍率は表示されません。

おしらせ

● **本体メモリに保存した静止画や動画は、FOMA端末の故障、修理やその他の取扱いによって消失する場合があります。万一静止画や動画が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。“メモリースティック Duo”や専用のデータリンクソフトを利用することにより、静止画や動画を保存できます。****[☛P284、339]**

静止画を撮影する

- カメラ設定で、撮影するモードや撮影サイズ、保存場所を設定してください。（撮影画面表示後に変更することもできます。）[☛P214]
- 撮影前に接写切替スイッチを確認してください。[☛P198] 接写で撮影するとき以外は、●（通常）に切り替えて撮影してください。

おしらせ

- ● 撮影した静止画の表示方法は以下をご覧ください。
  - FOMA端末本体に保存した静止画の表示方法 [☛P224]
  - “メモリースティック Duo”に保存した静止画の表示方法 [☛P289]
- ● 撮影時にはシャッター音が鳴ります。シャッター音は変更できます。[☛P214]
- ● シャッター音、セルフタイマー音を消すことはできません。音量も変更できません。マナーモード中やドライブモード中でも鳴ります。
- ● 静止画を撮影後、保存する前に以下が起こった場合は、未保存の静止画は削除されます。
  - 電話がかかってきた
  - アラームやスケジュールの設定時刻になった
  - 電池切れ
  - 高温警告画面が表示された

FOMA端末を開いて撮影する

1 待受中に、◎ を1秒以上押す

コンパクトライトが赤く点灯し、撮影画面が表示されます。

- 待受中に、ZOOM を1秒以上押しても操作できます。
- 待受中に、◎ を押し、「1.静止画撮影」を選択しても操作できます。
- 待受中に、メニュー「カメラ」を選択し、「1.静止画撮影」を選択しても操作できます。
- FOMA端末を折りたたんでも撮影を継続できます。
- 約3分間操作しないと待受画面に戻ります。
- サブメニュー「1.動画」を選択すると動画撮影に切り替わります。

■鏡像表示と正像表示を切り替えるには

被写体を鏡に映したように左右を逆にして撮影画面に表示するか（鏡像表示）、被写体の左右をそのまま表示するか（正像表示）を切り替えられます。撮影画面表示時は鏡像表示されます。

①サブメニュー「3.正像表示」を選択する

- 鏡像表示に戻すにはサブメニュー「3.鏡像表示」を選択します。

2 カメラを被写体に向け、◉（撮影）を押す

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。撮影した静止画が表示されます。

- ⊙(サイドc) を押しても撮影できます。
- 撮影時はコンパクトライトは消灯し、撮影画面に戻ると再び赤く点灯します。（コンパクトライトON時は消灯しません。）
- 保存先のメモリに空きがないときは撮影できません。

3 ◉（保存）を押す

静止画が保存されます。

- 鏡像表示で撮影しても正像で保存されます。
- 静止画を保存しないときは ◎（戻る）を押します。撮影画面に戻ります。

■鏡像表示で保存するには

①撮影した静止画表示中に、サブメニュー「2.鏡像保存」を選択する

- 保存前にサブメニュー「1.正像表示」または「1.鏡像表示」を選択すると、静止画の鏡像表示と正像表示を切り替えて確認できます。
- フレーム撮影時は鏡像保存できません。

撮影した静止画を確認するには

1 撮影画面で◎を押す

最新撮影画像が表示されます。

- サブメニュー「7.最新撮影画像」を選択しても表示できます。
- 静止画撮影を終了したあとや、最新撮影画像を削除したあとでは表示できません。
- 撮影画面に戻すには ◉（OK）を押します。

■メールに添付して送信するには

①サブメニュー「1.メール添付」を選択する

iモードメール作成画面が表示されます。

- 以降の操作：「iモードメールを作成して送信する」操作2以降 [☛P118]
- “メモリースティック Duo”に保存した静止画を添付するときは、FOMA端末本体にコピーするかどうかの問合せ画面が表示されます。添付するときは「はい」を選び◉（選択）を押します。
  - ・FOMA端末本体にコピーできる静止画の条件 [☛P294]
- ファイルサイズが送信可能なサイズを超える静止画は添付できません。
- 撮影後に撮影画面で✉を押しても操作できます。（最新撮影画像がないときは行えません。また、最新撮影画像のサイズが1600×1200ドットまたは1280×960ドットのときは行えません。）

■待受画面などに設定するには

①サブメニュー「2.画面設定」を選択する

- 以降の操作：「待受画面などに設定する」操作2以降 [☛P231]
- “メモリースティック Duo”に保存した静止画を設定するときは、FOMA端末本体にコピーするかどうかの問合せ画面が表示されます。設定するときは「はい」を選び◉（選択）を押します。
  - ・FOMA端末本体にコピーできる静止画の条件 [☛P294]

■静止画を削除するには

①サブメニュー「3.削除」を選択する

- クリアを1秒以上押しても削除できます。

②「はい」を選び◉（選択）を押す

静止画が削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

FOMA端末を折りたたんで撮影する

1 待受中に、◀ZOOM▶ を1秒以上押す

コンパクトライトが赤く点灯し、撮影画面がインスピレーションウィンドウに表示されます。
- FOMA端末を開いても撮影を継続できます。
- 約3分間操作しないと待受画面に戻ります。

2 カメラを被写体に向け⦿(サイドC) を押す

シャッター音が鳴り、静止画が撮影、保存されます。
- 撮影時はコンパクトライトは消灯し、撮影画面に戻ると再び赤く点灯します。（コンパクトライトON時は消灯しません。）
- FOMA端末を開くと最新撮影画像がメインディスプレイに表示されます。

3 ◯(リアボタン) を1秒以上押す

静止画撮影が終了します。

おしらせ

- **クローズ撮影では、常に正像表示で撮影・保存されます。**
- **保存先の空き不足などで静止画を撮影・保存できないときは、「メインディスプレイを確認して下さい」と表示されます。FOMA端末を開きメインディスプレイの表示を確認してください。**

動画を撮影する

- カメラ設定で、撮影するモードや品質モード、保存場所を設定してください。（撮影画面表示後に変更することもできます。）[☛P214]
- 撮影前に接写切替スイッチを確認してください。[☛P198] 接写で撮影するとき以外は、●（通常）に切り替えて撮影してください。

おしらせ

- 撮影した動画の表示方法は以下をご覧ください。
  - FOMA端末本体に保存した動画の表示方法 [☛P246]
  - “メモリースティック Duo”に保存した動画の表示方法 [☛P289]
- 撮影時にはシャッター音が鳴ります。シャッター音は変更できます。[☛P214]
- シャッター音、セルフタイマー音を消すことはできません。音量も変更できません。マナーモード中やドライブモード中でも鳴ります。
- 録画中に以下が起こった場合は、録画が終了し、それまでの録画内容が保存されます。
  - 電話がかかってきた
  - データ通信を開始した
  - アラームやスケジュールの設定時刻になった
  - 電池切れになった
  - 高温警告画面が表示された

  ただし、保存先が本体メモリの場合、撮影画面に戻らずに電源が切れると、録画内容は保存されません。
- 保存先の最大保存件数を超えるときや、空きメモリがないときは動画を撮影できません。
- 動画撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。

FOMA端末を開いて撮影する

1 待受中に、◀ZOOM▶ を1秒以上押す

録画可能な残り時間の目安

コンパクトライトが赤く点灯し、撮影画面が表示されます。
- 待受中に、◎を押し、「2.動画撮影」を選択しても操作できます。
- 待受中に、メニュー「カメラ」を選択し、「2.動画撮影」を選択しても操作できます。
- FOMA端末を折りたたんでも撮影を継続できます。
- 約3分間操作しないと待受画面に戻ります。
- サブメニュー「1.静止画」を選択すると静止画撮影に切り替わります。

■鏡像表示と正像表示を切り替えるには

被写体を鏡に映したように左右を逆にして撮影画面に表示するか（鏡像表示）、被写体の左右をそのまま表示するか（正像表示）を切り替えられます。撮影画面表示時は鏡像表示されます。
- 表示にかかわらず、撮影した動画は正像表示で保存されます。

①サブメニュー「3.正像表示」を選択する
- 鏡像表示に戻すにはサブメニュー「3.鏡像表示」を選択します。

2 カメラを被写体に向け、◉（撮影）を押す

今回の録画の残り時間（残り0秒になると録画が終了します。）

シャッター音が鳴り、録画が開始されます。
- 録画している間、コンパクトライトが赤く点滅します。
- ⦿（ｻｲﾄﾞc）を押しても録画を開始できます。
- 録画開始後にFOMA端末を折りたたんでもインスピレーションウィンドウに被写体は表示されません。

3 ◉（停止）を押す

シャッター音が鳴り、録画が終了します。動画が保存されます。
- ⦿（ｻｲﾄﾞc）を押しても録画を終了できます。
- 残り撮影時間が0になると自動的に録画が終了します。

撮影した動画を確認するには

1 撮影画面で◎を押す

最新撮影画像が表示されます。
- サブメニュー「7.最新撮影画像」を選択しても表示できます。
- 動画撮影を終了したあとや、最新撮影画像を削除したあとでは表示できません。
- 撮影画面に戻るには◉（OK）を押します。

■動画を再生するには

①サブメニュー「1.再生」を選択する

動画が再生されます。
- マナーモード中またはドライブモード中は問合せ画面が表示されます。音付きで再生するときは「はい」、音なしで再生するときは「いいえ」を選び◉（選択）を押します。
- 再生を止めるには◯（■）を押します。
- 再生中に◎で音量を調節できます。

■メールに添付して送信するには

①サブメニュー「2.メール添付」を選択する

ｉモードメール作成画面が表示されます。
- 以降の操作：「ｉモードメールを作成して送信する」操作2以降［☛P118］
- “メモリースティック Duo”に保存した動画を添付するときはFOMA端末本体にコピーするかどうかの問合せ画面が表示されます。添付するときは「はい」を選び◉（選択）を押します。
  ・FOMA端末本体にコピーできる動画の条件［☛P294］
- 品質モードが「超なめらか」「大画面」の動画、ファイルサイズが送信可能なサイズを超える動画は添付できません。
- 撮影後に撮影画面で✉を押しても操作できます。（最新撮影画像がないときは行えません。また、最新撮影画像の品質モードが「超なめらか」「大画面」のときや、本体にコピーできるファイルサイズを超えているときは行えません。）

■ 待受画面や着モーションなどに設定するには
①サブメニュー「3.画面設定」を選択する
- 以降の操作：「待受画面や着モーションなどに設定する」操作2以降 [☛P252]
- “メモリースティック Duo”に保存した動画を設定するときはFOMA端末本体にコピーするかどうかの問合せ画面が表示されます。設定するときは「はい」を選び◉（選択）を押します。
- FOMA端末本体にコピーできる動画の条件 [☛P294]
- “メモリースティック Duo”に保存した動画は着モーションには設定できません。

■ 動画を削除するには
①サブメニュー「4.削除」を選択する
- (クリア)を1秒以上押しても削除できます。

②「はい」を選び◉（選択）を押す
動画が削除されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

FOMA端末を折りたたんで撮影する

1 待受中に、◀ZOOM▶を1秒以上押す
コンパクトライトが赤く点灯し、撮影画面がインスピレーションウィンドウに表示されます。
- FOMA端末を開いても撮影を継続できます。
- 約3分間操作しないと待受画面に戻ります。

2 カメラを被写体に向け、⊙（サイドC）を押す
シャッター音が鳴り、録画が開始されます。
- 録画している間、コンパクトライトが赤く点滅します。
- 録画開始後にFOMA端末を開いてもメインディスプレイに被写体は表示されません。

3 ⊙（サイドC）を押す
シャッター音が鳴り、録画が終了します。動画が保存されます。
- 残り撮影時間が0になると自動的に録画が終了します。
- FOMA端末を開くと最新撮影画像がメインディスプレイに表示されます。

4 ○（リアボタン）を1秒以上押す
動画撮影が終了します。

おしらせ

●保存先の空き不足などで動画を録画・保存できないときは、「メインディスプレイを確認して下さい」と表示されます。FOMA端末を開きメインディスプレイの表示を確認してください。

撮影時の設定をする

ズームを使う

- クローズ撮影の倍率はFOMA端末を折りたたんで、オープン撮影の倍率はFOMA端末を開いて設定します。
- 設定は静止画撮影または動画撮影を終了するまで有効です。ただし、設定後にFOMA端末を開く、または折りたたむとズームは解除されます。また、フレーム撮影の設定／解除、カメラ設定を行うと、ズームは解除されます。
- 設定できる倍率は以下のとおりです。
  - ・静止画

撮影サイズ	オープン撮影	クローズ撮影
1600×1200	撮影不可	1倍のみ（ズーム不可）
1280×960	撮影不可	1倍のみ（ズーム不可）
640×480	1倍のみ（ズーム不可）	1倍、2倍
352×288	1倍、2倍	1倍、2倍、4倍
240×320	1倍、2倍、4倍	撮影不可
320×240	撮影不可	1倍、2倍、4倍
176×144	1倍、2倍、4倍	1倍、2倍、4倍、8倍
128×96	1倍、2倍、4倍、8倍	1倍、2倍、4倍、8倍

  - ・動画

品質モード	オープン撮影	クローズ撮影
スモールファイン（128×96）	1～4倍（17段階）	1～4倍（17段階）
スタンダード（176×144）	1～2倍（9段階）	1～4倍（17段階）
ファイン（176×144）	1～2倍（9段階）	1～4倍（17段階）
超なめらか（176×144）	1倍のみ（ズーム不可）	1～2倍（9段階）
大画面（320×240）	1倍のみ（ズーム不可）	1～2倍（9段階）

1 静止画または動画の撮影画面で、目的の倍率になるまで ◀ZOOM▶ を押す

◀ZOOM▶ を押している間倍率が上がります。目的の倍率になったら ◀ZOOM▶ を離します。

- 倍率を下げるには ◀ZOOM▶ を押します。

コンパクトライトを点灯する

- FOMA端末を開いて設定します。
- コンパクトライトは光量が不足しているときの補助光として利用するもので、通常のストロボのような光量はありません。撮影画面を見ながら、被写体との距離が離れすぎないように撮影してください。
- コンパクトライトが「ON」のときにFOMA端末を折りたたむとコンパクトライトが点灯します。FOMA端末を開くとコンパクトライトは消灯し、ライトモードの撮影画面が表示されます。
  - ・ライトモードは、撮影画面を縮小表示して白色部分を増やし、メインディスプレイを明るくすることで被写体を照らす画面です。（コンパクトライトより弱い補助的な光源です。）
  - ・撮影サイズが176×144ドット以下のときは表示サイズは変わりません。
- 設定は静止画撮影または動画撮影を終了するまで有効です。

1 静止画または動画の撮影画面で、サブメニュー「5.コンパクトライトON」を選択する

コンパクトライトがONに設定されます。
- コンパクトライトを消すにはサブメニュー「5.コンパクトライトOFF」を選択します。

おしらせ

● コンパクトライトの明るさを調節できます。[☛P214]

セルフタイマーを使って撮影する

- **FOMA端末を開いて設定します。**
- **設定は静止画撮影または動画撮影を終了するまで有効です。**
- **セルフタイマーの秒数を変更できます。****[☛P214]**

1 静止画または動画の撮影画面で、サブメニュー「4.セルフタイマーON」を選択する

セルフタイマーが設定されます。
- セルフタイマーを解除するにはサブメニュー「4.セルフタイマーOFF」を選択します。

2 ⦿(サイドC) または ◎（撮影）を押す

セルフタイマー音が鳴り、コンパクトライトが赤く点滅します。静止画撮影の場合、約5秒後にシャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。動画撮影の場合、約5秒後にシャッター音が鳴り、録画が開始されます。
- 以降の操作は通常の撮影と同じです。
- セルフタイマーを開始してから撮影を中止するには⦿(サイドC)または ◎（中止）を押します。
- セルフタイマー秒数を10秒に設定しているときは、残り5秒になるとセルフタイマー音が鳴ります。
- セルフタイマー開始後にFOMA端末を折りたたんでもインスピレーションウィンドウに撮影画面は表示されません。また、セルフタイマー開始後にFOMA端末を開いてもメインディスプレイに撮影画面は表示されません。ただし、セルフタイマーは終了しません。セルフタイマー秒数が経過すると撮影されます。

フレームを重ねる

フレームを被写体に重ねて撮影できます。FOMA端末内蔵のフレーム［☛P238］やｉモードでダウンロードしたフレームが利用できます。
- **FOMA端末を開いて設定します。**
- **静止画撮影の場合、フレームのサイズを以下の中から選択します。現在のカメラ設定にかかわらず、選択したサイズで撮影されます。メール添付（携帯）モードでは128×96ドット以外は選択できません。また、240×320ドットではクローズ撮影はできません。**
  ・352×288　・240×320　・176×144　・128×96
- **動画撮影の場合、品質モードを以下の中から選択します。現在のカメラ設定にかかわらず、選択した品質モードで撮影されます。メール添付モードでは「超なめらか」は選択できません。**
  ・スモールファイン　・スタンダード　・ファイン　・超なめらか
- **設定は静止画撮影または動画撮影を終了するまで有効です。**

1 静止画または動画の撮影画面で、サブメニュー「2.フレーム撮影」を選択する

静止画の場合

動画の場合

■ **フレーム撮影を解除するには**

①「5.フレーム撮影解除」を選び ◉（選択）を押す

2 フレームサイズまたは品質モードを選び ◉（選択）を押す

内蔵フレームが被写体と重ねて表示されます。

■ **フレームの一覧から選択するには**

①サブメニュー「1.ピクチャ一覧」を選択する

フレームの一覧が表示されます。

② ✥ でフレームを選び ◉（詳細）を押す

■ **ダウンロードしたフレームを選択するには**

①サブメニュー「2.ネットワークフレーム」を選択する

- 内蔵フレームに戻すにはサブメニュー「2.内蔵フレーム」を選択します。
- フレームによっては撮影時は使用できないものがあります。

3 ✥ でフレームを選び ◉（選択）を押す

フレーム撮影が設定されます。

撮影効果を設定する

明るさ、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランス、撮影モードを設定できます。

- **FOMA端末を開いて設定します。**
- **設定は静止画撮影または動画撮影を終了するまで有効です。**

■ **明るさ（お買い上げ時　レベル4）**

明るさを7段階で調節できます。

- 撮影モードを「美白」「日焼け」に設定しているときは設定できません。

■ **コントラスト（お買い上げ時　レベル4）**

コントラストを7段階で調節できます。

- 撮影モードを「美白」「日焼け」「文字」に設定しているときは設定できません。

■シャープネス（お買い上げ時　ノーマル）

輪郭を強調するかどうかを3種類から選択できます。

項　目	説　明
ノーマル	輪郭を調整しません。
ソフト	輪郭がぼやけ柔らかい画像になります。
シャープ	輪郭線が強調され画像がくっきりします。

■ホワイトバランス（お買い上げ時　オート）

白色の部分を基準に全体の色のバランスを調節します。3種類から選択できます。

項　目	説　明
オート	色のバランスを自動的に調節します。蛍光灯の下での撮影にも適しています。
室内	電球（白熱灯など）の下での撮影に使用します。
室外	晴れた日の屋外の撮影に使用します。

■撮影モード（お買い上げ時　ノーマル）

撮影場所や被写体に応じた設定を5種類から選択できます。

項　目	説　明
ノーマル	標準的な撮影モードです。通常はこのモードで使ってください。
美白	肌が明るく、白く見えるように調整されます。室内での撮影をおすすめします。
日焼け	肌が小麦色に見えるように調整されます。屋外での撮影をおすすめします。
夜景	シャッタースピードが遅めになり、夜景を撮りやすくなります。手ぶれに注意してください。 • 夜景モードで撮影する場合、色合いなどの再現性はよくなりますが、カメラの特性上、光量が少ない場所で撮影すると線などのノイズが出る場合があります。
文字	文字の輪郭が強調されます。近距離で撮影するときは接写に切り替えてください。[☛P198]

1 静止画または動画の撮影画面で、◎を押して設定する項目を選ぶ

- ◎を押すごとに「明るさ」「コントラスト」「シャープネス」「ホワイトバランス」「撮影モード」が切り替わります。
- 撮影画面で◎を押すと撮影モードの設定画面を表示できます。

2 ◎でレベルや設定を選ぶ

3 ◎（OK）を押す

撮影画面に戻ります。

画像サイズや保存先などを設定する

カメラで撮影する静止画や動画のサイズ、保存場所、シャッター音などが設定できます。

- **FOMA端末を開いて設定します。**

■静止画

撮影するモード［☛P200］、および以下の項目を設定します。（モードは、お買い上げ時は「メール添付（携帯）」に設定されています。）

項　目	お買い上げ時	説　明
撮影サイズ（オープン）	128×96	FOMA端末を開いて撮影するときの画像サイズを「640×480」「352×288」「240×320」「176×144」「128×96」から選択します。 • メール添付（携帯）モードでは「640×480」は選択できません。
圧縮モード（オープン）	スタンダード	FOMA端末を開いて撮影するときの圧縮モードを「自動選択」「スーパーファイン」「スタンダード」「エコノミー」から選択します。 保存枚数は「エコノミー」が一番多く保存でき、「スタンダード」「スーパーファイン」の順に少なくなります。画質は「スーパーファイン」が一番高く、「スタンダード」「エコノミー」の順で画質が低下します。 •「自動選択」を選択すると、選択可能な圧縮モードのうち、最も高品質の圧縮モードに設定されます。 • メール添付（携帯）モードでは「スーパーファイン」は選択できません。 • メール添付（携帯）モードで撮影サイズが「176×144」以上のときは「スタンダード」には設定できません。また、メール添付（PC）モードで撮影サイズが「640×480」のときは「スーパーファイン」には設定できません。
保存場所（オープン）	本体メモリ	FOMA端末を開いて撮影するときの保存場所を「本体メモリ」「メモリースティック」から選択します。「本体メモリ」を選択すると、静止画はFOMA端末本体の「マルチメディア」→「イメージ」→「カメラ画像」→「撮影フォルダ」に保存されます。「メモリースティック」を選択すると、静止画は“メモリースティック Duo”の「カメラ画像」に保存されます。保存先フォルダを選択できます。
撮影サイズ（クローズ）	128×96	FOMA端末を折りたたんで撮影するときの画像サイズを「1600×1200」「1280×960」「640×480」「352×288」「320×240」「176×144」「128×96」から選択します。 • メール添付（携帯）モードでは「640×480」以上のサイズは選択できません。メール添付（PC）モードでは「1280×960」以上のサイズは選択できません。
圧縮モード（クローズ）	スタンダード	FOMA端末を折りたたんで撮影するときの圧縮モードを選択します。選択できる項目は「圧縮モード（オープン）」と同じです。
保存場所（クローズ）	本体メモリ	FOMA端末を折りたたんで撮影するときの保存場所を選択します。選択できる項目は「保存場所（オープン）」と同じです。 • 撮影サイズが「1600×1200」「1280×960」のときは「本体メモリ」には設定できません。
コンパクトライト調節	強	コンパクトライトの明るさを「強」「中」「弱」から選択します。
シャッター音	シャッター音1	シャッター音を「シャッター音1」～「シャッター音8」の8種類から選択します。
セルフタイマー音	セルフタイマー音1	セルフタイマー音を「セルフタイマー音1」～「セルフタイマー音3」の3種類から選択します。
セルフタイマー秒数	5秒	セルフタイマーの秒数を「5秒」「10秒」から選択します。

■動画

撮影するモード［☛P202］、および以下の項目を設定します。（モードは、お買い上げ時は「メール添付」に設定されています。）

項　目	お買い上げ時	説　明
品質モード（オープン）	スタンダード	FOMA端末を開いて撮影するときの品質モードを「スモールファイン」「スタンダード」「ファイン」「超なめらか」「大画面」から選択します。 • 品質モードについては［☛P202］ • メール添付モードでは「超なめらか」「大画面」は選択できません。
保存場所（オープン）	本体メモリ	FOMA端末を開いて撮影するときの保存場所を「本体メモリ」「メモリースティック」から選択します。「本体メモリ」を選択すると、動画はFOMA端末本体の「マルチメディア」→「ｉモーション」→「カメラ画像」→「撮影フォルダ」に保存されます。「メモリースティック」を選択すると、動画は“メモリースティック Duo”の「ｉモーション」に保存されます。保存先フォルダを選択できます。
品質モード（クローズ）	スタンダード	FOMA端末を折りたたんで撮影するときの品質モードを選択します。選択できる項目は「品質モード（オープン）」と同じです。
保存場所（クローズ）	本体メモリ	FOMA端末を折りたたんで撮影するときの保存場所を選択します。選択できる項目は「保存場所（オープン）」と同じです。
コンパクトライト調節	強	コンパクトライトの明るさを「強」「中」「弱」から選択します。
シャッター音	シャッター音1	シャッター音を「シャッター音1」「シャッター音2」の2種類から選択できます。
セルフタイマー音	セルフタイマー音1	セルフタイマー音を「セルフタイマー音1」～「セルフタイマー音3」の3種類から選択します。
セルフタイマー秒数	5秒	セルフタイマーの秒数を「5秒」「10秒」から選択します。

1 待受中に、◎を押し、「4.カメラ設定」を選択する

• 待受中に、メニュー「カメラ」を選択し、「4.カメラ設定」を選択しても操作できます。
• 静止画撮影画面でサブメニュー「8.カメラ設定」を選択すると静止画の設定ができます。また、動画撮影画面でサブメニュー「8.カメラ設定」を選択すると動画の設定ができます。操作3に進みます。

2 「1.静止画」または「2.動画」を選び ◉（選択）を押す

3 モードを選び ◉（選択）を押す

4 各項目を設定する

①設定欄を選び ◉（選択）を押す
②項目を選び ◉（選択）を押す

■保存場所に「メモリースティック」を選択したときは

“メモリースティック Duo”のフォルダ一覧が表示されます。

- メモリースティックロック中は端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押します。

①保存先フォルダを選び ◉（選択）を押す

5 ◯（登録）を押す

設定した内容が登録されます。

おしらせ

● カメラ設定時と異なる“メモリースティック Duo”を使用する場合など、保存先フォルダがない“メモリースティック Duo”を装着して撮影すると、保存先フォルダが自動的に作成されます。

バーコードリーダーを利用する

FOMA端末のカメラを利用してバーコード（JANコード、QRコード）を読み取ることができます。読み取った結果から、Phone to (AV Phone to)、Mail to、Web to、ブックマーク登録、電話帳登録、文字のコピー／貼付けなどさまざまな操作が行えます。

- **QRコードとは、縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。データとは、英数字、文字列（漢字、カナ、絵文字）、画像、メロディです。**
- **JANコードとは、幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。**

QRコードの例
データ内容：「株式会社NTTドコモ」

JANコードの例
データ内容：「4942857112269」

おしらせ

- **●傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射や、コードの種類やサイズ、QRコードのバージョンによっては読み取れない場合があります。**
- **●JANコード、QRコード以外のバーコード、2次元コードは読み取れません。**

コードを読み取る

1 待受中に、メニュー「アクセサリ」▶「バーコードリーダー」を選択する

- カメラの撮影画面でサブメニュー「6.バーコードリーダー」を選択しても操作できます。操作3に進みます。
- サイドボタン機能切替［☛基本P185］を「バーコードリーダー」に設定しているときは、(ｻｲﾄﾞC)を1秒以上押してもバーコードリーダーを起動できます。読み取るコードはQRコードになります。操作4に進みます。

2 「1.コード読み取り」を選び ◉（選択）を押す

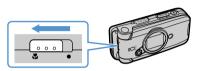
3 「1.QRコード」または「2.JANコード」を選び ◉（選択）を押す

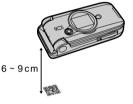
バーコードリーダーが起動されます。

4 FOMA端末を折りたたむ

インスピレーションウィンドウにコード読取り画面が表示されます。

- バーコードリーダーを終了するには ○（ﾘｱﾎﾞﾀﾝ）を1秒以上押すか、FOMA端末を開き ◉（中止）を押します。
- 約3分間操作しないとバーコードリーダーが終了します。

5 接写切替スイッチを ✿（接写）に切り替える

6 ⊙（ｻｲﾄﾞc）を押し、コードを読み取る

インスピレーションウィンドウで確認しながら、コードから6〜9cmの距離で、コードとFOMA端末が水平になるようにして読み取ってください。

QRコードの場合

JANコードの場合

読取りが完了するとコード認識完了音が鳴り、「読み取り完了　メインディスプレイを確認して下さい」と表示されます。

- JANコードを読み取るときは、JANコードを横向きに映して読み取ってください。
- ⊙（ｻｲﾄﾞc）を押すと読取りを中止できます。再開するには再度 ⊙（ｻｲﾄﾞc）を押します。
- 約30秒経過しても読み取れないときは「読み取りできませんでした」と表示され、読取りが中止されます。⊙（ｻｲﾄﾞc）を押し、読み取り直してください。
- マナーモード中、ドライブモード中および着信音量をレベル0に設定しているときはコード認識終了音は鳴りません。

■コンパクトライトを点灯するには

①**FOMA端末を開き、サブメニュー「1.コンパクトライトON」を選択する**

- コンパクトライトを消すにはサブメニュー「1.コンパクトライトOFF」を選択します。

■読み取るコードを切り替えるには

①**FOMA端末を開き、サブメニュー「2.QRコード読み取り」または「2.JANコード読み取り」を選択する**

- ○（ﾘｱﾎﾞﾀﾝ）を押しても切り替わります。

■コードをうまく読み取れないとき

- コードとの距離が近すぎたり、遠すぎたりすると読み取れません。コードから6～9cmの範囲内で、距離を調節してください。
- 読取り中は画面左上に読取り状況が表示されます。(消灯)のときはFOMA端末の位置や角度、コードとの距離を調節してください。(半分点灯)、(点灯)のときは、手ぶれを抑えてFOMA端末を静止させると、読み取りやすくなります。
- 暗い所ではコードを読み取りにくくなります。明るい所で読み取ってください。また、コードがFOMA端末の影にならないように注意してください。なお、画像が暗いときは、コンパクトライトを点灯すると読み取りやすくなります。

■連結QRコードを読み取るとき

次のデータを
読み取って
下さい
(01/04)

残りコード数／全コード数

連結QRコードは、複数のQRコードで1つのデータを表現しているQRコードです。最初のQRコードを読み取ると、左の画面が表示されます。

① コード読取り画面に戻ったら (ｻｲﾄﾞc) を押し、次のQRコードを読み取る

- すべてのQRコードを読み取るまで繰り返します。
- 同じQRコードを2回読み取ったときや、連結していない別のQRコードを読み取ったときは「結合失敗 次のデータを読み取って下さい」と表示されます。コード読取り画面で(ｻｲﾄﾞc)を押し、正しいQRコードを読み取ってください。
- 連結QRコードを1つ以上読み取った状態で以下を行うと、読取りを中止するかどうかの問合せ画面がメインディスプレイに表示されます。中止するときは「はい」を選び (選択)を押します。
  - ・バーコードリーダーを終了する
  - ・次のコードを読み取れずに約3分間経過する
  - ・JANコードに切り替える

7 FOMA端末を開く

メインディスプレイに読取り結果が表示されます。

- 読取り結果を保存しておき、あとで利用できます。[☛P222]

文字入力中にバーコードリーダーを利用する

サイトや画面メモの入力欄に文字を入力するときに、バーコードリーダーを利用してQRコード、JANコードを読み取り、読取り結果を入力できます。

- 文字以外のデータは入力されません。

① サイトや画面メモから入力欄を選び (選択)を押す

② 読取り結果を入力する位置にカーソルを移動する

③ (特殊)を押し、「13.バーコードリーダー」を選び (選択)を押す

④「1.QRコード」または「2.JANコード」を選び (選択)を押す

バーコードリーダーが起動されます。

⑤ コードを読み取る

読取り完了後にFOMA端末を開くと、読み取った文字が入力されています。

読取り結果からの各種操作

■電話帳に登録する
電話帳登録用のデータを読み取ると、「電話帳登録」という選択項目と、名前や電話番号などの登録データが表示されます。

①「電話帳登録」を選び ◉（選択）を押す

②「はい」を選び ◉（選択）を押す

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

■ｉモードメールを作成する
メール作成用のデータを読み取ると、「メール作成」という選択項目と、宛先や題名などが表示されます。

①「メール作成」を選び ◉（選択）を押す

②「はい」を選び ◉（選択）を押す

ｉモードメール作成画面が表示されます。読み取ったデータが設定されています。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

■ブックマークを登録する
ブックマーク登録用のデータを読み取ると、「ブックマーク登録」という選択項目と、サイト名やURLが表示されます。

①「ブックマーク登録」を選び ◉（選択）を押す

②「はい」を選び ◉（選択）を押す

ブックマークの編集画面が表示されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

③ ◯（登録）を押す

ブックマークが登録されます。

■Phone to（AV Phone to）、Mail to、Web to機能を利用する
読取り結果中の電話番号、メールアドレス、URLを選び ◉（選択）を押すと、電話の発信（Phone to）、テレビ電話の発信（AV Phone to）、メールの作成（Mail to）、インターネットホームページへの接続（Web to）やメロディのダウンロードが行えます。

- 反転表示されない電話番号、メールアドレス、URLは利用できません。
- 電話番号やメールアドレスを選び、サブメニュー「3.電話帳登録」を選択すると、電話帳やメールアドレスを電話帳に登録できます。また、URLを選び、サブメニュー「4.ブックマーク登録」を選択すると、URLをブックマークに登録できます。

■画像を表示・保存する
画像を読み取ると▣が表示されます。画像を表示し、FOMA端末の「マルチメディア」→「イメージ」→「データ交換画像」→「データ交換フォルダ」に保存できます。

① ▣を選び ◉（選択）を押す

画像が表示されます。

- 画像がアニメーションのときは、◯（再生）を押すと再生できます。再生を止めるには ◉（停止）を押します。

②画像を保存するときは ◉（保存）を押す

画像が保存されます。

■メロディを再生・保存する

メロディを読み取ると♪が表示されます。メロディを再生し、FOMA端末の「マルチメディア」→「メロディ」に保存できます。

- メロディが壊れているときはが表示され、再生・保存できません。

①♪を選び◎(選択)を押す

メロディメニューが表示されます。

②メロディを保存するときは「3.メロディ保存」を選び◎(選択)を押す

メロディが保存されます。

- メロディメニューから「1.ポイント再生」または「2.フルコーラス再生」を選び◎(選択)を押すと、メロディを再生できます。また、「4.曲情報」を選び◎(選択)を押すと、メロディの情報を表示できます。

■ｉアプリを起動する(ｉアプリTo)

ｉアプリToを読み取ると、「ｉアプリ起動」という選択項目とｉアプリ名が表示されます。ソフトを起動できます。

- 起動するソフトはダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリToで起動するかどうかは、ｉアプリTo設定でソフトごとに設定できます。

①ｉアプリ名を確認し、「ｉアプリ起動」を選び◎(選択)を押す

②「はい」を選び◎(選択)を押す

ソフトが起動されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

■読取り結果をコピーする

読取り結果の文字をコピーして、電話帳登録画面やｉモードメール作成画面などに貼り付けることができます。

①サブメニュー「2.コピー」を選択する

②コピーする範囲の始点と終点を指定する

- 全角半角にかかわらず2000文字までコピーできます。

おしらせ

●電話帳登録、ｉモードメール作成、ブックマーク登録を行うとき、読取り結果のデータ中に無効なデータがあると、問合せ画面が表示されます。「はい」を選び◎(選択)を押すと、登録可能なデータだけが設定されます。

読取り結果を保存しておき、あとで利用する

- **最大保存件数：10件（読取り結果のデータ量により保存できる件数が少なくなることがあります。）**

読取り結果を保存する

1 読取り結果表示画面で、サブメニュー「1.保存」を選択する

読取り結果が保存されます。

- 読取り結果が最大件数まで保存されているときは問合せ画面が表示されます。上書きするときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。保存日時が最も古い読取り結果から上書きされます。（保護されている読取り結果は上書きされません。）保存を中止するときは「いいえ」を選びます。
- 保護されている読取り結果だけで最大件数に達すると、以降、読取り結果を保存できません。読取り結果の保護を解除するか、削除してください。

読取り結果を表示する

1 待受中に、メニュー「アクセサリ」▶「バーコードリーダー」を選択する

2 「2.保存データ一覧」を選び ◉（選択）を押す

保存データ一覧が表示されます。

- 保存日時が新しい順に表示されます。
- 読取り結果保存時は、保存日時がタイトルに設定されています。
- タイトルがないときは「無題」と表示されます。

3 読取り結果を選び ◉（選択）を押す

読取り結果が表示されます。

- 複数の読取り結果があるときは ◎ で前後の読取り結果を表示できます。

■読取り結果のタイトルを変更する

①**保存データ一覧から読取り結果を選び、サブメニュー「1.タイトル変更」を選択する**
- 読取り結果表示画面からも行えます。

② **◉（選択）を押し、タイトルを入力する**
- 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

③ **○（登録）を押す**

■読取り結果を保護する

最大保護件数：10件

①保存データ一覧から読取り結果を選び、サブメニュー「2.保護」を選択する

読取り結果が保護され、アイコンが🔒付きに変わります。

- 読取り結果表示画面からも行えます。
- 解除するには、保護されている読取り結果を選び、サブメニュー「2.保護解除」を選択します。

■読取り結果を削除する

保護されている読取り結果は削除できません。保護を解除してから削除してください。

①保存データ一覧から読取り結果を選び、サブメニュー「3.一件削除」を選択する

- (クリア)を1秒以上押しても削除できます。
- 読取り結果表示画面からも行えます。
- 読取り結果をすべて削除するには、保存データ一覧で、サブメニュー「4.全件削除」を選択します。

②「はい」を選び ◉（選択）を押す

読取り結果が削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

画像を表示する

FOMA端末で撮影して本体に保存した静止画を表示できます。また、ｉモードなどで取得した画像や、お買い上げ時にFOMA端末に登録されている画像も表示できます。

•“メモリースティック Duo”に保存した画像を見るには [☛P289]

例 カメラで撮影した静止画を表示するとき

1 待受中に、メニュー「マルチメディア」を選択する

マルチメディア画面が表示されます。

マルチメディア用のメモリの使用状況が表示されます。

青：イメージ　赤：メロディ
緑：ｉモーション　黄：ｉアプリ
紫：キャラ電

マルチメディア用のメモリに保存されているｉアプリの容量が表示されます。

空き容量が表示されます。

2 「イメージ」を選択する

イメージ
1. カメラ画像
2. ネットワーク画像
3. データ交換画像
4. TV電話画像
5. アイテム
6. 内蔵画像
戻る　選択

カメラまたはキャラ電プレーヤーで撮影した静止画を表示します。

ｉモード、ｉモードメール、メッセージR/Fで取得した画像、ｉアプリから保存した画像を表示します。

赤外線通信、“メモリースティック Duo”、バーコードリーダーを使って取得した画像を表示します。

テレビ電話通話中に静止画メモで撮影した画像を表示します。

フレームとマーカースタンプを表示します。

お買い上げ時にFOMA端末に登録されている画像を表示します。

3 「1.カメラ画像」を選び ◉（選択）を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 「カメラ画像」は以下の方法でも表示できます。
  - ・待受中に ◎ を押し、「3.カメラ画像」▶「1.本体メモリ」▶「1.イメージ」を選択する
  - ・待受中にメニュー「カメラ」を選択し、「3.カメラ画像」▶「1.本体メモリ」▶「1.イメージ」を選択する
- 「アイテム」を選んだときは、選択画面が表示されます。「1.内蔵アイテム」または「2.ネットワークアイテム」を選び ◉（選択）を押します。操作5に進みます。
- 「内蔵画像」を選んだときは、フォルダ一覧が表示されません。操作5に進みます。
- お買い上げ時は、「カメラ画像」には「撮影フォルダ」、「ネットワーク画像」には「画像（GIF・JPEG）」と「画像（その他）」、「データ交換画像」には「データ交換フォルダ」、「TV電話画像」には「TV電話フォルダ」が登録されています。フォルダを作成できます。[☛P233]

4 フォルダを選び ◎（選択）を押す

ピクチャー一覧またはタイトル一覧が表示されます。

- 選択したフォルダがシークレット設定されているときは、端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押します。
- 画像を日付順やタイトル順に並べ替えることができます。[☛P227]
- 「カメラ画像」を自動的に切り替えて表示できます（スライドショー）。[☛P228]

5 画像を選び ◎（詳細）を押す

画像が表示されます。

- ◎ または ◎ を押すと次の画像、◎ または ◎ を押すと1つ前の画像を表示できます。

■アニメーションやFlash画像を再生するには

① ◎（再生）を押す

- 再生を止めるには ◎（停止）を押します。0～9、＊、＃、✉、◎、☎、クリア を押しても再生が終了します。
- Flash画像は、操作せずに約75秒経過すると終了します。
- Flash画像の効果音は鳴りません。また、Flash画像中の項目選択などの操作はできません。
- 保存したFlash画像の見えかたは、サイトで表示したときと異なる場合があります。また、サイトで正しく再生されていたFlash画像でも再生できない場合があります。
- アニメーションやFlash画像は、「ネットワーク画像」、「データ交換画像」または「内蔵画像」に保存されています。
- Flash画像やアニメーションの再生中に音声着信があると、通話終了後に、画像が誤っていることを示すメッセージが表示される場合があります。この場合、再度Flash画像やアニメーションを再生すると、正しく再生されることがあります。

■静止画の一部を拡大表示するには

「カメラ画像」の静止画の一部を拡大して表示できます。

①サブメニュー「03.ズームアップ」を選択する

拡大する範囲を示す枠が表示されます。

- 拡大表示できる画像サイズは、320×240、352×288、640×480ドットです。

② ◎ で拡大範囲の枠を移動し ◎（選択）を押す

拡大表示されます。

③ ◎（OK）を押す

操作②の画面に戻ります。

■静止画を横向きに表示するには

「カメラ画像」の静止画を横向きにして表示できます。

①サブメニュー「04.横向表示」を選択する

横向き表示されます。

② ◎（OK）を押す

横向表示が終了します。

ピクチャー一覧画面／タイトル一覧画面の見かた

表示形式の切替えや画像の並替えができます。

ピクチャー一覧画面　タイトル一覧画面

画像のアイコン、番号／全数

画像のタイトル

タイトルを変更できます。[☛P229]（タイトルなしに変更した場合は「無題」と表示されます。）

画像の副画像

- ：FOMAカード動作制限により表示できません。または一時的に表示できません。圧縮モード／ファイル種別のアイコンが 以外の場合は、再度表示操作をすると正しく表示できることがあります。
- ：一時的に表示できなかったFlash画像。再度表示操作をすると正しく表示できることがあります。
- ：画像が壊れているため表示できません。

■アイコンの種類と意味

アイコン種別	説　明
種類	：画像
取得元（注1）	：カメラ撮影　：キャラ電撮影 ：ｉモード、受信メール、メッセージR/F、ｉアプリから保存 ：赤外線通信、“メモリースティック Duo”、バーコードリーダーを使って取得 ：テレビ電話通話中に静止画メモで撮影 ：アイテム
ファイル制限（注2）	：メール添付やFOMA端末外への出力を許可（ファイル制限できる画像） ：メール添付やFOMA端末外へ出力を許可 ：メール添付すると、送信先からはメール添付やFOMA端末外への出力を禁止（ファイル制限を解除できる画像） ：メール添付やFOMA端末外への出力を禁止
圧縮モード／ファイル種別	：スーパーファイン　：スタンダード　：エコノミー ：JPEG　：GIF　：アニメーション　：Flash ：壊れている画像 ：画像を保存したときとは別のFOMAカードが入っている、またはFOMAカードが入っていない（画像は表示・利用できません）
保護／設定	なし：保護なし、設定なし　：保護あり、設定なし ：保護なし、設定あり（注3）　：保護あり、設定あり（注3）
画像サイズ（注4）	：128×96　：96×128　：176×144 ：144×176　：352×288　：288×352 ：320×240　：240×320　：640×480 ：480×640

（注1）内蔵画像のときは表示されません。

（注2）「データ交換画像」は、ファイル制限のありなしにかかわらず、メール添付やFOMA端末外へ出力できます（GIF形式の一部の画像を除く）。

（注3）以下のいずれかに設定されていることを示します。

- 待受画面　・パートナー　・インスピレーションウィンドウ
- 電話帳　・自局番号　・テレビ電話の代替画像　など

（注4）記載以外のサイズの画像とFlash画像のときは表示されません。

■画像の情報を表示するには

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」「TV電話画像」「ネットワークアイテム」の画像の情報を表示できます。

①ピクチャ一覧またはタイトル一覧から画像を選び、サブメニュー「情報表示」を選択する

- 画像表示画面からも行えます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。

②内容を確認し◎（OK）を押す

- 以下の情報が表示されます。

項　目	説　明
ファイル名	画像に付けられたファイル名
ファイル種別	ファイルの種別（JPEG、GIF、アニメーション）
ファイルサイズ	ファイルサイズ（Kバイト）
画像サイズ（横×縦）	画像サイズ（ドット）
保護設定	保護のあり／なし
ファイル制限 (注1)	なし（変更可）　：メール添付やFOMA端末外への出力を許可（ファイル制限できる画像） なし（変更不可）：メール添付やFOMA端末外への出力を許可 あり（変更可）　：メール添付すると、送信先からはメール添付やFOMA端末外への出力を禁止（ファイル制限を解除できる画像） あり（変更不可）：メール添付やFOMA端末外への出力を禁止
作成日時	画像の作成日時
保存日時	画像をFOMA端末に保存した日時
保存元	画像の取得元

（注1）「データ交換画像」は、ファイル制限のありなしにかかわらず、メール添付やFOMA端末外へ出力できます（GIF形式の一部の画像を除く）。

■ピクチャ一覧とタイトル一覧を切り替えるには

①サブメニュー「タイトル一覧」または「ピクチャ一覧」を選択する

- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- お買い上げ時は「ピクチャ一覧」に設定されています。
- 画像一覧の表示形式を切り替えると、以降はすべての画像一覧が変更後の表示形式で表示されます。
- 「内蔵アイテム」では、◯（切替）を押します。

■画像を並べ替えるには（ソート）

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」「TV電話画像」「ネットワークアイテム」がソートできます。

①ピクチャ一覧またはタイトル一覧で、サブメニュー「ソート」を選択する

- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- 表示中の一覧にだけ有効です。フォルダ一覧に戻るとソートは解除されます。

②ソート条件を選択する

- 日時順、タイトル順、ファイルサイズ順、ファイル取得元順から選べます。それぞれ昇順、降順が選べます。

③◯（決定）を押す

スライドショーを見る

「カメラ画像」の静止画を自動的に切り替えて表示できます。

1 ピクチャー一覧またはタイトル一覧からスライドショーを開始する静止画を選び、サブメニュー「スライドショー」を選択する

スライドショーが開始されます。
- 選択した静止画から一覧の最後の静止画までが、スライドショーで表示されます。すべての静止画を表示するには、先頭の静止画を選びます。
- 約1秒間隔で静止画が切り替わります。
- 再生を止めるには◉（停止）を押します。◉（再生）を押すと再開します。
- 静止画が表示領域サイズ（240×320ドット）より大きいときは、静止画が縮小されて表示されます。
- 画像表示画面からも行えます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。

画像をテレビに映す

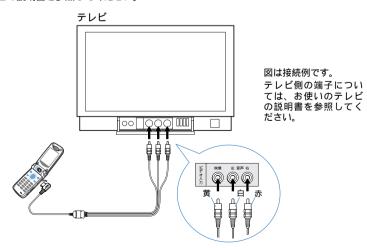
「カメラ画像」「データ交換画像」の画像をテレビに映すことができます。
- **メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像は表示できません。**
- **接続するテレビによっては、画像の上下左右が一部映らないことや、周辺がゆがんで映ることがあります。**

1 FOMA端末とテレビを接続する

①平型AV出力ケーブルP01（別売）をテレビのAV（外部）入力端子に差し込む
- AVケーブルは、指定の平型AV出力ケーブルP01以外は使用しないでください。

②FOMA端末のAV端子キャップを開く

③平型AV出力ケーブルP01のFOMA端末側コネクタをAV端子に確実に差し込む

④テレビの設定を変える
- テレビのAV（外部）入力端子からの信号がテレビに映るようにします。詳しくはお使いになっているテレビの説明書を参照してください。

2 画像を表示し、サブメニュー「TV出力」を選択する

画像がテレビに映ります。

- ピクチャ一覧またはタイトル一覧からも行えます。
- ◎または◎を押すと次の画像、◎または◎を押すと1つ前の画像を表示できます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- GIF形式の画像とアニメーションはテレビに映せません。

タイトルを変更する

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」「TV電話画像」「ネットワークアイテム」のタイトルを変更できます。

1 ピクチャ一覧またはタイトル一覧から画像を選び、サブメニュー「タイトル変更」を選択する

- 画像表示画面からも行えます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。

2 タイトルを入力する

① ◎（選択）を押す

② クリアを押して不要な文字を消し、タイトルを入力する

- 全角20文字（半角40文字）まで入力できます。タイトル一覧では、先頭から全角10文字（半角20文字）まで表示されます。

3 ◯（登録）を押す

タイトルが変更されます。

おしらせ

- **以下の場合、電話帳に設定している画像のタイトルは変更できません。設定を解除してから操作してください。**
  - **ダイヤル発信制限中**
  - **電話帳指定着信許可／拒否設定中（許可／拒否する電話帳に画像を設定している場合）**

ファイル名を変更する

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」のファイル名を変更できます。

- **「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」のうちメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像とFlash画像のファイル名は変更できません。**

1 ピクチャー一覧またはタイトル一覧から画像を選び、サブメニュー「ファイル名変更」を選択する

- 画像表示画面からも行えます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。

2 ファイル名を入力する

① ◉（選択）を押す

② クリア を押して不要な文字を消し、ファイル名を入力する

- 半角英数字36文字まで入力できます。以下の文字は使えません。
「”」「＊」「：」「？」「￥」「／」

3 ◯（登録）を押す

ファイル名が変更されます。

おしらせ

- **以下の場合、電話帳に設定している画像のファイル名は変更できません。設定を解除してから操作してください。**
  - **ダイヤル発信制限中**
  - **電話帳指定着信許可／拒否に設定中（許可／拒否する電話帳に画像を設定している場合）**

タイトル、ファイル名について

- カメラで撮影した静止画と動画には、撮影時にファイル名が付けられ、ファイル名がタイトルとなります。
- ｉモードなどから取得した画像、動画／ｉモーション、メロディ、キャラ電は、オリジナルのファイル名で保存されます。ただし、すでに同じファイル名があるときは、データの種類を示す文字列（静止画：PNW_、動画：MNW_、メロディ：MSC、キャラ電：ANW_、フレーム／マーカースタンプ：PIT_）と4桁の数字を組合せたファイル名に自動的に変更され保存されます。例えば静止画の場合は、「PNW_0001」などに変更されます。また、動画／ｉモーション、メロディ、キャラ電には、オリジナルのタイトルも付けられています。オリジナルタイトルがないときはファイル名がタイトルになります。
- FOMA端末では、タイトルやオリジナルタイトルはタイトル一覧、ファイル名は情報表示に表示されます。
- タイトルとファイル名は変更できます（キャラ電のファイル名は変更できません）。
- 静止画や画像、動画／ｉモーション、メロディをパソコンにコピーしたときは、ファイル名が表示されます。

画像を利用する

画像を添付してｉモードメールを作成する

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」をｉモードメールに添付できます。

- **以下の画像は添付できません。**
  - **シークレット設定されているフォルダ内の画像**
  - **メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像**
  - **ファイルサイズが100Kバイトを超えるJPEG画像と10000バイトを超えるGIF画像**
  - **Flash画像**

1 画像を表示し、サブメニュー「01.メール添付」を選択する

ｉモードメール作成画面が表示されます。

- 以降の操作：「ｉモードメールを作成して送信する」操作2以降 [☛P118]
- ✉を1秒以上押しても操作できます。
- ピクチャ一覧またはタイトル一覧からも行えます。

待受画面などに設定する

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」「TV電話画像」「内蔵画像」を待受画面、インスピレーションウィンドウや、確認画面、着信画面、送信画面などのアニメーション（ビジュアルパートナー）に設定できます。

- **「内蔵画像」は利用先が決まっています。待受画面、TV電話代替画像、TV電話応答保留、TV電話通話保留、TV電話伝言メモのいずれかに設定できる画像だけが画面設定できます。これ以外の画面設定は、待受中にメニュー「設定」▶「画面・表示」から行えます。[☛基本P144、149、152、153]**
- **シークレット設定されているフォルダ内の画像は設定できません。**

1 画像を表示し、サブメニュー「画面設定」を選択する

どの画面に
利用しますか?
01. 待受画面
02. インスピレーションウィンドウ
03. ウェイクアップ表示
04. 着モーション
05. TV電話着モーション
06. TV電話代替画像
07. TV電話応答保留
戻る　選択

利用先の選択画面が表示されます。

- ピクチャ一覧またはタイトル一覧からも行えます。
- 「内蔵画像」の場合は画像を表示し、◯（設定）を押しても、利用先の選択画面を表示できます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。

2 利用先を選び ◉（選択）を押す

- 選択できる利用先は画像によって異なります。Flash画像は待受画面だけに設定できます。
- 利用先にすでに画像や動画／ｉモーションが設定されているときは、変更するかどうかの問合せ画面が表示されます。変更するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

■「01.待受画面」「02.インスピレーションウィンドウ」を選択した場合

① で時計の表示形式を選び （選択）を押す

- 待受画面設定の操作方法：「カメラ画像などの画像を表示する」操作4～5 [☛基本P146]
- インスピレーションウィンドウ設定の操作方法：「インスピレーションウィンドウの表示を変える」の「カメラ画像などを表示する」操作4 [☛基本P149]

■「06.TV電話代替画像」～「09.TV電話伝言メモ」を選択した場合

画像が設定されます。

■「10.確認画面（OK）」～「15.メール着信アニメ」を選択した場合

パートナー設定を「ユーザデータ」に変更するかどうかの問合せ画面が表示されます。

①「はい」を選び （選択）を押す

- 変更しないときは「いいえ」を選びます。
- パートナー設定がすでに「ユーザデータ」に設定されているときは、問合せ画面は表示されません。

メール添付やFOMA端末外への出力を禁止する

「カメラ画像」にファイル制限をかけてからメール添付すると、メールの送信先では、メール添付やFOMA端末外へ出力できないようになります。

- **メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画には設定できません。**

1 ピクチャー覧またはタイトル一覧から静止画を選び、サブメニュー「ファイル制限」を選択する

ファイル制限がかかります。

- 画像表示画面からも行えます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- ファイル制限を解除するときは、ファイル制限されている静止画を選び、サブメニュー「ファイル制限解除」を選択します。

フォルダを作成・編集・削除する

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」「TV電話画像」にフォルダを作成し、画像を整理して保存できます。

- 最大作成件数：「カメラ画像」「データ交換画像」「TV電話画像」各20件
  「ネットワーク画像」19件
  （お買い上げ時に登録されているフォルダは件数に含みません）
- フォルダをシークレット設定できます。シークレット設定したときは、端末暗証番号を入力しないとフォルダ内の画像を表示できません。
- シークレット設定したフォルダ内の画像は、待受画面、パートナー、インスピレーションウィンドウ、電話帳、自局番号、テレビ電話の代替画像などに設定できません。また、メールへの添付やFOMA端末外への出力もできません。
- 待受画面、パートナー、インスピレーションウィンドウ、テレビ電話の代替画像などに設定している画像があるフォルダをシークレット設定または削除すると、これらの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 電話帳、自局番号に設定している画像があるフォルダをシークレット設定または削除すると、これらの設定から画像が削除されます。シークレット設定を解除すると、削除された画像が再度電話帳、自局番号に設定されます。

フォルダを作成する

1 フォルダ一覧で、サブメニュー「1.フォルダ作成」を選択する

2 フォルダ名を入力する

①フォルダ名欄を選び ◉（選択）を押す
②フォルダ名を入力する
- 全角9文字（半角18文字）まで入力できます。

3 シークレット設定するかしないかを選択する

①シークレット欄を選び ◉（選択）を押す
②「する」または「しない」を選び ◉（選択）を押す

4 ◯（登録）を押す

フォルダが作成されます。

フォルダを編集する

フォルダ名やシークレット設定を変更できます。

- **「撮影フォルダ」「画像（GIF・JPEG）」「画像（その他）」「データ交換フォルダ」「TV電話フォルダ」は編集できません。**

1 フォルダ一覧からフォルダを選び、サブメニュー「2.フォルダ編集」を選択する

- 選択したフォルダがシークレット設定されているときは、端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押します。

2 フォルダ名やシークレット設定を変更する

- 操作方法：「フォルダを作成する」操作2～3［☛P233］

3 ◯（登録）を押す

変更内容が登録されます。

- シークレット設定「する」を選択した場合、フォルダ内に待受画面、パートナー、インスピレーションウィンドウ、電話帳、自局番号、テレビ電話の代替画像などに設定している画像があるときは、問合せ画面が表示されます。変更内容を登録するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。変更内容を登録しないときは「いいえ」を選びます。

フォルダを削除する

- **「撮影フォルダ」「画像（GIF・JPEG）」「画像（その他）」「データ交換フォルダ」「TV電話フォルダ」は削除できません。**
- **フォルダを削除するとフォルダ内の画像も削除されます。ただし、画像が保護されているときはフォルダを削除できません。**

1 フォルダ一覧からフォルダを選び、サブメニュー「3.フォルダ削除」を選択する

- 選択したフォルダがシークレット設定されているときは、端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押します。

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

フォルダが削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

おしらせ

- **以下の場合、電話帳に設定している画像があるフォルダはシークレット設定も削除もできません。設定を解除してから操作してください。**
  - **ダイヤル発信制限中**
  - **電話帳指定着信許可／拒否設定中（許可／拒否する電話帳に画像を設定している場合）**

画像を別のフォルダに移動する

フォルダ内の画像を別のフォルダに移動できます。1件ずつ移動することも、まとめて移動することもできます。
- **待受画面、パートナー、インスピレーションウィンドウ、テレビ電話の代替画像などに設定している画像をシークレット設定されているフォルダに移動すると、これらの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。**
- **電話帳、自局番号に設定している画像をシークレット設定されているフォルダに移動すると、これらの設定から画像が削除されます。設定から削除された画像を、シークレット設定されていないフォルダに移動すると、削除された画像が再度電話帳、自局番号に設定されます。**

1 ピクチャー覧またはタイトル一覧から画像を選び、サブメニュー「一件移動」を選択する

- 画像表示画面からも行えます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。

■複数の画像を選択して移動するには

①ピクチャー覧またはタイトル一覧で、サブメニュー「選択移動」を選択する
- サブメニューの番号は画面によって異なります。

②画像を選び ◉（選択）を押す
- 複数の画像を選択できます（30件まで）。
- 選択を解除するには、選択済みの画像を選び ◉（解除）を押します。
- 待受画面、パートナー、インスピレーションウィンドウ、電話帳、自局番号、テレビ電話の代替画像などに設定している画像を選んだときは、問合せ画面が表示されます。移動するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。移動しないときは「いいえ」を選びます。

③ ◯（決定）を押す

2 移動先のフォルダを選び ◉（選択）を押す

- 移動先のフォルダがシークレット設定されているときは、端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押します。ただし、移動元のフォルダがシークレット設定されているときは、端末暗証番号の入力はありません。

3 「はい」を選び ◉（選択）を押す

画像が移動します。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

おしらせ

● 以下の場合、電話帳に設定している画像は、シークレット設定されている別のフォルダには移動できません。設定を解除してから操作してください。
•ダイヤル発信制限中 •電話帳指定着信許可／拒否設定中（許可／拒否する電話帳に画像を設定している場合）

画像を保護する

- 最大保護件数［☛P13］
- 「内蔵アイテム」と「内蔵画像」は削除できないようにあらかじめ保護されています。保護の解除はできません。

1 ピクチャー覧またはタイトル一覧から画像を選び、サブメニュー「保護」を選択する

画像が保護され、アイコンが🔒または🔒になります。

- 画像表示画面からも行えます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- 保護を解除するときは、保護されている画像を選び、サブメニュー「保護解除」を選択します。

画像を削除する

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」「TV電話画像」「ネットワークアイテム」を削除できます。

- 「内蔵アイテム」と「内蔵画像」は削除できません。
- 保護されている画像は削除できません。保護を解除してから削除してください。

1 ピクチャー覧またはタイトル一覧から画像を選び、サブメニュー「一件削除」を選択する

- 画像表示画面からも行えます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- ［クリア］を１秒以上押しても削除できます。

■複数の画像を選択して削除するには

①ピクチャー覧またはタイトル一覧で、サブメニュー「選択削除」を選択する

- サブメニューの番号は画面によって異なります。

②画像を選び◉（選択）を押す

- 複数の画像を選択できます（30件まで）。
- 選択を解除するには、選択済みの画像を選び◉（解除）を押します。
- 待受画面、パートナー、インスピレーションウィンドウ、電話帳、自局番号、テレビ電話の代替画像などに設定している画像を選んだときは、問合せ画面が表示されます。削除するときは「はい」を選び◉（選択）を押します。削除しないときは「いいえ」を選びます。

③◯（決定）を押す

■フォルダ内の画像をすべて削除するには

- 保護されている画像は残ります。

①ピクチャー一覧またはタイトル一覧で、サブメニュー「フォルダ内削除」を選択する

- フォルダ一覧からも操作できます。フォルダ一覧から操作するときは、フォルダを選び、サブメニュー「4.フォルダ内削除」を選択します。シークレット設定したフォルダを選んだときは、端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押します。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。

■保存されている画像をすべて削除するには

- 保護されている画像は残ります。

①フォルダ一覧画面で、サブメニュー「5.全件削除」を選択する

- ネットワークアイテムでは、ピクチャー一覧またはタイトル一覧で、サブメニュー「8.全件削除」を選択します。

②端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

画像が削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- 待受画面、パートナー、インスピレーションウィンドウ、テレビ電話の代替画像などに設定している画像を削除すると、これらの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 電話帳、自局番号に設定している画像を削除すると、これらの設定から画像が削除されます。
- 選択削除、フォルダ内削除、全件削除の場合、削除中の画面で ◉（中止）を押すと削除を中止できます。ただし、すでに削除済みの画像は元に戻りません。

おしらせ

● 以下の場合、電話帳に設定している画像は削除できません。設定を解除してから操作してください。
・ダイヤル発信制限中　・電話帳指定着信許可／拒否設定中（許可／拒否する電話帳に画像を設定している場合）

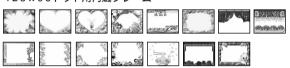
静止画を編集する

「カメラ画像」に保存されている静止画を編集できます。編集した静止画は、元の静止画に上書き保存することも、別の静止画として新たに保存することもできます。

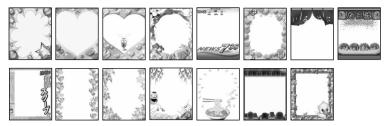
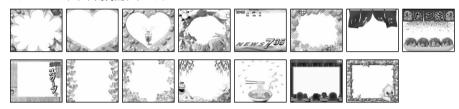
- 静止画にフレームやマーカーを貼り付けるなどの編集を繰り返し行うと、画質が劣化することがあります。
- 以下の場合、電話帳に設定している静止画は上書き保存できません。設定を解除してから保存してください。
  - ・ダイヤル発信制限中
  - ・電話帳指定着信許可／拒否設定中（許可／拒否する電話帳に静止画を設定している場合）
- 静止画を編集すると、静止画のデータ容量が増えることがあります。

フレームを重ねる

128×96、176×144、240×320、288×352、352×288ドットの静止画にフレームを重ねられます。FOMA端末内蔵のフレームやｉモードでダウンロードしたフレームが利用できます。

■128×96ドット用内蔵フレーム

■176×144ドット用内蔵フレーム

■240×320ドット用内蔵フレーム

■ 288×352ドット用内蔵フレーム

■ 352×288ドット用内蔵フレーム

1 静止画を表示し、サブメニュー「02.画像編集」を選択する

画像編集画面が表示されます。

- ピクチャー一覧またはタイトル一覧からも行えます。

2 サブメニュー「1.フレーム」を選択する

3 「1.内蔵フレーム」または「2.ネットワークフレーム」を選び ◎（選択）を押す

フレームが表示されます。

4 ◎でフレームを選び ◎（確定）を押す

■ フレームを一覧から選ぶには

① ○（一覧）を押す
② ◎でフレームを選び ◎（選択）を押す
③ ◎（確定）を押す

5 ◉（保存）を押す

6 「1.新規保存」または「2.上書き保存」を選び ◉（選択）を押す

静止画が「マルチメディア」→「イメージ」→「カメラ画像」→「撮影フォルダ」に保存されます。

- 保存しないときは「3.しない」を選びます。
- マルチメディア用のメモリに空きがないときや、最大保存件数を超えたときは、上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。［☛P265］
- 「1.新規保存」を選んでも、新しく保存された静止画のタイトルは、編集前の静止画と同じタイトルになります。別のタイトルにするには、保存する前にタイトルを変更してください。［☛P244］
- 待受画面、パートナー、インスピレーションウィンドウ、電話帳、自局番号、テレビ電話の代替画像などに設定している静止画を編集した場合、「2.上書き保存」を選ぶと、上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。「はい」を選び ◉（選択）を押すと、設定が解除されお買い上げ時の設定に戻ります。

マーカースタンプを貼り付ける

128×96、176×144、240×320、288×352、352×288ドットの静止画に、マーカースタンプを貼り付けられます。FOMA端末内蔵のマーカースタンプやｉモードでダウンロードしたマーカースタンプが利用できます。

■内蔵マーカースタンプ（極小）

■内蔵マーカースタンプ（小）

■内蔵マーカースタンプ（中）

■内蔵マーカースタンプ（大）

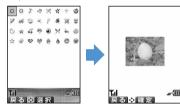
■内蔵マーカースタンプ（特大）

1 画像編集画面で、サブメニュー「2.マーカースタンプ」を選択する

- 画像編集画面の表示方法：「フレームを重ねる」操作1［☛P239］

2 内蔵マーカースタンプのサイズまたは「6.ネットワークマーカー」を選び ◉（選択）を押す

3 ✥ でマーカースタンプを選び ◉（選択）を押す

4 ✥ でマーカースタンプを移動し ◉（確定）を押す

- 以降の操作方法：「フレームを重ねる」操作5〜6［☛P240］

文字を貼り付ける

128×96、176×144、240×320、288×352、352×288ドットの静止画に、文字を貼り付けられます。文字のサイズ、色、スタイル、効果色が設定できます。

1 画像編集画面で、サブメニュー「3.文字マーカー」を選択する

- 画像編集画面の表示方法：「フレームを重ねる」操作1［☛P239］

マルチメディア編　イメージビューアー

2 文字を入力する

①文字入力欄を選び ◎（選択）を押す
②文字を入力する
- 全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
- 絵文字も入力できます。
- 静止画の画像サイズによっては、入力した文字が静止画に入りきらない場合があります。

■文字のサイズを選択するには
①文字サイズ欄を選び ◎（選択）を押す
②文字のサイズを選び ◎（選択）を押す
- 「24ドット」「30ドット」から選択できます。

■文字の色を選択するには
①文字色選択欄を選び ◎（選択）を押す
②文字の色を選び ◎（選択）を押す
- 「カラー1～10」から選択できます。
- 絵文字の色は変わりません。

■文字のスタイルを選択するには
①文字スタイル選択欄を選び ◎（選択）を押す
②文字のスタイルを選び ◎（選択）を押す
- 「通常」「縁取り」「吹き出し1～3」「影つき」「太字」「グラデーション」「グラデーション＋縁取り」「光」から選択できます。

■文字スタイルの効果色を選択するには
①効果色選択欄を選び ◎（選択）を押す
②効果色を選び ◎（選択）を押す
- 「カラー1～10」から選択できます。
- 文字スタイルで「通常」「吹き出し1～3」「太字」を選択しているときは、効果色を設定しても無効です。

3 ○（登録）を押す

4 ✥で文字を移動し ◎（確定）を押す

- 以降の操作方法：「フレームを重ねる」操作5～6 [☛P240]

マルチメディア編　イメージビューアー

効果をかける

128×96、176×144、240×320、288×352、352×288ドットの静止画の色や雰囲気を変えられます。4種類の効果から選択できます。

1 画像編集画面で、サブメニュー「4.効果」を選択する

- 画像編集画面の表示方法：「フレームを重ねる」操作1 [☛P239]

2 で効果の種類を選び (確定) を押す

- を押すごとに効果が以下の順に切り替わります。

効果例

- 以降の操作方法：「フレームを重ねる」操作5～6 [☛P240]

回転／反転する

1 画像編集画面で、サブメニュー「5.回転／反転」を選択する

- 画像編集画面の表示方法：「フレームを重ねる」操作1 [☛P239]

2 で回転／反転の種類を選び (確定) を押す

- を押すごとに回転／反転の種類が以下の順に切り替わります。

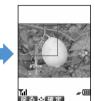
- 以降の操作方法：「フレームを重ねる」操作5～6 [☛P240]
- 回転を行った場合（右180°以外）、静止画の縦と横のサイズが入れ替わります。例えば、240×320ドットの静止画は320×240ドットになります。
- 128×96、176×144、640×480ドットの静止画を、右90°または右270°回転すると、その後は回転と反転以外の編集ができなくなります。

トリミングする

176×144、240×320、320×240、288×352、352×288、640×480ドットの静止画から、静止画の周囲の不要な部分をカットできます。

1 画像編集画面で、サブメニュー「6.トリミング」を選択する

- 画像編集画面の表示方法：「フレームを重ねる」操作1 [☛P239]

2 トリミングのサイズを選び ◉（選択）を押す

トリミングの枠が表示されます。

- 表示している静止画より小さいサイズだけが選択できます。
- 320×240、288×352、352×288、640×480ドットの静止画とトリミング枠は、縮小して表示されます。

3 ✥でトリミング枠を移動し ◉（確定）を押す

- 以降の操作方法：「フレームを重ねる」操作5～6 [☛P240]

タイトルや画像サイズ、圧縮モードを変更する

1 画像編集画面で、サブメニュー「7.詳細設定」を選択する

- 画像編集画面の表示方法：「フレームを重ねる」操作1 [☛P239]

2 各項目を設定する

■ **タイトルを入力するには**

①**タイトル欄を選び ◉（選択）を押す**

②**文字を入力する**

- 全角20文字（半角40文字）まで入力できます。
- 絵文字、スペースも入力できます。

■ファイルサイズ制限を変更するには

①目的の項目の ◯ を選び ◉（選択）を押す

- 「なし」「メール添付(PC)」「メール添付(携帯)」から選択できます。
  - ・なし：ファイルサイズ制限をしません。
  - ・メール添付（PC）：100Kバイト以下のファイルサイズにします。
  - ・メール添付（携帯)：9Kバイト以下のファイルサイズにします。
- 選択したファイルサイズ制限に合わせて画像サイズ、圧縮モードを自動的に調整するときは、自動調整の□を選んで ◉（選択)を押し、☑にします。

■画像サイズを選択するには

①画像サイズ欄を選び ◉（選択）を押す

②画像サイズを選び ◉（選択）を押す

- 現在の画像サイズよりも大きなサイズは選択できません。
- 画像サイズを変更すると、画質が劣化することがあります。

■圧縮モードを変更するには

表示中の静止画の圧縮モードを変更します。

①圧縮モード欄を選び ◉（選択）を押す

②圧縮モードを選び ◉（選択）を押す

- 「スーパーファイン」「スタンダード」「エコノミー」から選択できます。
- 低い画質の圧縮モードから高い画質の圧縮モードに変更しても、画質はきれいになりません。「エコノミー」から「スーパーファイン」に変更した場合、画質は「エコノミー」のままです。ただし高い画質の圧縮モードに変更すると、静止画編集時の画質劣化がおさえられます。
- カメラ設定で設定する撮影時の圧縮モードは変更されません。

3 ◯（登録）を押す

- 以降の操作方法：「フレームを重ねる」操作5～6 [☛P240]
- 設定した画像サイズ、圧縮モードではファイルサイズ制限を超過する場合は登録できません。

おしらせ

- **画像サイズを変更すると、静止画の横幅・縦幅が変更後の画像サイズに合わせて縮小されます。変更前・変更後の画像サイズの組合せによっては、画像の上下や左右が切れることがあります。**

動画／ｉモーションを再生する

FOMA端末で撮影して本体に保存した動画を再生できます。また、ｉモードなどで取得した動画／ｉモーションや、お買い上げ時にFOMA端末に登録されている動画も再生できます。

- “メモリースティック Duo”に保存した動画／ｉモーションを再生するには [☛P289]

例 カメラで撮影した動画を表示するとき

1 待受中に、メニュー「マルチメディア」▶「ｉモーション」を選択する

- 1. カメラ画像：カメラまたはキャラ電プレーヤーで撮影した動画を表示します。
- 2. ネットワーク画像：ｉモード、ｉモードメール、メッセージR/Fで取得した動画／ｉモーションや、ｉアプリから保存した動画を表示します。
- 3. データ交換画像：赤外線通信または“メモリースティック Duo”を使って取得した動画を表示します。
- 4. TV電話画像：テレビ電話通話中に動画メモで撮影した動画やテレビ電話伝言メモで録画した動画を表示します。
- 5. 内蔵画像：お買い上げ時にFOMA端末に登録されている動画を表示します。

2 「1.カメラ画像」を選び ◉（選択）を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 「カメラ画像」は以下の方法でも表示できます。
  - ・待受中に ◎ を押し、「3.カメラ画像」▶「1.本体メモリ」▶「2.ｉモーション」を選択する
  - ・待受中にメニュー「カメラ」を選択し、「3.カメラ画像」▶「1.本体メモリ」▶「2.ｉモーション」を選択する
- 「内蔵画像」ではフォルダ一覧が表示されません。操作4に進みます。
- お買い上げ時は、「カメラ画像」には「撮影フォルダ」、「ネットワーク画像」には「ネットワークフォルダ」、「データ交換画像」には「データ交換フォルダ」、「TV電話画像」には「TV電話フォルダ」が登録されています。フォルダを作成できます。[☛P233] また、フォルダ内の動画／ｉモーションを別のフォルダに移動できます。[☛P235]

3 フォルダを選び ◉（選択）を押す

ピクチャー一覧またはタイトル一覧が表示されます。

- 選択したフォルダがシークレット設定されているときは、端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押します。
- 動画を日付順やタイトル順に並べ替えることができます。[☛P250]

4 動画を選び ◉（詳細）を押す

再生画面が表示されます。

- ◎ または ◎ を押すと次の動画、◎ または ◎ を押すと1つ前の動画を表示できます。

5 ◎（再生）を押す

再生時間／録画時間

動画が再生されます。
- 早送りするには◎、巻き戻すには◎を押します。早送り、巻戻しを止めるには◎（▶）を押します。
- 再生を止めるには◎（■）を押します。
- 一時停止するには◎（❚❚）を押します。◎（▶）を押すと再開します。
- ◎で音量を調節できます。
- マナーモード中、ドライブモード中は問合せ画面が表示されます。「はい」を選び◎（選択）を押すと、動画／ｉモーションが音付きで再生されます。「いいえ」を選ぶと音なしで再生されます。

■再生回数制限、再生期間制限、再生期限制限があるときには

問合せ画面に再生回数、再生期間、再生期限が表示されます。

①「はい」を選び◎（選択）を押します。

②◎（再生）を押す

- 再生制限は情報表示でも確認できます。[☛P249]
- 再生期間前の動画／ｉモーションは再生できません。

■再生期限、再生回数が切れたときには

再生しようとすると、削除するかどうかの問合せ画面が表示されます。

①「はい」を選び◎（選択）を押します。

- 削除しないときは「いいえ」を選びます。

■テロップにPhone to（AV Phone to）、Mail to、Web toが設定されているとき

最後まで再生すると接続先情報画面や問合せ画面が表示されます。Phone to（AV phone to）、Mail to、Web toを実行できます。[☛P99]

■横向きに再生するには

「カメラ画像」の画像サイズが大画面または320×240ドットの動画／ｉモーションを横向きに再生できます。

①サブメニュー「04.横向再生」を選択する

- 再生を停止するときは（クリア）を押します。

おしらせ

- **再生中にFOMA端末を折りたたんでも再生は止まりません。再生を止めるには◎（■）を押します。**
- **長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期限、再生期間が決められているｉモーションは再生できません。**

動画をテレビに映す

「カメラ画像」「データ交換画像」の動画をテレビに映すことができます。

- **テロップはテレビには映りません。**
- **テロップのみの動画／ｉモーション、規格外の動画／ｉモーションはテレビに映せません。**
- **映像のみ、または映像＋テロップの動画／ｉモーションで、画像サイズが320×240、176×144、128×96ドット以外の動画／ｉモーションはテレビに映せません。**
- **D900iで撮影した動画、または画像変換ソフトMotion Smoothyで変換された動画／ｉモーション以外の動画／ｉモーションで、正常にテレビに映せない場合は音声のみ再生されます。**
- **接続するテレビによっては、動画の上下左右が一部映らないことや、周辺がゆがんで映ることがあります。**

1 FOMA端末とテレビを接続する

- 接続方法 [☛P228]

2 動画を表示し、サブメニュー「03.TV出力」を選択する

テレビの画面に動画が映ります。
- 再生を止めるには ◎（■）を押します。

ピクチャー一覧画面／タイトル一覧画面の見かた

ピクチャー一覧画面　タイトル一覧画面

動画／ｉモーションのアイコン、番号／全数

動画／ｉモーションのタイトル
タイトルを変更できます。[☛P250]（タイトルなしに変更した場合は「無題」と表示されます。）

動画／ｉモーションの副画像
：ピクチャー一覧に表示する副画像がありません。副画像を作成できます。[☛P253]
：ファイル種別が「音声＋テロップ」のため副画像がありません。
：ファイル種別が「音声のみ」のため副画像がありません。
：ファイル種別が「テロップのみ」のため副画像がありません。
：再生制限またはFOMAカード動作制限により再生できません。

■アイコンの種類と意味

アイコン種別	説　明
種類	：動画／ｉモーション
取得元 (注1)	：カメラ撮影　：キャラ電撮影 ：ｉモード、受信メール、メッセージR/F、ｉアプリから保存 ：赤外線通信または“メモリースティック Duo”を使って取得 ：テレビ電話通話中に動画メモで撮影
ファイル制限 (注2)	：メール添付やFOMA端末外への出力を許可（ファイル制限できる動画） ：メール添付やFOMA端末外への出力を許可 ：メール添付すると、送信先からはメール添付やFOMA端末外への出力を禁止（ファイル制限を解除できる動画） ：メール添付やFOMA端末外への出力を禁止 ：再生制限がある　：再生期間前または再生制限が切れている
ファイル種別	：映像＋音声＋テロップ　：映像＋音声 ：音声＋テロップ　：音声のみ ：映像＋テロップ　：映像のみ　：テロップのみ ：テレビ電話動画メモ　：テレビ電話伝言メモ ：動画／ｉモーションを保存したときとは別のFOMAカードが入っている、またはFOMAカードが入っていない（動画／ｉモーションは表示されません） ※映像、音声、テロップのいずれかがD900iで再生できない形式だった場合、、、のように、再生できないデータが薄い色で表示されます。
保護／設定	なし：保護なし、設定なし　：保護あり、設定なし ：保護なし、設定あり (注3)　：保護あり、設定あり (注3)
画像サイズ (注4)	：スモールファイン　：スタンダード　：ファイン ：超なめらか　：大画面 ：128×96　：176×144　：320×240

（注1）内蔵画像のときは表示されません。

（注2）「データ交換画像」は、ファイル制限のありなしにかかわらず、メール添付やFOMA端末外へ出力できます。
（注3）以下のいずれかに設定されていることを示します。
・待受画面　・ウェイクアップ表示　・着モーション　・テレビ電話着モーション
（注4）「カメラ画像」で、スモールファイン、スタンダード、ファイン、超なめらか、大画面に該当しない動画があったときは、128×96、176×144、320×240ドットのいずれかのアイコンが表示されます。
「カメラ画像」以外では、128×96、176×144、320×240ドットのときにアイコンが表示され、他の画像サイズのときはアイコンは表示されません。

■動画／ｉモーションの情報を表示するには

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」の動画／ｉモーションの情報を表示できます。

①ピクチャ一覧またはタイトル一覧から動画／ｉモーションを選び、サブメニュー「情報表示」を選択する

- 動画／ｉモーション再生画面からも行えます。
- 再生中、一時停止中には、◯（情報）を押します。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。

②内容を確認し◎（OK）を押す

- 以下の情報が表示されます。

項　目	説　明
ファイル名	動画／ｉモーションに付けられたファイル名
ファイル種別	映像、音声、テロップのあり／なしなど
ファイルサイズ	ファイルサイズ（Kバイト）
画像サイズ（横×縦）	画像サイズ（ドット）
保護設定	保護のあり／なし
ファイル制限（注1）	なし（変更可）：メール添付やFOMA端末外への出力を許可（ファイル制限できる動画） なし（変更不可）：メール添付やFOMA端末外への出力を許可 あり（変更可）：メール添付すると、送信先からはメール添付やFOMA端末外への出力を禁止（ファイル制限を解除できる動画） あり（変更不可）：メール添付やFOMA端末外への出力を禁止
再生制限	なし：再生制限なし 再生制限：再生回数制限のときは「あとX回（X/Y）」を表示（Xは残りの再生回数、Yは再生可能回数） 再生期限制限、再生期間制限のときは日時を表示
着信音設定	着モーションに設定できる／できない
音	音の種別
オリジナルタイトル	作成されたときのタイトル（「カメラ画像」「TV電話画像」にはありません）
作成者、コピーライト、説明	ファイルの作成者、著作権者名、説明（「カメラ画像」「TV電話画像」にはありません）
作成日時	動画／ｉモーションの作成日時
保存日時	動画／ｉモーションをFOMA端末に保存した日時
保存元	動画／ｉモーションの取得元（お買い上げ時に登録されている動画／ｉモーションでは空白）

（注1）「データ交換画像」は、ファイル制限のありなしにかかわらず、メール添付やFOMA端末外へ出力できます。

■ピクチャ一覧とタイトル一覧を切り替えるには

①サブメニュー「タイトル一覧」または「ピクチャ一覧」を選択する

- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- お買い上げ時は「ピクチャ一覧」に設定されています。
- 動画／ｉモーション一覧の表示形式を切り替えると、以降はすべての動画／ｉモーション一覧が変更後の表示形式で表示されます。
- ピクチャ一覧は で動画／ｉモーションを選びます。タイトル一覧は で動画／ｉモーションを選びます。

■動画／ｉモーションを並べ替えるには（ソート）

①ピクチャ一覧またはタイトル一覧で、サブメニュー「ソート」を選択する

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」「TV電話画像」をソートできます。

- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- 表示中の一覧にだけ有効です。フォルダ一覧に戻るとソートは解除されます。

②ソート条件を選択する

- 日時順、タイトル順、ファイルサイズ順、ファイル取得元順から選べます。それぞれ昇順、降順が選べます。

③ （決定）を押す

タイトルを変更する

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」「TV電話画像」の動画／ｉモーションのタイトルを変更します。

- **動画／ｉモーションの撮影時や取り込み時は、「カメラ画像」「データ交換画像」「TV電話画像」ではファイル名、「ネットワーク画像」ではオリジナルタイトル（オリジナルタイトルがないときはファイル名）が表示されます。**

1 ピクチャ一覧またはタイトル一覧から動画／ｉモーションを選び、サブメニュー「タイトル変更」を選択する

- 再生画面からも行えます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。

2 タイトルを入力する

① （選択）を押す

② クリア を押して不要な文字を消し、タイトルを入力する

- 全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

3 （登録）を押す

タイトルが変更されます。

タイトルを元に戻すには

「ネットワーク画像」「データ交換画像」のタイトルを、最初に付けられていたタイトルに戻せます。
•「カメラ画像」「TV電話画像」のタイトルを元に戻すと「無題」と表示されます。

1 ピクチャ一覧またはタイトル一覧から動画／iモーションを選び、サブメニュー「タイトル復旧」を選択する

• 再生画面からも行えます。
• サブメニューの番号は画面によって異なります。

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

タイトルが元に戻ります。
• 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

ファイル名を変更する

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」の動画／iモーションのファイル名を変更します。
• 以下の動画／iモーションのファイル名は変更できません。
・メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像
・再生制限のある動画／iモーション

1 ピクチャ一覧またはタイトル一覧から動画／iモーションを選び、サブメニュー「ファイル名変更」を選択する

• 再生画面からも行えます。
• サブメニューの番号は画面によって異なります。

2 ファイル名を入力する

① ◉（選択）を押す
② クリア を押して不要な文字を消し、ファイル名を入力する
• 半角英数字で36文字まで入力できます。以下の文字は使えません。
「”」「＊」「：」「？」「￥」「／」

3 ◯（登録）を押す

ファイル名が変更されます。

マルチメディア編 ビデオプレーヤー

動画／ｉモーションを利用する

動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを作成する

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」をｉモードメールに添付できます。

- **以下の動画／ｉモーションは添付できません。**
  - **・画像サイズが超なめらかと大画面の動画**
  - **・シークレット設定されているフォルダ内の動画／ｉモーション**
  - **・メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画／ｉモーション**
  - **・再生制限のある動画／ｉモーション**
  - **・ファイルサイズが100Kバイトを超える動画／ｉモーション**

1 動画／ｉモーションを表示し、サブメニュー「01.メール添付」を選択する

ｉモードメール作成画面が表示されます。

- 以降の操作：「ｉモードメールを作成して送信する」操作2以降 [☛P118]
- ✉ を1秒以上押しても操作できます。
- ピクチャ一覧またはタイトル一覧からも行えます。

待受画面や着モーションなどに設定する

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」「TV電話画像」「内蔵画像」の動画／ｉモーションを待受画面や着モーションなどに設定できます。

- **シークレット設定されているフォルダ内の動画／ｉモーションと再生制限のある動画／ｉモーションは設定できません。**
- **以下の動画／ｉモーションは着モーションに設定できません。**
  - **・画像サイズが128×96、176×144ドット以外の動画／ｉモーション**
  - **・映像だけの動画／ｉモーション、テロップがある動画／ｉモーション**
  - **・着モーションへの設定が禁止されている動画／ｉモーション**
  - **・赤外線通信または“メモリースティック Duo”から取得した「カメラ画像」の動画**

1 動画／ｉモーションを表示し、サブメニュー「画面設定」を選択する

利用先の選択画面が表示されます。

- ピクチャ一覧またはタイトル一覧からも行えます。
- 「内蔵画像」の場合は動画を表示し、◎（設定）を押しても、利用先の選択画面を表示できます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。

2 利用先を選び ◉（選択）を押す

- 利用先にすでに画像や動画／ｉモーションが設定されているときは、変更するかどうかの問合せ画面が表示されます。変更するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

■「01.待受画面」を選択した場合

① 🔘で時計の表示形式を選び 🔘（選択）を押す

- 待受画面の設定の操作方法：「カメラ画像などの画像を表示する」操作4～5 [☛基本P146]

■「03.ウェイクアップ表示」～「05.TV電話着モーション」を選択した場合

動画／ｉモーションが設定されます。

おしらせ

- 動画／ｉモーションによっては待受画面や着モーションなどに設定できないものがあります。
- 待受画面に設定したｉモーションからのWeb to機能はご利用になれません。
- 待受画面に動画／ｉモーションを設定すると、アイコンによっては、動画／ｉモーションの再生が終了するまで、表示されないことがあります。

副画像を作成する

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」「TV電話画像」の動画／ｉモーションから1コマを選び、ピクチャ一覧に表示する画像にできます。

- **以下の動画／ｉモーションの副画像は作成できません。**
  - **・映像のない動画／ｉモーション**
  - **・再生期間前または再生制限が切れている動画／ｉモーション**

1 動画／ｉモーションを表示し、サブメニュー「副画像生成」を選択する

- ピクチャ一覧またはタイトル一覧からも行えます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- 「TV電話画像」では最初の画像が副画像に設定され、ピクチャ一覧に表示されます。

2 🔘で副画像にする画像を選び 🔘（登録）を押す

選んだ画像が副画像に設定され、ピクチャ一覧に表示されます。

- 1コマずつ進めるには 🔘 を押します。1秒以上押すと連続してコマ送りできます。
- 早送りするには 🔘、巻き戻すには 🔘 を押します。
- 先頭に戻すには 🔘（⏮）を押します。

メール添付やFOMA端末外への出力を禁止する

「カメラ画像」にファイル制限をかけてからメール添付すると、メールの送信先では、メール添付やFOMA端末外へ出力できないようになります。

- **メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画には設定できません。**

1 ピクチャ一覧またはタイトル一覧から動画を選び、サブメニュー「ファイル制限」を選択する

ファイル制限がかけられます。

- 再生画面からも行えます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- ファイル制限を解除するときは、ファイル制限されている動画を選び、サブメニュー「ファイル制限解除」を選択します。

動画を編集する

静止画を切り出す

「カメラ画像」の動画から1コマを選び静止画として保存できます。
• メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画からは、切出しできません。

1 「カメラ画像」の動画を表示し、サブメニュー「02.画像編集」を選択する

動画編集画面

動画編集画面が表示されます。
• ピクチャー一覧またはタイトル一覧からも行えます。

2 サブメニュー「1.静止画切出し」を選択する

3 で切り出す画像を選び （保存）を押す

切り出した画像が「マルチメディア」→「イメージ」→「カメラ画像」→「撮影フォルダ」に静止画として保存されます。
• 1コマずつ進めるには を押します。1秒以上押すと連続してコマ送りできます。
• 早送りするには 、巻き戻すには を押します。
• 先頭に戻すには （|◀◀）を押します。
• 続けて静止画切出しをすることができます。

動画を切り出す

「カメラ画像」の動画から任意の範囲を切り出し保存できます。
• メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画からは、切出しできません。

1 動画編集画面で、サブメニュー「2.動画切出し」を選択する

• 動画編集画面の表示方法：「静止画を切り出す」操作1

2 「1.任意サイズ」または「2.メール添付固定サイズ」を選び （選択）を押す

3 切り出す範囲を指定する

① で切り出す範囲の最初のコマを表示し (始点)を押す

- 1コマずつ進めるには を押します。1秒以上押すと連続してコマ送りできます。
- 早送りするには 、巻き戻すには を押します。
- 先頭に戻すには (|◀◀)を押します。
- (解除)を押すと切り出す範囲の始点が解除されます。
- 「2.メール添付固定サイズ」を選んだときは、問合せ画面が表示されます。「はい」を選び (選択)を押します。メール添付できる範囲が切り出され、「マルチメディア」→「ｉモーション」→「カメラ画像」→「撮影フォルダ」に動画として保存されます。

②切り出す範囲の終わりのコマを表示し (終点)を押す

切り出した範囲が「マルチメディア」→「ｉモーション」→「カメラ画像」→「撮影フォルダ」に動画として保存されます。

テロップを入れる

「カメラ画像」の動画にテロップを入れられます。最大5つのテロップを入れられます。

- **メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画には、テロップを入れられません。**

1 動画編集画面で、サブメニュー「3.テロップ編集」を選択する

テロップ一覧画面が表示されます。

- 動画編集画面の表示方法：「静止画を切り出す」操作1 [☛P254]
- 動画にテロップを追加する空き容量がない場合には、テロップ編集はできません。

2 で「未登録」を選び (編集)を押す

■ **テロップを編集するには**

① でテロップを選び (編集)を押す

操作3に進みます。

■ **テロップを削除するには**

① でテロップを選び、サブメニュー「3.一件削除」を選択する

- (クリア)を1秒以上押しても削除できます。
- テロップをすべて削除するには、サブメニュー「4.全件削除」を選択します。

3 テロップを入力する

■ **開始時間、終了時間を入力するには**

①開始時間欄を選び (選択)を押す

② (0) ～ (9) で開始時間を入力し (確定)を押す

③終了時間欄を選び (選択)を押す

④ (0) ～ (9) で終了時間を入力し (確定)を押す

- 時間は秒で入力します。
- で数字を増減できます。
- 2つ以上のテロップを登録するときは、時間が重ならないようにしてください。

■テロップ内容を入力するには

①テロップ内容欄を選び ◉（選択）を押す

②文字を入力する

- 全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

■文字色などを選択するには

下記の内容を設定できます。

項　目	説　明
文字色	「カラー1～20」から選択できます。
背景色	「カラー1～20」から選択できます。
文字サイズ	「大」「小」から選択できます。
下線	「あり」「なし」から選択できます。
点滅	「あり」「なし」から選択できます。
文字位置	「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」から選択できます。
スクロール	「しない」「スクロールイン」「スクロールアウト」「スクロールイン＆アウト」から選択できます。
スクロール方向	「下から上（↑）」「右から左（←）」「上から下（↓）」「左から右（→）」から選択できます。 ・スクロール欄で「しない」を選択しているときは、スクロール方向は選択できません。

①設定する項目欄を選び ◉（選択）を押す

②項目を選び ◉（選択）を押す

■テロップを登録する時間を選択するには

①空き時間一覧欄を選び ◉（選択）を押す

② ◎でテロップを登録する時間を選び ◉（選択）を押す

- 選んだ空き時間の範囲で、開始時間、終了時間を入力できます。

4 ◯（登録）を押す

テロップが登録されます。

- 続けてテロップの登録や編集ができます。

■テロップを確認するには

①テロップ一覧画面でサブメニュー「2.確認」を選択する

- マナーモード中、ドライブモード中は問合せ画面が表示されます。「はい」を選び ◉（選択）を押すと、動画が音付きで再生されます。
「いいえ」を選ぶと音なしで再生されます。

5 サブメニュー「1.保存」を選択する

6 「1.新規保存」または「2.上書き保存」を選び ◉（選択）を押す

テロップ付きで動画が保存されます。

- 保存しないときは「3.しない」を選びます。
- マルチメディア用のメモリに空きがないときや、最大保存件数を超えたときは、上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。[☛P265]
- 待受画面、ウェイクアップ表示、着モーションに設定している動画を上書き保存するときは、問合せ画面が表示されます。上書きするときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。上書きしないときは「いいえ」を選びます。

アフレコを入れる

「カメラ画像」の動画に後から音声を録音できます。

- **メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画には、アフレコを入れられません。**

1 動画編集画面で、サブメニュー「4.アフレコ編集」を選択する

録音画面が表示されます。

- 動画編集画面の表示方法：「静止画を切り出す」操作1 [☛P254]
- 動画に音声を追加する空き容量がない場合には、アフレコ編集はできません。

2 音声を録音する

①◉（録音）を押す

②送話口に向かって話す

③◯（■）を押す

録音が終了します。

- マルチメディア用のメモリに空き容量がなくなった場合や動画の最後に達した場合も録音が終了します。

■録音した音声を確認するには

①サブメニュー「2.確認」を押す

- 再生を止めるには ◯（■）を押します。
- ◎ で音量を調節できます。
- マナーモード中、ドライブモード中は問合せ画面が表示されます。「はい」を選び ◉（選択）を押すと、動画が音付きで再生されます。
「いいえ」を選ぶと音なしで再生されます。

■再録音するには

①◉（録音）を押す

②「はい」を選び ◉（選択）を押す

③送話口に向かって話す

④◯（■）を押す

3 サブメニュー「1.保存」を選択する

- 以降の操作方法：「テロップを入れる」操作6

動画／ｉモーションを保護する

- 最大保護件数 [☛P13]
- 「内蔵画像」の動画／ｉモーションは削除できないようにあらかじめ設定されています。保護はできません。

1 ピクチャ一覧またはタイトル一覧から動画／ｉモーションを選び、サブメニュー「保護」を選択する

動画／ｉモーションが保護され、アイコンが またはになります。

- 再生画面からも行えます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- 保護を解除するときは、保護されている動画／ｉモーションを選び、サブメニュー「保護解除」を選択します。

動画／ｉモーションを削除する

「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」「TV電話画像」の動画／ｉモーションを削除できます。

- 「内蔵画像」の動画／ｉモーションは削除できません。
- 保護されている動画／ｉモーションは削除できません。保護を解除してから削除してください。

1 ピクチャ一覧またはタイトル一覧から動画／ｉモーションを選び、サブメニュー「一件削除」を選択する

- 再生画面からも行えます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- クリアを1秒以上押しても削除できます。

■複数の動画／ｉモーションを選択して削除するには

①ピクチャ一覧またはタイトル一覧で、サブメニュー「選択削除」を選択する

- サブメニューの番号は画面によって異なります。

②動画／ｉモーションを選び ◉（選択）を押す

- 複数の動画／ｉモーションを選択できます（30件まで）。
- 選択を解除するには、選択済みの動画／ｉモーションを選び ◉（解除）を押します。
- 待受画面、ウェイクアップ表示、着モーションに設定している動画／ｉモーションを選んだときは、問合せ画面が表示されます。削除するとき「はい」を選び ◉（選択）を押します。削除しないときは「いいえ」を選びます。

③ ◯（決定）を押す

■**フォルダ内の動画／ｉモーションをすべて削除するには**

- 保護されている動画／ｉモーションは残ります。

①ピクチャー一覧またはタイトル一覧で、サブメニュー「フォルダ内削除」を選択する

- フォルダ一覧からも操作できます。フォルダ一覧から操作するときは、フォルダを選び、サブメニュー「フォルダ内削除」を選択します。シークレット設定したフォルダを選んだときは、端末暗証番号を入力し◉（選択）を押します。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。

■**保存されている動画／ｉモーションをすべて削除するには**

- 保護されている動画／ｉモーションは残ります。

①フォルダ一覧画面で、サブメニュー「5.全件削除」を選択する

②端末暗証番号を入力し◉（選択）を押す

2 「はい」を選び◉（選択）を押す

動画／ｉモーションが削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- 待受画面、ウェイクアップ表示、着モーションに設定している動画／ｉモーションを削除すると、これらの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 選択削除、フォルダ内削除、全件削除の場合、削除中の画面で◉（中止）を押すと削除を中止できます。ただし、すでに削除済みの動画／ｉモーションは元に戻りません。

メロディを再生する

お買い上げ時にFOMA端末に登録されているメロディと、ｉモードなどで取得したメロディを再生できます。

•“メモリースティック Duo”に保存したメロディを再生するには［☛P289］

1 待受中に、メニュー「マルチメディア」▶「メロディ」を選択する

メロディ一覧が表示されます。
- タイトルがないときは「無題」と表示されます。

■ メロディを並べ替えるには（ソート）
- お買い上げ時に登録されているメロディの並替えはできません。

①サブメニュー「06.ソート」を選択する
②ソート条件を選択する
- 日時順、タイトル順、ファイルサイズ順、ファイル取得元順から選べます。それぞれ、昇順、降順が選べます。

③ ◯（決定）を押す

2 メロディを選び ◉（再生）を押す

メロディが2回再生されます。（メロディ再生音が鳴らない設定にしているときは鳴りません。）
- ◎ で音量を調整できます。

■ 再生を停止するには
① ◉（停止）を押す

■ 前のメロディを再生するには
①再生中に ◎ を押す

■ 次のメロディを再生するには
①再生中に ◎ を押す

■ メロディの情報を確認するには
①メロディ一覧からメロディを選び、サブメニュー「09.情報表示」を選択する
②内容を確認し ◉（OK）を押す
- 以下の情報が表示されます。

項　目	説　明
ファイル名	メロディに付けられたファイル名
ファイル種別	ファイルの種別（SMF、MFi）
ファイルサイズ	ファイルサイズ（Kバイト）
保護設定	保護のあり／なし
ファイル制限	なし（変更不可）：メール添付やFOMA端末外への出力を許可 あり（変更不可）：メール添付やFOMA端末外への出力を禁止
オリジナルタイトル	作成されたときのタイトル
作成日時	メロディの作成日時
保存日時	メロディをFOMA端末に保存した日時
保存元	メロディの取得元（お買い上げ時に登録されているメロディでは空白）

■アイコンの種類と意味

アイコン種別	説　明
種類	：メロディ
取得元	：ｉモード、受信メール、メッセージR/F、ｉアプリから保存 ：赤外線通信、“メモリースティック Duo”、バーコードリーダーを使って取得したメロディ なし：内蔵メロディ
ファイル制限	：メール添付やFOMA端末外への出力を許可 ：メール添付やFOMA端末外への出力を禁止
ファイル種別	：SMF形式　：MFi形式 ：メロディを保存したときとは別のFOMAカードが入っている、またはFOMAカードが入っていない（メロディは再生されません）
保護／リンク	なし：保護なし、着信音などに設定なし ：保護あり、着信音などに設定なし ：保護なし、着信音などに設定あり ：保護あり、着信音などに設定あり

ポイント再生する

メロディの一部分だけを再生できます。

- **メロディ中のポイント再生する範囲はあらかじめ設定されています。FOMA端末で設定することはできません。**
- **ポイント再生する範囲が設定されていないメロディは、ポイント再生でもメロディ全体が再生されます。**

1 メロディ一覧からメロディを選び、サブメニュー「02.ポイント再生」を選択する

メロディが2回再生されます。

- 再生を停止するときは◉（停止）を押します。

着信音などをポイント再生するかフルコーラス再生するかを設定するには

メロディを着信音・アラーム音に設定して鳴らすときや、音の設定などでの曲名選択中に鳴らすときに、メロディ全体を再生（フルコーラス再生）するか、ポイント再生するかを設定できます。

- メロディごとに設定できます。
- お買い上げ時：ポイント再生

① メロディ一覧からメロディを選び、サブメニュー「08.演奏位置」を選択する

②「1.ポイント再生」または「2.フルコーラス再生」を選び◉（設定）を押す

タイトルを変更する

1 メロディ一覧からメロディを選び、サブメニュー「03.タイトル変更」を選択する

2 タイトルを入力する

① ◉（選択）を押す
② クリア を押して不要な文字を消し、タイトルを入力する
- 全角25文字（半角50文字）まで入力できます。

3 ◯（登録）を押す

タイトルが変更されます。

タイトルを元に戻すには

変更したタイトルを最初に付けられていたタイトルに戻せます。
- オリジナルタイトルがないメロディのタイトルを元に戻すと「無題」と表示されます。

1 メロディ一覧からメロディを選び、サブメニュー「04.タイトル復旧」を選択する

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

タイトルが元に戻ります。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

ファイル名を変更する

FOMA端末に保存されているメロディのファイル名を変更します。
- **以下のメロディのファイル名は変更できません。**
  - **メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディ**
  - **お買い上げ時に登録されているメロディ**

1 メロディ一覧からメロディを選び、サブメニュー「05.ファイル名変更」を選択する

2 ファイル名を入力する

① ◉（選択）を押す
② クリア を押して不要な文字を消し、ファイル名を入力する
- 半角英数字で36文字まで入力できます。以下の文字は使えません。
「”」「＊」「：」「？」「￥」「／」

3 ◯（登録）を押す

ファイル名が変更されます。

メロディを利用する

メロディを添付してｉモードメールを作成する

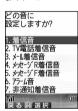
- **以下のメロディは添付できません。**
  - **・メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディ**
  - **・MFi形式のメロディ**
  - **・お買い上げ時に登録されているメロディ**
  - **・ファイルサイズが10000バイトを超えるメロディ**
- **D900i以外で受信した場合、メロディが正しく再生できないことがあります。**

1 メロディ一覧からメロディを選び、サブメニュー「01.メール添付」を選択する

ｉモードメール作成画面が表示されます。

- 以降の操作：「ｉモードメールを作成して送信する」操作2以降 [☛P118]
- ✉を1秒以上押しても操作できます。

着信音などに設定する

1 メロディ一覧からメロディを選び、サブメニュー「07.音の設定」を選択する

2 音の項目を選び◉（選択）を押す

メロディが選択した音に設定されます。

メロディを保護する

- 最大保護件数：500件
- お買い上げ時に登録されているメロディは削除できないようにあらかじめ保護されています。保護の解除はできません。

1 メロディ一覧からメロディを選び、サブメニュー「10.保護」を選択する

メロディが保護され、アイコンが または になります。
- 保護を解除するときは、保護されているメロディを選び、サブメニュー「10.保護解除」を選択します。

メロディを削除する

- お買い上げ時に登録されているメロディは削除できません。
- 保護されているメロディは削除できません。保護を解除してから削除してください。

1 メロディ一覧からメロディを選び、サブメニュー「11.一件削除」を選択する

- クリア を1秒以上押しても削除できます。

■複数のメロディを選択して削除するには

①メロディ一覧で、サブメニュー「12.選択削除」を選択する
②メロディを選び ◉（選択）を押す
- 複数のメロディを選択できます（30件まで）。
- 選択を解除するには、選択済みのメロディを選び ◉（解除）を押します。
- 着信音などに設定しているメロディを選んだときは、問合せ画面が表示されます。削除するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。削除しないときは「いいえ」を選びます。

③ ○（決定）を押す

■メロディをすべて削除するには

- お買い上げ時に登録されているメロディ、保護されているメロディは残ります。

①メロディ一覧で、サブメニュー「13.全件削除」を選択する
②端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す
メロディが削除されます。

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

メロディが削除されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

おしらせ

● 着信音などに設定しているメロディを削除すると、着信音などはお買い上げ時の設定に戻ります。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

画像、動画／ｉモーション、キャラ電、メロディ、ｉアプリのソフトを保存した場合に、マルチメディア用のメモリが不足したときや、各データの最大保存件数を超えたときは、問合せ画面が表示されます。問合せ画面が表示されたときは、上書きするデータを選んでから保存します。

表示理由	問合せ画面の表示例
メモリ不足	保存容量が不足しています　上書きしますか？
保存件数オーバー	件数オーバーです　XXXXに上書きして下さい（XXXXには「イメージ」「ｉモーション」などが表示されます。）

例「カメラ画像」の静止画を保存時にメモリ不足になったとき

1 「はい」を選び ◎（選択）を押す

- 上書きせずに保存を中止するときは「いいえ」を選びます。
- 件数オーバーのときは操作4に進みます。

2 「1.イメージ」を選び ◎（選択）を押す

3 「1.カメラ画像」を選び ◎（選択）を押す

フォルダ一覧が表示されます。

4 フォルダを選び ◎（選択）を押す

タイトル一覧が表示されます。

- 選択したフォルダがシークレット設定されているときは、端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押します。
- メモリ不足の場合は、保存するデータとは別の種類のデータにも上書きできます。例えば、カメラ画像を保存するときに、上書きするデータをメロディやソフトから選択してもかまいません。
- 件数オーバーの場合は、保存するデータと同じ種類のデータから選択します。

カーソル位置のデータの容量

新規保存のために不足しているデータ容量

5 上書きする静止画を選び ◎（選択）を押す

不足量が0以下になると、上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。

- 複数のデータを選択できます。不足量が0以下になるまで繰り返します。

- 保護されているデータや以下で使用しているデータを上書きするときは、問合せ画面が表示されます。上書きしてもよいときは「はい」を選び ◎（選択）を押します。上書きしないときは「いいえ」を選びます。

データ	設　定
イメージ	・待受画面　・パートナー　・インスピレーションウィンドウ ・電話帳　・自局番号　・テレビ電話の代替画像　など
ｉモーション	・待受画面　・ウェイクアップ画面　・着モーション
メロディ	・音の設定　・グループ設定
ｉアプリ	・ｉアプリ待受画面　・クイックα設定

- 以下の場合、電話帳に設定しているデータは選択できません。設定を解除してから操作してください。
  - ・ダイヤル発信制限中
  - ・電話帳指定着信許可／拒否設定中（許可／拒否する電話帳にデータを設定している場合）

■ｉモーション、キャラ電、メロディ、ｉアプリから選択するには

上書きするデータを、カメラ画像、ｉモーション、キャラ電、メロディ、ｉアプリの一覧にまたがって選択することもできます。サブメニュー「1.ｉモーション」「2.キャラ電」「3.メロディ」「4.ｉアプリ」のいずれかを選択します。

- 実行中のソフトは上書きできません。

■メール連動型ｉアプリのソフトに上書きするとき

送信メールBOX、受信メールBOXのｉアプリメール用フォルダを削除するかどうかの問合せ画面が表示されます。フォルダを削除するときは「1.する」を選び ◎（選択）を押します。フォルダ内のメールもすべて削除されます。

- フォルダを残してソフトを上書きするときは「2.しない」を選びます。
- 操作を中止するには「3.中止する」を選びます。
- メールセキュリティ設定中、または送信メールBOXまたは受信メールBOXのｉアプリメール用フォルダがシークレット設定されているときは、端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押します。
- 送信メールBOXまたは受信メールBOXのｉアプリメール用フォルダに保護されているメールがあるときはフォルダを削除できません。「1.する」を選択するとソフトの選択が解除されます。

■選択を解除するには

- 選択したデータを選び ◎（解除）を押します。
- 選択をすべて解除するには、サブメニュー「全候補解除」を選択します。ｉモーション、キャラ電、メロディ、ｉアプリでの選択も解除されます。（サブメニューの番号は画面によって異なります。）

6 「はい」を選び ◎（選択）を押す

静止画が上書き保存されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

上書きする前に静止画やメロディを表示・再生する

■ **静止画、動画／ｉモーション、キャラ電を表示するには**

① タイトル一覧からデータを選び、サブメニュー「5.画像表示」を選択する

- アニメーションの再生、動画／ｉモーションの再生、キャラ電のアクションについては、それぞれの操作方法を参照してください。
- 音声通話中など同時に動作している機能がある場合には、動画／ｉモーション、キャラ電の表示、Flashの再生ができないことがあります。

② 内容を確認し◎（戻る）を押す

■ **メロディを再生するには**

① メロディ一覧からメロディを選び、サブメニュー「5.フルコーラス再生」を選択する

メロディが2回再生されます。（メロディ再生音が鳴らない設定にしているときは鳴りません。）

- 再生を止めるには ◎（停止）を押します。
- ◎ で音量を調節できます。

上書きする前に静止画やメロディの情報を確認する

上書きする静止画、動画／ｉモーション、キャラ電、メロディ、ｉアプリを選ぶときに、情報を確認できます。

例 静止画の情報を確認するとき

① タイトル一覧から静止画を選び、サブメニュー「6.情報表示」を選択する

- 動画／ｉモーション一覧、キャラ電一覧では「6.情報表示」、メロディ一覧では「6.曲情報」、ソフト一覧では「5.ソフト情報」を選択します。

② 内容を確認し◎（OK）を押す

データ交換編

赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載されたFOMA端末や携帯電話と、電話帳、メール、画像、動画／ｉモーションなどのデータを、1件ずつまたは全件送受信できます。

- ｉアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器から、ｉアプリ起動データを受信して、ｉアプリを実行することもできます。

赤外線通信の手順

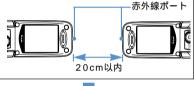
D900iどうしで赤外線通信を行う手順を例に示します。

送信側

送信するデータを表示する

受信側

D900iの赤外線ポートを向かい合わせる

- D900iの間には、何も置かないでください。
- 赤外線通信の通信距離は、20cm以内でご利用ください。
- データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポートに向けたままにして、動かさないでください。

送信操作を行う

受信操作を行う

おしらせ

- 以下のような場所では、正常に通信できない場合があります。
  - 直射日光の当たる場所や蛍光灯の直下
  - テレビやビデオのリモコンなど他の赤外線通信機器やノイズを発生する機器が近くにある場所
- D900iは、赤外線通信を使ったクラス1レーザ製品です。「クラス1」とは、設計上本質的に安全であるとJIS（日本工業規格）で規定されているクラスです。
- D900iの赤外線通信機能は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手の赤外線通信機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、アプリケーションによってはデータを送受信できないことがあります。
- 他の赤外線通信機器に影響を与える場合があります。他の赤外線通信機器を妨害することのないよう、注意してください。
- 通話中やｉモード中、パケット通信中、64Kデータ通信中、ショートメッセージ（SMS）送受信中、セルフモード中、オールロック中、PIMロック中は赤外線通信を使用できません。
- マルチタスクにより他の機能を実行中のときは赤外線通信できないことがあります。また、赤外線通信中は他の機能を実行できません。
- 赤外線通信中は「▮⇌」が表示されます。赤外線通信中は圏外と同じ状態になるため、通話、ｉモード、データ通信などは利用できません。
- 赤外線通信と以下の機能の動作開始時刻が重なったときは、赤外線通信が終了してから動作します。
  - 自動電源OFF　•アラーム　•スケジュール
- D900i以外の赤外線通信機器との通信では、データが正しく送受信できないことがあります。また、半角カタカナ、絵文字、「①」や「㈱」などの一部の全角記号は、受信側で正しく表示されない場合があります。
- 受信したデータの中に、D900iで表示できない文字を含んだ項目がある場合、空白に置き換えられるか、切り詰められます。
- DDLink（簡易赤外線通信）対応機種（D208、D209i、D502i）とは通信できません。

データを1件ずつ送受信する

- **ダイヤル発信制限中は電話帳、自局番号の登録内容は送受信できません。**
- **日付・時刻を設定していないときはスケジュールは受信できません。**
- **保護は解除されて送信されます。**

送受信するデータ	D900iから送信するとき	D900iで受信するとき
画像	「マルチメディア」→「イメージ」の「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」から画像を送信できます。ただし、以下の画像は送信できません。 ● カメラ画像の場合 ・シークレット設定されているフォルダ内の静止画 ・壊れている静止画 ・撮影後ファイル制限ありのキャラ電を撮影した静止画 ● ネットワーク画像の場合 ・シークレット設定されているフォルダ内の画像 ・壊れている画像　・Flash画像 ・ファイル制限あり(変更不可)の画像 ・現在挿入されているFOMAカードと、取得時のFOMAカードが異なる画像（FOMAカード未挿入時も含む） ● データ交換画像の場合 ・シークレット設定されているフォルダ内の画像 ・壊れている画像	●「マルチメディア」→「イメージ」→「データ交換画像」に保存されます。 ● 横×縦または縦×横が640×480ドット以下で、ファイルサイズが200Kバイト以下のJPEG形式、GIF形式の画像のみ受信できます。 ● 最大保存件数：1000件
動画／ｉモーション	「マルチメディア」→「ｉモーション」の「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」から動画／ｉモーションを送信できます。ただし、以下の動画／ｉモーションは送信できません。 ● カメラ画像の場合 ・シークレット設定されているフォルダ内の動画／ｉモーション ・撮影後ファイル制限ありのキャラ電を撮影した動画／ｉモーション ● ネットワーク画像の場合 ・シークレット設定されているフォルダ内の動画／ｉモーション ・ファイル制限あり(変更不可)の動画／ｉモーション ・再生制限ありの動画／ｉモーション ・現在挿入されているFOMAカードと、取得時のFOMAカードが異なる動画／ｉモーション（FOMAカード未挿入時も含む） ● データ交換画像の場合 ・シークレット設定されているフォルダ内の動画／ｉモーション	●「マルチメディア」→「ｉモーション」の「データ交換画像」に保存されます。 ● ファイルサイズが650Kバイトを超える動画／ｉモーションは保存できません。 ● 最大保存件数：500件
メロディ	以下のメロディは送信できません。 ・お買い上げ時に登録されているメロディ ・壊れているメロディ ・ｉモードやメール、メッセージR/Fで取得したメロディのうち、ファイル制限あり(変更不可)のメロディ ・現在挿入されているFOMAカードと、取得時のFOMAカードが異なるメロディ（FOMAカード未挿入時も含む）	●「マルチメディア」→「メロディ」に保存されます。 ● ファイルサイズが200Kバイトを超えるメロディは保存できません。 ● 最大保存件数：500件

送受信するデータ	D900iから送信するとき	D900iで受信するとき
受信メール	• 以下の内容が取り除かれて送信されます。 ・ファイル制限あり(変更不可)の添付ファイル／貼付メロディ ・現在挿入されているFOMAカードと、メール受信時のFOMAカードが異なる添付ファイル／貼付メロディ（FOMAカード未挿入時も含む） ・ｉモーションメールの動画アイコンと保存期間および動画データ ・ｉアプリTo ・ｉアプリ利用データ • ショートメッセージ（SMS）は送信できません。	• メール振分設定されている場合、メールはフォルダに分類されます。 • ショートメッセージ（SMS）は保存されません。 • 最大保存件数：1000件
送信メール	• 現在挿入されているFOMAカードと、ファイル取得時のFOMAカードが異なる場合、FOMAカード動作制限が設定されている添付ファイルは取り除かれて送信されます（FOMAカード未挿入時も含む）。 • ショートメッセージ（SMS）は送信できません。	• 同報送信の宛先は5件まで受信できます。 • メール振分設定されている場合、メールはフォルダに分類されます。 • ショートメッセージ（SMS）は保存されません。 • 最大保存件数：200件
電話帳 自局番号	• シークレット検索すれば、シークレットメモリ登録されている電話帳も送信できます。 • 以下の内容が取り除かれて送信されます。 ・画像　・シークレットコードと設定先 ・パーソナルメモ • 以下の内容が置き換えられて送信されます。 ・グループ名はすべて「グループ00」になります。 ・シークレットメモリ登録は「しない」になります。 ・アイコンは、だけ送信されます。他のアイコンはになります。 • FOMAカード電話帳も送信できます。	• 本体電話帳に保存されます。 • 以下の内容が置き換えられて保存されます。 ・シークレットメモリ登録は「しない」になります。 ・アイコンは、だけ保存されます。他のアイコンはになります。 • 受信データには最も小さい空きメモリ番号が割り当てられます。 • 最大保存件数：700件（電話番号、メールアドレスは、それぞれ合計700件まで）
ブックマーク	• 登録されているブックマークはすべて送信できます。	• URLが半角256文字を超えているときは、超えた文字が削除されます。 • 最大保存件数：50件
スケジュール	• 音・バイブレーター設定が「バイブのみ」「音+バイブ」のときは「音のみ」に変更されます。 • アイコンは送信されません。（受信側の機種によっては、D900iの「分類」の設定に従ってアイコンが設定される場合があります。） • 終了日付・時刻が未設定の場合は、開始日付・時刻と同じになります。	• D900iで設定不可能な日時が設定されているスケジュールは保存されません。 • 開始日付・時刻がないスケジュールは保存されません。 • アイコンはになります。 • 最大保存件数：100件

※ FOMA端末の画像、動画／ｉモーション、メロディの最大保存件数は、マルチメディア用のメモリすべてをそのデータで使用した場合の最大件数です。他のデータが保存されているときは、保存できる件数は少なくなります。また、画像、動画／ｉモーション、メロディ、受信メール、送信メールを保存できる件数は、データのサイズにより少なくなる場合があります。
※ フォルダは送受信できません。
※ 他のFOMA端末や携帯電話、赤外線通信機器にデータを送信したとき、送信先で登録できない項目は破棄されます。
※ 他のFOMA端末や携帯電話、赤外線通信機器からデータを受信したとき、D900iで登録できない項目は破棄されます。

データを1件送信する

1 送信するデータを選ぶ

画像

動画／ｉモーション

メロディ

受信メール、送信メール

電話帳

自局番号

ブックマーク

スケジュール

- 画像を送信するときは、「マルチメディア」→「イメージ」の「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」のピクチャ一覧またはタイトル一覧から画像を選びます。（画像を表示しても行えます。）
- 動画／ｉモーションを送信するときは、「マルチメディア」→「ｉモーション」の「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」のピクチャ一覧またはタイトル一覧から動画／ｉモーションを選びます。（動画／ｉモーションを表示しても行えます。）
- メロディを送信するときは、「マルチメディア」→「メロディ」のメロディ一覧からメロディを選びます。
- 受信メール／送信メールを送信するときは、受信メール一覧、送信メール一覧からメールを選びます。（メールを表示しても行えます。）
- 電話帳を送信するときは、電話帳の検索結果一覧から送信する電話帳を選びます。
- 自局番号を送信するときは、自局番号の画面を表示します。
- ブックマーク、スケジュールを送信するときは、一覧から送信するデータを選びます。

2 受信側でデータ受信操作をする

3 サブメニュー「赤外線送信」を選択する

- サブメニューの番号は送信するデータによって異なります。

4 「1.送信」を選び ◉（選択）を押す

5 「はい」を選び ◉（選択）を押す

データが送信されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- 送信中に ◉（中止）を押すと送信を中止できます。

データを1件受信する

1 **待受中に、メニュー「アクセサリ」▶「赤外線受信」▶「1.受信」を選択する**

2 **「はい」を選び ◎（選択）を押す**

データの受信待ちになります。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

3 **送信側でデータ送信操作をする**

データが受信されます。
- 待機中、受信中に ◎（中止）を押すと受信を中止できます。
- 「はい」を選択してから約60秒以内にデータを受信しなかった場合は、受信が中止されます。
- 送信側の赤外線通信機器によっては、データを受信する前に認証パスワードの入力画面が表示されます。入力方法：「データを全件受信する」操作4 [☛P277]

4 **「はい」を選び ◎（選択）を押す**

データが保存されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

おしらせ

- **各データの最大登録件数を超えたときや、データを保存するメモリに空きがないときは、受信できません。不要なデータを削除してからやり直してください。**
- **データ送信側の赤外線通信機器によっては、データが保存されたあとも、FOMA端末が受信待ちのままになる場合があります。◎（中止）を押すと終了できます。**

データを全件送受信する

全件送受信を行うと、送信されたデータと同じ種類のデータが受信側からすべて削除され、受信したデータが上書きされます。
全件送受信のときには認証パスワードが必要です。任意の4桁の数字を決めておき、送信側と受信側で同じ数字を入力します。

- **ダイヤル発信制限中は電話帳、自局番号の登録内容は送受信できません。**
- **日付・時刻を設定していないときはスケジュールは受信できません。**
- **保護は解除されて送信されます。**
- **フォルダは送受信されません。全件受信する場合、フォルダ内のデータは削除されますが、フォルダは削除されずに残ります。**

送受信するデータ	D900iから送信するとき	D900iで受信するとき
画像 動画／ｉモーション メロディ	全件送信はできません。	全件受信はできません。
受信メール	● 以下の内容が取り除かれて送信されます。 ・ファイル制限あり（変更不可）の添付ファイル／貼付メロディ ・現在挿入されているFOMAカードと、メール受信時のFOMAカードが異なる添付ファイル／貼付メロディ（FOMAカード未挿入時も含む） ・ｉモーションメールの動画アイコンと保存期間および動画データ ・ｉアプリTo ・ｉアプリ利用データ ● ショートメッセージ（SMS）は送信されません。	● メール振分設定されている場合、メールはフォルダに分類されます。 ● ショートメッセージ（SMS）は保存されません。 ● D900iに保存されていたショートメッセージ（SMS）は上書きされずに残ります。 ● 最大保存件数：1000件
送信メール	● 送信メールの全件送信と、未送信メールの全件送信ができます。同時には送信できません。 ● 現在挿入されているFOMAカードと、ファイル取得時のFOMAカードが異なる場合、FOMAカード動作制限が設定されている添付ファイルは取り除かれて送信されます（FOMAカード未挿入時も含む）。 ● ショートメッセージ（SMS）は送信されません。	● 同報送信の宛先は5件まで受信できます。 ● メール振分設定されている場合、メールはフォルダに分類されます。 ● ショートメッセージ（SMS）は保存されません。 ● D900iに保存されていたショートメッセージ（SMS）は上書きされずに残ります。 ● 最大保存件数：200件
電話帳 自局番号	● 自局番号の登録内容が1件めとして送信されます。2件め以降は電話帳がメモリ番号順に送信されます。 ● 以下の内容が取り除かれて送信されます。 ・画像　・シークレットコードと設定先 ・パーソナルメモ ● 以下の内容が置き換えられて送信されます。 ・グループ名はすべて「グループ00」になります。 ・アイコンは、だけ送信されます。他のアイコンはになります。 ● FOMAカード電話帳は送信されません。	● 最初の1件が自局番号に登録され、2件め以降が本体電話帳に登録されます。 ● 以下の内容が置き換えられて保存されます。 ・グループ名はすべて「グループ00」になります。 ・アイコンは、だけ保存されます。他のアイコンはになります。 ● メールグループ設定、電話帳指定着信許可／拒否に登録されていた電話番号やメールアドレスは解除されます。 ● メモリ番号のあるデータは、そのメモリ番号に登録されます。000～699以外のメモリ番号のデータおよびメモリ番号のないデータには、000から順にメモリ番号が割り当てられます。 ● D900iの自局番号の電話番号1は上書きされずに残ります。 ● D900iのFOMAカード電話帳に登録されていた内容はそのまま残ります。 ● 最大保存件数：700件（電話番号、メールアドレスは、それぞれ合計700件まで）
ブックマーク	● 登録されているブックマークがすべて送信されます。	● URLが半角256文字を超えているときは、超えた文字が削除されます。 ● ブックマークはフォルダなしで保存されます。 ● 最大保存件数：50件

送受信するデータ	D900iから送信するとき	D900iで受信するとき
スケジュール	• 音・バイブレーター設定が「バイブのみ」「音+バイブ」のときは「音のみ」に変更されます。 • アイコンは送信されません。（受信側の機種によっては、D900iの「分類」の設定に従ってアイコンが設定される場合があります。） • 終了日付・時刻が未設定の場合は、開始日付・時刻と同じになります。	• D900iで設定不可能な日時が設定されているスケジュールは保存できません。 • 開始日付・時刻がないスケジュールは保存されません。 • アイコンは▦になります。 • 最大保存件数：100件

※ 受信メール、送信メールを保存できる件数は、データのサイズにより少なくなる場合があります。
※ フォルダは送受信されません。
※ 他のFOMA端末や携帯電話、赤外線通信機器にデータを送信したとき、送信先で登録できない項目は破棄されます。
※ 他のFOMA端末や携帯電話、赤外線通信機器からデータを受信したとき、D900iで登録できない項目は破棄されます。

データを全件送信する

1 送信するデータを表示する

受信メール、送信メール　電話帳・自局番号　ブックマーク　スケジュール

- 受信メール、送信メールを送信するときは、受信メール一覧、送信メール一覧を表示します。（メールの内容表示中やフォルダ一覧からも行えます。）
- 電話帳・自局番号を送信するときは、電話帳の検索結果一覧を表示します。（自局番号の画面からは行えません。）
- ブックマークを送信するときは、ブックマークの一覧を表示します。
- スケジュールを送信するときは、スケジュール一覧を表示します。（月表示画面や週表示画面からも行えます。）

2 受信側でデータ受信操作をする

3 サブメニュー「赤外線送信」を選択する

- サブメニューの番号は送信するデータによって異なります。

4 「2.全件送信」を選び ◉（選択）を押す

■送信メールを全件送信するとき
未送信メールと送信済みメールのどちらを送信するかの選択画面が表示されます。
①「1.未送信メール」または「2.送信済メール」を選び ◉（選択）を押す

5 「はい」を選び ◉（選択）を押す

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

6 端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押す

認証パスワードの入力画面が表示されます。

7 認証パスワードを入力する

データが送信されます。
- 受信側と同じ認証パスワード（4桁の数字）を入力します。
- 入力した数字は「_」で表示されます。
- 押し間違えたときは クリア を押して「_」を消し、入力し直します。
- 認証パスワードが受信側と一致しないときは送信が中止されます。
- 認証パスワードを入力せずに約15秒たつと送信が中止されます。
- 認証パスワードは「0000」〜「9999」の範囲で設定できます。「#」「⚹」は使えません。
- 送信中に ◎（中止）を押すと送信を中止できます。

おしらせ

● 認証パスワードを使った認証ができない赤外線通信機器には、全件送信できません。

データを全件受信する

全件受信をすると、受信したデータで上書きされ、登録していたデータはすべて削除されますのでご注意ください。受信途中で受信操作を中止しても、削除されたデータは元に戻りません。受信する前に、大切なデータが保存されていないかどうかを確認してください。

1 待受中に、メニュー「アクセサリ」▶「赤外線受信」▶「2.全件受信」を選択する

2 「はい」を選び ◎（選択）を押す

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

3 端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押す

認証パスワードの入力画面が表示されます。

4 認証パスワードを入力する

データの受信待ちになります。
- 送信側と同じ認証パスワード（4桁の数字）を入力します。
- 入力した数字は「_」で表示されます。
- 押し間違えたときは クリア を押して「_」を消し、入力し直します。
- 認証パスワードが送信側と一致しないときは受信が中止されます。
- 認証パスワードを入力せずに約15秒たつと受信が中止されます。
- 認証パスワードは「0000」〜「9999」の範囲で設定できます。「#」「⚹」は使えません。

5 送信側でデータ送信操作をする

データが受信されます。
- 認証パスワードを入力してから、送信側が約60秒以内にデータを送信しなかった場合は、受信が中止されます。
- 待機中、受信中に◉（中止）を押すと受信を中止できます。

おしらせ

- 各データの最大登録件数を超えたときや、データを保存するメモリに空きがなくなったときは、登録可能な分のデータだけがFOMA端末に登録されます。
- 受信データ中にFOMA端末で扱えないデータがあったときは、正常なデータだけが登録されます。
- 操作の中止などにより受信が中断されたときは、正常に受信できた分までが保存されます。
- データ送信側の赤外線通信機器によっては、データが全件受信されたあとも、FOMA端末が受信待ちのままになる場合があります。◉（中止）を押すと終了できます。
- 認証パスワードを使った認証ができない赤外線通信機器からの全件受信はできません。

赤外線通信モード

赤外線通信モードにする

ｉアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器から、ｉアプリ起動データを受信して、ｉアプリのソフトを実行できます。
- **起動するソフトは、ｉアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器によって決まっています。指定のソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。**

1 待受中に、メニュー「アクセサリ」▶「赤外線受信」▶「1.受信」を選択する

2 「はい」を選び◉（選択）を押す

赤外線通信モードになり、ｉアプリ起動データの受信待ちになります。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

3 赤外線通信機器側でｉアプリ起動データの送信操作をする

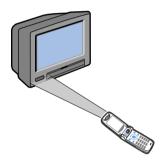
ｉアプリ起動データが受信され、ソフトが起動されます。
- 起動後の操作はソフトによって異なります。
- 「はい」を選択してから約60秒以内にｉアプリ起動データを受信しなかった場合は、赤外線通信モードが終了します。

赤外線リモコン機能を利用する

ｉアプリのソフトからFOMA端末の赤外線ポートを利用して、赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。

- **赤外線リモコン機能を利用するには、機器に対応したソフトをダウンロードしておく必要があります。****[☛P59]**
- **お買い上げ時に登録されている「珍さんのTVリモコン」は赤外線リモコン機能に対応しています。****[☛P86]**
- **セルフモード中は赤外線リモコンを使用できません。**

1 赤外線リモコン機能に対応したソフトを起動する

2 リモコン操作を行う

- FOMA端末の赤外線ポートを、相手の機器のリモコン受信部に向けて操作してください。
- 操作できる距離は正面から操作した場合で約3mです。ただし、相手の機器や周囲の明るさなどによって変わります。
- 赤外線リモコンの送信中は画面に または が表示されます。

おしらせ

- **機器によっては操作できない場合があります。**
- **対応機器や周囲の明るさによっては、赤外線リモコンの通信に影響がある場合があります。**

“メモリースティック Duo”について

FOMA端末から、以下のデータを“メモリースティック Duo”にコピーして保存できます。保存したデータは、FOMA端末で内容を表示できるほか、必要なときにFOMA端末にコピーして取り込むこともできます。

・画像　・動画／ｉモーション　・メロディ　・受信メール
・送信メール　・電話帳

- **FOMA端末に保存されている画像やメールなどが増えてきたら、“メモリースティック Duo”にデータをコピーしてFOMA端末のデータを削除すると、FOMA端末のメモリの空き容量を増やせます。**
- **FOMA端末に保存されているデータをまとめて“メモリースティック Duo”にコピーして、データのバックアップを作成することができます。****[☛P288]**
- **“メモリースティック Duo”を利用してパソコンなどの“メモリースティック”対応機器とデータをやりとりできます。****[☛P301]**
- **D900iでは“メモリースティック PRO デュオ”もご利用いただけます。（本書では、特に断りのない限り“メモリースティック Duo”と“メモリースティック PRO デュオ”を総称して“メモリースティック Duo”と記載しています。）**

“メモリースティック Duo”使用時のご注意

市販の“メモリースティック Duo”は、D900iでフォーマットしてからご利用ください。
- 未フォーマットの“メモリースティック Duo”ではフォーマット以外の操作はできません。
- パソコンなどでフォーマットした“メモリースティック Duo”はD900iでは使用できない場合があります。
- お買い上げ時に付属の“メモリースティック Duo”（試供品）はフォーマット済みです。

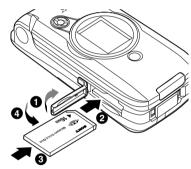
- 日付・時刻を設定していないときは、“メモリースティック Duo”を使用できません。
- データコピー中などは が表示されます。 表示中は圏外と同じ状態になり、通話、ｉモード、データ通信などはできません。
- 以下の動作中は、“メモリースティック Duo”の取出しや電源の切断はしないでください。データが壊れる恐れがあります。
  - ・データコピー中　・データ上書き中　・データ処理中　・データ削除中
  - ・メモリースティックチェック中　・フォーマット中
- 通話中、ｉモード中、データ通信中などは“メモリースティック Duo”を使用したデータのコピー・削除、フォーマットなどはできません。
- 付属の“メモリースティック Duo”の容量は16Mバイトです。D900iは128Mバイトまでの“メモリースティック Duo”および512Mバイトまでの“メモリースティック PRO デュオ”に対応しています（2004年3月現在）。
- “メモリースティック Duo”、“メモリースティック PRO デュオ”およびメモリースティック Duoアダプタは、家電製品取扱店などでお買い求めいただけます。“メモリースティック Duo”および“メモリースティック PRO デュオ”の対応状況については以下をご参照ください。
  - ・FOMA端末から：ｉMenuの「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「My D-style」の「D900iクイックマニュアル」
  - ・パソコンから：三菱電機株式会社のホームページhttp://www.MitsubishiElectric.co.jp/d900i/の「FAQ」▶「メモリースティック Duo」
- “メモリースティック Duo”の内容は、バックアップをとるなどして保管されることをおすすめします。保存内容が消失または変化してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お買い上げ時に付属の“メモリースティック Duo”は、無料保証修理の対象外です。

おしらせ

- “メモリースティック Duo”を使用してデータのコピー・削除、フォルダの削除、フォーマットなどを行っているときに、アラーム、スケジュールの設定時刻になったときは、“メモリースティック Duo”での処理が終了してからアラーム、スケジュールが動作します。自動電源OFFの場合は、待受画面に戻ってから動作します。
- “メモリースティック Duo”とメモリースティックDuoアダプタの取扱いについての詳しい内容は、“メモリースティック Duo”とメモリースティックDuoアダプタの取扱説明書をご覧ください。
- お買い上げ時に付属の“メモリースティック Duo”の容量は16Mバイトですが、お買い上げ時やフォーマット直後でも、フォルダなどが作成済みのため、空き容量は16Mバイトより少なくなります。

“メモリースティック Duo”の取付けかた／取外しかた

“メモリースティック Duo”を装着する

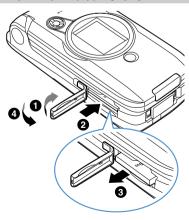
- “メモリースティック Duo”は正しく装着してください。正しく装着していないと使用できません。
- “メモリースティック Duo”挿入口には、“メモリースティック Duo”以外のものは挿入しないでください。

❶ **挿入口のカバーを開ける**

❷ **“メモリースティック Duo”を が印刷されている面を上にして、矢印の方向に挿入する**

正しい向きでまっすぐに装着しないと、壊れる可能性があります。

❸ **「カチッ」と音がするまで押し込む**

❹ **挿入口のカバーを閉じる**

“メモリースティック Duo”を取り出す

❶ **挿入口のカバーを開ける**

❷ **“メモリースティック Duo”を軽く押す**

“メモリースティック Duo”が手前に飛び出します。

❸ **“メモリースティック Duo”を取り出す**

まっすぐに取り出さないと、壊れる可能性があります。

❹ **挿入口のカバーを閉じる**

データの保存について

“ メモリースティック Duo ” に保存するデータの種類ごとに、フォルダを作成して、データを整理して保存できます。

- 標準のフォルダとして、「カメラ画像」には「100_USER」フォルダ、「カメラ画像」以外には「フォルダ未設定データ」フォルダが自動的に作成されます。

フォルダの最大作成件数

付属の “ メモリースティック Duo ” のフォルダの最大作成件数は以下のとおりです。
最大作成件数（各データのフォルダの合計）：975件
ただし、上記のうち「カメラ画像」のフォルダは最大900件です。

- 32MB以上の “ メモリースティック Duo ” での最大作成件数は、以下のとおりです。
「カメラ画像」のフォルダ：900件　「カメラ画像」以外のフォルダ：データの種別ごとに999件
ただし、“ メモリースティック Duo ” の容量によって件数は異なります。
- “ メモリースティック Duo ” の空き容量がなくなると、最大作成件数以下でもフォルダが作成できなくなります。
- フォルダの作成件数には、「100_USER」、「フォルダ未設定データ」フォルダを含みます。
- パソコンなどでフォルダを作成し、最大作成件数を超えると、FOMA端末で表示できない場合があります。

データの最大保存件数

- データの最大保存件数は以下のとおりです（フォルダごとの最大件数）。
・カメラ画像：1000件　・イメージ：1000件　・動画／ｉモーション：500件
・メロディ：500件　・受信メール：1000件　・送信メール：200件
・電話帳：700件
ただし、“ メモリースティック Duo ” の容量によって、保存できるデータの合計件数は異なります。
付属の “ メモリースティック Duo ”（16Mバイト）の場合の最大件数は以下のとおりです。
最大保存件数：975件（フォルダと全データの合計件数）
- 受信メール、送信メール、電話帳の複数のデータを、以下の方法で “ メモリースティック Duo ” にコピーしたときは、複数データが1つのバックアップデータにまとめられるため、1件と数えます。[☛P288]
・フォルダ内コピー　・全件コピー
- “ メモリースティック Duo ” の空き容量がなくなると、最大保存件数以下でも保存できなくなります。

D251i、D251iS、D252i、D505i、D505iS、D506iとの互換性について

■D251i、D251iS、D252i、D505i、D505iS、D506iのデータをD900iで使う

データ	保存元機種					
	D251i	D251iS	D252i	D505i	D505iS	D506i
カメラ画像(注1)	○	○	○	○	○	○
イメージ(注2)	―	―	○	○	○	○
動画／iモーション	―	―	―	―	×	×
メロディ	―	―	○	○	○	○
受信メール	○(注3)	○(注3)	○(注3)	○	○	○(注4)
送信メール	○(注3)	○(注3)	○(注3)	○	○	○
電話帳	○(注3、5)	○(注3、5)	○(注3、5)	○(注5)	○(注5)	○(注5)

○：利用可能　×：利用不可　―：保存元機種で保存できないデータ

(注1)「カメラ画像」の静止画の利用には以下の制限があります。
- D900iで撮影できないサイズの静止画もプレビューできますが、編集はできません。
- 連続撮影した静止画は1枚の静止画として扱われます。再生やベストカットは行えません。
- 静止画をD900iにコピーすると、「データ交換画像」に保存されます。「カメラ画像」にはコピーされません。

(注2)「イメージ」は、D252i、D505i、D505iSでは「インポート画像」、D506iでは「インポートアルバム」と表示されます。

(注3) データのプレビュー、コピーはできますが、D251i、D251iS用のフォルダに保存されているデータをD900iで削除することはできません。また、D251i、D251iS用のフォルダにD900iでデータを保存することはできません。(D252iで作成したD251i/iS形式のフォルダの場合も同様です。)

(注4) 1000件まで表示できます。

(注5) 電話帳の名前、フリガナはD900iでは「姓」、「姓フリガナ」に設定されます。

■D900iのデータをD251i、D251iS、D252i、D505i、D505iS、D506iで使う

- "メモリースティック Duo"の容量によっては利用先機種で使用できない場合があります。
- 利用可能なデータでも、データのサイズや件数、内容などによっては表示・再生できなかったり、正しく表示・再生されない場合があります。
- "メモリースティック Duo"からデータを利用先機種の本体にコピーする場合、コピーできる内容やコピー可能な件数は、利用先機種の制限に従います。

データ	利用先機種					
	D251i	D251iS	D252i	D505i	D505iS	D506i
カメラ画像	○	○	○	○	○	○
イメージ(注1)	×	×	○	○	○	○
動画／iモーション	×	×	×	×	×	×
メロディ	×	×	○(注2)	○(注2)	○(注2)	○(注2)
受信メール	×	×	○	○	○	○
送信メール	×	×	○	○	○	○
電話帳	×	×	○	○	○	○

○：利用可能　×：利用不可

(注1)「イメージ」は、D252i、D505i、D505iSでは「インポート画像」、D506iでは「インポートアルバム」と表示されます。

(注2) MFi形式のメロディのみ利用できます。

FOMA端末のデータを“ メモリースティック Duo ”にコピーする

FOMA端末のデータを“ メモリースティック Duo ”にコピーするには、以下の方法があります。

操　作	説　明
コピー	データを1件ずつ“ メモリースティック Duo ”にコピーします。
フォルダ内コピー	フォルダ内の全データを“ メモリースティック Duo ”にコピーします。 • メロディ、電話帳はフォルダ内コピーできません。
全件コピー	データの種類ごとに全データを“ メモリースティック Duo ”にコピーします。

- **コピーでは、FOMA端末のデータ1件が、“ メモリースティック Duo ”でも1件になります。**
- **フォルダ内コピー、全件コピーでは以下のようにコピーされます。**
  - **受信メール、送信メール、電話帳では、コピーする全データが、1つのバックアップデータにまとめられて、“ メモリースティック Duo ”にコピーされます。****[☛P288]**
  - **画像、動画／iモーション、メロディでは、1件ずつコピーするときと同様に、FOMA端末のデータ1件が“ メモリースティック Duo ”でも1件となります。**
- **同じタイトルのデータがあっても上書きせずにコピーされます。**
- **フォルダはコピーできません。フォルダ内のデータだけがコピーできます。**

著作権保護のため、iモードやメール、メッセージR/Fで取得した画像、動画／iモーション、メロディにはファイル制限が設定されている場合があります。iモードやメール、メッセージR/Fでの取得時にファイル制限が設定されていたデータは、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているため、“ メモリースティック Duo ”にコピーできません。

※取得時にファイル制限が設定されていた画像、動画／iモーション、メロディには または のアイコンが表示されます。

※FOMA端末でファイル制限を設定した画像、動画／iモーションはコピーできます。FOMA端末でファイル制限を設定した画像、動画／iモーションには のアイコンが表示されます。

※「データ交換画像」からは、取得時にファイル制限が設定されていて が表示されている画像、動画／iモーションでも、“ メモリースティック Duo ”にコピーできます（GIF形式の一部の画像を除く）。

おしらせ

● **FOMA端末と“ メモリースティック Duo ”の間で画像をコピーした場合、画質が劣化することがあります。**

“ メモリースティック Duo ”へのデータのコピーについて

データによっては、FOMA端末から “ メモリースティック Duo ” にコピーできないものがあります。また、コピーする際にデータの一部が取り除かれたり、置き換えられたりするものがあります。

- フォルダはコピーできません。
- 保護は解除されてコピーされます。

コピーするデータ	説 明
画像	「マルチメディア」→「イメージ」の「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」から画像をコピーできます。ただし、以下の画像はコピーできません。 ● カメラ画像の場合 ・シークレット設定されているフォルダ内の静止画　・壊れている静止画 ・撮影後ファイル制限ありのキャラ電を撮影した静止画 ● ネットワーク画像の場合 ・シークレット設定されているフォルダ内の画像　・壊れている画像 ・Flash画像　・ファイル制限あり（変更不可）の画像 ・現在挿入されているFOMAカードと、取得時のFOMAカードが異なる画像（FOMAカード未挿入時も含む） ● データ交換画像の場合 ・シークレット設定されているフォルダ内の画像　・壊れている画像 「カメラ画像」からコピーする場合、静止画は “ メモリースティック Duo ” の「カメラ画像」に保存されます。「ネットワーク画像」「データ交換画像」からコピーする場合、DCF [☛P290] 対応の画像は “ メモリースティック Duo ” の「カメラ画像」、その他の画像は “ メモリースティック Duo ” の「イメージ」に保存されます。
動画／ｉモーション	「マルチメディア」→「ｉモーション」の「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」から動画／ｉモーションをコピーできます。 ただし、以下の動画／ｉモーションはコピーできません。 ● カメラ画像の場合 ・シークレット設定されているフォルダ内の動画／ｉモーション ・撮影後ファイル制限ありのキャラ電を撮影した動画／ｉモーション ● ネットワーク画像の場合 ・シークレット設定されているフォルダ内の動画／ｉモーション ・ファイル制限あり（変更不可）の動画／ｉモーション ・再生制限ありの動画／ｉモーション ・現在挿入されているFOMAカードと、取得時のFOMAカードが異なる動画／ｉモーション（FOMAカード未挿入時も含む） ● データ交換画像の場合 ・シークレット設定されているフォルダ内の動画／ｉモーション
メロディ	以下のメロディはコピーできません。 ● お買い上げ時に登録されているメロディ　● 壊れているメロディ ● ｉモードやメール、メッセージR/Fで取得したメロディのうち、ファイル制限あり（変更不可）のメロディ ● 現在挿入されているFOMAカードと、取得時のFOMAカードが異なるメロディ（FOMAカード未挿入時も含む）
受信メール	● シークレット設定されているフォルダ内の受信メールはコピーできません。 ● 以下の内容が取り除かれてコピーされます。 ・ファイル制限あり（変更不可）の添付ファイル／貼付メロディ ・現在挿入されているFOMAカードと、メール受信時のFOMAカードが異なる添付ファイル／貼付メロディ（FOMAカード未挿入時も含む） ・ｉモーションメールの動画アイコンと保存期間および動画データ ・ｉアプリTo　・ｉアプリ利用データ ● ショートメッセージ（SMS）はコピーできません。
送信メール	● シークレット設定されているフォルダ内の送信メールはコピーできません。 ● 現在挿入されているFOMAカードと、ファイル取得時のFOMAカードが異なる場合、FOMAカード動作制限が設定されている添付ファイルは取り除かれてコピーされます（FOMAカード未挿入時も含む）。 ● ショートメッセージ（SMS）はコピーできません。

コピーするデータ	説　明
電話帳	• シークレットメモリ登録されている電話帳は、コピーできません。 • 以下の内容が取り除かれてコピーされます。 ・画像　・シークレットコードと設定先　・パーソナルメモ • 以下の内容が置き換えられてコピーされます。 ・グループ名はすべて「グループ00」になります。 ・アイコンは、[icons]だけコピーされます。他のアイコンは[icon]になります。

FOMA端末のデータを1件ずつ“ メモリースティック Duo ”にコピーする

1 コピーするデータを選ぶ

画像

動画／iモーション

メロディ

受信メール、送信メール

電話帳

- 画像をコピーするときは、「マルチメディア」→「イメージ」の「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」のピクチャ一覧またはタイトル一覧から画像を選びます。（画像を表示しても行えます。）
- 動画／iモーションをコピーするときは、「マルチメディア」→「iモーション」の「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」のピクチャ一覧またはタイトル一覧から動画／iモーションを選びます。（動画／iモーションを表示しても行えます。）
- メロディをコピーするときは、「マルチメディア」→「メロディ」のメロディ一覧からメロディを選びます。
- 受信メール／送信メールをコピーするときは、受信メール一覧、送信メール一覧からメールを選びます。（メールを表示しても行えます。）
- 電話帳をコピーするときは、電話帳の検索結果一覧からコピーする電話帳を選びます。

2 サブメニュー「メモリースティック」を選択する

- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- メモリースティックロック中は端末暗証番号を入力し◎（選択）を押します。

3 「1.コピー」を選び ◎（選択）を押す

フォルダ一覧が表示されます。

4 コピー先のフォルダを選び ◎（選択）を押す

データ交換編　“メモリースティック Duo”を利用する

5 「はい」を選び ◉ (選択) を押す

データがコピーされます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

FOMA端末のデータをまとめて“メモリースティック Duo”にコピーする

1 コピーするデータを選ぶ

- 画像をフォルダ内コピーするときは、「マルチメディア」→「イメージ」の「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」のフォルダ一覧からフォルダを選びます。(ピクチャ一覧またはタイトル一覧を表示しても行えます。) 全件コピーするときはフォルダ一覧を表示します。
- 動画／iモーションをフォルダ内コピーするときは、「マルチメディア」→「iモーション」の「カメラ画像」「ネットワーク画像」「データ交換画像」のフォルダ一覧からフォルダを選びます。(ピクチャ一覧またはタイトル一覧を表示しても行えます。) 全件コピーするときはフォルダ一覧を表示します。
- メロディを全件コピーするときは、「マルチメディア」→「メロディ」のメロディ一覧を表示します。
- 受信メール／送信メールをフォルダ内コピーするときは、受信メールBOX、送信メールBOXのフォルダ一覧からフォルダを選びます。(受信メール一覧、送信メール一覧を表示しても行えます。) 全件コピーするときはフォルダ一覧を表示します。
- 電話帳を全件コピーするときは、電話帳の検索結果一覧を表示します。

2 サブメニュー「メモリースティック」を選択する

- サブメニューの番号は画面によって異なります。
- メモリースティックロック中は端末暗証番号を入力し ◉ (選択) を押します。

3 「フォルダ内コピー」または「全件コピー」を選び ◉ (選択) を押す

- メロディ、電話帳では「フォルダ内コピー」は選択できません。
- 選択項目の番号は画面によって異なります。

4 端末暗証番号を入力し ◉ (選択) を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 「ネットワーク画像」「データ交換画像」からコピーする場合、DCF [☛P290] 対応の画像とその他の画像がフォルダ内に混在していると、選択画面が表示されます。DCF対応の画像をコピーする場合は「1.カメラ画像」、その他の画像をコピーするときは「2.イメージ」を選び ◉ (選択) を押します。(両方の画像をまとめてコピーすることはできません。)

5 コピー先のフォルダを選び ◉ (選択) を押す

「はい」を選び◎（選択）を押す

データがコピーされます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- コピー中に“メモリースティック Duo”の空き容量がなくなるか、最大保存件数を超えると、コピーが中断されます。コピー済みのデータは“メモリースティック Duo”に保存されています。
- コピー中の画面で◎（中止）を押すとコピーを中止できます。ただし、すでにコピー済みのデータは元に戻りません。

FOMA端末のデータをまとめてコピーすると（バックアップデータについて）

以下のデータの場合、フォルダ内コピー、全件コピーをすると、コピーする全データが、１つのバックアップデータにまとめてコピーされます。

・受信メール　・送信メール　・電話帳

● バックアップデータは1つのデータにまとめられていますが、プレビューで1件ずつ見ることができます。[☛P289]

● バックアップデータをFOMA端末にコピーすると、バックアップデータ全体がコピーされ、元の1件ずつのデータになります。[☛P295] バックアップデータ内のデータを1件ずつコピーすることはできません。

例 電話帳を全件コピーする場合

FOMA端末内のデータ

“メモリースティック Duo”内のデータ

バックアップデータ保存日時がタイトルになります。

● データが1件しかなかった場合は、1件ずつコピーした場合と同じになり、データのタイトルなどが表示されます。

“メモリースティック Duo”のデータをプレビューする

“メモリースティック Duo”に保存されているデータを表示して内容を確認できます。
- **データのプレビュー中に行える操作は、FOMA端末に保存されているデータを表示したときとは異なります。**

例 電話帳をプレビューするとき

1 待受中に、ZOOM を押す

- 待受中に、メニュー「アクセサリ」▶「メモリースティック」を選択しても操作できます。
- メモリースティックロック中は端末暗証番号を入力し◎(選択)を押します。

“メモリースティック Duo”のデータ保存状況が表示されます。

空き容量

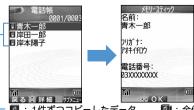
データは「カメラ画像」「イメージ」「iモーション」「メロディ」「受信メール」「送信メール」「電話帳」の7種類に分けて保存されています。
- **画像は「カメラ画像」と「イメージ」に分けて保存されています。DCF［☛P290］対応の画像は「カメラ画像」、その他の画像は「イメージ」に保存されています。**
- **動画／iモーションはすべて「iモーション」に保存されています。**

2 項目を選び ◎（選択）を押す

フォルダ一覧が表示されます。

：フォルダ未設定データ
：D900iで作成したフォルダ、「カメラ画像」のフォルダ
※D251i、D251iS、D252iで作成したD251i/iS形式のフォルダがあると で表示されます。

3 フォルダを選び ◎（選択）を押す

データ一覧が表示されます。
- 「カメラ画像」以外では、データは保存日時が古い順に並びます。ただし、保存したデータの削除とコピーを繰り返していると、日時順に並ばないことがあります。
- 「カメラ画像」では、データは撮影日時順に並びます。サブメニュー「08.新しい順ソート」または「08.古い順ソート」を選択すると、並び順を切り替えられます。

4 データを選び ◎（詳細）を押す

データがプレビューされます。
- フォルダ内に複数のデータがあるときは、◎で前後のデータを表示できます。前後のデータがバックアップデータのときは飛ばして表示されます。

：1件ずつコピーしたデータ　**：全件コピーしたデータ（バックアップデータ）**
：不正なデータ

■バックアップデータをプレビューするには

①バックアップデータを選び（詳細）を押す

バックアップデータ内のデータ一覧が表示されます。

②データを選び（詳細）を押す

データがプレビューされます。

- でバックアップデータ内の前後のデータを表示できます。

カメラ画像／イメージをプレビューしたとき

「カメラ画像」の場合、フォルダ名、ファイル名がDCFに準拠していると、準拠していないとが表示されます。

「イメージ」からアニメーションを表示したときは、（再生）を押すと再生できます。

画像サイズ

：1600×1200	:1200×1600	：1280×960	：960×1280
：640×480	：480×640	：352×288	：288×352
：320×240	：240×320	：176×144	：144×176
：128 ×96	：96×128		

なし：その他のサイズ

ファイル種別（圧縮モード）

：スーパーファイン	：スタンダード	：エコノミー	
：JPEG形式	：GIF形式	：アニメーション	：壊れている画像

画像の副画像

：一時的に表示できなかった画像を示します。再度表示すると正しく表示される場合があります。

：画像が壊れているため表示できません。

- ピクチャー一覧とタイトル一覧を切り替えるには、サブメニュー「タイトル一覧」または「ピクチャー一覧」を選択します。（サブメニューの番号は画面によって異なります。）「イメージ」の場合、タイトル一覧には “ メモリースティック Duo ” に保存した日時が表示されます。
- 「カメラ画像」の静止画表示中にサブメニュー「5.横向表示」を選択すると、静止画を90度回転して表示できます。
- FOMA端末で撮影したカメラの静止画はDCFに準拠しています。
  DCFは、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)で、主としてデジタルスチルカメラなどの画像ファイルを、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格『Design rule for Camera File system』の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- D900i以外のDCF対応機器（パソコンを含む）で作成された静止画を、“ メモリースティック Duo ” に保存しプレビューした場合と、さらにFOMA端末にコピーして表示した場合では、静止画の見えかたが異なることがあります。

■静止画をメールに添付して送信するには（「カメラ画像」のみ）

静止画をFOMA端末にコピーしてから、メールに添付して送信できます。

- コピー先およびコピーできる静止画の条件 [☛P294]
- ファイルサイズが送信可能なサイズを超える静止画は添付できません。
- 画像サイズやファイルサイズが大きくて添付できない静止画は、画像編集で画像サイズを小さくしたり、圧縮モードを変更すると添付できる場合があります。

①静止画表示中に、サブメニュー「1.メール添付」を選択する

- 一覧画面からも操作できます。

②「はい」を選び ◉（選択）を押す

- 以降の操作：「ｉモードドメールを作成して送信する」操作2以降 [☛P118]

■静止画を待受画面などに設定するには（「カメラ画像」のみ）

静止画をFOMA端末にコピーしてから、待受画面などに設定できます。

- コピー先およびコピーできる静止画の条件 [☛P294]

①静止画表示中に、サブメニュー「7.画面設定」を選択する

- 一覧画面からも操作できます。

②「はい」を選び ◉（選択）を押す

- 以降の操作：「待受画面などに設定する」操作2以降 [☛P231]

■静止画を編集するには（「カメラ画像」のみ）

静止画の編集（トリミング、詳細設定）が行えます。トリミングでは静止画の一部を切り出して、画像サイズを小さくできます。詳細設定ではタイトルや画像サイズ、圧縮モードなどを変更できます。

- 編集した画像は元の静止画に上書きすることも、新しい静止画として保存することもできます。
- D900iで撮影した静止画以外は編集できません。

①静止画表示中に、サブメニュー「2.トリミング」または「3.詳細設定」を選択し、画像を編集する

- 一覧画面からも操作できます。
- トリミングの操作は、「トリミングする」の操作2～3と同じです。[☛P244]
- 詳細設定の操作は、「タイトルや画像サイズ、圧縮モードを変更する」の操作2～3と同じです。[☛P244]
- 128×96ドットの静止画はトリミングできません。

②「1.新規保存」または「2.上書き保存」を選び ◉（選択）を押す

静止画が保存されます。

- 保存しないときは「3.しない」を選びます。

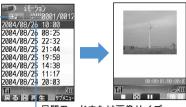
■画像をテレビに映すには

テレビの接続方法や、テレビ出力中の操作は、イメージビューアーと同じです。[☛P228]

①FOMA端末とテレビを接続する

②画像を表示してサブメニュー「TV出力」を選択する

- 一覧画面からも操作できます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。

ｉモーションをプレビューしたとき

- ◎（再生）を押すと動画／ｉモーションが再生されます。最後まで再生するか、◎（■）を押すと一覧に戻ります。
- 再生中の操作はビデオプレーヤーと同じです。[☛P247] ただし、情報の表示はできません。
- 一覧には“メモリースティック Duo”に保存した日時が表示されます。

品質モードまたは画像サイズ

- **品質モード**　：**スモールファイン**　：**スタンダード**　：**ファイン**　：**超なめらか**　：**大画面**
- **画像サイズ**　：**128×96**　：**176×144**　：**320×240**　なし：**その他のサイズ**

ファイル種別

：**映像＋音声＋テロップ**　：**映像＋音声**　：**映像＋テロップ**　：**映像のみ**　：**音声＋テロップ**　：**音声のみ**　：**テロップのみ**　なし：**規格外**

※ 映像、音声、テロップのいずれかがD900iで再生できない形式だった場合、、、のように、再生できないデータが薄い色で表示されます。

※ ファイル種別が「音声＋テロップ」「音声のみ」「テロップのみ」の場合、再生中は、、が表示されます。

■動画／ｉモーションを横向きで再生するには

品質モードが「大画面」、または画像サイズが320×240ドットの動画／ｉモーションを、90度回転した状態で再生できます。

①一覧から動画／ｉモーションを選び、サブメニュー「4.横向再生」を選択する

- 再生を止めるには クリア を押します。

■動画／ｉモーションをメールに添付して送信するには

動画／ｉモーションをFOMA端末にコピーしてから、メールに添付して送信できます。

- コピーできる動画／ｉモーションの条件 [☛P294]
- 品質モードが「超なめらか」「大画面」の動画／ｉモーション、ファイルサイズが送信可能なサイズを超える動画／ｉモーションは添付できません。
- 動画切出しで、メールに添付できるファイルサイズ分だけ、動画／ｉモーションの一部を切り出すことができます。

①一覧から動画／ｉモーションを選び、サブメニュー「1.メール添付」を選択する

②「はい」を選び ◎（選択）を押す

ｉモードメール作成画面が表示されます。

- 以降の操作：「ｉモードメールを作成して送信する」操作2以降 [☛P118]

■動画／ｉモーションを待受画面などに設定するには

動画／ｉモーションをFOMA端末にコピーしてから、待受画面などに設定できます。

- コピーできる動画／ｉモーションの条件 [☛P294]

①一覧から動画／ｉモーションを選び、サブメニュー「7.画面設定」を選択する

②「はい」を選び ◎（選択）を押す

- 以降の操作：「待受画面や着モーションなどに設定する」操作2以降 [☛P252]
- 着モーションには設定できません。

■動画の一部を切り出すには

- D900iで撮影した動画以外では行えません。

①一覧から動画を選び、サブメニュー「2.動画切出し」を選択する

- 以降の操作：「動画を切り出す」操作2以降 [☛P254]

■動画／ｉモーションをテレビに映すには

①FOMA端末とテレビを接続する [☛P228]

- 接続方法：「画像をテレビに映す」操作1 [☛P228]

②一覧から動画／ｉモーションを選び、サブメニュー「3.TV出力」を選択する

- 再生中の操作：「動画をテレビに映す」操作2 [☛P248]
- テロップは表示されません。
- テロップのみの動画／ｉモーション、規格外の動画／ｉモーションはテレビに映せません。
- 映像のみ、または映像＋テロップの動画／ｉモーションで、画像サイズが320×240、176×144、128×96ドット以外の動画／ｉモーションはテレビに映せません。
- D900iで撮影した動画、または画像変換ソフトMotion Smoothyで変換された動画／ｉモーション以外の動画／ｉモーションで、正常にテレビに映せない場合は音声のみ再生されます。

メロディをプレビューしたとき

- タイトルがないメロディは「無題」と表示されます。
- ◎（再生）を押すとメロディを再生できます。
  - ・再生を止めるには◎（停止）を押します。
  - ・⬍で音量を調節できます。
  - ・⬌でフォルダ内の前後のメロディを再生できます。

受信メール／送信メールをプレビューしたとき

- 題名がない場合は「無題」と表示されます。

✉：1件ずつコピーしたデータ

✉：フォルダ内コピー、全件コピーしたデータ（バックアップデータ）保存日時がタイトルになります。

⚡：不正なデータ

おしらせ

- **1600×1200ドットまたは1280×960ドットのサイズの静止画をプレビューするとき、画質が劣化して見える場合がありますが、画像データ自体の画質は変わりません。**
- **パソコンなど他の機器から“メモリースティック Duo”に保存した画像は表示できない場合があります。**

“メモリースティック Duo”のデータをFOMA端末にコピーする

“メモリースティック Duo”に保存しているデータをFOMA端末にコピーするには以下の方法があります。

操　作	説　明
コピー	データを1件ずつFOMA端末にコピーします。
フォルダ内コピー	1つのフォルダ内の全データをFOMA端末にコピーします。追加コピーと上書きコピーが選べます。

“メモリースティック Duo”からのデータのコピーについて

コピーしたデータは、それぞれ、FOMA端末の該当する機能に登録または保存されます。データによっては、コピーする際にデータの一部が取り除かれたり、置き換えられたりするものがあります。
- フォルダはコピーできません。

データ	説　明
カメラ画像	• D900iで撮影した静止画は、「マルチメディア」→「イメージ」→「カメラ画像」→「撮影フォルダ」にコピーされます。その他の静止画は、「マルチメディア」→「イメージ」→「データ交換画像」→「データ交換フォルダ」にコピーされます。 • 横×縦または縦×横が640×480ドット以下で、ファイルサイズが200Kバイト以下のJPEG形式の静止画のみコピーできます。画像サイズやファイルサイズが大きい場合は、画像編集で画像サイズや圧縮モードなどを変更できます。[☛P291] • FOMA端末の最大保存件数：1000件（注1）
イメージ	•「マルチメディア」→「イメージ」→「データ交換画像」→「データ交換フォルダ」にコピーされます。 • 横×縦または縦×横が640×480ドット以下で、ファイルサイズが200Kバイト以下のJPEG形式、GIF形式の画像のみコピーできます。 • FOMA端末の最大保存件数：1000件（注1）
ｉモーション	• D900iで撮影した動画は、「マルチメディア」→「ｉモーション」→「カメラ画像」→「撮影フォルダ」にコピーされます。その他の動画／ｉモーションは、「マルチメディア」→「ｉモーション」→「データ交換画像」→「データ交換フォルダ」にコピーされます。 • ファイルサイズが650Kバイトを超える動画／ｉモーションはコピーできません。ファイルサイズが大きいときは、動画切出しで動画の一部を切り出せます。[☛P292] • FOMA端末の最大保存件数：500件（注1）
メロディ	•「マルチメディア」→「メロディ」にコピーされます。 • ファイルサイズが200Kバイトを超えるメロディはコピーできません。 • FOMA端末の最大保存件数：500件（注1）
受信メール	• 受信メールBOXに保存されます。 • 以下の内容が取り除かれてコピーされます。（注2） ・ｉモーションメールの動画アイコンと保存期間 ・ｉアプリTo　・ｉアプリ利用データ • メール振分設定されている場合、メールはフォルダに分類されます。 • ショートメッセージ（SMS）はコピーできません。 • FOMA端末の最大保存件数：1000件（注1）

データ	説　明
送信メール	● 送信メールBOXに保存されます。 ● 同報送信の宛先は5件までコピーできます。 ● 以下の内容が取り除かれてコピーされます。(注2) ・ｉモーションメールの動画アイコンと保存期間　・ｉアプリTo ・ｉアプリ利用データ　・貼付メロディ ● メール振分設定されている場合、メールはフォルダに分類されます。 ● ショートメッセージ（SMS）はコピーできません。 ● FOMA端末の最大保存件数：200件(注1)
電話帳	● 電話帳に保存されます。 ● 以下の内容が置き換えられてコピーされます。 ・シークレットメモリ登録は、「しない」になります。 ・アイコンは、だけコピーされます。他のアイコンはになります。 ● コピー、またはフォルダ内コピーやバックアップデータのコピーで追加コピーする場合、コピーしたデータには空きメモリ番号が割り当てられます。 ● フォルダ内コピーやバックアップデータのコピーで上書きコピーする場合、バックアップデータはメモリ番号順、バックアップデータ以外は“メモリースティック Duo”内の並び順にコピーされ、コピーされた順にメモリ番号が割り当てられます。 ● FOMA端末の最大登録件数：700件（電話番号、メールアドレスはそれぞれ合計700件まで）

（注1）FOMA端末の画像、動画／ｉモーション、メロディの最大保存件数は、マルチメディア用のメモリすべてをそのデータで使用した場合の最大件数です。他のデータが保存されているときは、保存できる件数は少なくなります。また、画像、動画／ｉモーション、メロディ、受信メール、送信メールを保存できる件数は、データのサイズにより少なくなる場合があります。

（注2）D900iから保存したメールでは、保存時に取り除かれています。

おしらせ

- **FOMA端末と“メモリースティック Duo”の間で画像をコピーした場合、画質が劣化することがあります。**
- **パソコンなど他の機器から“メモリースティック Duo”に保存した画像は、FOMA端末にコピーできない場合があります。**

“メモリースティック Duo”のデータを1件ずつFOMA端末にコピーする

データを1件ずつFOMA端末にコピーします。バックアップデータのコピーでは、追加コピーと上書きコピーが選べます。バックアップデータについては［☛P288］

バックアップデータの上書きコピーは、コピーするデータと同じ種類のデータがFOMA端末からすべて削除されてからコピーされます。保護されているデータも削除されます。ただし、シークレット設定されているフォルダ内のデータは削除されません。

1 “メモリースティック Duo”のデータ一覧からコピーするデータを選び、サブメニュー「コピー」を選択する

- サブメニューの番号は画面によって異なります。

■ バックアップデータを選んだときは

①「1.追加コピー」または「2.上書きコピー」を選び ◉（選択）を押す

②端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

データがコピーされます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- コピー中の画面で ◉（中止）を押すとコピーを中止できます。ただし、すでにコピー済みのデータや、バックアップデータの上書きコピーでの削除済みのデータは元に戻りません。
- メロディのコピーは中止できません。

“メモリースティック Duo”のデータをまとめてFOMA端末にコピーする

1つのフォルダ内の全データをFOMA端末にコピーします。追加コピーと上書きコピーが選べます。

- バックアップデータはコピーされません。

> 上書きコピーは、コピーするデータと同じ種類のデータがFOMA端末からすべて削除されてからコピーされます。保護されているデータも削除されます。(注)
> ただし、シークレット設定されているフォルダ内のデータ、シークレットメモリ登録されている電話帳、ショートメッセージ（SMS）、壊れた画像は削除されません。

(注)「カメラ画像」からのフォルダ内コピーでは、FOMA端末の「マルチメディア」→「イメージ」→「カメラ画像」が上書きされます。D900iで撮影した以外の画像があっても「データ交換画像」は上書きされません（追加コピーされます）。
「ｉモーション」からのフォルダ内コピーでは、FOMA端末の「マルチメディア」→「ｉモーション」の「カメラ画像」と「データ交換画像」が上書きされます。

1 “メモリースティック Duo”のデーター覧を表示し、サブメニュー「フォルダ内コピー」を選択する

- バックアップデータ以外を選びます。
- サブメニューの番号は画面によって異なります。

2 「1.追加コピー」または「2.上書きコピー」を選び ◉（選択）を押す

- FOMA端末に待受画面、電話帳などに設定した画像が保存されている場合、「カメラ画像」「イメージ」の画像を上書きコピーするときは、問合せ画面が表示されます。[☛P297]
- FOMA端末に着信音などに設定したメロディが保存されてる場合、メロディを上書きコピーするときは問合せ画面が表示されます。[☛P297]

3 端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

4 「はい」を選び ◉（選択）を押す

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- コピー中の画面で ◉（中止）を押すとコピーを中止できます。ただし、すでにコピー済みのデータや、上書きコピーでの削除済みのデータは元に戻りません。

画面などに設定した画像／着信音に設定したメロディに上書きコピーするときは

待受画面などに設定した画像や動画／ｉモーション、着信音に設定したメロディに上書きコピーするときは、問合せ画面が表示されます。「はい」を選び ◉（選択）を押すと、設定が解除されて上書きコピーされます。問合せ画面が表示されるのは、以下に画像、動画／ｉモーション、メロディが設定されているときです。

● 画像の場合
- 待受画面　• インスピレーションウィンドウ　• パートナー　• 電話帳
- テレビ電話の代替画像／応答保留画像／通話保留画像／伝言メモ画像

● 動画／ｉモーションの場合
- 待受画面　• ウェイクアップ画面　• 着モーション

● メロディ
- 各種着信音　• アラーム音

おしらせ

● ダイヤル発信制限中は、電話帳のコピー、フォルダ内コピーはできません。また、電話帳指定着信許可／拒否設定中は、電話帳の上書きコピーはできません。設定を解除してから操作してください。

● 以下の場合は、FOMA端末の電話帳に登録されている画像を削除するような上書きコピーはできません。設定を解除してから操作してください。
・ダイヤル発信制限中
・電話帳指定着信許可／拒否中（許可／拒否する電話帳に画像を設定している場合）

フォルダを作成する

• **フォルダの最大作成件数** **[☛P282]**

1 “メモリースティック Duo”のフォルダ一覧を表示し、サブメニュー「1.作成」を選択する

「カメラ画像」の場合に表示されています。

■ 作成済みのフォルダの名前を変更するには

① フォルダを選び、サブメニュー「2.編集」を選択する
- 次のフォルダの名前は変更できません。
  - ・「フォルダ未設定データ」
  - ・D251i、D251iS、D252iで作成した電話帳、受信メール、送信メールのD251i／iS形式のフォルダ

2 フォルダ名を入力する

① ◉（編集）を押す
② フォルダ名を入力する

■「カメラ画像」以外のフォルダ名を入力するには

- 全角9文字（半角18文字）まで入力できます。
- フォルダ名には、絵文字および以下の半角文字は使えません。
  「"」「*」「:」「<」「>」「?」「｜」「.」「¥」「/」
- 以下の半角文字列だけのフォルダ名は登録できません。
  「AUX」「CON」「PRN」「NUL」「COM1」～「COM9」、「LPT1」～「LPT9」
- スペースだけのフォルダ名は登録できません。

■「カメラ画像」のフォルダ名を入力するには

- 半角5文字で入力します。入力した文字の先頭に自動的に数字が付きます。数字は変更できません。
- フォルダ名には、半角英大文字、半角数字、「_」だけが使えます。
- 英小文字は自動的に英大文字に変換されます。

3 ◎（登録）を押す

フォルダが作成されます。

おしらせ

● フォルダを編集するときに、「読取専用が設定されています」と表示されることがあります。「読取専用」はパソコンなどで設定できる属性です。「読取専用」が設定されていても、D900iでは編集できますのでご注意ください。

データやフォルダを削除する

削除には以下の方法があります。

削除方法	説　明
削除	データまたはフォルダを1件ずつ削除します。
フォルダ内削除	フォルダ内のデータをすべて削除します。
全件削除	すべてのフォルダとデータを削除します。

データを削除する

1 " メモリースティック Duo " のデータ一覧からデータを選び、サブメニュー「一件削除」を選択する

- サブメニューの番号は画面によって異なります。

■フォルダ内のデータをすべて削除するには

①サブメニュー「フォルダ内削除」を選択する

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

選択したデータが削除されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- 削除中の画面で ◉（中止）を押すと削除を中止できます。ただし、すでに削除済みのデータは元に戻りません。

フォルダ削除／全件削除する

- 「フォルダ未設定データ」フォルダ、D251i、D251iS、D252iで作成した電話帳、受信メール、送信メールのD251i/iS形式のフォルダは削除できません。
- 「カメラ画像」の「100_USER」フォルダは、他のフォルダがないときに削除すると自動的に作成されます。「カメラ画像」のフォルダとデータをすべて削除すると、「100_USER」フォルダが作成されます。

1 "メモリースティック Duo"のフォルダ一覧からフォルダを選び、サブメニュー「3.削除」を選択する

■フォルダをすべて削除するには
①サブメニュー「4.全件削除」を選択する

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

フォルダとデータが削除されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- 削除中の画面で ◉（中止）を押すと削除を中止できます。ただし、すでに削除済みのデータは元に戻りません。

おしらせ

●"メモリースティック Duo"に保存されているデータやフォルダを削除するときに、「読取専用も削除されます」「読取専用が設定されています」と表示されることがあります。「読取専用」はパソコンなどでデータやフォルダに設定できる属性です。「読取専用」が設定されていても、D900iでは削除されますのでご注意ください。

“メモリースティック Duo”をフォーマットする

“メモリースティック Duo”をD900iで利用できるように初期化します。“メモリースティック Duo”に保存されているデータはすべて消去されます。

- **フォーマットすると、すべてのフォルダとデータを削除後に、空の「フォルダ未設定データ」フォルダ、「100_USER」フォルダが作成されます。**

市販の“メモリースティック Duo”は、D900iでフォーマットしてからご利用ください。
- 未フォーマットの“メモリースティック Duo”ではフォーマット以外の操作はできません。
- パソコンなどでフォーマットした“メモリースティック Duo”は、D900iでは使用できない場合があります。
- お買い上げ時に付属の“メモリースティック Duo”はフォーマット済みです。

1 待受中に、ZOOM を押す

- 待受中に、メニュー「アクセサリ」▶「メモリースティック」を選択しても操作できます。
- メモリースティックロック中は端末暗証番号を入力し◎(選択)を押します。
- 未フォーマットの“メモリースティック Duo”を挿入したときは、フォーマットされていない旨が表示されます。

2 「8.フォーマット」を選び◎(選択)を押す

3 端末暗証番号を入力し◎(選択)を押す

4 「はい」を選び◎(選択)を押す

“メモリースティック Duo”がフォーマットされます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

メモリースティックロック　お買い上げ時 しない

“メモリースティック Duo”を無断で利用できないようにする

端末暗証番号を入力しないと、“メモリースティック Duo”を利用できないようにします。

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「メモリースティックロック」を選択する**

2 **端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押す**

3 **「1.する」を選び ◎（選択）を押す**

メモリースティックロックが設定されます。
- 解除するときは「2.しない」を選びます。

おしらせ
- D900iでメモリースティックロックを設定しても、“メモリースティック Duo”を他の携帯電話やパソコンなどで使用する場合は、メモリースティックロックの設定は無効になります。

“メモリースティック Duo”をパソコンで使用する

“メモリースティック Duo”をパソコンなどで使用することができます。パソコンとFOMA端末を接続して利用する方法と、メモリースティック Duoアダプタを使用する方法があります。
- D900iで保存したデータをパソコンなどで編集・加工した場合、D900iで表示・再生・コピーなどが行えなくなる場合があります。

お買い上げ時 通信モード

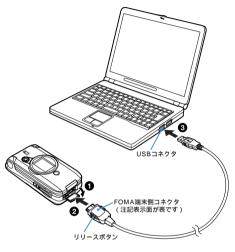
パソコンとFOMA端末を接続して利用する

USBモード設定を「メモリースティックモード」に設定すると、パソコンとFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続し、パソコンから“メモリースティック Duo”にアクセスできます。
- 対応OS
  Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、Windows XP Home Editon（各日本語版）

1 待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「USBモード設定」を選択する

2 「1.メモリースティックモード」を選び ◉（選択）を押す

メモリースティックモードに設定されます。
• FOMA端末とパソコンを接続してデータ通信を行うときは「2.通信モード」を選びます。

FOMA端末とパソコンの接続方法

❶ **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開く**

❷ **FOMA USB接続ケーブル（別売）のFOMA端末側コネクタを、「カチッ」と音がするまでFOMA端末の外部接続端子に差し込む**
• パソコンとFOMA端末の電源が入っている状態で接続します。

❸ **FOMA USB接続ケーブルのパソコン側コネクタを、パソコンのUSBコネクタに差し込む**

FOMA端末を取り外すときは、FOMA端末側コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜きます。パソコン側コネクタはそのまま引き抜きます。
• FOMA端末を取り外す前に、Windowsのハードウェア取外し操作が必要です。

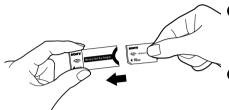
おしらせ

● パソコンから “ メモリースティック Duo ” にデータを書込み中に、USBモード設定を変更しないでください。
● データの書込み中や読出し中にFOMA USB接続ケーブルを抜いたり、“ メモリースティック Duo ” を取り出さないでください。

メモリースティック Duoアダプタに装着して使用する

“メモリースティック Duo”をメモリースティック Duoアダプタに装着すると、“メモリースティック”に対応したパソコンや機器で使用できます。

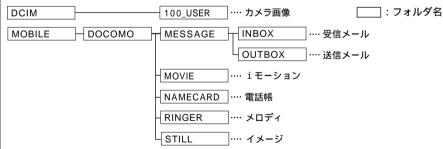
- **D900iで“メモリースティック Duo”を使用するときは、メモリースティック Duoアダプタに装着しないでください。**

装着方法

❶ **“メモリースティック Duo”とメモリースティック Duo アダプタの が印刷されている面を上にして持ち、矢印の方向に挿入する**

❷ **奥まで押し込む**
取り外すときは反対の方向に引き出します。

- 標準サイズの“メモリースティック”対応機器に“メモリースティック Duo”をそのまま挿入しないでください。メモリースティック Duoアダプタに装着されていない状態で挿入すると、“メモリースティック Duo”が取り出せなくなる可能性があります。
- メモリースティック Duo アダプタに“メモリースティック Duo”が装着されていない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使い方をすると、機器に不具合が生じることがあります。
- メモリースティック Duo アダプタを“メモリースティック”対応機器に挿入する場合は、正しい挿入方向を確認の上ご使用ください。

D900iの“メモリースティック Duo”のフォルダ構成

D900iで使用している“メモリースティック Duo”を、パソコンなどで表示したときのフォルダは、以下の構成になっています。

● D900iで作成したフォルダは、パソコンなどでは以下のフォルダの直下に表示されます。
- カメラ画像：「DCIM」フォルダ
- 受信メール：「INBOX」フォルダ
- 送信メール：「OUTBOX」フォルダ
- 電話帳：「NAMECARD」フォルダ
- ｉモーション：「MOVIE」フォルダ
- メロディ：「RINGER」フォルダ
- イメージ：「STILL」フォルダ

D900iの「フォルダ未設定データ」フォルダは、パソコンでは表示されません。「フォルダ未設定データ」フォルダに保存されているデータは、上記のフォルダの直下に表示されます。

● 上記のフォルダ構成を、パソコンなどで変更／削除しないでください。

データ通信編

FOMA端末で利用できるデータ通信

利用できる通信方法

FOMA端末を使ってインターネットなどを利用するには、パケット通信と64Kデータ通信の2種類の通信方法があります。
• FOMA端末はFAX通信に対応していません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信方法です。ネットワークに接続中でもデータの送受信をしていないときには通信料金がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使い方ができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera（以降mopera）など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用します。送信最大64kbps、受信最大384kbpsの速度でデータ通信ができます。
• パケット通信を利用して画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額となりますのでご注意ください。
• DoPaのアクセスポイントには接続できません。

64Kデータ通信

接続している時間の長さに応じて通信料金がかかる通信方法です。
moperaなど、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。

データ通信（OBEX）

赤外線やFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってデータを送受信する通信方法です。
赤外線では、FOMA端末またはパソコンなど赤外線通信機能を持つ機器とデータを送受信できます。[☛P270]
FOMA端末とパソコン間でFOMA USB接続ケーブルを使ってデータ転送（OBEX）するには、パソコンに通信設定ファイル[☛P309]とデータリンクソフト[☛P339]のインストールが必要です。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料

ドコモのインターネット接続サービスmopera以外のインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）を利用する場合、プロバイダへの利用申込みとプロバイダ利用料などが必要となる場合があります。詳しい内容については、利用するプロバイダにお問い合わせください。
• moperaはお申込み手続き不要、月額使用料無料で利用できます。

ユーザー認証

接続先によっては、接続時にユーザー認証（ユーザー名とパスワード）が必要な場合があります。その場合は、FOMAデータ通信用ダイヤルアップ（以降ダイヤルアップ）でユーザー名とパスワードを入力して接続してください。ユーザー名とパスワードは接続先のプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容は、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。ただし、以下の条件が整っていても、基地局の混雑や電波状態によっては通信できないことがあります。

- FOMA USB接続ケーブルが利用できるパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMA端末のパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

用語解説

- APN（Access Point Name）
  FOMA端末を使ったパケット通信で、プロバイダなどの接続先を識別する名前です。例えば、moperaではmopera.ne.jpというAPNが決められています。
- cid
  FOMA端末に設定した接続先（APN）の番号です。FOMA端末では、1から10までのcidを設定できます。設定したcidはダイヤルアップの電話番号になります。cid1には、moperaの接続先（APN）のmopera.ne.jpがお買い上げ時に登録されています。
- 管理者権限
  Windows XP、2000を使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスし操作できる権限です。通信設定ファイルなどをインストールするときは、管理者権限を持つユーザー名でログインしてください。

動作環境

パケット通信や64Kデータ通信には、通信設定ファイルが必要です。また、FOMA PC設定ソフトを使用してダイヤルアップを作成できます。通信設定ファイルとFOMA PC設定ソフトは、以下の動作環境で動作します。

- 以下の動作環境であってもパソコンによっては動作しない場合があります。
- 以下の動作環境以外に関するお問い合わせ、動作保証には応じられません。また、以下の動作環境以外で使用した場合には、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Windonws 98には、Windows 98 Second Editionを含みます。

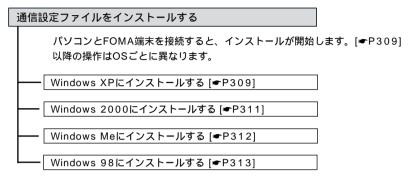
項　目	動作環境
パソコン本体	PC/AT互換機 • USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）が必要です。
OS	Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Professional Windows XP Home Edition、Windows XP Professional（各日本語版）
必要メモリ	Windows 98、Windows Me：32MB以上 Windows 2000 Professional：64MB以上 Windows XP Home Edition、Windows XP Professional：128MB以上
ハードディスク容量	5MB以上

おしらせ

●FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion II」や「musea」に接続してデータ通信を行う場合、「sigmarion II」「musea」をアップデートしてご利用ください。ただし、「musea」と接続して利用する場合、64Kデータ通信には対応しておりません。アップデートの方法など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

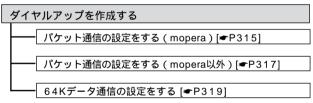
データ通信の手順

パケット通信や64Kデータ通信を使用するには、パソコンに通信設定ファイルをインストールしてからダイヤルアップを作成します。以下の順序で操作してください。

❶通信設定ファイルをインストールする

❷ダイヤルアップを作成する

FOMA PC設定ソフトをインストールしてから、パケット通信または64Kデータ通信のダイヤルアップを作成します。

FOMA PC設定ソフトをインストールする [☛P314]

▼

●FOMA PC設定ソフトを使うと、ダイヤルアップを簡単に作成できます。FOMA PC設定ソフトを使わないときは、接続先（APN）を設定してから、ダイヤルアップを作成します。[☛P325]

❸作成したダイヤルアップで接続する [☛P321]

おしらせ

- **通信設定ファイルのインストールやダイヤルアップ接続などのデータ通信に関係する操作をするときは、USBモード設定を「通信モード」に設定してください。[☛P301]**
- **通信設定ファイルのインストールと接続先（APN）を設定したときに接続していたFOMA端末で、ダイヤルアップ接続できます。別のFOMA端末を使用する場合は、再度通信設定ファイルのインストールと接続先（APN）設定が必要です。**
  FOMA端末に設定した接続先（APN）をパソコンに保存しておき、別のFOMA端末に設定することができます。

通信設定ファイルをインストールする

パソコンと接続する

パソコンとFOMA端末を接続するときは、パソコンとFOMA端末の電源が入っている状態で接続します。

1 「FOMA D900i用 CD-ROM」をパソコンにセットする

2 パソコンとFOMA端末を接続する

❶FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開く

❷FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側コネクタを、「カチッ」と音がするまでFOMA端末の外部接続端子に差し込む

❸FOMA USB接続ケーブルのパソコン側コネクタを、パソコンのUSBコネクタに差し込む

新しいハードウェアの検出ウィザード画面（または新しいハードウェアの追加ウィザード画面）が表示されます。

■取外しかた

インストールや通信が終了したら、FOMA端末側コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜きます。パソコン側のコネクタはそのまま引き抜きます。

- OSによってはFOMA端末を取り外す前に、ハードウェアを取り外す操作が必要な場合があります。

Windows XPにインストールする

1 新しいハードウェアの検出ウィザード画面で、「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を ◉ にし、［次へ］をクリックする

2 検索するフォルダを指定する

①「次の場所で最適のドライバを検索する」を ◉ にする

②「次の場所を含める」を ☑ にする

③次の場所を含める欄に「X:\USB Driver\Win2000_WinXP」と入力する（CDのドライブ名をXとした場合）

④［次へ］をクリックする

3 ［完了］をクリックする

操作1の画面に戻ります。

- 以降は、インストールが終了するまで、画面の説明に従って操作してください。

通信設定ファイルとモデムを確認する

通信設定ファイルとモデムがインストールされたかを以下の方法で確認してください。

- 確認できない通信設定ファイルやモデムがあるときは、通信設定ファイルをアンインストール［☛P324］してから、再度インストールしてください。

1 「スタートメニュー」▶「コントロールパネル」をクリックする

コントロールパネルが表示されます。

2 ［パフォーマンスとメンテナンス］アイコンをダブルクリックする

パフォーマンスとメンテナンス画面が表示されます。

3 ［システム］アイコンをダブルクリックする

システムのプロパティ画面が表示されます。

4 デバイスマネージャ画面を表示する

①［ハードウェア］タブをクリックする

②［デバイスマネージャ］をクリックする

デバイスマネージャ画面が表示されます。

5 通信設定ファイルを確認する

■USBコントローラ

①「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」の⊞をクリックする

②「FOMA D900i」が表示されていることを確認する

■ポート

①「ポート(COMとLPT)」の⊞をクリックする

②「FOMA D900i Command Port (COMx)」「FOMA D900i OBEX Port (COMx)」が表示されていることを確認する

- COMxはパソコンによって異なります。

■モデム

①「モデム」の⊞をクリックする

②「FOMA D900i」が表示されていることを確認する

6 コントロールパネルで［ネットワークとインターネット接続］アイコンをダブルクリックする

ネットワークとインターネット接続画面が表示されます。

7 ［電話とモデムのオプション］をクリックする

電話とモデムのオプション画面が表示されます。

8 モデムのCOMポートを確認する

①［モデム］タブをクリックする

②モデム欄に「FOMA D900i」、接続先欄に「COMx」が表示されていることを確認する

- COMxはパソコンによって異なります。
- COM20より大きい番号のときは、FOMA PC設定ソフトを使った接続先（APN）は設定できません。

Windows 2000にインストールする

1 新しいハードウェアの検出ウィザード画面で、［次へ］をクリックする

2 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を◉にし、［次へ］をクリックする

3 「場所を指定」を☑にし、［次へ］をクリックする

4 コピー元を指定する

①製造元のファイルのコピー元欄に「X:\USB Driver\Win2000_WinXP」を入力する(CDのドライブ名をXとした場合)

②［OK］をクリックする。

ドライバの検索終了が通知されます。

5 ［次へ］をクリックする

通信設定ファイルがインストールされます。

6 ［完了］をクリックする

操作1の画面に戻ります。

- 以降は、インストールが終了するまで、画面の説明に従って操作してください。

通信設定ファイルとモデムを確認する

通信設定ファイルとモデムがインストールされたかを以下の方法で確認してください。

- 確認できない通信設定ファイルやモデムがあるときは、通信設定ファイルをアンインストール［☛P324］してから、再度インストールしてください。

1 「スタートメニュー」▶「設定」▶「コントロールパネル」をクリックする

コントロールパネルが表示されます。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックする

システムのプロパティ画面が表示されます。

3 デバイスマネージャ画面を表示する

①［ハードウェア］タブをクリックする

②［デバイスマネージャ］をクリックする

デバイスマネージャ画面が表示されます。

4 通信設定ファイルを確認する

■USBコントローラ

①「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」の⊞をクリックする

②「FOMA D900i」が表示されていることを確認する

■ポート

①「ポート(COMとLPT)」の⊞をクリックする

②「FOMA D900i Command Port (COMx)」「FOMA D900i OBEX Port (COMx)」が表示されていることを確認する

- COMxはパソコンによって異なります。

■モデム

①「モデム」の⊞をクリックする

②「FOMA D900i」が表示されていることを確認する

5 コントロールパネルで［電話とモデムのオプション］アイコンをダブルクリックする

電話とモデムのオプション画面が表示されます。

6 モデムのCOMポートを確認する

①［モデム］タブをクリックする

②モデム欄に「FOMA D900i」、接続先欄に「COMx」が表示されていることを確認する

- COMxはパソコンによって異なります。
- COM20より大きい番号のときは、FOMA PC設定ソフトを使った接続先（APN）は設定できません。

Windows Meにインストールする

1 新しいハードウェアの追加ウィザード画面で、「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を◉にし、［次へ］をクリックする

2 検索するフォルダを指定する

①「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を◉にする

②「検索場所の指定」を☑にする

③検索場所の指定欄に、「X:\USB Driver\Win98_WinMe」を入力する（CDのドライブ名をXとした場合）

④［次へ］をクリックする

ドライバの検索終了が通知されます。

3 ［次へ］をクリックする

4 ［完了］をクリックする

操作1の画面に戻ります。

- 以降は、インストールが終了するまで、画面の説明に従って操作してください。

通信設定ファイルとモデムを確認する

通信設定ファイルとモデムがインストールされたかを以下の方法で確認してください。

- 確認できない通信設定ファイルやモデムがあるときは、通信設定ファイルをアンインストール［☛P324］してから、再度インストールしてください。

1 「スタートメニュー」▶「設定」▶「コントロールパネル」をクリックする

コントロールパネルが表示されます。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックする

システムのプロパティ画面が表示されます。

3 ［デバイスマネージャ］タブをクリックする

デバイスマネージャ画面が表示されます。

4 通信設定ファイルを確認する

■USBコントローラ

①「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」の⊞をクリックする

- Windows98では「ユニバーサルシリアルコントローラ」の⊞をクリックします。

②「FOMA D900i」「FOMA D900i Command」「FOMA D900i Modem」「FOMA D900i OBEX」が表示されていることを確認する

■ポート

①「ポート(COMとLPT)」の⊞をクリックする

- Windows98では「ポート(COM/LPT)」の⊞をクリックします。

②「FOMA D900i Command Port (COMx)」「FOMA D900i OBEX Port (COMx)」が表示されていることを確認する

- COMxはパソコンによって異なります。

■ モデム

①「モデム」の⊞をクリックする

②「FOMA D900i」が表示されていることを確認する

5 コントロールパネルで［モデム］アイコンをダブルクリックする

モデムのプロパティ画面が表示されます。

6 モデムのCOMポートを確認する

①「FOMA D900i」が表示されていることを確認する

②［検出結果］タブをクリックする

③ポート欄に「COMx」、インストールされているデバイス欄に「FOMA D900i」が表示されていることを確認する

- COMxは、パソコンによって異なります。
- COM20より大きい番号のときは、FOMA PC設定ソフトを使った接続先（APN）は設定できません。

Windows 98にインストールする

1 新しいハードウェアの追加ウィザード画面で、［次へ］をクリックする

2 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を◉にし、［次へ］をクリックする

3 検索するフォルダを指定する

①「検索場所の指定」を☑にする

②検索場所の指定欄に、「X:\USB Driver\Win98_WinMe」を入力する(CDのドライブ名をXとした場合)

③［次へ］をクリックする

4 「更新されたドライバ（推奨）」を◉にし、［次へ］をクリックする

5 ［次へ］をクリックする

6 ［完了］をクリックする

操作1の画面に戻ります。

- 以降は、インストールが終了するまで、画面の説明に従って操作してください。

通信設定ファイルとモデムを確認する

Windows Meと同じ手順で通信設定ファイルとモデムがインストールされたかを確認してください。**［☛P312］**

- 確認できない通信設定ファイルやモデムがあるときは、通信設定ファイルをアンインストール［☛P324］してから、再度インストールしてください。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

画面に従って操作することで、ダイヤルアップの作成やW-TCPと接続先（APN）を設定できます。

- この章では、Windows XPを例にしています。Windows XPと画面や操作が違う場合は、補足して説明します。

1 インストールを開始する

①「FOMA D900i用 CD-ROM」をパソコンにセットする
②「スタートメニュー」▶「ファイル名を指定して実行」をクリックする
③「X:\FOMA_PCSET\SETUP.EXE」を入力し、［OK］をクリックする（CDのドライブ名をXとした場合）

2 ようこそ画面で［次へ］をクリックする

3 契約内容に同意する場合は［はい］をクリックする

4 「タスクトレイに常駐する」を☑にし、［次へ］をクリックする

- W-TCPを操作するアイコンが、タスクトレイに表示されるようになります。

5 インストール先フォルダを確認し、［次へ］をクリックする

6 プログラムフォルダを確認し、［次へ］をクリックする

インストールが開始されます。

7 セットアップの完了画面で［完了］をクリックする

FOMA PC設定ソフトが起動されます。
ダイヤルアップの作成に進みます。

おしらせ

- FOMA PC設定ソフトがインストールされている場合は、FOMA PC設定ソフトのインストール方法を選択する画面が表示されます。画面の説明に従って操作してください。
- W-TCP環境設定ソフトがインストールされている場合は、FOMA PC設定ソフトのインストールが中止されます。W-TCP環境設定ソフトをアンインストールしてください。[☛P324]
- FOMAデータ通信設定ソフトがインストールされている場合は、FOMA PC設定ソフトのインストールを続けるかどうかの確認画面が表示されます。［はい］をクリックして、インストールを続けてください。
- インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックしたときは、インストールを続けるかどうかの確認画面が表示されます。画面の説明に従って［継続］または［中止］をクリックしてください。

ダイヤルアップを作成する

FOMA PC設定ソフトを起動する

1 「スタートメニュー」▶「すべてのプログラム」▶「FOMA PC設定ソフト」▶「FOMA PC設定ソフト」をクリックする

FOMA PC設定ソフトが起動されます。

- Windows XP以外では、「スタートメニュー」▶「プログラム」▶「FOMA PC設定ソフト」▶「FOMA PC設定ソフト」をクリックします。

2 ［かんたん設定］をクリックする

パケット通信の設定をする(mopera)

moperaは申込み不要のドコモのインターネット接続サービスです。
今すぐ簡単にインターネットに接続したいという場合は、moperaの利用をおすすめします。

1 「パケット通信」を◉にし、［次へ］をクリックする

2 「mopera接続」を◉にし、［次へ］をクリックする

3 FOMA端末設定取得画面で［OK］をクリックする

FOMA端末に設定されている接続先（APN）が読み込まれます。

- 次の画面が表示されるまで、時間がかかることがあります。

4 接続名を入力し、［次へ］をクリックする

- 以下の半角文字は使えません。
「\」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」

5 ユーザー名、パスワードを設定する

■Windows XP、2000の場合

①使用可能ユーザーの選択欄の「すべてのユーザー」または「自分のみ」を ◉ にする

- どちらを選んだらよいかわからないときは、「すべてのユーザー」を ◉ にします（お買い上げの時の設定）。

②ユーザー名欄、パスワード欄を空白にする

③[次へ] をクリックする

- すでに最適化されているときは、操作6の画面は表示されません。操作7に進みます。

■Windows Me、98の場合

①ユーザー名欄、パスワード欄を空白にする

②[次へ] をクリックする

- すでに最適化されているときは、操作6の画面は表示されません。操作7に進みます。

6 「最適化を行う」を ☑ にし、[次へ] をクリックする

7 設定内容を確認し、[完了] をクリックする

8 メッセージ画面で [OK] をクリックする

ダイヤルアップが作成されます。

- 再起動の問合せ画面が表示されたときは、[はい] をクリックします。パソコンが再起動されます。

パケット通信の設定をする（mopera以外）

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動し、［かんたん設定］をクリックする

- 起動方法［☛P315］

2 「パケット通信」を◉にし、［次へ］をクリックする

3 「その他」を ◉ にし、［次へ］をクリックする

4 FOMA端末設定取得画面で［OK］をクリックする

FOMA端末に設定されている接続先（APN）が読み込まれます。

- 次の画面が表示されるまで、時間がかかることがあります。

5 接続名を設定する

①接続名を入力する

- 以下の半角文字は使えません。
  「\」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「”」

②［接続先（APN）設定］をクリックする

■ **高度な設定（TCP/IPの設定）**

［詳細情報の設定］をクリックすると詳細情報の設定画面が表示されます。プロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、IPアドレスなどを設定します。

6 ［追加］をクリックする

- 番号（cid）の1には、moperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が設定されています（お買い上げ時の設定）。
- cidは10番まで設定できます。

7 接続先(APN)を設定する

①プロバイダから通知された接続先（APN）を入力する
- 番号(cid)を変更できます。

②［OK］をクリックする

8 ［OK］をクリックする

9 接続先（APN）の選択欄を追加した接続名（APN）にし、［次へ］をクリックする

10 ユーザー名・パスワードを設定する

■ Windows XP, 2000の場合

①使用可能ユーザーの選択欄の「すべてのユーザー」または「自分のみ」を ◉ にする
- どちらを選んだらよいかわからないときは、「すべてのユーザー」を ◉ にします（お買い上げ時の設定）。

②ユーザー名、パスワードを入力する

③［次へ］をクリックする
- すでに最適化されているときは、操作11の画面は表示されません。操作12に進みます。

■ Windows Me, 98の場合

①ユーザー名、パスワードを入力する

②［次へ］をクリックする
- すでに最適化されているときは、操作11の画面は表示されません。操作12に進みます。

11 「最適化を行う」を ☑ にし、［次へ］をクリックする

12 設定内容を確認し、[完了]をクリックする

13 メッセージ画面で[OK]をクリックする

ダイヤルアップが作成されます。

- 再起動の問合せ画面が表示されたときは、[はい]をクリックします。パソコンが再起動されます。

64Kデータ通信の設定をする

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動し、[かんたん設定]をクリックする

- 起動方法 [☞P315]

2 「64Kデータ通信」を◉にし、[次へ]をクリックする

3 接続先を選択する

■moperaを使用する場合

①「mopera接続」を◉にする

②[次へ]をクリックする

■mopera以外のプロバイダを使用する場合

①「その他」を◉にする

②[次へ]をクリックする

4 接続名とモデムを設定する

■moperaを使用する場合

①接続名を入力する

- 以下の半角文字は使えません。
「\」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」

②モデムの選択欄を「FOMA D900i」にする

③[次へ]をクリックする

■ mopera以外のプロバイダを使用する場合

①接続名を入力する

- 以下の半角文字は使えません。
「\」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「”」

②モデムの選択欄を「FOMA D900i」にする

③電話番号欄にプロバイダから通知された電話番号を入力する

④[次へ] をクリックする

■ 高度な設定（TCP/IPの設定）

［詳細情報の設定］をクリックすると詳細情報設定画面が表示されます。プロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、IPアドレスなどを設定します。

5 ユーザー名、パスワードを設定する

■ Windows XP、2000の場合

①使用可能ユーザーの選択欄の「すべてのユーザー」または「自分のみ」を◉にする

- どちらを選んだらよいかわからないときは、「すべてのユーザー」を◉にします（お買い上げ時の設定）。

②ユーザー名、パスワードを入力する

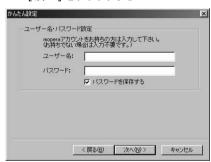
- moperaを使うときは、ユーザー名欄、パスワード欄を空白にします。
- mopera以外のプロバイダを使うときは、ユーザー名、パスワードを入力します。

③[次へ] をクリックする

■ Windows Me、98の場合

①ユーザー名、パスワードを入力する

- moperaを使うときは、ユーザー名欄、パスワード欄を空白にします。
- mopera以外のプロバイダを使うときは、ユーザー名、パスワードを入力します。

②[次へ] をクリックする

6 設定内容を確認し、［完了］をクリックする

7 メッセージ画面で［OK］をクリックする

ダイヤルアップが作成されます。

- 再起動の問合せ画面が表示されたときは、［はい］をクリックします。パソコンが再起動されます。

ダイヤルアップで接続する

接続する

例 Windows XPのとき

1 「スタートメニュー」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」をクリックする

- Windows XP以外では、「スタートメニュー」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」（または「ダイヤルアップネットワーク」）をクリックします。
- ダイヤルアップ作成時に「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」を☑にした場合は、デスクトップの接続アイコンをダブルクリックしてください。操作3に進みます。

2 作成したダイヤルアップアイコンをダブルクリックする

3 接続を実行する

■ **moperaの場合**

①ユーザー名欄、パスワード欄を空白にする

②［ダイヤル］をクリックする

moperaに接続されます。

■ **mopera以外のプロバイダの場合**

①ユーザー名、パスワードを入力する

②［ダイヤル］をクリックする

プロバイダに接続されます。

4 接続されたことを確認し、［OK］をクリックする

- 接続のメッセージを表示しない設定にしているときは、この画面は表示されません。

おしらせ

- **パケット通信中または64Kデータ通信中は、メインディスプレイに「パケット通信中」、「64Kデータ通信中」などと表示されます。FOMA端末を折りたたんでいるときは、インスピレーションウィンドウに、パケット通信中、64Kデータ通信中のアイコンが表示されます。**

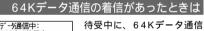
切断する

1 タスクトレイの［アイコン］をダブルクリックする

接続状態を示す画面が表示されます。

- アイコンはOSによって異なります。

2 ［切断］をクリックする

64Kデータ通信の着信があったときは

待受中に、64Kデータ通信の着信があると左の画面が表示されます。パソコンで対応する操作をしてください。

- 以下の場合は着信拒否になり、着信履歴に記録されます。
  - 音声通話中またはテレビ電話通話中に64Kデータ通信があったとき
  - 64Kデータ通信中に音声電話やテレビ電話がかかってきたとき

最適化と接続先（APN）のマニュアル設定

かんたん設定を使わずに、最適化と接続先（APN）設定ができます。

最適化の設定

Windows XPの場合

Windows XPでは、ダイヤルアップを選んで最適化できます。

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、［W-TCP設定］をクリックする

- 起動方法 ［☛P315］

2 最適化の設定をする

■最適化されていない場合

① ［最適化を行う］をクリックする

② 最適化するダイヤルアップを選択し、［実行］をクリックする

■最適化されている場合

① 設定を変更するダイヤルアップを選択し、［実行］をクリックする

■最適化を解除するには

① ［システム設定］をクリックする

② ［最適化を解除する］をクリックする

3 画面の説明に従ってパソコンを再起動する

再起動後に最適化が変更されます。

Windows 2000、Me、98の場合

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、［W-TCP設定］をクリックする

- 起動方法 ［☛P315］

2 最適化の設定をする

■最適化されていない場合

① ［最適化を行う］をクリックする

W-TCP設定（ダイヤルアップ）画面が表示されます。

② メッセージ画面で［OK］をクリックする

■最適化されている場合

最適化の解除ができます。

① ［最適化を解除する］をクリックする

② メッセージ画面で［OK］をクリックする

3 画面の説明に従ってパソコンを再起動する

再起動後に最適化が変更されます。

接続先（APN）の設定

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、［接続先（APN）設定］をクリックする

- 起動方法 ［☛P315］

2 メッセージ画面で［OK］をクリックする

FOMA端末に設定されている接続先（APN）が読み込まれます。

- 次の画面が表示されるまで、時間がかかることがあります。

3 ［追加］をクリックする

■設定済みの接続先（APN）を編集するには

①編集する接続先（APN）をクリックする

②［編集］をクリックする

■設定済みの接続先（APN）を削除するには

①削除する接続先（APN）をクリックする

②［削除］をクリックする

③メッセージ画面で［OK］をクリックする

接続先（APN）が削除されます。操作5に進みます。

- cid1は削除できません。

■FOMA端末から接続先（APN）を読み直すには

①「ファイル」▶「FOMA端末から設定を取得」をクリックする

②メッセージ画面で［OK］をクリックする

4 接続先（APN）を設定する

①接続先（APN）欄に接続先（APN）を入力する

- 番号（cid）を変更できます。

②［OK］をクリックする

5 ［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックする

FOMA端末に接続先(APN)が設定されます。

- FOMA端末に接続先（APN）が設定されているときは、問合せ画面が表示されます。上書きするときは、［はい］をクリックします。

6 メッセージ画面で［OK］をクリックする

7 ［閉じる］をクリックする

接続先（APN）設定が終了します。

接続先（APN）設定を保存する

FOMA端末に設定されている接続先（APN）のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存できます。

1 接続先（APN）設定画面で、「ファイル」▶「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリックする

以降は画面の説明に従って操作してください。

接続先（APN）設定を読み込む

パソコンに保存していた接続先（APN）設定を読み込めます。

1 接続先（APN）設定画面で、「ファイル」▶「開く」をクリックする

以降は画面の説明に従って操作してください。

ダイヤルアップを作成する

接続先（APN）設定画面から、ダイヤルアップを作成できます。

1 ダイヤルアップを作成する接続先（APN）をクリックする

2 ［ダイヤルアップ作成］をクリックする

ダイヤルアップの作成画面が表示されます。

3 接続名を入力し、［OK］をクリックする

4 メッセージ画面で［OK］をクリックする

ダイヤルアップが作成されます。

通信設定ファイルとFOMA PC設定ソフトをアンインストールする

通信設定ファイルをアンインストールする

通信設定ファイルを使用しなくなったときや、通信設定ファイルのインストールに失敗し、確認できない通信設定ファイルとモデムがあるときは、「FOMA D900i用 CD-ROM」を使って、通信設定ファイルをアンインストールしてください。

1 「FOMA D900i用 CD-ROM」をパソコンにセットする

2 「スタートメニュー」▶「ファイル名を指定して実行」をクリックする

3 アンインストーラーを起動する

①名前欄に「X:\USB Driver\Uninst\D900icom.exe」を入力する（CDのドライブ名をXとした場合）

②［OK］をクリックする

問合せ画面が表示されます。

4 ［はい］をクリックする

5 メッセージ画面で［OK］をクリックする

- パソコンを手動で再起動してください。
- FOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブルで接続されている場合は、FOMA USB接続ケーブルを取り外してください。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

FOMA PC設定ソフトのアンインストール前に、FOMA用に変更された設定を元に戻してから、アンインストールをしてください。

常駐設定を元に戻す

1 W-TCP設定の常駐設定を元に戻す

①画面右下のタスクトレイの［W-TCPアイコン］を右クリックする

②「常駐させない」をクリックする

アンインストールする

例 Windows XPの場合

1 「スタートメニュー」▶「コントロールパネル」をクリックする

- Windows XP以外では、「スタートメニュー」▶「設定」▶「コントロールパネル」をクリックします。

2 ［プログラムの追加と削除］アイコンをダブルクリックする

- Windows XP以外では、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

3 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」をクリックし、［変更と削除］をクリックする

確認画面が表示されます。

- W-TCP環境設定ソフトをアンインストールするときは、W-TCP環境設定ソフトをクリックし、［変更と削除］をクリックします。

4 ［はい］をクリックする

アンインストールが実行され、プログラムが削除されます。

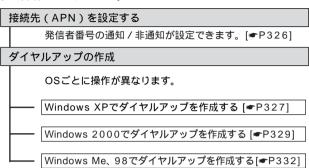
- ダイヤルアップの設定がパケット通信用に最適化されている場合は、最適化を解除する確認画面が表示されます。［はい］をクリックします。

5 ［OK］をクリックする

アンインストールが終了します。

以降は画面の説明に従って操作してください。

FOMA PC設定ソフトを使わずにダイヤルアップを作成する

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信と64Kデータ通信の設定ができます。パケット通信では接続先（APN）を設定してから、ダイヤルアップを作成します。以下の順序で操作してください。

接続先（APN）を設定する

パケット通信の接続先（APN）を設定します。最大10件まで設定できます。

- **接続先は1〜10のcidで管理されます。cid1には、ドコモのインターネット接続サービスmoperaの接続先（APN）が設定されていますので、2〜10に設定してください。**
- **mopera 以外の接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。**

例 Windows XPで設定するとき

1 FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続する

2 「スタートメニュー」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」をクリックする

- Windows XP以外では、「スタートメニュー」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」をクリックします。
- ハイパーターミナルを起動すると、「ハイパーターミナルを既定のTelnetプログラムとすることをお勧めします。既定のプログラムにしますか？」と表示されることがあります。［はい］［いいえ］のどちらを選んでも、接続先（APN）の設定には関係しません。どちらかをクリックしてください。

3 名前欄に接続先名を入力し、［OK］をクリックする

4 接続設定をする

①電話番号欄に実在しない電話番号を仮入力する

• 0などを入力します。

②「接続方法」を「FOMA D900i」にする

③［OK］をクリックする

接続画面が表示されます。

• 市外局番は無視してください。

5 ［キャンセル］をクリックする

6 ハイパーターミナルの画面で、接続先（APN）を入力し、Enterを押す

•「AT+CGDCONT＝cid, ”PPP ”,”APN ”」の形式で入力します。

cid　：2～10のうち任意の番号を入力します。

”PPP ”：そのまま ”PPP ”と入力します。

”APN ”：接続先（APN）の名称を ” ” で囲んで入力します。

7 「ファイル」▶「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

ハイパーターミナルが終了します。

•「セッションXXXを保存しますか?」と表示されます。［いいえ］をクリックします（XXXは接続先名です）。

•「現在、接続されています。切断してもよろしいですか?」と表示されたときは、［はい］をクリックします。

おしらせ

● 接続先（APN）設定をリセットするには、ハイパーターミナルの画面で、下記のATコマンドを入力します。

• すべてのcidをリセットする
AT+CGDCONT= Enter

• 特定のcidをリセットする
AT+CGDCONT=cid Enter

• リセットした場合、cid=1が「mopera.ne.jp」（お買い上げ時の設定）に戻り、cid=2～10の設定は未設定になります。

● ATコマンドが画面に表示されないときは、「ATE1 Enter 」を入力します。ATコマンドが表示されます。

発信者番号の通知／非通知を設定する

発信者番号の通知／非通知は必要に応じて設定してください。

1 ハイパーターミナルの画面で、パケット通信時の発信者番号の通知／非通知を設定する

• 接続先（APN）に「186」を付けて接続する場合
AT＊DGPIR=2 Enter

• 接続先（APN）に「184」を付けて接続する場合
AT＊DGPIR=1 Enter

• ハイパーターミナルの画面の表示方法：「接続先（APN）を設定する」操作1～5 ［☛P325］

おしらせ

● 発信者番号の通知／非通知は、ダイヤルアップでも設定できます。接続先の番号に、「186」（通知する）／「184」（通知しない）を付けます。

● ダイヤルアップとAT＊DGPIRコマンドで、くいちがった通知／非通知を設定した場合は、ダイヤルアップの設定で動作します。
ダイヤルアップで通知／非通知の設定がない場合は、AT＊DGPIRコマンドの設定で動作します。ただし、AT＊DGPIRコマンドで「設定なし」にしたときは、発信者番号は「通知」になります。

Windows XPでダイヤルアップを作成する

接続先を設定する

1 **「スタートメニュー」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」をクリックする**

ネットワーク接続画面が表示されます。

2 **［新しい接続ウィザード］アイコンをダブルクリックする**

新しい接続ウィザード画面が表示されます。

3 **［次へ］をクリックする**

4 **「インターネットに接続する」を◉にし、［次へ］をクリックする**

5 **「接続を手動でセットアップする」を◉にし、［次へ］をクリックする**

6 **「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を◉にし、［次へ］をクリックする**

7 **「モデム−FOMA D900i（COMx）」を☑にし、［次へ］をクリックする**

- COMxはパソコンによって異なります。

8 **ISP名欄に接続名を入力し、［次へ］をクリックする**

9 接続先（APN）の電話番号を入力し、［次へ］をクリックする

- moperaに接続するときは、*99***1#を入力します。
- cid2に接続するときは、*99***2#を入力します。

10 ユーザー名、パスワードを設定する

■ **moperaを使用する場合**

①ユーザー名欄、パスワード欄を空白にする

②各項目を画面例のように設定する

③［次へ］をクリックする

新しい接続ウィザードの完了画面が表示されます。

■ **mopera以外のプロバイダを使用する場合**

①ユーザー名、パスワードを入力する

- パスワードの確認入力欄にもパスワードを入力します。

②各項目を画面例のように設定する

③［次へ］をクリックする

新しい接続ウィザードの完了画面が表示されます。

11 ［完了］をクリックする

ダイヤルアップが作成されます。

12 設定内容を確認し、［キャンセル］をクリックする

TCP/IPを設定する

1 作成したダイヤルアップアイコンをクリックし、「ファイル」▶「プロパティ」をクリックする

2 全般設定をする

①「モデムーFOMA D900i (COMx)」を☑にする

- COMxはパソコンによって異なります。

②「ダイヤル情報を使う」を□にする

3 ネットワーク設定をする

① [ネットワーク] タブをクリックする

②「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」を「PPP:Windows95/98/NT4/2000, Internet」にする

③「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を☑にする

- 「QoSパケットスケジューラ」は変更できません。

④ [設定] をクリックする

4 すべての項目を□にし、[OK] をクリックする

接続先のプロパティ画面に戻ります。

5 [OK] をクリックする

TCP/IP が設定されます。

Windows 2000でダイヤルアップを作成する

接続先を設定する

1 「スタートメニュー」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックする

ネットワークとダイヤルアップ接続画面が表示されます。

2 [新しい接続の作成] アイコンをダブルクリックする

初めて操作したときは、所在地情報画面が表示されます。

- 2回め以降は所在地情報画面は表示されません。操作5へ進みます。

3 市外局番を入力し、[OK] をクリックする

電話とモデムのオプション画面が表示されます。

4 [OK] をクリックする

ネットワークの接続ウィザード画面が表示されます。

5 [次へ] をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を◉にし、［次へ］をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を◉にし、［次へ］をクリックする

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を◉にし、［次へ］をクリックする

モデムの選択画面が表示されます。

- 「FOMA D900i」以外のモデムがインストールされていない場合は、モデムの選択画面は表示されません。操作10に進みます。

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」を「FOMA D900i」にし、［次へ］をクリックする

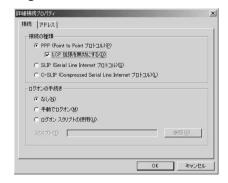
10 接続先（APN）の電話番号を入力し、［詳細設定］をクリックする

- moperaに接続するときは、*99***1#を入力します。
- cid2に接続するときは、*99***2#を入力します。
- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を□にします。

11 接続設定をする

①「PPP(Point to Pointプロトコル)」を◉にする

②「LCP拡張を無効にする」を☑にする

③「ログオンの手続き」の「なし」を◉にする

12 アドレス設定をする

①［アドレス］タブをクリックする

②「インターネットサービスプロバイダによる自動割り当て」を◉にする

③「ISPによるDNS(ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当て」を◉にする

④［OK］をクリックする

インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

13［次へ］をクリックする

14 ユーザー名、パスワードを設定する

■moperaを使用する場合

①ユーザー名欄、パスワード欄を空白にする

②［次へ］をクリックする

- ユーザー名やパスワードが入力されていないことを確認する問合せ画面が表示されることがあります。［はい］をクリックします。

■mopera以外のプロバイダを使用する場合

①ユーザー名、パスワードを入力する

②［次へ］をクリックする

15 接続名を入力し、［次へ］をクリックする

16「いいえ」を◉にし、［次へ］をクリックする

17「今すぐインターネットに接続するにはここを選び［完了］をクリックしてください」を□にし、［完了］をクリックする

ダイヤルアップが作成されます。

TCP/IPを設定する

1 作成したダイヤルアップアイコンをクリックし、「ファイル」▶「プロパティ」をクリックする

2 全般設定をする

①「モデム-FOMA D900i（COMx）」を☑にする

- COMxはパソコンによって異なります。

②「ダイヤル情報を使う」を□にする

3 ネットワーク設定をする

①［ネットワーク］タブをクリックする

②「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」を「PPP:Windows95/98/NT4/2000, Internet」にする

③「インターネットプロトコル（TCP/IP）」だけ☑にする

④［設定］をクリックする

4 すべての項目を□にし、［OK］をクリックする

接続先のプロパティ画面に戻ります。

5 ［OK］をクリックする

TCP/IPが設定されます。

Windows Me、98でダイヤルアップを作成する

接続先を設定する

例 Windows Meの場合

1 「スタートメニュー」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする

初めて操作したときは、ダイヤルアップネットワークへようこそ画面が表示されます。

- 2回め以降はダイヤルアップネットワークへようこそ画面は表示されません。操作3へ進みます。

2 ［次へ］をクリックする

ダイヤルアップネットワーク画面が表示されます。

3 ［新しい接続］アイコンをダブルクリックする

4 接続名とモデムを設定する

①接続名を入力する

②「モデムの選択」を「FOMA D900i」にする

③［次へ］をクリックする

5 接続先（APN）の電話番号を入力し、［次へ］をクリックする

- moperaに接続するときは、*99***1#を入力します。
- cid2に接続するときは、*99***2#を入力します。

6 ［完了］をクリックする

ダイヤルアップが作成されます。

TCP/IPを設定する（Windows Me）

1 作成したダイヤルアップアイコンをクリックし、「ファイル」▶「プロパティ」をクリックする

2 全般設定をする

①「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を☐にする

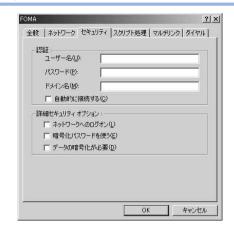
②「接続方法」を「FOMA D900i」にする

3 ネットワーク設定をする

①［ネットワーク］タブをクリックする
②「ダイヤルアップサーバーの種類」を「PPP: インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」にする
③「TCP/IP」だけ☑にする

4 セキュリティ設定をする

■moperaを使用する場合
①［セキュリティ］タブをクリックする
②ユーザー名欄、パスワード欄を空白にする
③ドメイン名欄を空白、他の項目を□にする
④［OK］をクリックする
TCP/IPが設定されます。

■mopera以外のプロバイダを使用する場合
①［セキュリティ］タブをクリックする
②ユーザー名、パスワードを入力する
③ドメイン名欄を空白、他の項目を□にする
④［OK］をクリックする
TCP/IPが設定されます。

TCP/IPを設定する（Windows 98）

1 作成したダイヤルアップアイコンをクリックし、「ファイル」▶「プロパティ」をクリックする

2 全般設定をする

①「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を□にする
②「接続の方法」を「FOMA D900i」にする

3 サーバーの種類の設定をする

① [サーバーの種類] タブをクリックする

②「ダイヤルアップサーバーの種類」を「PPP: インターネット、Windows NT Server、Windows 98」にする

③「TCP/IP」だけ☑にする

④ [OK] をクリックする

TCP/IPが設定されます。

64Kデータ通信のダイヤルアップを作成する

64Kデータ通信の接続先およびTCP/IPを設定します。

- 64Kデータ通信では、接続先（APN）の設定は不要です。
- 接続先にはプロバイダやネットワーク管理者から指定されたアクセスポイントの電話番号を入力します。moperaに接続するときは、電話番号欄に「＊9601」と入力してください。
- 発信者番号通知／非通知の設定は、必要に応じて変更してください。
- 設定内容の詳細については、プロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコン用画像変換ソフトMotion Smoothyについて

Motion Smoothyは、パソコンに保存されているビデオ映像を、D900iの動画ファイルに変換するソフトです。デジタルビデオカメラで撮影した映像や、テレビで録画した映像などを、Motion Smoothyで変換して、D900iで再生して楽しめます。

- **対応する動画ファイルの形式は次のとおりです。**

項　目	対応する動画ファイル形式
変換前 (注)	AVI、MOV、WMV、MPEG1、MPEG2
変換後	Mobile MP4およびMP4（画像サイズ128×96、176×144、320×240ドット）

（注）パソコンの環境によっては変換できないファイルがあります。

- **変換後の動画ファイルをFOMA端末で再生するには、FOMA USB接続ケーブル（別売）またはメモリースティック Duoアダプタを利用して、動画ファイルを“メモリースティック Duo”に保存します。****［☛P301］**

■動作環境

項　目	動作環境
パソコン	Intel® Pentium®III 800MHz以上のプロセッサを搭載したPC/AT互換機
メモリ	256Mバイト以上
ハードディスク	256Mバイト以上の空き容量
OS	Windows 2000 Professional（DirectX8.1 以降）、Windows XP Professional、Windows XP Home Edition
必要なソフトウェア	Windows Media Player 7.1以降（必須） Quick Time Player 6.1以降（推奨）(注1) DVD PlayerなどMPEG2の再生ソフト（推奨）(注2)
ディスプレイ	1024×768ドット以上の解像度でTrueカラーまたはフルカラー表示が可能なこと。
その他	サウンドカードが装着されており、音声が再生できること。

（注1）MOV形式のファイルを変更する場合に必要になります。
（注2）MPEG2形式のファイルを変換する場合に必要になります。

- Intel、Pentiumはアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。

■Motion Smoothyのインストール

D900iに添付されているFOMA D900i用CD-ROMの「Motion Smoothy」フォルダの「setup」（または「setup.exe」）をダブルクリックします。Motion Smoothyのセットアップが開始されます。以降、画面表示に従って操作します。

- シリアル番号の入力欄には、FOMA端末の電池パックを外した部分に記載されている15桁の製造番号を入力してください。

■Motion Smoothyに関するお問い合わせ先

三菱電機Motion Smoothyサポートセンター　03-5319-5720
受付時間：平日9:00～12:00／13:00～17:00（土・日・祝日、年末年始および所定の休日を除く）

おしらせ

- **Motion Smoothyの動作環境、インストール、利用にあたっての詳細な情報を、FOMA D900i用CD-ROMの「Motion Smoothy」フォルダの「Readme」ファイルに記載しています。Motion Smoothyを利用する前にご確認ください。**
- **Motion Smoothyの操作方法は、Motion Smoothyのヘルプをご覧ください。**

データリンクソフトのご紹介

「FOMA　Dシリーズ データリンクソフト」を使って、FOMA端末と接続したパソコンとの間でデータの転送ができます。

- **データリンクソフトは、三菱電機株式会社のホームページhttp://www.Mitsubishi Electric.co.jp/d900i/からダウンロードいただけます。**
- **ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。**
- **ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページ、または、データリンクソフトのヘルプをご覧ください。**

■転送できるデータ

- 電話帳
- スケジュール
- ブックマーク
- 受信メール
- 送信メール
- 画像（注）
- 動画（注）
- メロディ（注）

（注）ファイル制限あり（変更不可）のデータは、FOMA端末外への出力が禁止されているため転送できません。

■動作環境

項　目	動作環境
パソコン	Intel® Pentium® II 266MHz以上のプロセッサを搭載したPC/AT互換機
メモリ	64Mバイト以上
ハードディスク	アプリケーションインストール時に25Mバイト以上のディスクの空き領域があること。また、機種別通信モジュールインストール時に、1機種に対して1Mバイト以上のディスクの空き容量があること。
ディスプレイ	800×600ドット以上の解像度でハイカラー以上の表示が可能なこと。
OS	Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、Windows XP Home Edition
必要なソフトウェア	Internet Explorer 5.5以降
通信ポート	USBポート（USBハブは使用できません。）

- Intel、Pentiumはアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。

■ケーブル

データリンクソフトを利用するにはFOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。

■データリンクソフトのご使用にあたって

- 著作権について
  本ソフトウェアはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権は三菱電機株式会社に帰属します。
- 免責事項について
  三菱電機株式会社は、本ソフトウェアの不稼動、稼動不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。
  また、三菱電機株式会社は、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。

■データリンクソフトに関する技術的なお問い合わせ先

三菱電機データリンクサポートセンター　03-5319-3762
受付時間：平日9:00～12:00／13:00～17:00（土・日・祝日、年末年始および所定の休日を除く）

エラーメッセージ一覧

ｉモード関連エラーメッセージ

ｉモード、ｉモードメールおよびショートメッセージサービス（SMS）関連のエラーメッセージを示します（50音順)。

- **エラーメッセージの末尾の（数字）は、ｉモードセンターより送信された、エラーを区別するためのコードです。**

エラーメッセージ	説　明
空きメモリがないため動画ファイルを取得できません	受信メールBOXの空きがないため、ｉモーションメールから動画／ｉモーションを取得できません。不要なメールを削除してください。
空きメモリはありません　空きメモリがないとSMS受信できません	受信メールBOXがいっぱいか、FOMAカードにショートメッセージ（SMS）が最大件数まで保存されているため、ショートメッセージ（SMS）を受信できません。受信メールBOXがいっぱいのときは、未読メールを読むか、不要なメールを削除するか、保護を解除してください。FOMAカードがいっぱいのときは、FOMAカードから不要なショートメッセージ（SMS）を削除してください。その後、SMS問合せを実行してショートメッセージ（SMS）を受信してください。受信メールBOXまたはFOMAカードの保存状況は待受画面のアイコンで確認できます。[☛P10、11]
宛先をご確認下さい	ショートメッセージ（SMS）の宛先に指定された電話番号のFOMA端末がありません。宛先を確認して送信し直してください。[☛P166]
応答がありませんでした(408)	サイトやインターネットホームページから応答がありませんでした。しばらく待って操作し直してください。
同じメールフォルダのソフトがすでにあるためダウンロードできません	受信メールBOXまたは送信メールBOXの同じフォルダを使用するメール連動型ｉアプリが保存されています。ダウンロードするには対応するフォルダを使用するソフトを削除してください。
画像に誤りがあり正しく動作しません	データに誤りがあるため、Flash画像を正しく再生できません。
現在このメールフォルダを使用中のため削除できません	フォルダを使用中の機能があるため削除できません。フォルダを使用中の機能を終了してからダウンロードしてください。
このカードは認識できません	FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。FOMAカードを確認してください。[☛基本P34]
このサイトとのSSL通信は無効です	サーバ証明書が改ざんされています。SSLページには接続されません。
このサイトの安全性が確認できません　接続しますか?	サーバ証明書が、FOMA端末で検証できない証明書です。または、サーバ証明書の数が多すぎます。サイトに接続するときは「はい」、操作を中止するときは「いいえ」を選択します。
このサイトは安全でない可能性があります接続しますか?	サーバ証明書の有効期間を過ぎているか、有効期間前です。（FOMA端末の日時が未設定または間違っている場合も表示されることがあります。）サイトに接続するときは「はい」、操作を中止するときは「いいえ」を選択します。
この接続先の安全性が確認できません　接続しますか?	CA証明書の有効期間を過ぎているか、有効期間前です。（FOMA端末の日時が間違っている場合も表示されることがあります。）サイトに接続するときは「はい」、操作を中止するときは「いいえ」を選択します。

エラーメッセージ	説　明
この接続先は安全でない可能性があります 接続しますか?	サイトとサーバ証明書の内容が一致していません。サイトに接続するときは「はい」、操作を中止するときは「いいえ」を選択します。
このデータは再生できない可能性があります	指定のデータは、FOMA端末で再生できない可能性があります。データの受信は継続します。
このデータは再生できません	FOMA端末で利用できないデータです。
このデータは保存できません	再生可能期限または再生可能期間を過ぎているため、保存できません。
サービス未契約です	ｉモードを契約されていません。ｉモードをご利用になるにはお申込みが必要です。
サービス未提供です	ショートメッセージサービス（SMS）が未提供です。
再生可能期限が切れました	再生可能期限または再生可能期間を過ぎているため、再生できません。
再生可能日前です　再生できません	再生可能期間前のため再生できません（保存はできます）。
再生制限データに誤りがあるため取得できません	ｉモーションの再生制限データが不正なため、取得できません。
再生できません	データに誤りがあるか、再生できないデータがあったため、再生を中止しました。
最大サイズを超えたので中断しました	サイトやインターネットホームページが最大サイズを超えたため、受信を中断しました。
	メロディやキャラ電のファイルサイズが最大サイズを超えたため、ダウンロードを中止しました。
サイトが移動しました(301)	サイトやインターネットホームページのURLが変更されています。URLを確認してください。ブックマークに登録しているときは、登録し直してください。
サイトに接続できませんでした(403)	指定のサイトやインターネットホームページには接続できません。
指定サイトがみつかりません(404)	指定されたサイトやインターネットホームページが見つかりません。URLを確認してください。
指定サイトに表示データがありません(204)	サイトやインターネットホームページに表示データがありません。
指定されたソフトが起動できませんでした	サイトやメールなどから指定されたソフトを起動できません。起動元またはソフトに誤りがある可能性があります。
指定したサイトへは接続できませんでした(504)	サイトやｉモードセンターが混み合っています。しばらく待って操作し直してください。
指定の画像は保存できません	画像サイズが大きすぎるか、画像が不正なため保存できません。
しばらくお待ち下さい	回線がたいへん混み合っています。しばらく待って操作し直してください。
受信を拒否されました	ショートメッセージ（SMS）の受信を拒否されました。
SMS送信できませんでした	ショートメッセージセンターが受付けを停止しています。しばらく待って送信し直してください。[☛P166]
SMS送信できませんでした　再送しますか？	電波状態などのため送信に失敗しました。再度送信するには「はい」を選択します。

エラーメッセージ	説明
既にメッセージをお預かりしています	送信したショートメッセージ（SMS）は、すでにショートメッセージセンターで受け付けています。
接続が中断されました	iモードの通信中にエラーが発生しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。繰り返し表示されるときは、しばらく待って操作し直してください。
	メールやメッセージR/Fの受信中にエラーが発生しました。電波状態のよい場所に移動して、iモード問合せやメール選択受信を実行してください。繰り返し表示されるときは、しばらく待って操作し直してください。
接続できません	iモードセンターに接続できませんでした。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。
接続できませんでした	
設定時間内に接続できませんでした	接続待ち時間の上限を超えました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。
センターからの応答がありません　再送しますか？	ショートメッセージセンターから応答がありませんでした。再度送信するには「はい」を選択します。繰り返し表示されるときは、しばらく待って送信し直してください。[☛P166]
センターにメッセージがあります	受信メールBOXまたはメッセージBOXがいっぱいで受信できないため、iモードセンターでメールやメッセージR/Fをお預かりしています。未読のメールやメッセージR/Fを読むか、不要なメールやメッセージR/Fを削除するか、保護を解除してから、iモード問合せやメール選択受信を実行してください。FOMA端末のメール、メッセージR/Fの保存状況は待受画面のアイコンで確認できます。[☛P11]
センターにメッセージがいっぱいです	受信メールBOXまたはメッセージBOXがいっぱいのためメールやメッセージR/Fを受信できません。iモードセンターの空きもないため、新しいメールやメッセージR/Fをお預かりできません。未読のメールやメッセージR/Fを読むか、不要なメールやメッセージR/Fを削除するか、保護を解除してください。その後、iモード問合せやメール選択受信を実行してメールやメッセージR/Fを受信してください。FOMA端末のメール、メッセージR/Fの保存状況は待受画面のアイコンで確認できます。[☛P11]
送信できなかった宛先があります(561)	一部の宛先に送信できませんでした。メールアドレスが正しいか確認し、送信し直してください。[☛P130]
送信できません　宛先を確認して下さい(451)	宛先のメールアドレスを確認し、正しいメールアドレスを入力して送信し直してください。[☛P130]
送信できませんでした　送信先のメールがいっぱいです(551)	送信先のメール保管件数が最大件数に達しているため、iモードセンターでメールをお預かりできません。送信先がメールを受信可能になるのを待って送信し直してください。[☛P130]
送信できませんでした(×××)	送信中にエラーが発生しました。電波状態のよい場所で送信し直してください(×××：エラーコード)。[☛P130]
送信メールBOXフルのため作成できません	送信メールBOXがいっぱいのため、メールを作成できません。未送信メールを送信するか、不要なメールを削除してください。
送信を拒否されました	ショートメッセージ（SMS）の送信を拒否されました。
挿入可能な画像サイズを超えてます	640×480ドットを超える画像は挿入できません。
ソフトが起動中のためフォルダを開けません	iアプリメール用フォルダに対応するソフトを実行中のためフォルダ内一覧は表示できません。

エラーメッセージ	説　明
ソフトに誤りがあります	ソフトに誤りがあるためダウンロードできません。
ソフトに誤りがあるためダウンロードできません	
対応ソフトが削除されています　フォルダ内一覧を選択して下さい	ｉアプリメール用フォルダに対応するソフトが削除されています。メールはサブメニュー「1.フォルダ内一覧」で表示してください。
ダウンロードできませんでした	電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。繰り返し表示される場合はダウンロードできないデータです。
ただいまｉモードメールが混みあっています しばらくお待ち下さい(553)	ｉモードセンターが混雑しています。しばらく待って操作し直してください。
データ不正のためご利用できません	ファイルが不正なため、添付ファイルを表示または再生できません。
データ不正のため保存できません	ファイルが不正なため、添付ファイルを保存できません。
データを完全に取得できませんでした	通信中にエラーが発生したためデータを完全に取得できませんでした。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。
入力データまたはURLが長すぎます	入力データまたはURLが長すぎるため表示できません。入力データを確認してください。
入力データをご確認下さい(205)	入力データに誤りがあります。入力データを確認、訂正してください。
認証タイプに未対応です(401)	FOMA端末が対応していない認証タイプのため、接続できません。
パスワードをご確認下さい(401)　再認証しますか？	ユーザ名かパスワードに誤りがあります。再入力するときは「はい」、操作を中止するときは「いいえ」を選択します。
不正なURLです	「http://」または「https://」からはじまる正しいURLを入力してください。
編集可能サイズをオーバーしました　文字または装飾を削除して下さい	メールの送信可能文字数を超えています。文字数または装飾を減らしてください。
無効なデータを受信しました	FOMA端末で利用できないデータです。
無効なデータを受信しました(×××)	サイトやインターネットホームページの内容に誤りがあります（×××：エラーコード）。
メールセキュリティ設定中です　ダウンロードできません	メールセキュリティが設定されているため、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。メールセキュリティを解除してください。
メールフォルダがシークレット設定中のためダウンロードできません	受信メールBOXまたは送信メールBOXのｉアプリメール用フォルダがシークレット設定されているため、フォルダ名を変更できません。ダウンロードは中止されます。ダウンロードするにはフォルダのシークレット設定を解除してください。[☛P182]
メールフォルダ数がいっぱいのためダウンロードできません	受信メールBOXまたは送信メールBOXのフォルダが最大件数を超えるためメール連動型ｉアプリをダウンロードできません。ダウンロードするにはフォルダを削除してください。

エラーメッセージ	説　明
メールフォルダを作成できないためダウンロードできません	メールフォルダを作成せずにメール連動型ｉアプリはダウンロードできません。ダウンロードし直して、既存のフォルダを利用するか、フォルダを新規作成するかのいずれかを選択してください。
メッセージがいっぱいです	受信メールBOXまたはメッセージBOXがいっぱいのため、メールやメッセージR/Fを受信できません。未読のメールやメッセージR/Fを読むか、不要なメールやメッセージR/Fを削除するか、保護を解除してください。FOMA端末のメール、メッセージR/Fの保存状況は待受画面のアイコンで確認できます。［☛P11］
メッセージ問合せ失敗しました	SMS問合せに失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。繰り返し表示されるときは、しばらく待って操作し直してください。
メモリ不足です　ブラウザを終了します	サイトやインターネットホームページの表示に使用するメモリが足りなくなったため、表示を終了しました。操作し直してください。
メモリ不足です　メールを終了します	メールの表示に使用するメモリが足りなくなったため、表示を終了しました。操作し直してください。
メモリフルのため保存できません	画面メモを保存するメモリがいっぱいです。不要な画面メモの保護を解除するか、削除してください。
メモリフルのためメッセージ問合せできません	受信メールBOXがいっぱいか、FOMAカードにショートメッセージ（SMS）が最大件数まで保存されているため、SMS問合せを行えません。受信メールBOXがいっぱいのときは、未読のメールを読むか、不要なメールを削除するか、保護を解除してください。FOMAカードがいっぱいのときは、FOMAカードから不要なショートメッセージ（SMS）を削除してください。受信メールBOXまたはFOMAカードの保存状況は待受画面のアイコンで確認できます。［☛P10、11］
ユーザ証明書がありません　継続しますか？	ユーザ証明書が取得されていません。接続できない可能性があります。このまま接続を試みるには「はい」、操作を中止するには「いいえ」を選択します。ユーザ証明書を取得するには［☛P54］
ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか？	ユーザ証明書の有効期限が切れています。接続できない可能性があります。このまま接続を試みるには「はい」、操作を中止するには「いいえ」を選びます。ユーザ証明書を取得するには［☛P54］
FOMAカードが異なるか挿入されていないため起動できませんでした	ソフト取得時と異なるFOMAカードが挿入されているか、FOMAカードがないためソフトを起動できませんでした。
FOMAカードが異なるか挿入されていないためご利用できません	取得時と異なるFOMAカードが挿入されているか、FOMAカードがないため実行できませんでした。
FOMAカードが異なるか挿入されていないため指定されたソフトは起動できませんでした	ソフト取得時と異なるFOMAカードが挿入されているか、FOMAカードがないためソフトを起動できませんでした。
FOMAカードが異なるため×××できません	メール・メッセージR/Fの受信時やデータ取得時と異なるFOMAカードが挿入されているため、行えません（×××：実行できない処理内容）。
FOMAカードが異なるため添付ファイルは削除されます	受信時・取得時と異なるFOMAカードが挿入されているため、編集・転送するメールには添付ファイルは添付されません。
FOMAカードが挿入されていないため×××できません	メール・メッセージR/Fの受信時やデータ取得時のFOMAカードが挿入されていないため、行えません（×××：実行できない処理内容）。

エラーメッセージ	説　明
FOMAカードが挿入されていないため添付ファイルは削除されます	受信時・取得時のFOMAカードが挿入されていないため、編集・転送するメールには添付ファイルは添付されません。
FOMAカードを挿入して下さい	FOMAカードを挿入してから操作してください。
ｉモーション再生サイズを超えています	ｉモーションが再生可能なサイズを超えているいため、取得できません。
ｉモーション再生サイズを超えました	ｉモーションが再生可能なサイズを超えたため、取得を中止しました。
ｉモーション最大サイズを超えています	ストリーミングタイプのｉモーションが最大サイズを超えているため、再生できません。
ｉモーション最大サイズを超えました	ストリーミングタイプのｉモーションが最大サイズを超えたため、再生を中止しました。
ｉモーションを保存できませんでした	保存時に異常が発生したため保存に失敗しました。取得し直してください。繰り返し発生する場合、FOMA端末の異常の可能性があります。
SMSセンター設定を確認して下さい	SMSセンター設定に誤りがあります。正しく設定するか、お買い上げ時の接続先に戻してください。[☛P171、172]
SSL通信が切断されました	SSL通信中にエラーが発生しました。操作し直すと接続できる場合があります。
SSL通信が無効です	サーバ証明書に問題がありました。SSLページには接続されません。
SSL通信が無効に設定されています	CA証明書が無効に設定されているため、SSLページに接続できません。
URLが長すぎて登録できません	表示中のページは、URLが長すぎるためブックマークに登録できません。

“メモリースティック Duo”関連エラーメッセージ

“メモリースティック Duo”関連のエラーメッセージを示します（50音順）。

エラーメッセージ	説　明
この画像は編集できません	D900iで撮影した以外の静止画は編集できません。
この操作には使用できないメモリースティックです	D900iで使用できない“メモリースティック Duo”です。
	パソコンなどで、D900iで使用するフォルダが削除されています。フォルダを元に戻してください。[☛P303]
このフォルダにはこれ以上コピーできません	フォルダ内のデータ件数が最大件数を超えるためコピーできません。不要なデータを削除してから操作し直してください。
これ以上コピーできません	FOMA端末のメモリの空きがないか、最大保存件数を超えるためコピーできません。不要なデータを削除してから操作し直してください。
これ以上フォルダを作成できません	フォルダの最大件数を超えるためフォルダを作成できません。不要なフォルダを削除してください。
最大保存件数を超えたので中止しました	フォルダ内のデータ件数が最大件数に達したため、コピーを途中で打ち切りました。
使用できない文字・文字列が含まれています	不正な文字を削除してください。[☛P298]
処理できません	パソコンなどでカメラ画像用のフォルダが削除されていたためフォルダを作成しようとしましたが、最大件数を超えるなどのため作成できませんでした。不要なフォルダを削除してから操作し直してください。
	FOMA端末で扱えない名前が付けられているため、実行できません。
選択したデータはコピーできません	データが壊れているか、FOMA端末で扱えない形式です。
ただいま使用できません	“メモリースティック Duo”の処理が完了していないか、ｉモード中、パケット通信中のため実行できません。いったん待受画面に戻すなどして、実行中の処理を完了させてから操作してください。
表示できる件数を超えています	最大件数を超えているために表示できないフォルダまたはデータがあります。
フォーマットに失敗しました	“メモリースティック Duo”を取り出し、装着し直してみてください。繰り返し表示されるときは“メモリースティック Duo”かFOMA端末の異常の可能性があります。
保存容量の空きがないため中止しました	FOMA端末のメモリがいっぱいになったか、最大保存件数に達したため、コピーを途中で打ち切りました。
メール添付固定サイズを保存する空き容量が不足しています	“メモリースティック Duo”の空きがないため切り出せません。不要なデータを削除してください。
メモリースティックエラーです 本体に保存しますか？	“メモリースティック Duo”が装着されていない、空き不足などのため、撮影した静止画を保存できません。静止画をFOMA端末本体に保存するときは「はい」を選択します。保存を中止するときは「いいえ」を選びます。
メモリースティックエラーです もう一度チェックをして下さい	操作し直して下さい。再度表示が出たときは、“メモリースティック Duo”を取り出し、装着し直してみてください。繰り返し表示されるときは“メモリースティック Duo”かFOMA端末の異常の可能性があります。

エラーメッセージ	説　明
メモリースティックエラーのため削除できません	“メモリースティック Duo”の最新撮影画像を削除できないか、最新撮影画像のファイルがありません。“メモリースティック Duo”を抜いたときや、別の“メモリースティック Duo”に差し替えたときは、撮影時の“メモリースティック Duo”を戻してください。
メモリースティックエラーのため保存できません	“メモリースティック Duo”が装着されていない、空き不足などのため、撮影した静止画や動画を保存できません。“メモリースティック Duo”が正しく装着されているか、十分な空きがあるか［☛P289］などを確認してください。市販の“メモリースティック Duo”をご利用の場合は、誤消去防止スイッチがロックされていないか確認してください。
メモリースティックがありません	“メモリースティック Duo”を装着してください。装着しているのに表示されるときは一度取り出し、装着し直してみてください。繰り返し表示されるときは“メモリースティック Duo”かFOMA端末の異常の可能性があります。
メモリースティックがエラーのため撮影できません	“メモリースティック Duo”のエラーのため撮影できません。“メモリースティック Duo”を取り出し、装着し直してみてください。繰り返し表示されるときは“メモリースティック Duo”かFOMA端末の異常の可能性があります。
メモリースティックがエラーのため実行できません	“メモリースティック Duo”を取り出し、装着し直してみてください。繰り返し表示されるときは“メモリースティック Duo”かFOMA端末の異常の可能性があります。
メモリースティックが使用中のため実行できません	“メモリースティック Duo”をパソコンで使用中のため、実行できません。
メモリースティックが抜かれたため撮影できません	“メモリースティック Duo”が装着されていないため撮影できません。“メモリースティック Duo”を装着してください。
メモリースティックがフォーマットされていません	“メモリースティック Duo”がフォーマットされていません。D900iでフォーマットしてからご利用ください。
メモリースティックの空きがありません	“メモリースティック Duo”の空きがないため保存できません。不要なデータを削除してください。
メモリースティックの空きがないため撮影できません	“メモリースティック Duo”に空きがないか、保存先フォルダのデータ件数が上限を超えるため撮影できません。不要なデータを削除してください。
ライトプロテクト中です　ロック解除して下さい	誤消去防止スイッチがロックされています。解除してください。

ATコマンド

ATコマンドは、パソコンからFOMA端末の設定をするときに使います。

入力のしかた

コマンドの先頭に「AT」を付け、コマンドに続けてパラメータを入力し、最後にEnterキーを押します。コマンド、パラメータは半角英数字で入力します。

- ATコマンドは通信ソフトのターミナルモードを使い、FOMA端末がオフラインモードの状態（待受中）で入力します。
- オンラインデータモード（通信中）のときはATコマンドを入力しないでください。オンラインデータモードのときにATコマンドを入力するときは、オンラインコマンドモードにしてからATコマンドを入力します。
- オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるには、以下のように操作します。

オンラインデータモードから オンラインコマンドモードへ切替え	●+++コマンドを入力します。またはS2レジスタに設定したコードを入力します。 ●AT&D1が設定されているときに、ER信号をOFFにします。
オンラインコマンドモードから オンラインデータモードへ切替え	●ATOコマンドを入力します。

ATコマンド一覧

※1　：AT&Fコマンドで設定が初期化されます。
※2　：AT&WコマンドでFOMA端末に記憶でき、ATZコマンドで復元できます。
「なし」：表示コマンド、テストコマンドがないATコマンドです。
［　］　：省略できるパラメータです。

コマンド		概要・パラメータ					
AT%V		FOMA端末のバージョンを「Verx.xx」の形式で表示します。					
	例	設定	AT%V	表示	なし	テスト	なし
AT&C[n]		DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。 n=0:回路CD信号を常にONにします。（パラメータ省略時） n=1:回路CD信号は相手モデムの状態に従って変化します。（お買い上げ時）					
※1、※2	例	設定	AT&C1	表示	なし	テスト	なし
AT&D[n]		オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0:ER信号の状態を無視します（常にON）。（パラメータ省略時） n=1:ER信号がONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードになります。 n=2:ER信号がONからOFFに変わると回線を切断し、オフラインモードになります。（お買い上げ時）					
※1、※2	例	設定	AT&D1	表示	なし	テスト	なし
AT&F[0]		FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻します。着信中に&Fを実行すると、着信には影響を与えずに、FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻します。通信中は通信を切断してからお買い上げ時の状態に戻します。					
	例	設定	AT&F0	表示	なし	テスト	なし

コマンド		概要・パラメータ					
AT&S[n]		FOMA端末の出力するDR信号の制御を設定します。 n=0:常にONにします。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1:回線接続時にDR信号をONにします。					
※1、※2	例	設定	AT&S0	表示	なし	テスト	なし
AT&W[0]		現在の設定値をFOMA端末に書き込みます。					
	例	設定	AT&W0	表示	なし	テスト	なし
AT*DANTE		電波の強さ（受信レベル）を「*DANTE:m」の形式で表示します。 m=0:圏外です。　m=1～3:FOMA端末に表示されるアンテナの本数です。					
	例	設定	AT*DANTE	表示	なし	テスト	AT*DANTE=?
AT*DGANSM=n		パケット着信呼に対して、着信拒否、着信許可を設定します。 n=0:着信拒否設定と着信許可設定をOFFにします。（お買い上げ時） n=1:着信拒否設定をONにします。　n=2:着信許可設定をONにします。					
	例	設定	AT*DGANSM=0	表示	AT*DGANSM?	テスト	AT*DGANSM=?
AT*DGAPL=n[,cid]		パケット着信呼に対して、着信を許可する接続先(APN)を設定します。APNは「+CGDCONT」で定義されたcidパラメータを使用します。 n=0:cidで定義されたAPNを着信許可リストへ追加します。 n=1:cidで定義されたAPNを着信許可リストから削除します。 cidパラメータを省略すると、すべてのcidを追加または削除します。					
	例	設定	AT*DGAPL=0,1	表示	AT*DGAPL?	テスト	AT*DGAPL=?
AT*DGARL=n[,cid]		パケット着信呼に対して、着信を拒否する接続先(APN)を設定します。APNは「+CGDCONT」で定義されたcidパラメータを使用します。 n=0:cidで定義されたAPNを着信拒否リストへ追加します。 n=1:cidで定義されたAPNを着信拒否リストから削除します。 cidパラメータを省略すると、すべてのcidを追加または削除します。					
	例	設定	AT*DGARL=0,1	表示	AT*DGARL?	テスト	AT*DGARL=?
AT*DGPIR=n		パケット通信時の番号通知、非通知を設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0:パケット通信確立時に、APNをそのまま使用します。（お買い上げ時） n=1:パケット通信確立時に、APNに「184」を付けます。 n=2:パケット通信確立時に、APNに「186」を付けます。					
	例	設定	AT*DGPIR=0	表示	AT*DGPIR?	テスト	AT*DGPIR=?
AT*DRPW		受信電力指標を「*DRPW:m」の形式で表示します。m:0～75					
	例	設定	AT*DRPW	表示	なし	テスト	AT*DRPW=?
+++		FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えます。エスケープガード区間は、1秒間の固定です。					
	例	設定	+++	表示	なし	テスト	なし
AT+CEER		直前の通信の切断理由を表示します。[☛P353]					
	例	設定	AT+CEER	表示	なし	テスト	AT+CEER=?
AT+CGDCONT		パケット通信時の接続先(APN)を設定します。[☛P354]					
AT+CGEQMIN		パケット通信確立時に、ネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。[☛P355]					
AT+CGEQREQ		パケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。[☛P355]					
AT+CGMR		FOMA端末のバージョンを16桁の数字で表示します。					
	例	設定	AT+CGMR	表示	なし	テスト	AT+CGMR=?

コマンド	概要・パラメータ
AT+CGREG=[n]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は、圏内または圏外です。 n=0:通知しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1:通知します。「+CGREG:n,stat」の形式で通知されます。 stat=0:圏外　stat=1:圏内(home)　stat=4:不明　stat=5:圏外(visitor)
※1、※2 例	設定 AT+CGREG=1 / 表示 AT+CGREG? / テスト AT+CGREG=?
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。
例	設定 AT+CGSN / 表示 なし / テスト AT+CGSN=?
AT+CLIP=[n]	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信者番号をパソコンに表示します。 n=0:表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1:表示します。 AT+CLIP?を入力すると、「+CLIP:n,m」が表示されます。 m=0:発信時に相手に発信者番号を通知しないネットワーク設定 m=1:発信時に相手に発信者番号を通知するネットワーク設定　m=2:不明
※1、※2 例	設定 AT+CLIP=0 / 表示 AT+CLIP? / テスト AT+CLIP=?
AT+CLIR=[n]	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。 n=0:サービス契約の設定に従います。（パラメータ省略時）　n=1:通知しません。 n=2:通知します。（お買い上げ時） AT+CLIR?を入力すると、「+CLIR:n,m」を表示します。 m=0:CLIRが起動していません。（常時通知） m=1:CLIRが起動しています。（常時非通知） m=2:不明 m=3:CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4:CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）
例	設定 AT+CLIR=0 / 表示 AT+CLIR? / テスト AT+CLIR=?
AT+CMEE=[n]	FOMA端末のエラーレポートの形式を設定します。[☛P354] n=0:「ERROR」を表示します。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1:数字で表示します。　n=2:文字で表示します。
※1、※2 例	設定 AT+CMEE=0 / 表示 AT+CMEE? / テスト AT+CMEE=?
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。「+CNUM:"number",type」の形式で表示します。 number:電話番号 type=129:「+81」を表示しません。　type=145:「+81」を表示します。
例	設定 AT+CNUM / 表示 なし / テスト AT+CNUM=?
AT+CR=[n]	回線接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別（パケット通信または64Kデータ通信）を表示するかどうかを設定します。 n=0:表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1:表示します。「+CR:serv」の形式で表示します。 serv=SYNC:64Kデータ通信　serv=GPRS: パケット通信
※1、※2 例	設定 AT+CR=0 / 表示 AT+CR? / テスト AT+CR=?
AT+CRC=[n]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。[☛P356] n=0:拡張リザルトコードを使用しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1:拡張リザルトコードを使用します。
※1、※2 例	設定 AT+CRC=0 / 表示 AT+CRC? / テスト AT+CRC=?

コマンド		概要・パラメータ					
AT+CREG=[n]		圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。 n=0:表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1:表示します。 AT+CREG?を入力すると、「+CREG:n,stat」の形式で表示します。 stat=0:圏外　stat=1:圏内(home)　stat=4:不明　stat=5:圏内(visitor)					
※1、※2	例	設定	AT+CREG=0	表示	AT+CREG?	テスト	AT+CREG=?
AT+GMI		FOMA端末の製造会社名を表示します。					
	例	設定	AT+GMI	表示	なし	テスト	AT+GMI=?
AT+GMM		FOMA端末名を表示します。					
	例	設定	AT+GMM	表示	なし	テスト	AT+GMM=?
AT+GMR		FOMA端末のバージョンを表示します。					
	例	設定	AT+GMR	表示	なし	テスト	AT+GMR=?
AT+IFC=[n,[m]]		パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 nはDCE by DTEの制御を設定します。 n=0:フロー制御しません。　n=1:XON/XOFFフロー制御します。 n=2:RS/CS(RTS/CTS)フロー制御します。（お買い上げ時） mはDTE by DCEの制御を設定します。省略するとDCE by DTEと同じ入力値になります。 m=0:フロー制御しません。　m=1:XON/XOFFフロー制御します。 m=2:RS/CS(RTS/CTS)フロー制御します。（お買い上げ時） パラメータをすべて省略すると、AT+IFC=2,2になります。					
※1、※2	例	設定	AT+IFC=2,2	表示	AT+IFC?	テスト	AT+IFC=?
AT+WS46=[22]		発信時にFOMA端末が使用する無線ネットワークを設定します。					
※1、※2	例	設定	AT+WS46=22	表示	AT+WS46?	テスト	AT+WS46=?
AT\S		コマンドの設定内容とSレジスタを表示します。					
	例	設定	AT\S	表示	なし	テスト	なし
AT\V[n]		接続時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを選択します。[☛P356] ATXコマンドのパラメータがn=1～4のときに有効です。 n=0:拡張リザルトコードを使用しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1:拡張リザルトコードを使用します。					
※1、※2	例	設定	AT\V0	表示	なし	テスト	なし
ATA		パケット通信、64Kデータ通信の着信時に着信処理をします。パケット通信の着信時には下記を入力できます。 ATA184:発信者番号通知なし着信　ATA186:発信者番号通知あり着信					
	例	設定	ATA	表示	なし	テスト	なし
A/		直前に実行したコマンドを再実行します。					
	例	設定	A/	表示	なし	テスト	なし
ATD		パケット通信または64Kデータ通信の発信をします。 ・パケット通信…「ATD∗99∗∗∗cid#」の形式で入力します。cidを省略すると、cid=1になります。 「ATD184∗99」で始まる形式で入力した場合、指定したcidのAPNに対して184（発信者番号通知なし）が付加されます。（186でも同様です） ・64Kデータ通信…「ATD電話番号」の形式で入力します。 ・リダイヤル発信…「ATDL」または「ATDN」の形式で入力します。					
	例	設定	ATD電話番号	表示	なし	テスト	なし

コマンド		概要・パラメータ					
ATE[n]		パソコンから送信された文字をエコーバックします。 n=0:エコーバックしません。（パラメータ省略時） n=1:エコーバックします。（お買い上げ時）					
※1、※2	例	設定	ATE0	表示	なし	テスト	なし
ATH		パケット通信または64Kデータ通信を切断します。					
	例	設定	ATH	表示	なし	テスト	なし
ATI[n]		認識コードを表示します。 n=0:「NTT DoCoMo」と表示します。（パラメータ省略時） n=1:FOMA端末名を表示します。 n=2:FOMA端末のバージョンを表示します。					
	例	設定	ATI0	表示	なし	テスト	なし
ATO		オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに移行します。					
	例	設定	ATO	表示	なし	テスト	なし
ATQ[n]		パソコンにリザルトコードを表示するかどうかを設定します。[☛P356] n=0:リザルトコードを表示します。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1:リザルトコードを表示しません。					
※1、※2	例	設定	ATQ0	表示	なし	テスト	なし
ATS0=[n]		FOMA端末で自動着信するまでの呼出（RING）回数を設定します。 n=0:自動着信しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1～255					
※1、※2	例	設定	ATS0=0	表示	ATS0?	テスト	なし
ATS2=[n]		エスケープキャラクタを設定します。 n=0～127（43:お買い上げ時、0:パラメータ省略時、127:エスケープ処理を無効にする）					
※1	例	設定	ATS2=43	表示	ATS2=?	テスト	なし
ATS3=[13]		ATコマンドの文字列の最後を認識する復帰(CR)キャラクタを設定します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付けられます。（設定値は変更できません）					
※1	例	設定	ATS3=13	表示	ATS3?	テスト	なし
ATS4=[10]		改行(LF)キャラクタの設定をします。英文字でリザルトコードを表示する場合に、復帰(CR)キャラクタの次に付けられます。（設定値は変更できません）					
※1	例	設定	ATS4=10	表示	ATS4?	テスト	なし
ATS5=[8]		ATコマンド入力中に、入力バッファの最後のキャラクタを削除するバックスペース(BS)キャラクタを設定します。（設定値は変更できません）					
※1	例	設定	ATS5=8	表示	ATS5?	テスト	なし
ATS6=[n]		ダイヤルするまでのポーズ時間を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。 n=2～10：単位は秒。（5:お買い上げ時、パラメータ省略時）					
※1	例	設定	ATS6=5	表示	ATS6?	テスト	なし
ATS7=[n]		パケット通信または64Kデータ通信で、発呼してから接続できるまでの待ち時間を設定します。 n=1～255：単位は秒。（60:お買い上げ時、パラメータ省略時）					
※1、※2	例	設定	ATS7=60	表示	ATS7?	テスト	なし
ATS8=[n]		カンマダイヤル機能（ポーズ時間）を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、ポーズ時間は3秒で固定です。 n=0～255：単位は秒。（3:お買い上げ時、0:パラメータ省略時）					
※1	例	設定	ATS8=3	表示	ATS8?	テスト	なし

コマンド		概要・パラメータ					
ATS10=[n]		自動切断までの遅延時間を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。 n=1～255：単位は1/10秒。(1:お買い上げ時、パラメータ省略時)					
※1、※2	例	設定	ATS10=1	表示	ATS10?	テスト	なし
ATS30=[n]		データ転送がなかった場合、通信を切断するまでの時間を設定します。64Kデータ通信のときに有効です。 n=1～255:単位は分。　n=0:切断しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時)					
※1	例	設定	ATS30=0	表示	ATS30?	テスト	なし
ATS103=[n]		着サブアドレスを付けて発信するときの区切りに使う記号を設定します。64Kデータ通信のときに有効です。 n=0:＊（パラメータ省略時）　n=1:/（お買い上げ時）　n=2:\					
※1	例	設定	ATS103=0	表示	ATS103?	テスト	なし
ATS104=[n]		発サブアドレスを付けて発信するときの区切りに使う記号を設定します。64Kデータ通信のときに有効です。 n=0:# （パラメータ省略時）　n=1:%（お買い上げ時）　n=2:&					
※1	例	設定	ATS104=0	表示	ATS104?	テスト	なし
ATV[n]		リザルトコードの表示方法を設定します。[☛P356] n=0:数字で表示します。(パラメータ省略時) n=1:文字で表示します。(お買い上げ時)					
※1、※2	例	設定	ATV1	表示	なし	テスト	なし
ATX[n]		ビジートーン検出、ダイヤルトーン検出、通信速度表示を設定します。 n=0:ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示なし。(パラメータ省略時) n=1:ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示あり。 n=2:ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、通信速度表示あり。 n=3:ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示あり。 n=4:ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、通信速度表示あり。(お買い上げ時)					
※1、※2	例	設定	ATX1	表示	なし	テスト	なし
ATZ		FOMA端末の設定をAT&Wで記憶させた不揮発メモリの内容に復元します。パケット通信または64Kデータ通信の着信中に入力したときは、着信には影響を与えずに復元します。通信中に入力すると、通信を切断してから復元します。					
	例	設定	ATZ	表示	なし	テスト	なし

切断理由一覧

パケット通信

値	理　由
27	接続先（APN）が存在しないか正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼出中のため通信できません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
1	no connection to phone	FOMA端末として接続されていません。
10	SIM not inserted	FOMAカードが取り付けられていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIMが取り付けられています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

パラメータcidは、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA 端末では1〜10に登録できます。

+CGDCONT

概要	パケット通信時の接続先（APN）を設定します。
書式	+CGDCONT=cid［,"PPP"［,"APN"］］］
パラメータ説明	cid：1〜10　APN：接続先 お買い上げ時：cid=1　APN=mopera.ne.jp（mopera に接続するための接続先（APN））

（実行例）

(1)接続先「abc」を登録するとき。（cid=3の場合）
　AT+CGDCONT=3,"PPP","abc"

(2)パラメータを省略した場合の動作
　AT+CGDCONT=　…cid2〜10の設定をクリアします。cid=1はお買い上げ時の状態に戻ります。
　AT+CGDCONT=cid　…指定したcidの設定をクリアします。cid=1の場合はお買い上げ時の状態に戻ります。
　AT+CGDCONT=?　…設定可能な値のリスト値を表示します。
　AT+CGDCONT?　…現在の設定値を表示します。

+CGEQMIN

概要	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。
書式	AT+CGEQMIN=[cid［,,Maximum bitrate UL［,Maximum bitrate DL]］
パラメータ説明	cid：1～10 Maximum bitrate UL：なし（お買い上げ時）または 64 Maximum bitrate DL：なし（お買い上げ時）または 384 FOMA 端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。 「なし」に設定した場合は、すべての速度を許可します。 「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許可されないため、パケット通信が接続されない場合があります。

（実行例）

(1)上り／下りすべての速度を許可する（cid=2の場合）
AT+CGEQMIN=2

(2)上り64kbps／下り384kbps の速度のみ許可する（cid=3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,64,384

(3)上り64kbps／下りすべての速度を許可する（cid=4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64

(4)上りすべての速度／下り384kbps 速度を許可する（cid=5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,384

(5)パラメータを省略した場合の動作
AT+CGEQMIN= …すべてのcidの設定をクリアします。
AT+CGEQMIN=cid …指定したcidをお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQMIN=? …設定可能な値のリストを表示します。
AT+CGEQMIN? …現在の設定を表示します。

+CGEQREQ

概要	パケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
書式	AT+CGEQREQ=[cid]
パラメータ説明	cid：1～10 各cidには、上り64kbps／下り384kbpsがお買い上げ時に設定されています。

（実行例）

(1)上り64kbps／下り384kbps の速度で接続を要求する場合（cid=3の場合）
AT+CGEQREQ=3

(2)パラメータを省略した場合の動作
AT+CGEQREQ= …すべてのcidをお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=cid …指定したcidをお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=? …設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGEQREQ? …現在の設定を表示します。

リザルトコード

■リザルトコード

文字表示	数字表示	意　味
OK	0	正常に実行しました。
CONNECT	1	相手と接続しました。
RING	2	着信しています。
NO CARRIER	3	回線が切断されました。
ERROR	4	コマンドを受け付けることができません。
NO DIALTONE	5	ダイヤルトーンの検出ができません。
BUSY	6	話中音の検出中です。
NO ANSWER	7	接続完了タイムアウト
RESTRICTION	100	通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直して下さい。
DELAYED	101	リダイヤル発信規制中です。

■拡張リザルトコード

文字表示	数字表示	意　味
CONNECT 1200	5	FOMA端末とパソコン間の速度1200bps で接続しました。
CONNECT 2400	10	FOMA端末とパソコン間の速度 2400bpsで接続しました。
CONNECT 4800	11	FOMA端末とパソコン間の速度 4800bpsで接続しました。
CONNECT 7200	13	FOMA端末とパソコン間の速度 7200bpsで接続しました。
CONNECT 9600	12	FOMA端末とパソコン間の速度 9600bpsで接続しました。
CONNECT 14400	15	FOMA端末とパソコン間の速度 14400bpsで接続しました。
CONNECT 19200	16	FOMA端末とパソコン間の速度 19200bpsで接続しました。
CONNECT 38400	17	FOMA端末とパソコン間の速度 38400bpsで接続しました。
CONNECT 57600	18	FOMA端末とパソコン間の速度 57600bpsで接続しました。
CONNECT 115200	19	FOMA端末とパソコン間の速度 115200bpsで接続しました。
CONNECT 230400	20	FOMA端末とパソコン間の速度 230400bpsで接続しました。
CONNECT 460800	21	FOMA端末とパソコン間の速度 460800bpsで接続しました。

おしらせ

- **ATVn コマンドが n=1 に設定されている場合は文字表記、n=0 に設定されている場合は数字表示でリザルトコードが表示されます。**
- **RS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため、通信速度を表示しますが、FOMA端末とパソコン間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度とは異なります。**

■通信プロトコルリザルトコード

文字表示	数字表示	意　味
PPPoverUD	1	64Kデータ通信で接続
PACKET	5	パケット通信で接続

例 リザルトコード表示

●ATX0が設定されている場合
AT\Vコマンドの設定にかかわらず、接続完了時に「CONNECT」のみ表示されます。
文字表示例： ATD∗99∗∗∗1#
CONNECT（数字表示のときは「1」と表示されます。）

●ATX1が設定されている場合
• AT\V0が設定されている場合（お買い上げ時）
接続完了時に、「CONNECT　FOMA端末とパソコン間の速度」の形式で表示されます。
文字表示例： ATD∗99∗∗∗1#
CONNECT 460800（数字表示のときは「1　21」と表示されます。）

• AT\V1が設定されている場合（注）
接続完了時に、以下のように表示されます。
文字表示例： ATD∗99∗∗∗1#
CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp /64/384
（数字表示のときは「1　21　5」と表示されます。）

FOMA端末とパソコンの間の速度460800bpsで、mopera.ne.jp に上り最大64kbps、下り最大384kbps で接続したことを意味します。

（注） ATX1、AT\V1を同時に設定すると、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT\V0だけでの利用をおすすめします。

索引

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■**使用禁止の場所にいる場合**
携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
・航空機内　・病院内
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■**運転中の場合**
FOMA端末を使用しながら運転すると、事故の原因になります。
※運転中、電源を切りたくない場合は、ドライブモードを設定してください。

■**満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合**
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■**劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■**レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。**

■**街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。**

カメラはマナーを守って使いましょう

■**著作物や人物を撮影した画像を無断で使用したり改変するなど、著作権や肖像権を侵害するような使いかたはおやめください。**

■**撮影が禁止されている場所ではカメラを使用しないでください。**

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●**マナーモード／オリジナルマナーモード**
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します。ただし、静止画撮影時、動画撮影時のシャッター音、セルフタイマー音は鳴ります（マナーモード）。また、マナーモードに伝言メモ機能を追加したり、バイブレーター・着信音量を変更したりすることもできます（オリジナルマナーモード）。

●**ドライブモード**
電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。

●**バイブレーター**
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

●**伝言メモ機能**
音声電話やテレビ電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音または録画します。

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ中国
株式会社NTTドコモ九州
株式会社NTTドコモ東北
株式会社NTTドコモ東海
株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ四国

製造元　三菱電機株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

古紙配合率100%再生紙を使用しています

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています

'04.8（4版）